

平成 27 年度 厚生労働省委託事業

歯科診療情報の標準化に関する 実証事業報告書

一般社団法人 新潟県歯科医師会

研究代表者 五十嵐 治

平成 28 年 (2016 年) 3 月

目 次

- 1 歯科診療情報の標準化へ向けた活動の経緯
 - 1-1 東日本大震災以前からの取り組み
 - 1-2 東日本大震災の身元確認 ～ 歯科情報の有用性を再認識
 - 1-3 浮き彫りになった課題 ～ 情報の標準化の必要性
 - 1-4 平成 25 年度歯科診療情報の標準化に関する実証事業
 - 1-5 平成 26 年度歯科診療情報の標準化に関する実証事業
 - 1-6 標準化によって何が可能になるか
 - 1-7 平成 27 年度実証事業の概要

 - 2 口腔状態の標準データセット
 - 2-1 特徴記述子の階層構造の定義
 - 2-2 特徴記述子のコード化

 - 3 「口腔状態の標準データセット」データ交換規約（案）
 - 3-1 基本的な考え方
 - 3-2 データ交換規約の概要
 - 3-3 病名（歴）情報登録・更新メッセージ（PPP）の定義
 - 3-4 口腔状態のデータセットコード一覧
 - 3-5 交換データの出力サンプル

 - 4 論点の整理
 - 4-1 歯科情報の保存についての今後の課題
 - 4-2 海外の歯科情報との互換
 - 4-3 その他の検討課題

 - 5 結論
- 謝辞
- 参考文献
- 参考サイト
- 付録
- ・これまでの事業で指摘された意見のまとめ
- 別紙
- ・口腔状態の標準データセット（2016 年 3 月 26 日版）

歯科診療情報の標準化に関する実証事業

(平成 27 年度厚生労働省委託事業)

■ 研究代表者

五十嵐 治 一般社団法人新潟県歯科医師会会長

■ 分担研究者

松川 公敏 一般社団法人新潟県歯科医師会副会長
松崎 正樹 同 専務理事
山下 智 同 常務理事
北村 信隆 同 委員
青木 孝文 東北大学副学長・同大学院情報科学研究科教授
柳川 忠廣 一般社団法人静岡県歯科医師会会長
小菅 栄子 高崎市篠原歯科医院・群馬県検視警察医

■ データセット策定ワーキンググループ (13 名)

青木 孝文 東北大学副学長・同大学院情報科学研究科教授
井田 有亮 東京大学医学部附属病院企画情報運営部助教
玉川 裕夫 大阪大学歯学部附属病院准教授
鈴木 敏彦 東北大学大学院歯学研究科歯科法医情報学准教授
小坂 萌 同 歯科法医情報学助教
富士 岳志 同 口腔システム補綴学分野助教
柴原 孝彦 東京歯科大学口腔顎顔面外科学講座教授
上地 潤 北海道医療大学歯学部口腔構造機能発育学系歯科矯正学分野講師
小菅 栄子 高崎市篠原歯科医院・群馬県検視警察医
北村 信隆 一般社団法人新潟県歯科医師会委員
松本 智宏 (株)BSN アイネット 担当マネジャー
瀬賀 吉樹 一般社団法人新潟県歯科医師会業務課長
青山 章一郎 日本学術振興会特別研究員・東北大学大学院

■ 平成 27 年度警察歯科医会新潟プロジェクト会議 (歯科診療情報の標準化に関する実証事業推進委員会全体会議 (平成 27 年 10 月 28 日))

柳川 忠廣 一般社団法人静岡県歯科医師会会長
小菅 栄子 高崎市篠原歯科医院・群馬県検視警察医
高塚 尚和 新潟大学医学部法医学教授
小室 歳信 日本大学歯学部法歯学講座教授
青木 孝文 東北大学副学長・同大学院情報科学研究科教授
鈴木 敏彦 東北大学大学院歯学研究科歯科法医情報学准教授
小坂 萌 東北大学大学院歯学研究科歯科法医情報学助教

富士 岳志	東北大学大学院歯学研究科口腔システム補綴学分野助教
玉川 裕夫	大阪大学歯学部附属病院准教授
井田 有亮	東京大学医学部附属病院企画情報運営部助教
金子 公二	新潟県警察本部捜査第一課検視官室長
江花 敏郎	同 検視特務補佐
小出 勤	同 検視特務補佐
八田 真治	新潟海上保安部 警備救難課長
小幡 泰晴	同 警備救難課 (検死担当官)
山田 貴紀	同 警備救難課 (検死担当官)
南雲 俊介	(株)BSNアイネット 常務取締役
伴内 富士男	同 部長
青野 亨	同 部長
小林 明	同 部長
野本 隆男	同 専門マネジャー
中島 尚志	同 マネジャー
松本 智宏	同 担当マネジャー
五十嵐 治	一般社団法人新潟県歯科医師会会長
松川 公敏	同 副会長
松崎 正樹	同 専務理事
山下 智	同 常務理事
北村 信隆	同 委員
依岡 正宏	同
瀬賀 吉樹	一般社団法人新潟県歯科医師会業務課長
黛 優太	同 主事
伊里 昌子	新潟県福祉保健部医務薬事課課長補佐 (オブザーバー)
入倉 和重	同 医療指導係係長 (オブザーバー)

■ 外部アドバイザー

和田 昭夫	新潟県警察本部本部長
江口 史朗	同 刑事部長
池田 聡	第九管区海上保安本部警備救難部長
奥原 徳男	新潟海上保安部部長
佐々木 啓一	東北大学大学院歯学研究科長・歯学部長
鈴木 敏彦	同 歯科法医情報学分野准教授
玉川 裕夫	大阪大学歯学部附属病院医療情報室准教授
前田 健康	新潟大学歯学部学部長
関本 恒夫	日本歯科大学新潟生命歯学部学部長
小田 将之	弁護士 (新潟県歯科医師会顧問弁護士)
依岡 正宏	一般社団法人新潟県歯科医師会 (エーアイクリエイト代表取締役)

1 歯科診療情報の標準化へ向けた活動の経緯

1-1 東日本大震災以前からの取り組み

新潟県歯科医師会は、2009年11月、第8回警察歯科医会全国大会を主管した。大会に先駆けて2008年に「情報技術を活用した身元確認支援技術の将来のあり方を検討するプロジェクト（通称『新潟プロジェクト』）」を発足させ、1年以上にわたり議論と検証を重ねた。大会では「ITを活用した身元確認に関する将来への提言 ～ 大規模災害・事故への対応」と題したシンポジウムを開催。これまで先進的な情報技術とは無縁であった全国の警察歯科医会関係者に大きな衝撃を与え、身元確認の高度化・迅速化を図るために情報技術の活用が不可欠であることを広く印象づける結果となった。

大会を経て、新潟プロジェクトは日本歯科医師会に対し、「歯科情報に基づく身元確認支援システムの構築」を提言。将来の大災害に間に合うようにと、一種の焦りのような切迫感を感じながらも活動を続けていた。その矢先、東日本大震災が発生し、関係者一同、強く衝撃を受けた。

1-2 東日本大震災の身元確認 ～ 歯科情報の有用性を再認識

2011年3月11日、我が国において未曾有の天災ともいえる東日本大震災は、死者15,894人、行方不明者2,561人（2016年3月10日現在、警察庁※）という戦後最大の被害をもたらした。我々、新潟プロジェクトのメンバーが最も危惧していた開放型の大災害によって、まさに1万人を超える数の犠牲者が発生するという最悪の現実が目の前に突きつけられた。

<※注>東日本大震災の最新の統計については、次の警察庁のページを参照のこと。

<http://www.npa.go.jp/archive/keibi/biki/higaijokyo.pdf>

震災で犠牲となった方の遺体の検視・身元確認作業は、警察関係者をはじめ、医師や歯科医師等の協力の下で行われた。歯科所見による身元確認では、全国各地より歯科医師が参集し、過酷な環境にもかかわらず、献身的な努力によって歯科所見の採取・照合が行われ、多数の遺体の身元特定に至っている。参考までに、身元確認手段の統計として、死者数が最大となった宮城県の例を取り上げる。2016年3月10日現在での身元確認手段の内訳は、①身体的特徴や所持品等による確認が約86%、②歯による確認が約10%、③指紋・掌紋による確認が約3%、④DNA型による確認が約1%（親子鑑定の併用が約15%）である。特に、高度損傷遺体に対してDNA型検査とともに歯科情報の活用が有効であった。

東日本大震災は、我が国にとって、歯による身元確認のために情報技術が広範に適用された初めての災害である。例えば、宮城県では、県警・歯科医師会による身元確認を支援するために、東北大学が、生前カルテ情報と遺体情報を照合する専用ソフトウェアDental Finder（図1）を開発・運用した。Dental Finderでは、各々の歯の状態を1～5の5分類符号で

表現し、口腔内の所見を 32 桁の数字列に置き換える。この数字列の類似度によって、生前・死後情報の検索を行う。図 2 に宮城県で運用された歯による身元確認ワークフローの全体を示す。



図 1 歯科情報照合ソフトウェア Dental Finder

東日本大震災の際に宮城県警で活用された。東北大学が開発し、現在、無償配布されている (連絡先 dental@aoki.ecei.tohoku.ac.jp) 。

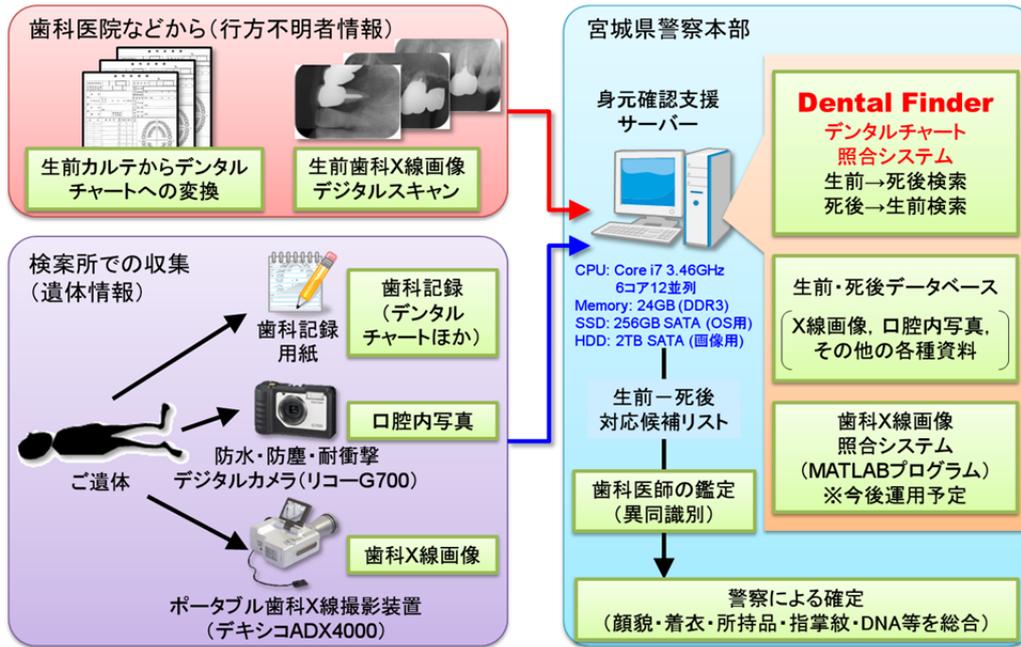


図 2 東日本大震災において宮城県警で運用された歯科的個人識別のワークフロー
生前情報と死後情報を収集し、Dental Finder によって突合した。
画像データもデータベース化した。

図 3 岩手県で活用された「36 (サブロク) 検索」のシステム
岩手県歯科医師会が考案して現場で運用した。上下左右の犬歯と第一大臼歯の状態から該当者を検索することができる。

なお、同様の検索の仕組みは岩手県でも独自に整備され、効果をあげた。岩手県歯科医師会が考案したシステムは、上下左右の犬歯と第一大臼歯の状態から該当者を検索するシステムであり、「36（サブロク）検索」として知られている（図 3）。

まさに、新潟プロジェクトが提言していたように、数千人規模の生前および死後の歯科情報を迅速に突合し、対象者を割り出す作業は、情報技術の適用なしでは遂行し得ない困難な作業であった。今後、災害時はもちろんのこと、平時においても、身元不明遺体の判明率の向上と身元確認の迅速化を図るために、デジタル化された歯科情報を活用することは必須であろう。

1-3 浮き彫りになった課題 ～ 情報の標準化の必要性

このように東日本大震災の経験を通して、大規模な開放型災害における身元確認を迅速かつ正確に遂行するために、歯科所見のデータ化と情報技術の適用が不可欠であることが明らかになった。この震災時における身元確認の経験を通じて次のような課題が浮き彫りとなった。

- 東日本大震災では、多くの歯科医療機関が津波によって被災し、歯科診療情報が失われて大きな問題となった。一般に、今回のような災害時のみならず、平時においても歯科診療情報が失われる要因は多い。具体的には、診療録の法定保存年限の経過、情報機器の故障、レセコン（診療報酬請求用のコンピュータ）の入れ替え、歯科医院の廃業など、多様な理由で貴重な診療情報が消失する。これらを共通のデータ形式でバックアップし、消失を防ぐ手段が必要である。
- 東日本大震災では、歯科医院に存在する行方不明者の診療録（カルテ）を紙媒体で入手するために膨大な労力と時間を費やした。しかも、紙に印刷された診療録が入手できたとしても、その 1 号用紙及び多数の 2 号用紙を全て読解して、対象者の口腔内所見を割り出す必要がある。さらに、このようにして得られた数千人分の所見を検索ソフトウェアのデータに変換する作業も著しく煩雑であった。これらの作業は、数か月単位の期間を要する結果となった。

1-4 平成 25 年度歯科診療情報の標準化に関する実証事業

前述の問題を克服し、各歯科医院で蓄積される歯科情報を、社会の財産として保存・活用するための仕組みが必要である。その切り札となるのが、「歯科診療情報の標準化」である。コンピューターによって蓄積・検索・処理が容易なデジタル歯科情報のデータ形式を定義することを目的としている。なお、厳密には、身元確認に使用する情報としては、生前の歯科診療情報と遺体の歯科記録が存在する。本報告書では、この 2 種類を区別せずに議論する場合には、単に歯科情報と呼ぶものとする。

まず、初年度（平成 25 年度）に実施された歯科診療情報の標準化に関する実証事業について概説する。25 年度事業では、まず、身元確認を正確かつ迅速に実施するための歯科情報として、どのような標準形式が適切であるかについて、東日本大震災の身元確認に携わった関係者へのヒアリング等を含めて総合的な調査・検討を行い、その原案を策定した。表 1 は策定したデジタル歯科情報の標準形式を示す。この形式のことを「標準プロファイル（26 項目）」と呼ぶ。表中の 1～26 の各項目には、口腔内のそれぞれの歯の状態を表すために、「該当する」か「該当しない」かの 2 通りの選択肢がある。つまり、1 つの歯の状態を 26 ビットのデジタルデータによって表現する。

このことを分かりやすく表現するために、図 4 は、「標準プロファイル」をマークシート型デンタルチャートの形で示している。1～26 のそれぞれの項目について、該当する項目にマークを記入することになる。ただし、このマークシートは生前情報を想定して作成してあるため、項目 21 の「死後脱落の疑い」は除外した。なお、このマークシートは、「標準プロファイル」に準拠するデジタル歯科情報を表現する一つ的手段に過ぎない。どのような媒体であれ、表 1 の 26 項目がデジタル歯科情報を定義する。

表 1 標準プロフィール (26 項目)

25 年度実証事業において、デジタル歯科情報の標準形式として策定された。各歯牙について 26 項目の特徴を定義したものであり、各項目には「該当する」か「該当しない」かの 2 通りの選択肢がある。

No.	項目	記号	No.	項目	記号
1	乳歯	Dcd	14	全部金属冠(FMC ほか)	FMC
2	健全歯	Sou	15	前装冠(HR, MB ほか)	HR
3	C1~C3(治療中を含む)	C123	16	HJC, セラミックほか	HJC
4	半埋伏・埋伏	RT	17	支台歯(インプラントも可)	Abu
5	CR充填, セメント充填ほか	CR	18	ボンティック	Pon
6	インレー, アンレー, 3/4, 4/5 冠	金属色	19	残根・根面版ほか	C4
7		歯冠色	20	欠損	MAM
8	アマルガム充填	AF	21	死後脱落の疑い	MPM
9	部分修復 の高洞・ 被覆面の 形態 (金属修復 物のみ)	切端・咬合面	22	義歯(人工歯あり)	Den
10		唇側面・頬側面	23	インプラント	Impl
11		口蓋側面・舌側面	24	仮歯(TEK, プロビ等)あり	TeC
12		近心面	25	歯牙あり(状態は不明)	Pre
13		遠心面	26	情報なし	Non

各歯について当てはまるすべての項目にマークして下さい

		E	D	C	B	A	A	B	C	D	E						
		8	7	6	5	4	3	2	1	1	2	3	4	5	6	7	8
健全歯	健全歯	<input type="checkbox"/>															
	C1-C3(治療中を含む)	<input type="checkbox"/>															
部分修復	半埋伏歯・埋伏(分かる範囲で)	<input type="checkbox"/>															
	CR充填, セメント充填ほか	<input type="checkbox"/>															
部分修復	インレー, アンレー, 3/4, 4/5 冠	<input type="checkbox"/>															
	金属色 歯冠色	<input type="checkbox"/>															
部分修復	アマルガム充填	<input type="checkbox"/>															
	高洞の形態 (金属修復物のみ記入)	<input type="checkbox"/>															
全部修復	全部歯冠修復(FMCほか)	<input type="checkbox"/>															
	前装冠(HR, MBほか)	<input type="checkbox"/>															
Br	HJC, セラミックほか	<input type="checkbox"/>															
	支台歯(インプラントも可)	<input type="checkbox"/>															
全部修復	ボンティック	<input type="checkbox"/>															
	残根・根面版ほか	<input type="checkbox"/>															
全部修復	欠損	<input type="checkbox"/>															
	義歯(人工歯あり)	<input type="checkbox"/>															
全部修復	インプラント	<input type="checkbox"/>															
	仮歯(TEK, プロビほか)あり	<input type="checkbox"/>															
※カルテから歯科情報を転記する場合で、上欄の情報が得られないときは、以下の2項目を追加して使用してもよい。																	
歯牙あり(状態は不明)		<input type="checkbox"/>															
情報なし		<input type="checkbox"/>															

図 4 標準プロフィールに準拠するマークシート型デンタルチャート

上顎のみを示している。生前情報を想定しているため、項目 21 の「死後脱落の疑い」は除外。

策定した「標準プロファイル（26項目）」が、現実的な災害想定で、どの程度の個人識別性能を発揮するかを明らかにするために、新潟県内の歯科医師の協力の下、歯科情報の収集と個人の検索・絞り込みに関する実証実験を行った。まず、次の2通りの方法によって「標準プロファイル（26項目）」に準拠する歯科情報を収集した（図5）。なお、本事業では、協力歯科医院内での掲示による周知をはじめ、患者の同意書を得たうえで、データを匿名化して実験を行った。

- ① 各協力医療機関において、来院患者の口腔内を直接診査し、標準プロファイルに準拠したマークシート型デンタルチャート（図4）を用いて歯科所見を記録する方法（39施設から1,763件）。
- ② データセンター側で、レセコンの内部データから標準プロファイルに準拠する歯科情報を選択的に自動抽出する方法（37施設から13,381件）。

このように平成25年度実証事業では、2種類の異なる方法によって歯科情報を収集した。これらはそれぞれ異なる性質を有している。すなわち、②のレセコンから抽出された歯科情報は、基本的には、当該医療機関において保険診療による治療を行った歯の情報のみが含まれる。このため、必ずしもすべての歯について最新の情報を反映していない。一方、①のマークシートデータは、歯科医師が被験者の口腔内を直接診査して記録した情報である。したがって、ほぼすべての歯について最新の状態が記入されている。ある意味で、理想的な歯科情報であるとみなすことができる。これらの2種類の歯科情報を用いることにより、現実の災害時に近い想定で、情報の欠落を含む不完全な歯科情報から、いかにして対象者を特定するかという問題を詳細に検討することが可能である。

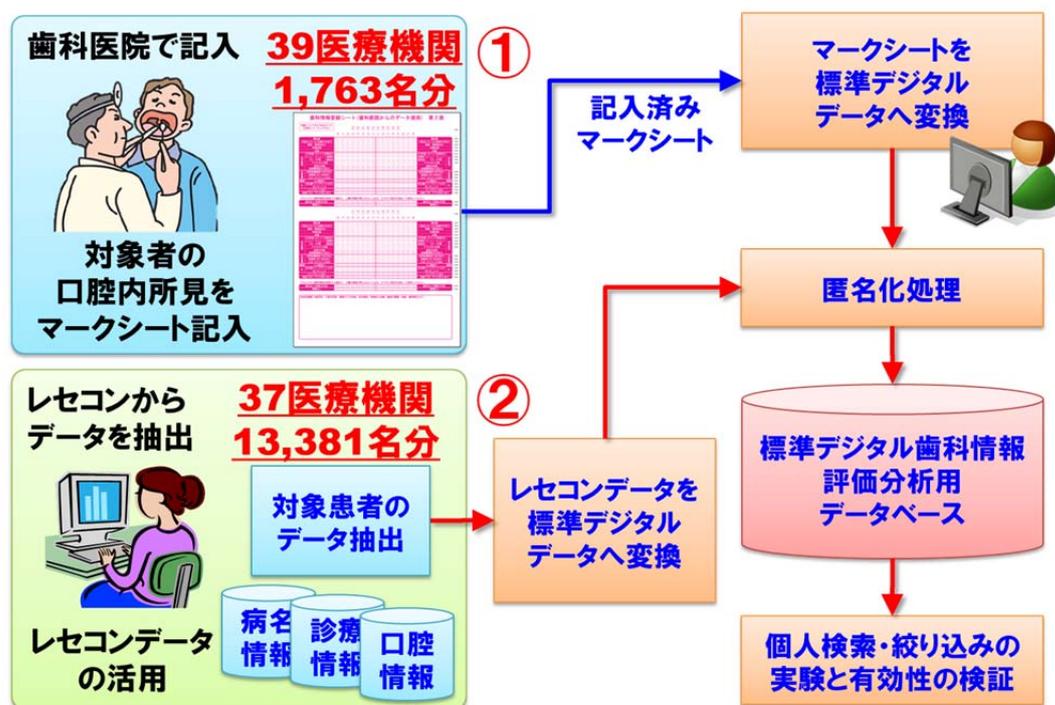


図5 標準プロファイルに準拠する歯科情報の収集（平成25年度実証事業）新潟県の歯科医院の協力を得て実施。①マークシートによって収集したデータ（1,763件）と②レセコンから自動抽出したデータ（13,381件）がある。

前述の 2 種類の歯科情報を用い、災害時の身元確認の状況を模擬した一連の検索・絞り込み実験を行った。東日本大震災でも問題になったように、大規模災害における身元確認では、収集した歯科情報に含まれる各種の「外乱」が対象者の検索・絞り込みの性能を著しく低下させる。ここで、「外乱」というのは、生前および死後の歯科情報の欠落や不足、さらには記載のミスなどに起因して発生する、「本来の正しい情報に対する外乱(ノイズ)」を意味している。

そこで、本実験では、標準プロファイルに準拠した歯科情報に基づいて、多様な外乱に対して高い耐性を有する個人検索・絞り込みが実現できるかどうかを検証した。そのために、複数の検索・照合ロジックを考案するとともに、計 14 通りの現実的な設定に基づく大規模検索・絞り込み実験を行い、その性能を定量的に評価した。この結果、例えば次のようなことが明らかになった。

- 前述のマークシートデータのような標準プロファイルに準拠する理想的な歯科情報が得られた場合、個人の検索・絞り込みの性能は極めて高いことが分かった。具体的には、検索リストの上位 1%、すなわち 1,763 人中 18 人まで調べれば、ほぼすべての対象者が見つかることが明らかになった。また、多様な外乱の存在下でも、この高い検索・絞り込み性能が維持できることが分かった。
- 一方、レセコンから抽出した歯科情報については情報の欠落が多い。しかし、そのような情報欠落の多いデータでも、約 6 割~7 割もの対象者について高精度な絞り込み（上位 1%）が可能であることを見出した。結果的に、レセコンから抽出した不完全な歯科情報であっても、十分に絞り込みの有効性は高いと結論できる。もし、各歯科医院でレセコンに登録されるデータの情報量が多くなれば、検索・絞り込みの性能は、大幅に向上すると考えられる。

ここで、レセコン抽出データの検索に関連して、一般の歯科医師にとって重要な概念を補足したい。すなわち、身元確認のための歯科情報の検索は、「レセプトの点検」とは、まったく異なる発想に基づくという点である。すなわち、身元確認のための検索は、レセプトの突合作業のように微細な差異や矛盾に注目するのではなく、口腔内の治療の大きなパターンが類似した対象者を探し出すことを目的としている。

口腔内の治療パターンがほぼ類似した対象者は、できるだけ検索で見つかるようにする。このことは、例えば、インターネットの検索エンジンのようなイメージでとらえると分かりやすい。ネット検索では、多少の文字の打ち間違いがあっても、複数の候補の中から正しい情報に到達できる。本検索実験では、これと同様の発想の技術を使用している。この点は誤解を生じることが多かったため、強調しておきたい。

以上の検索実験の結果から、次のような結論が導かれる。すなわち、もし今後、「標準プロファイル」のレベルの分解能を有する生前歯科情報があらかじめ確実に保存され、かつ、緊急時に入手できるようになった場合、極めて高い精度での個人検索が可能になると期待される。

1・5 平成 26 年度歯科診療情報の標準化に関する実証事業

上述の平成 25 年度事業を踏まえ、さらに平成 26 年度事業においては、身元確認支援機能を有するレセコン・電子カルテの開発を主として想定し、「標準プロファイル (26 項目)」の拡張について詳細な検討を行った。その結果、次のような 2 点の課題が浮き彫りになった。

- 現在普及している各ベンダーの多様なレセコン・電子カルテに、患者の最新の口腔状態を、標準データ形式で書き出す機能を実現する場合、各社の仕様の違いをいかに吸収するかが重要な課題となる。一般に、レセコンの内部データについては、ベンダーごとに仕様がまったく異なっており、それらのデータの詳細度 (分解能、細かさ、粒度) については、統一規格が存在しない。各社のレセコンの内部データの多様な分解能に対応するために詳細度を変化できる柔軟なデータ形式を検討する必要がある。また、より進んだ電子カルテ製品においては、一般にその内部データの情報量も多く、自費診療の情報も抽出できる場合が多い。このようなレセコンと電子カルテの内部データの詳細度の違いにも対処できるように、「標準プロファイル (26 項目)」を系統的に拡張する必要がある。
- 全国各地の歯科医師会をはじめとして、警察歯科医会、法医学者、法歯学者、警察関係者、海上保安庁関係者、その他広範にわたる意見聴取を行い、歯科的個人識別のためにどのような分解能の歯科情報が必要であるかをヒアリングした。しかし、我が国において、歯科情報の詳細度に対して必ずしも統一した見解があるわけではなく、ケースバイケースの状況であった。また、生前情報と死後情報が、異なる分解能をもっていることも想定する必要があり、そのような場合であっても照合・検索を効率よく行う必要がある。いずれにしても、情報の詳細度の違いに柔軟に対処できる標準データ形式の策定が必要である。

以上のような観点から、平成 26 年度事業においては、異なる詳細度／分解能／粒度の歯科情報への対応を目的として、平成 25 年度事業で定義した「標準プロファイル (26 項目)」を拡張することとした。専門部会 (ワーキンググループ) を設置して合計 10 回以上の会議を経て詳細な検討を重ねた結果、情報の分解能に応じて階層的に構造化した特徴記述子を導入する着想に至り、新たに「口腔状態標準データセット」を定義した (図 6)。

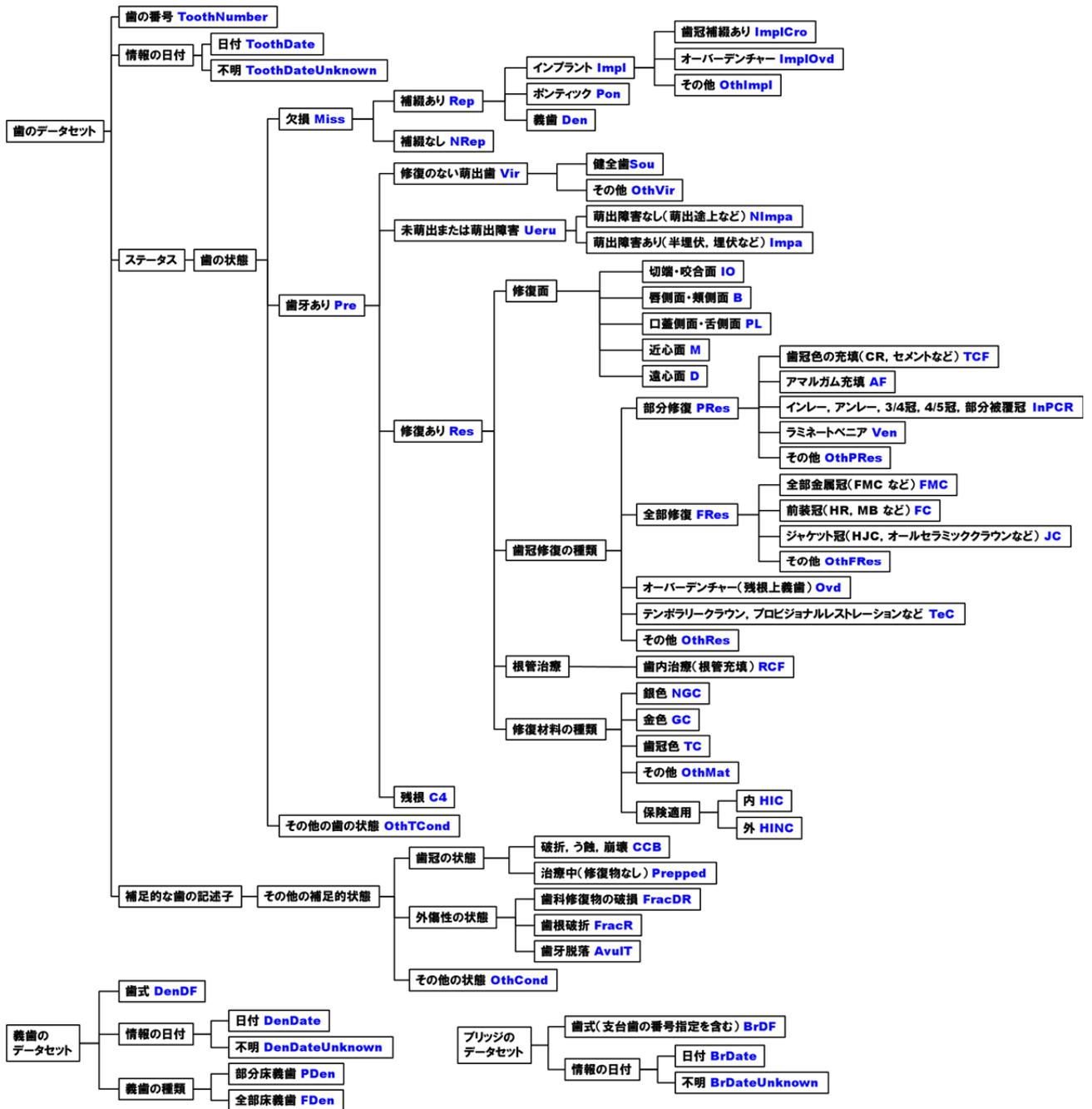


図 6 口腔状態標準データセット

情報の分解能に応じて階層的に構造化した特徴記述子を導入する着想に基づいて、平成 25 年度事業の「標準プロファイル (26 項目)」を拡張し、新たに「口腔状態標準データセット」を定義した。

さらに、平成 26 年度は、平成 25 年度に収集した歯科診療情報を活用した個人の検索実験を行い、「口腔状態標準データセット」の有効性を確認した。本実験で用いた歯科情報は、次の 2 種類である（それぞれ、平成 25 年度実証事業のデータ①および②から抽出した）。

- ①' 37 医療機関の 1,704 名の患者を対象として、口腔内を直接診査してマークシート型デンタルチャートに記録することによって、理想的な歯科情報を入手した。
- ②' 上記①と同じ 37 医療機関において、レセコンの内部データを「口腔状態標準データセット」に従って変換することによって、同じ 1,704 名の患者の標準データを抽出した。

平成 25 年の実証事業でも述べたが、これらはそれぞれ異なる性質を有している。すなわち、②' のレセコンから抽出された歯科情報は、基本的には、当該医療機関において保険診療による治療を行った歯の情報のみが含まれる。このため、必ずしもすべての歯について最新の情報を反映していない。一方、①' のマークシートデータは、歯科医師が被験者の口腔内を直接診査して記録した情報である。したがって、ほぼすべての歯について最新の状態が記入されている。ある意味で、理想的な歯科情報であるとみなすことができる。

レセコン抽出データ 1,704 名分②' を生前データとし、マークシートで採取したデータ①' を仮想的な死後データとして検索実験を行った。この実験結果より、次のことが分かった。まず、歯の有無のみで照合を行う検索ロジックでも、上位 1% への絞り込みを成功基準とした場合に、約 66% もの人物が検索で発見できた。これは、情報の分解能に応じて階層的に構造化した特徴記述子を導入することによって、最も粒度の粗い（抽象度の高い）特徴である、「歯があるかないか」という情報が、より詳細な情報から集約的に反映されたためである。なお、東日本大震災における宮城県の身元確認業務では、東北大学の分析によると、およそ 7 割の犠牲者の方に対して歯科情報を用いた検索が有効であったとされている。階層構造の口腔状態標準データセットを活用することにより、レセコンデータから得られる歯の有無の情報だけでも、これに近い性能が得られることは特筆すべき発見である。

さらに、利用する特徴記述子を増やし、検索に使用する情報の詳細度を高くすることで、検索性能を大幅に向上することが可能である。最終的には、19 特徴を用いる検索ロジックによって約 76% の人物が見つかるという結果が得られた。平成 25 年度事業で検討した照合ロジックと比較して、識別率が約 10% 向上していることから、平成 26 年度事業で策定した口腔状態標準データセットの階層構造が、個人識別の性能を向上させるうえでも有効であると結論付けられる。すなわち、特徴記述子を階層化して、体系的に整理することで、上位階層の抽象度の高い特徴記述子に、下位階層の細かい情報が集約されるということが自然に行われ、レセコンに蓄えられているような不完全なデータであっても、高い検索性能が得られることが判明した。

最後に、本節を締めくくるにあたり、口腔状態標準データセットの階層構造がもたらす 2 つの主要な利点を、再度、強調しておきたい。

- 第一に、データの収集に関する有効性である。
レセコンや電子カルテのベンダーが、それぞれの会社の事情に応じた情報の細かさで標

準データを抽出・保存・活用することができるという意味で、広く社会に普及可能な柔軟な表現であると結論できる。このことは、マークシートなどを利用して、人間の手動でデータを集める際にも、特徴記述子を比較的柔軟に設定できるという利点をもたらす。

- 第二に、検索・絞り込みに関する有効性である。
階層構造で特徴を整理し、これを照合ロジックの中で利用することにより、見通しの良い検索アルゴリズムを構成することができる。また、たとえレセコンに蓄えられているような不完全なデータであっても、上位階層の抽象度の高い特徴記述子に下位階層の細かい記述子の情報が自然に集約されるため、高い検索・絞り込みの性能を達成できる。

1-6 標準化によって何が可能になるか

それでは、標準化によって実際にはどのようなことが実現できるのだろうか。厚生労働省における歯科診療情報の標準化検討会で議論してきた典型的な 8 つ応用事業の例をまとめて図 7 に示す。

まず①は、身元確認支援機能を有するレセコン・電子カルテの開発である。これは、平時および災害時を問わず、警察から照会された特定の歯科所見を有する対象者が、自分の歯科医院の患者に存在するかどうかを検索するための歯科情報検索機能を、レセコンや電子カルテに搭載することを目的としている。すなわち、院内検索の実現である。これは平時および災害等緊急時における身元不明遺体の解消に大きく寄与するものと期待される。開発にあたっては、ベンダー各社との連携を想定している。レセコンや電子カルテに搭載することができる身元確認支援機能の例を図 8 に示す。各歯科医院において、患者の最新の口腔内の状態を標準データセットの歯科情報として出力・保存でき、かつ、このデータを活用して、特定の歯科情報を有する患者を、院内で検索することが可能となる。

このように、各歯科医療機関において、標準データセットの歯科情報を書き出すことが可能になるため、これを歯科医療機関内においてメディアで保存するか、もしくは、データセンターへバックアップするなどの保全対策をとることが可能になる。例えば、南海トラフ巨大地震による被災が危惧される自治体に対しては、国の施策としてデータバックアップ事業を推進することも重要であろう（図 7 の⑥）。医科ではすでに、SS-MIX 標準による診療情報バックアップ事業が進展しているが、歯科においてもこれと連携した事業が可能になると期待される。このような取り組みが、将来的には、専用の歯科情報データベース（図 7 の⑧）へ発展していく可能性もある。

標準化によって何が可能になるか？

- ①身元確認支援機能を有するレセコン・電子カルテの開発
- ②災害・事故等を含む緊急時における情報提供の迅速化
- ③平時の行方不明者に関する情報提供の推進
- ④互換性のある歯科情報検索ツールの開発
- ⑤患者向けデジタル歯科情報のお渡し・お預かりサービスの提供
- ⑥災害・事故等の緊急時に備えた歯科情報バックアップ事業の展開
- ⑦歯科健診所見のデジタル保存事業の推進
- ⑧多様な考え方の歯科情報データベース事業の展開

保存事業

図 7 標準化によって可能になる取り組みの例

①は次の図 8 で説明。⑤～⑧は歯科診療情報の保存事業である。

■標準化によって可能になることの例： 歯科医院のレセプトコンピュータや電子カルテに 身元確認の支援機能を搭載することが可能に

標準化された
データ



**患者の最新の口腔内の
状態を書き出す機能**
※歯科医院で追記・修正も可とする

**歯科情報に基づいて
個人を検索する機能**

図 8 身元確認支援機能を有するレセコン・電子カルテの開発

メーカーとタイアップすることにより、患者の歯科情報を出力する機能と特定の歯科情報を有する患者を検索する機能が実現できる。

1-7 平成 27 年度実証事業の概要

平成 26 年度の事業成果より、身元確認に資する歯科情報は、多様な情報粒度に対応することができる階層構造のデータセットで記述することが望ましいという結論に至った。ただし、平成 26 年度に策定した「口腔状態標準データセット」は、典型的な 80 個の特徴記述子のみから構成されており、身元確認に資する情報を網羅的に保存することを目的とした場合、必ずしも十分ではない（例えば、日本歯科医師会が策定した身元確認用デンタルチャートに存在する歯の位置・数・形態の異常や咬合関係など表現できない項目が多い）。そこで、平成 27 年度は、身元確認に資する歯科診療情報を、様々な専門分野の立場から網羅的に検討し、これを体系的に整理した階層構造データセットを策定した。今後、このデータセットにより、全国の歯科医療機関で用いられている多様な歯科情報システム（レセコン、電子カルテ、技工オーダーシステム等）の内部に存在する身元確認に資する歯科情報を、できるだけ網羅的に保存・バックアップすることが可能になると考えられる。

以上の観点から、平成 27 年度の実証事業の具体的検討項目として以下の 3 項目を設定した。

- 前年度よりも表現力の高い包括的な口腔状態の標準データセットの策定
 - 階層的に配置された 896 個の特徴記述子を用いて体系化
 - 「歯のデータセット」、「有床義歯のデータセット」、「ブリッジ・連結冠のデータセット」、「矯正装置のデータセット」、「口腔病理のデータセット」、「歯・歯列の位置のデータセット」、「材料のデータセット」の 7 区分で整理
 - ISO（国際標準化機構）において、身元確認における歯科用語の標準化を目的に設置された、ISO/TC106/SC3/WG5 “Oro Dental Identification” の提案に配慮
- 口腔状態の標準データセットに基づくデータ交換規約（案）の検討
 - SS-MIX2 標準化ストレージ仕様書に準拠
- 上記データセットおよびデータ交換規約に基づく歯科情報の保存・バックアップに係る課題の検討

2 口腔状態の標準データセット

2-1 特徴記述子の階層構造の定義

本章では、前章で述べたように、口腔内の状態を様々な分解能で系統的に記述するための階層型データセットとして、「口腔状態の標準データセット」を定義する。次ページ以降の図（全 16 ページ）が口腔状態標準データセットの階層構造を示している。なお、A3 版に拡大したものを別紙として巻末に添付したので、詳しくはそちらを参照されたい。下記の 7 つのデータセットから構成される。

- 1) 歯のデータセット (Tooth Data Set)
- 2) 有床義歯のデータセット (Plate Denture Data Set)
- 3) ブリッジ・連結冠のデータセット (Bridge/Splinted Crowns Data Set)
- 4) 矯正装置のデータセット (Orthodontic Appliance Data Set)
- 5) 口腔病理のデータセット (Oral Pathology Data Set)
- 6) 歯・歯列の位置のデータセット (Tooth Part and Position Data Set)
- 7) 材料のデータセット (Material Data Set)

データセットは、合計 896 個の特徴記述子 (Descriptor) から構成される。具体的な口腔状態を表現するために、これらの記述子を組み合わせる。データセットの階層構造は、左側の上位層に行くほど、情報の分解能が粗く、より抽象的な概念を表す。一方、右側の下位層に行くほど、情報の分解能が細かく、より詳細な概念を表す。これにより、様々な分解能（詳細度、細かさ、粒度）の記述子によって、口腔状態を表現することが可能になる。また、概念が階層的に整理されているため、記述子の意味や従属関係が明確になり、次のような利点が得られる。

- レセコンや電子カルテのベンダーが、自社のシステムの内部データから、これらの記述子に対応するデータを抽出するためのルールが明確になる。しかも、階層構造を採用することにより、それぞれのベンダーの事情に応じた情報の細かさでデータを抽出することができる。このことは、開発者が簡単に標準データセットを抽出するプログラムを開発できるということであり、標準化がいち早く社会に浸透することに寄与する。
- 階層構造の概念整理を行うことによって、異なる細かさで記録された歯科情報を、分かりやすく見通しの良い照合ロジックで、きわめて効率よく絞り込むことが可能になる。これについては、平成 26 年度の検索実験によって実証済みである。
- 特徴記述子が階層的に整理されており、特徴記述子の追加・削除・修正が容易である。
- ISO/TC106/SC3/WG5 で議論されている身元確認データセットに関しても、同様の階層構造を用いた検討が行われており、互換性を確保しやすい。

A3 拡大版を別紙として添付

口腔状態の標準データセット Oral Status Standard Data Set

レセコンから抽出可能な歯科情報に赤枠を付与
(2016年3月26日版)

A3版以上で印刷して下さい
Please Print on A3 or Larger Papers

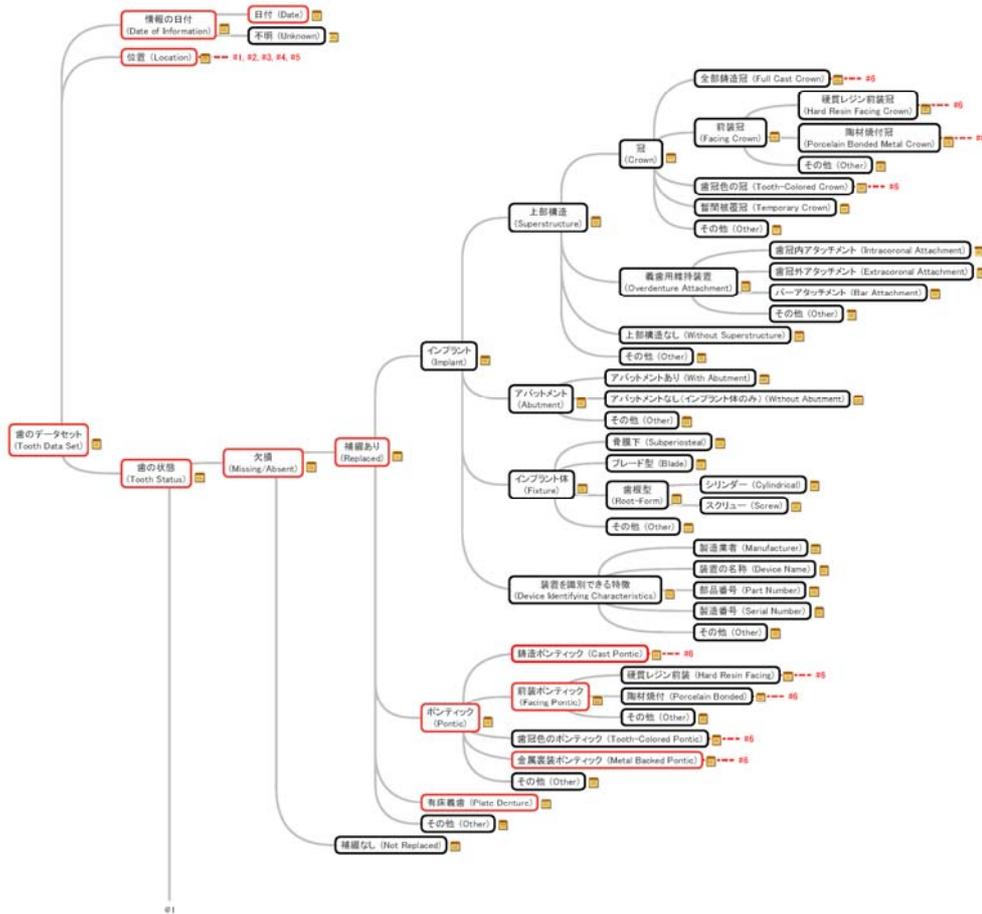
データセット策定WG: 青木孝文, 井田有亮, 玉川裕夫, 鈴木敏彦, 小坂萌, 富士岳志, 柴原孝彦,
上地潤, 小菅栄子, 北村信隆, 松本智宏, 瀬賀吉樹, 青山章一郎

Contact: dental@aoki.ecei.tohoku.ac.jp

Data Set 1

A3 拡大版を別紙として添付

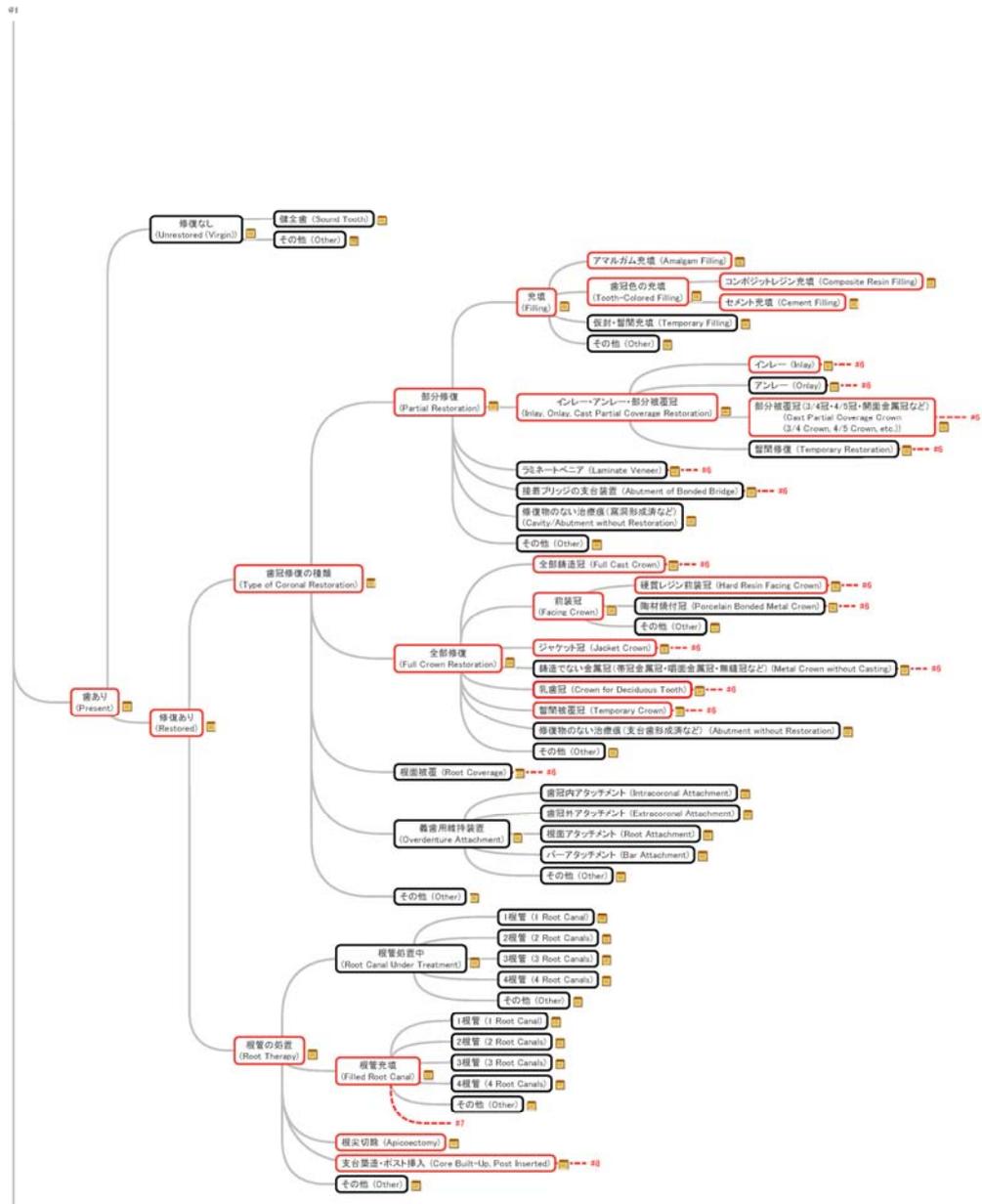
歯のデータセット (Tooth Data Set) 1/3



レセコンから抽出可能な歯科情報

Data Set 2

歯のデータセット (Tooth Data Set) 2/3

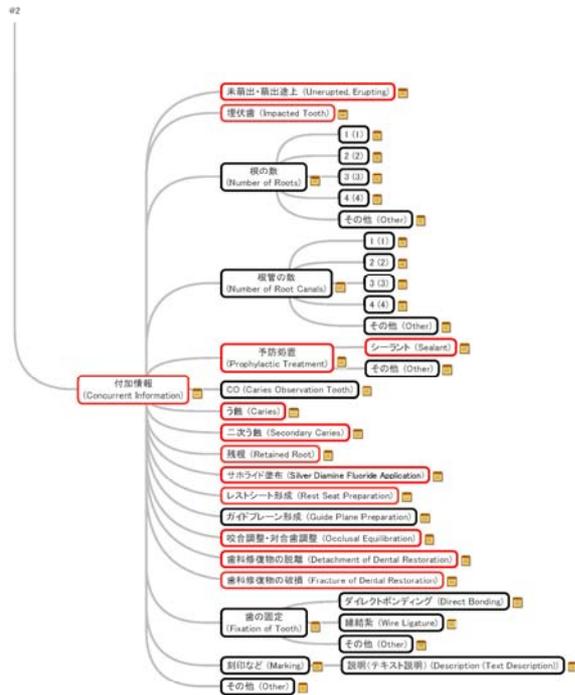


レセコンから抽出可能な歯科情報

Data Set 3

A3 拡大版を別紙として添付

歯のデータセット (Tooth Data Set) 3/3

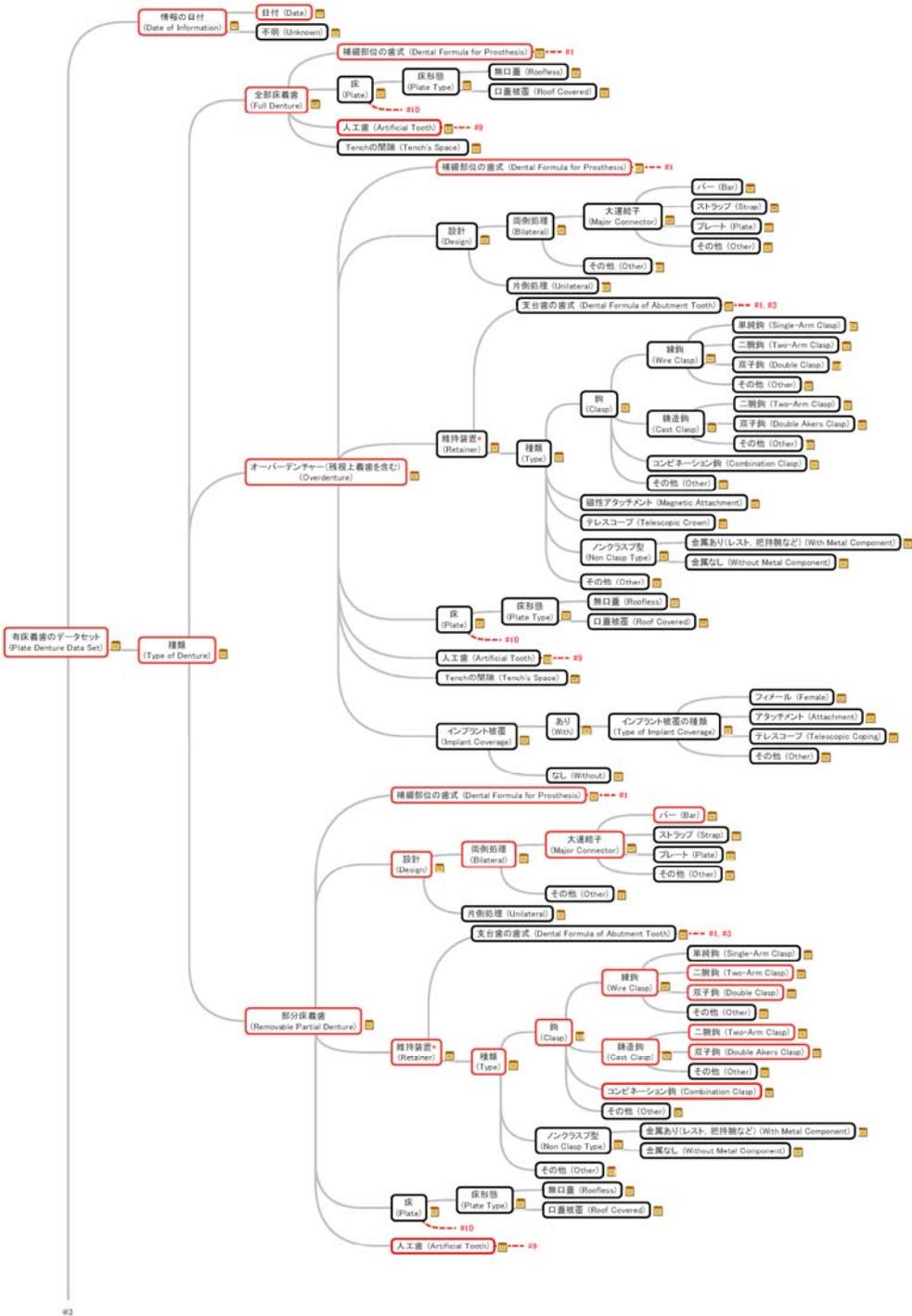


レセコンから抽出可能な歯科情報

Data Set 4

A3 拡大版を別紙として添付

有床義歯のデータセット (Plate Denture Data Set) 1/2

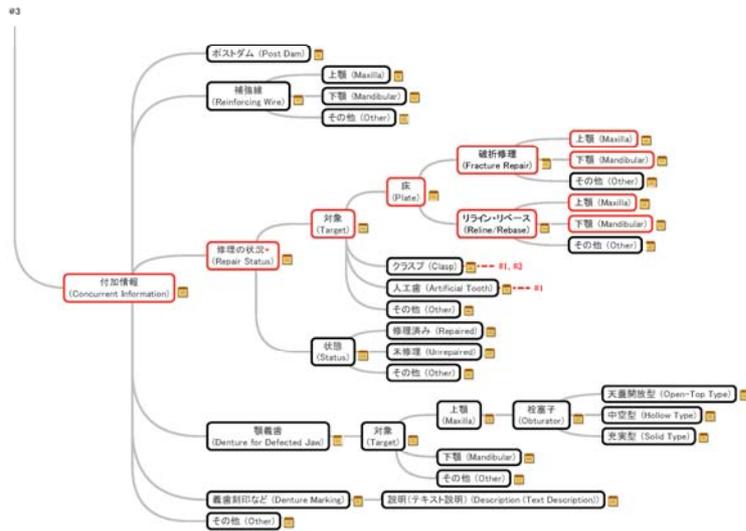


レセコンから抽出可能な歯科情報

Data Set 5

A3 拡大版を別紙として添付

有床義歯のデータセット (Plate Denture Data Set) 2/2



レセコンから抽出可能な歯科情報

Data Set 6

A3 拡大版を別紙として添付

ブリッジ・連結冠のデータセット (Bridge/Splinted Crowns Data Set)

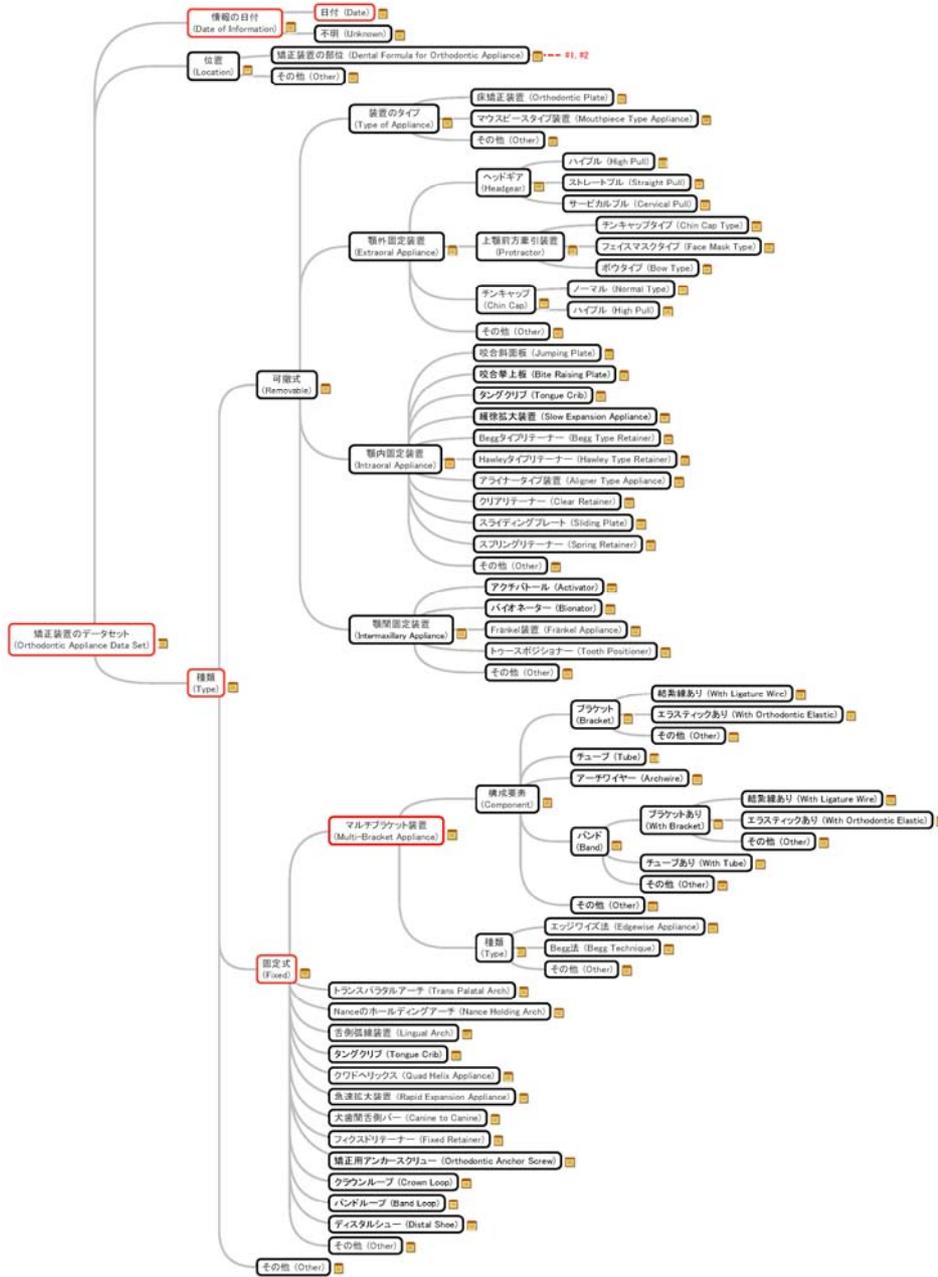


レセコンから抽出可能な歯科情報

Data Set 7

A3 拡大版を別紙として添付

矯正装置のデータセット (Orthodontic Appliance Data Set)

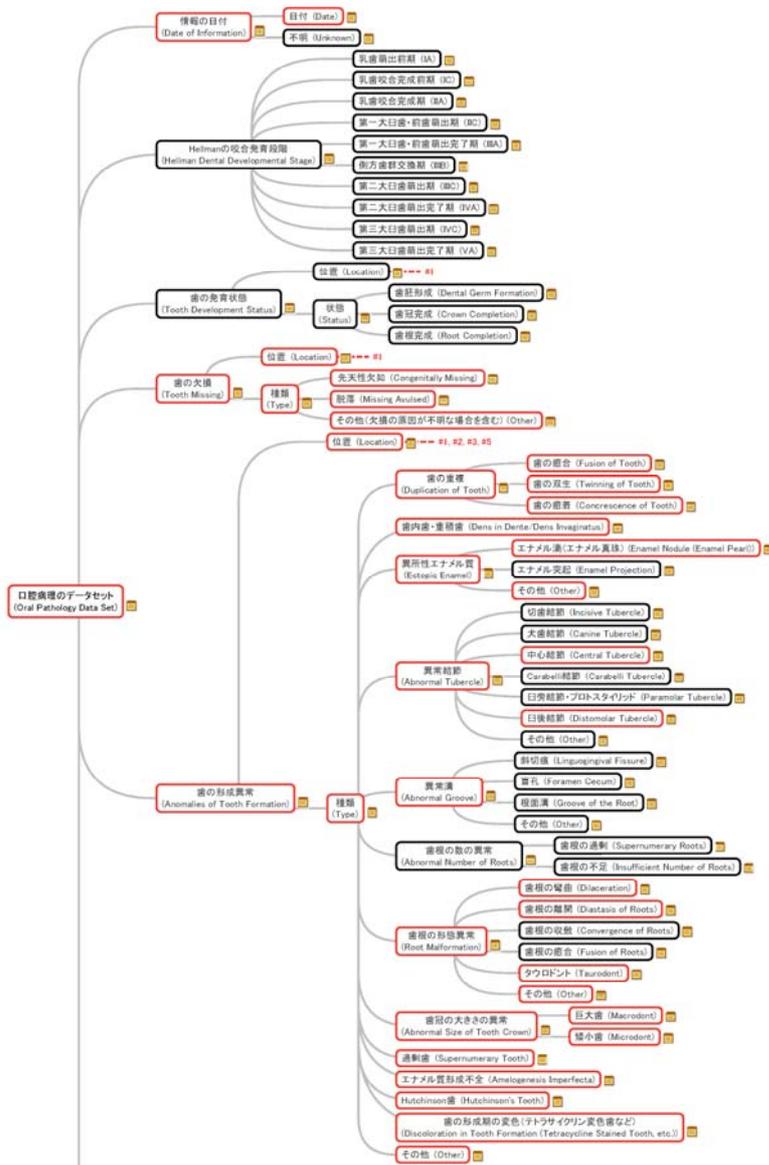


レセコンから抽出可能な歯科情報

Data Set 8

A3 拡大版を別紙として添付

口腔病理のデータセット (Oral Pathology Data Set) 1/6

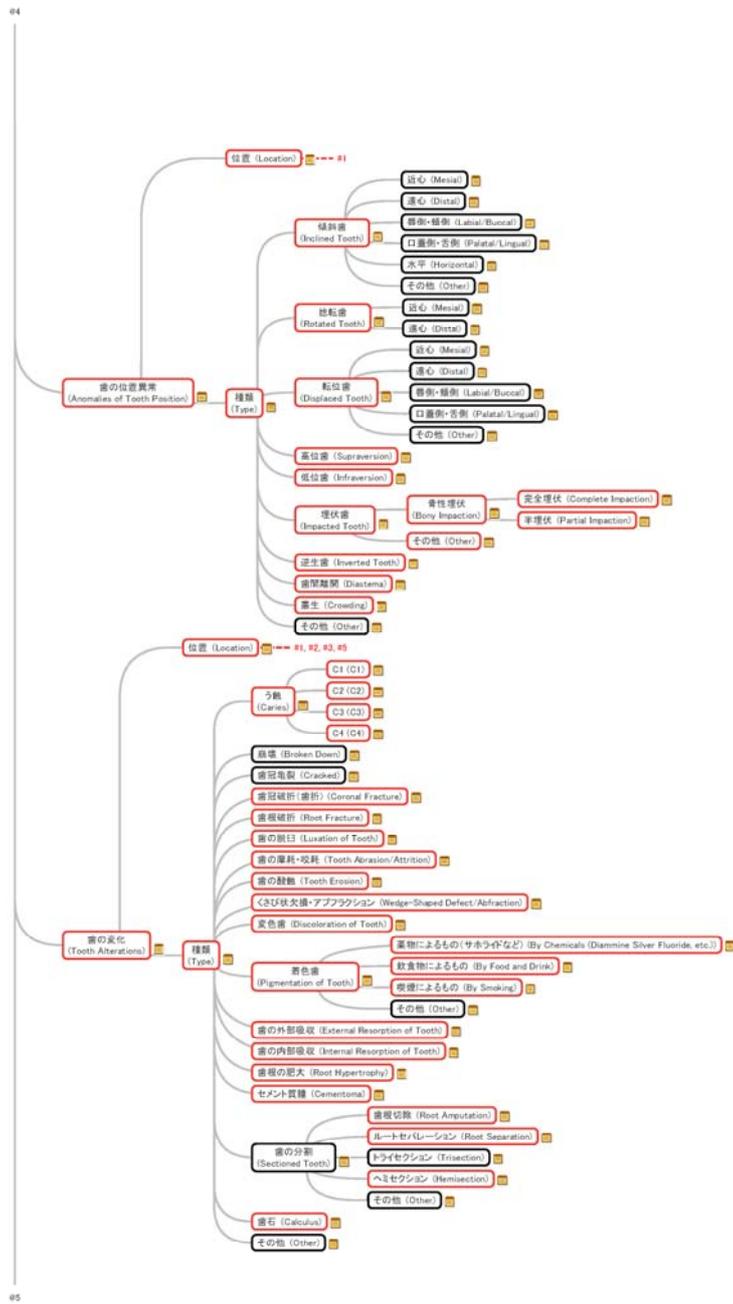


44

レセコンから抽出可能な歯科情報

Data Set 9

口腔病理のデータセット (Oral Pathology Data Set) 2/6

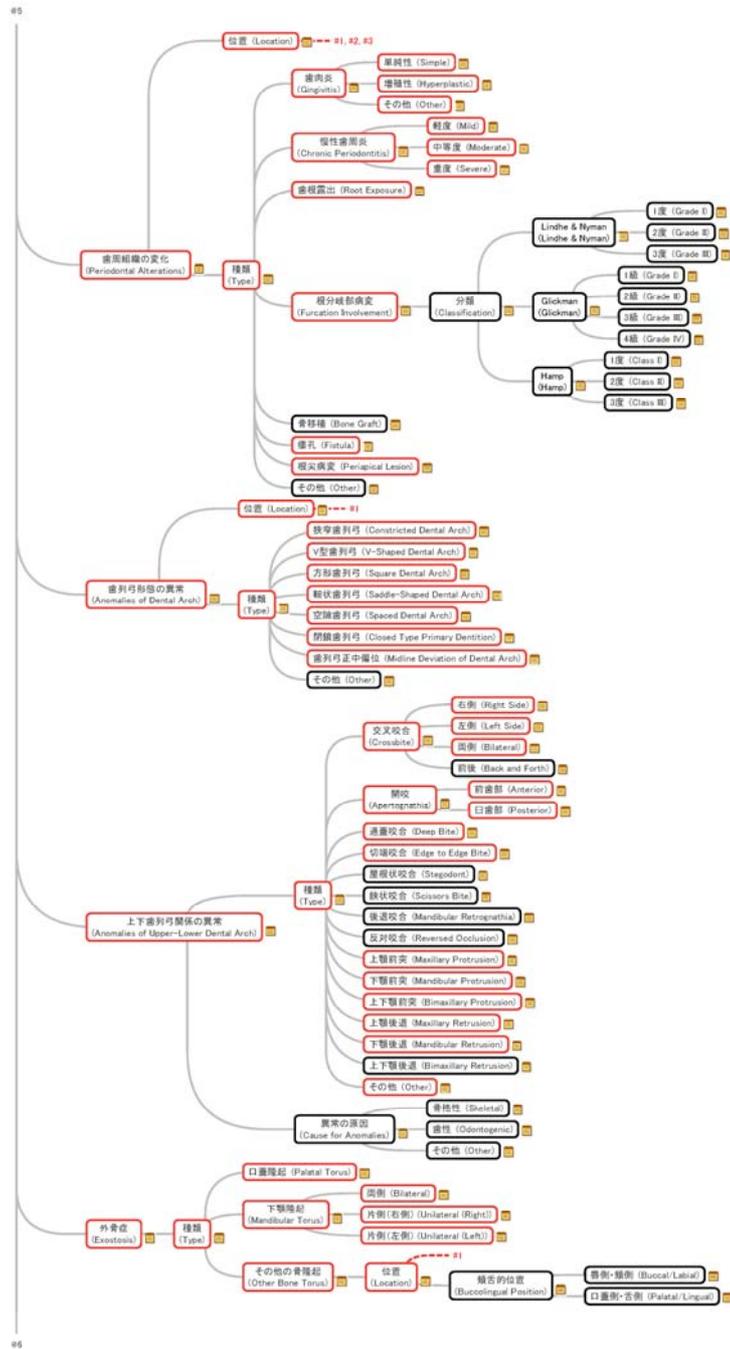


レセコンから抽出可能な歯科情報

Data Set 10

A3 拡大版を別紙として添付

口腔病理のデータセット (Oral Pathology Data Set) 3/6

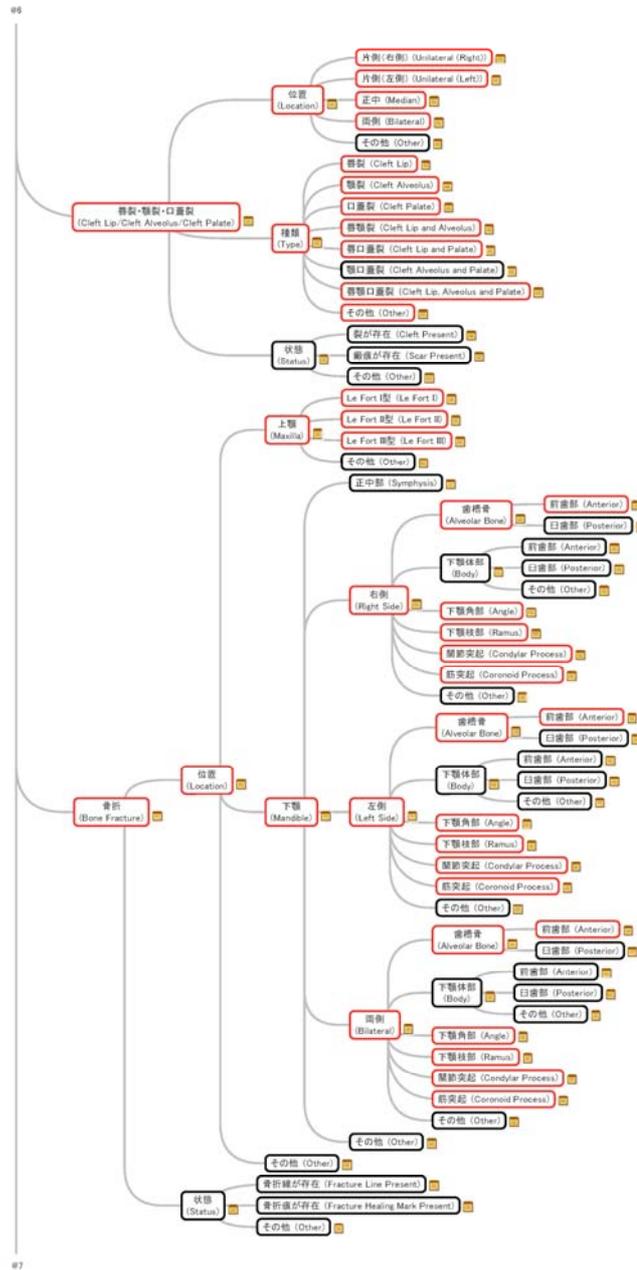


レセコンから抽出可能な歯科情報

Data Set 11

A3 拡大版を別紙として添付

口腔病理のデータセット (Oral Pathology Data Set) 4/6

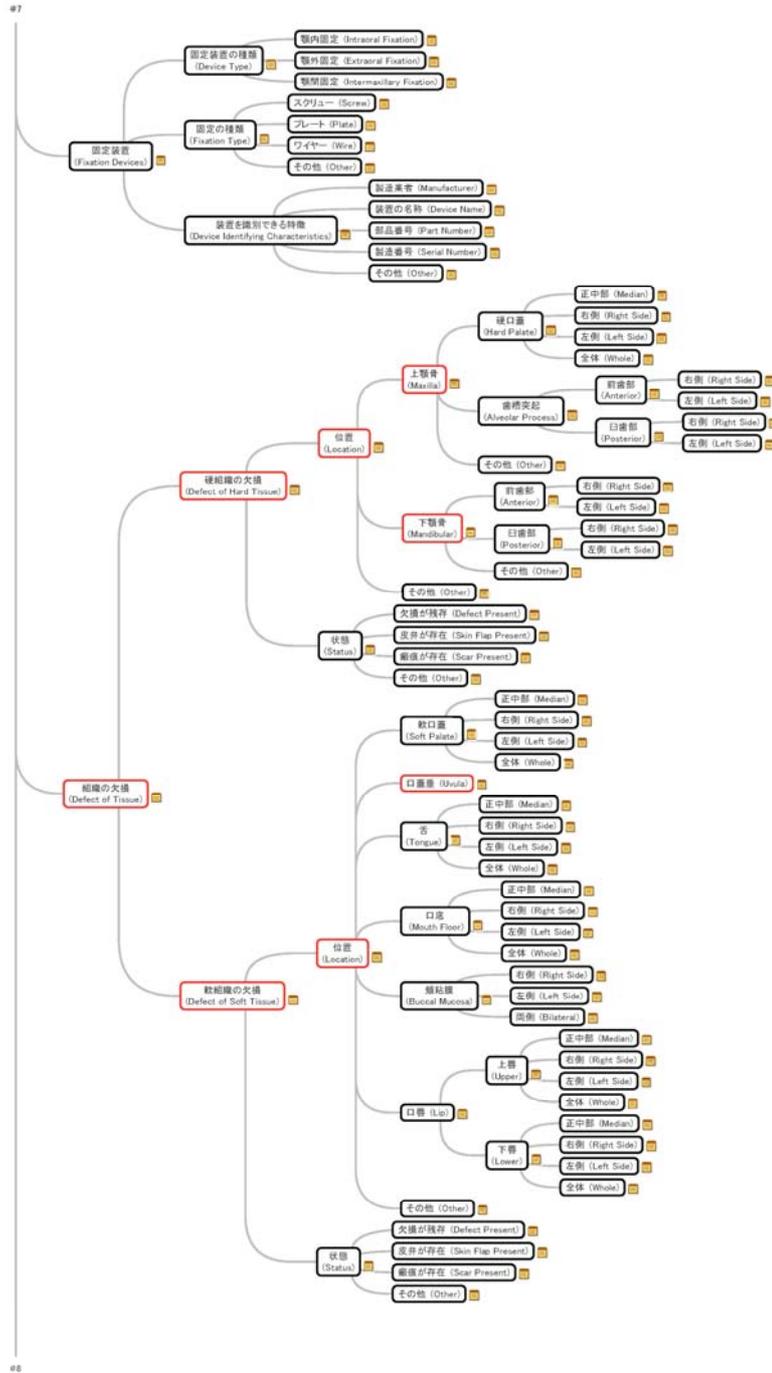


レセコンから抽出可能な歯科情報

Data Set 12

A3 拡大版を別紙として添付

口腔病理のデータセット (Oral Pathology Data Set) 5/6

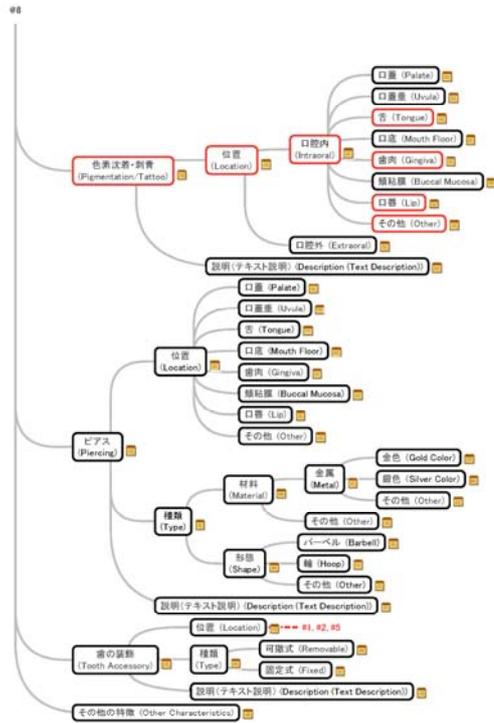


レセコンから抽出可能な歯科情報

Data Set 13

A3 拡大版を別紙として添付

口腔病理のデータセット (Oral Pathology Data Set) 6/6

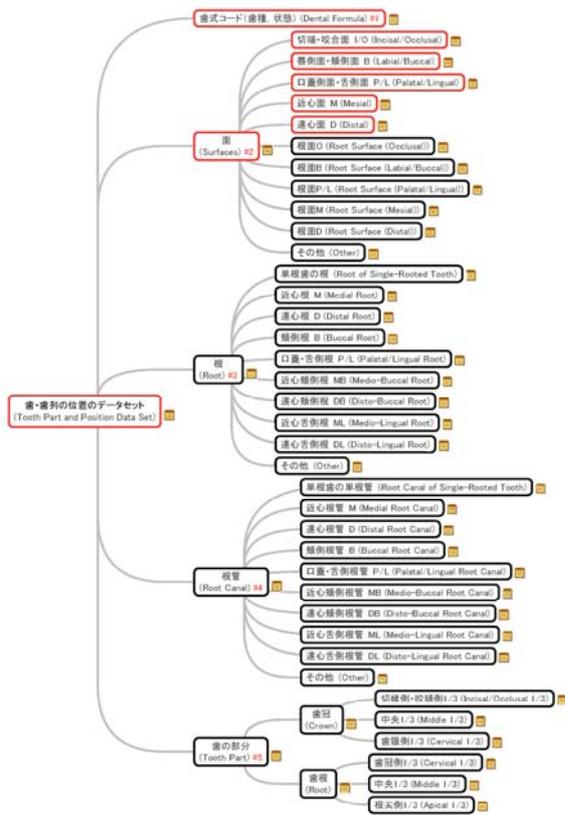


レセコンから抽出可能な歯科情報

Data Set 14

A3 拡大版を別紙として添付

歯・歯列の位置のデータセット (Tooth Part and Position Data Set)

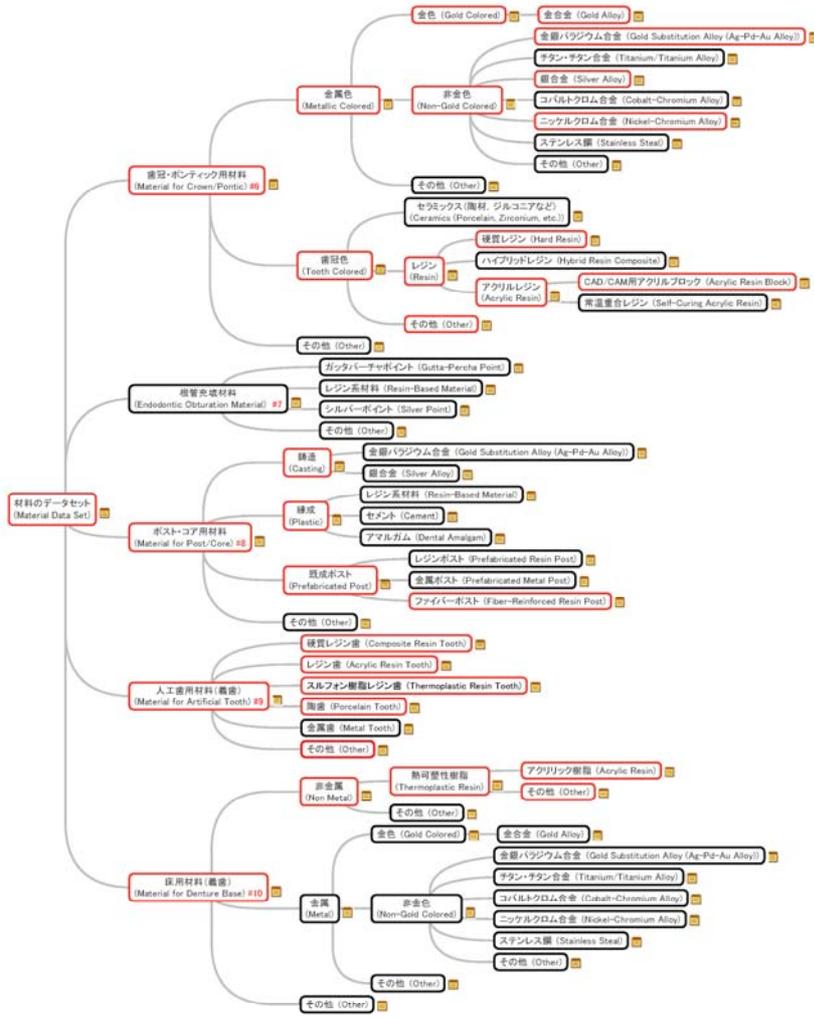


レセコンから抽出可能な歯科情報

Data Set 15

A3 拡大版を別紙として添付

材料のデータセット (Material Data Set)



レセコンから抽出可能な歯科情報

Data Set 16

2-2 特徴記述子のコード化

以上のように階層的に関連付けられた 896 個の特徴記述子のそれぞれに対して、本節では、複数桁の通し番号（コード）を付与する。実際の情報システム内部では、このコードの組み合わせによって歯科情報を表現するものとする。

歯のデータセット (Tooth Data Set)

項番 (コード)	日本語 (*は繰り返し可)	英語	値	リンク
1	歯のデータセット	Tooth Data Set	なし	
1.1	情報の日付	Date of Information	なし	
1.1.1	日付	Date	あり	
1.1.2	不明	Unknown	あり	
1.2	位置	Location	あり	6.1.*, 6.2.*, 6.3.*, 6.4.*, 6.5.*
1.3	歯の状態	Tooth Status	なし	
1.3.1	欠損	Missing/Absent	あり	
1.3.1.1	補綴あり	Replaced	あり	
1.3.1.1.1	インプラント	Implant	あり	
1.3.1.1.1.1	上部構造	Superstructure	なし	
1.3.1.1.1.1.1	冠	Crown	あり	
1.3.1.1.1.1.1.1	全部鑄造冠	Full Cast Crown	あり	7.1.*
1.3.1.1.1.1.1.2	前装冠	Facing Crown	あり	
1.3.1.1.1.1.1.2.1	硬質レジン前装冠	Hard Resin Facing Crown	あり	7.1.*
1.3.1.1.1.1.1.2.2	陶材焼付冠	Porcelain Bonded Metal Crown	あり	7.1.*
1.3.1.1.1.1.1.2.3	その他	Other	あり	
1.3.1.1.1.1.1.3	歯冠色の冠	Tooth-Colored Crown	あり	7.1.*
1.3.1.1.1.1.1.4	暫間被覆冠	Temporary Crown	あり	
1.3.1.1.1.1.1.5	その他	Other	あり	
1.3.1.1.1.1.2	義歯用維持装置	Overdenture Attachment	あり	
1.3.1.1.1.1.2.1	歯冠内アタッチメント	Intracoronary Attachment	あり	
1.3.1.1.1.1.2.2	歯冠外アタッチメント	Extracoronary Attachment	あり	
1.3.1.1.1.1.2.3	バーアタッチメント	Bar Attachment	あり	
1.3.1.1.1.1.2.4	その他	Other	あり	
1.3.1.1.1.1.3	上部構造なし	Without Superstructure	あり	
1.3.1.1.1.1.4	その他	Other	あり	
1.3.1.1.1.2	アバットメント	Abutment	なし	

項番 (コード)	日本語 (*は繰り返し可)	英語	値	リンク
1.3.1.1.1.2.1	アバットメントあり	With Abutment	あり	
1.3.1.1.1.2.2	アバットメントなし (インプラント体のみ)	Without Abutment	あり	
1.3.1.1.1.2.3	その他	Other	あり	
1.3.1.1.1.3	インプラント体	Fixture	なし	
1.3.1.1.1.3.1	骨膜下	Subperiosteal	あり	
1.3.1.1.1.3.2	ブレード型	Blade	あり	
1.3.1.1.1.3.3	歯根型	Root-Form	あり	
1.3.1.1.1.3.3.1	シリンダー	Cylindrical	あり	
1.3.1.1.1.3.3.2	スクリュー	Screw	あり	
1.3.1.1.1.3.4	その他	Other	あり	
1.3.1.1.1.4	装置を識別できる特徴	Device Identifying Characteristics	なし	
1.3.1.1.1.4.1	製造業者	Manufacturer	あり	
1.3.1.1.1.4.2	装置の名称	Device Name	あり	
1.3.1.1.1.4.3	部品番号	Part Number	あり	
1.3.1.1.1.4.4	製造番号	Serial Number	あり	
1.3.1.1.1.4.5	その他	Other	あり	
1.3.1.1.2	ポンティック	Pontic	あり	
1.3.1.1.2.1	鋳造ポンティック	Cast Pontic	あり	7.1.*
1.3.1.1.2.2	前装ポンティック	Facing Pontic	あり	
1.3.1.1.2.2.1	硬質レジン前装	Hard Resin Facing	あり	7.1.*
1.3.1.1.2.2.2	陶材焼付	Porcelain Bonded	あり	7.1.*
1.3.1.1.2.2.3	その他	Other	あり	
1.3.1.1.2.3	歯冠色のポンティック	Tooth-Colored Pontic	あり	7.1.*
1.3.1.1.2.4	金属裏装ポンティック	Metal Backed Pontic	あり	7.1.*
1.3.1.1.2.5	その他	Other	あり	
1.3.1.1.3	有床義歯	Plate Denture	あり	
1.3.1.1.4	その他	Other	あり	
1.3.1.2	補綴なし	Not Replaced	あり	
1.3.2	歯あり	Present	あり	
1.3.2.1	修復なし	Unrestored (Virgin)	あり	
1.3.2.1.1	健全歯	Sound Tooth	あり	
1.3.2.1.2	その他	Other	あり	
1.3.2.2	修復あり	Restored	あり	
1.3.2.2.1	歯冠修復の種類	Type of Coronal Restoration	なし	
1.3.2.2.1.1	部分修復	Partial Restoration	あり	
1.3.2.2.1.1.1	充填	Filling	あり	
1.3.2.2.1.1.1.1	アマルガム充填	Amalgam Filling	あり	

項番 (コード)	日本語 (*は繰り返し可)	英語	値	リンク
1.3.2.2.1.1.1.2	歯冠色の充填	Tooth-Colored Filling	あり	
1.3.2.2.1.1.1.2.1	コンポジットレジン充填	Composite Resin Filling	あり	
1.3.2.2.1.1.1.2.2	セメント充填	Cement Filling	あり	
1.3.2.2.1.1.1.3	仮封・暫間充填	Temporary Filling	あり	
1.3.2.2.1.1.1.4	その他	Other	あり	
1.3.2.2.1.1.2	インレー・アンレー・部分被覆冠	Inlay, Onlay, Cast Partial Coverage Restoration	あり	
1.3.2.2.1.1.2.1	インレー	Inlay	あり	7.1.*
1.3.2.2.1.1.2.2	アンレー	Onlay	あり	7.1.*
1.3.2.2.1.1.2.3	部分被覆冠 (3/4 冠・4/5 冠・開面金属冠など)	Cast Partial Coverage Crown (3/4 Crown, 4/5 Crown, etc.)	あり	7.1.*
1.3.2.2.1.1.2.4	暫間修復	Temporary Restoration	あり	7.1.*
1.3.2.2.1.1.3	ラミネートベニア	Laminate Veneer	あり	7.1.*
1.3.2.2.1.1.4	接着ブリッジの支台装置	Abutment of Bonded Bridge	あり	7.1.*
1.3.2.2.1.1.5	修復物のない治療痕 (窩洞形成済など)	Cavity/Abutment without Restoration	あり	
1.3.2.2.1.1.6	その他	Other	あり	
1.3.2.2.1.2	全部修復	Full Crown Restoration	あり	
1.3.2.2.1.2.1	全部鋳造冠	Full Cast Crown	あり	7.1.*
1.3.2.2.1.2.2	前装冠	Facing Crown	あり	
1.3.2.2.1.2.2.1	硬質レジン前装冠	Hard Resin Facing Crown	あり	7.1.*
1.3.2.2.1.2.2.2	陶材焼付冠	Porcelain Bonded Metal Crown	あり	7.1.*
1.3.2.2.1.2.2.3	その他	Other	あり	
1.3.2.2.1.2.3	ジャケット冠	Jacket Crown	あり	7.1.*
1.3.2.2.1.2.4	鋳造でない金属冠 (帯冠金属冠・嚙面金属冠・無縫冠など)	Metal Crown without Casting	あり	7.1.*
1.3.2.2.1.2.5	乳歯冠	Crown for Deciduous Tooth	あり	7.1.*
1.3.2.2.1.2.6	暫間被覆冠	Temporary Crown	あり	7.1.*
1.3.2.2.1.2.7	修復物のない治療痕 (支台歯形成済など)	Abutment without Restoration	あり	
1.3.2.2.1.2.8	その他	Other	あり	
1.3.2.2.1.3	根面被覆	Root Coverage	あり	7.1.*
1.3.2.2.1.4	義歯用維持装置	Overdenture Attachment	あり	
1.3.2.2.1.4.1	歯冠内アタッチメント	Intracoronary Attachment	あり	
1.3.2.2.1.4.2	歯冠外アタッチメント	Extracoronary Attachment	あり	
1.3.2.2.1.4.3	根面アタッチメント	Root Attachment	あり	
1.3.2.2.1.4.4	バーアタッチメント	Bar Attachment	あり	

項番 (コード)	日本語 (*は繰り返し可)	英語	値	リンク
1.3.2.2.1.4.5	その他	Other	あり	
1.3.2.2.1.5	その他	Other	あり	
1.3.2.2.2	根管の処置	Root Therapy	なし	
1.3.2.2.2.1	根管処置中	Root Canal Under Treatment	あり	
1.3.2.2.2.1.1	1 根管	1 Root Canal	あり	
1.3.2.2.2.1.2	2 根管	2 Root Canals	あり	
1.3.2.2.2.1.3	3 根管	3 Root Canals	あり	
1.3.2.2.2.1.4	4 根管	4 Root Canals	あり	
1.3.2.2.2.1.5	その他	Other	あり	
1.3.2.2.2.2	根管充填	Filled Root Canal	あり	7.2.*
1.3.2.2.2.2.1	1 根管	1 Root Canal	あり	
1.3.2.2.2.2.2	2 根管	2 Root Canals	あり	
1.3.2.2.2.2.3	3 根管	3 Root Canals	あり	
1.3.2.2.2.2.4	4 根管	4 Root Canals	あり	
1.3.2.2.2.2.5	その他	Other	あり	
1.3.2.2.2.3	根尖切除	Apicoectomy	あり	
1.3.2.2.2.4	支台築造・ポスト挿入	Core Built-Up, Post Inserted	あり	7.3.*
1.3.2.2.2.5	その他	Other	あり	
1.3.3	付加情報	Concurrent Information	なし	
1.3.3.1	未萌出・萌出途上	Unerupted, Erupting	あり	
1.3.3.2	埋伏歯	Impacted Tooth	あり	
1.3.3.3	根の数	Number of Roots	なし	
1.3.3.3.1	1	1	あり	
1.3.3.3.2	2	2	あり	
1.3.3.3.3	3	3	あり	
1.3.3.3.4	4	4	あり	
1.3.3.3.5	その他	Other	あり	
1.3.3.4	根管の数	Number of Root Canals	なし	
1.3.3.4.1	1	1	あり	
1.3.3.4.2	2	2	あり	
1.3.3.4.3	3	3	あり	
1.3.3.4.4	4	4	あり	
1.3.3.4.5	その他	Other	あり	
1.3.3.5	予防処置	Prophylactic Treatment	あり	
1.3.3.5.1	シーラント	Sealant	あり	
1.3.3.5.2	その他	Other	あり	
1.3.3.6	CO	Caries Observation Tooth	あり	

項番 (コード)	日本語 (*は繰り返し可)	英語	値	リンク
1.3.3.7	う蝕	Caries	あり	
1.3.3.8	二次う蝕	Secondary Caries	あり	
1.3.3.9	残根	Retained Root	あり	
1.3.3.10	サホライド塗布	Silver Diamine Fluoride Application	あり	
1.3.3.11	レストシート形成	Rest Seat Preparation	あり	
1.3.3.12	ガイドプレーン形成	Guide Plane Preparation	あり	
1.3.3.13	咬合調整・対合歯調整	Occlusal Equilibration	あり	
1.3.3.14	歯科修復物の脱離	Detachment of Dental Restoration	あり	
1.3.3.15	歯科修復物の破損	Fracture of Dental Restoration	あり	
1.3.3.16	歯の固定	Fixation of Tooth	あり	
1.3.3.16.1	ダイレクトボンディング	Direct Bonding	あり	
1.3.3.16.2	線結紮	Wire Ligature	あり	
1.3.3.16.3	その他	Other	あり	
1.3.3.17	刻印など	Marking	あり	
1.3.3.17.1	説明 (テキスト説明)	Description (Text Description)	あり	
1.3.3.18	その他	Other	あり	

有床義歯のデータセット (Plate Denture Data Set)

項番 (コード)	日本語 (*は繰り返し可)	英語	値	リンク
2	有床義歯のデータセット	Plate Denture Data Set	なし	
2.1	情報の日付	Date of Information	なし	
2.1.1	日付	Date	あり	
2.1.2	不明	Unknown	あり	
2.2	種類	Type of Denture	なし	
2.2.1	全部床義歯	Full Denture	あり	
2.2.1.1	補綴部位の歯式	Dental Formula for Prosthesis	あり	6.1.*
2.2.1.2	床	Plate	あり	7.5.*
2.2.1.2.1	床形態	Plate Type	なし	
2.2.1.2.1.1	無口蓋	Roofless	あり	
2.2.1.2.1.2	口蓋被覆	Roof Covered	あり	
2.2.1.3	人工歯	Artificial Tooth	あり	7.4.*
2.2.1.4	Tench の間隙	Tench's Space	あり	
2.2.2	オーバードンチャー (残根上義歯を含む)	Overdenture	あり	

項番 (コード)	日本語 (*は繰り返し可)	英語	値	リンク
2.2.2.1	補綴部位の歯式	Dental Formula for Prosthesis	あり	6.1.*
2.2.2.2	設計	Design	なし	
2.2.2.2.1	両側処理	Bilateral	あり	
2.2.2.2.1.1	大連結子	Major Connector	あり	
2.2.2.2.1.1.1	バー	Bar	あり	
2.2.2.2.1.1.2	ストラップ	Strap	あり	
2.2.2.2.1.1.3	プレート	Plate	あり	
2.2.2.2.1.1.4	その他	Other	あり	
2.2.2.2.1.2	その他	Other	あり	
2.2.2.2.2	片側処理	Unilateral	あり	
2.2.2.3	維持装置*	Retainer	なし	
2.2.2.3.1	支台歯の歯式	Dental Formula of Abutment Tooth	あり	6.1.*, 6.3.*
2.2.2.3.2	種類	Type	なし	
2.2.2.3.2.1	鉤	Clasp	あり	
2.2.2.3.2.1.1	線鉤	Wire Clasp	あり	
2.2.2.3.2.1.1.1	単純鉤	Single-Arm Clasp	あり	
2.2.2.3.2.1.1.2	二腕鉤	Two-Arm Clasp	あり	
2.2.2.3.2.1.1.3	双子鉤	Double Clasp	あり	
2.2.2.3.2.1.1.4	その他	Other	あり	
2.2.2.3.2.1.2	鑄造鉤	Cast Clasp	あり	
2.2.2.3.2.1.2.1	二腕鉤	Two-Arm Clasp	あり	
2.2.2.3.2.1.2.2	双子鉤	Double Akers Clasp	あり	
2.2.2.3.2.1.2.3	その他	Other	あり	
2.2.2.3.2.1.3	コンビネーション鉤	Combination Clasp	あり	
2.2.2.3.2.1.4	その他	Other	あり	
2.2.2.3.2.2	磁性アタッチメント	Magnetic Attachment	あり	
2.2.2.3.2.3	テレスコープ	Telescopic Crown	あり	
2.2.2.3.2.4	ノンクラスプ型	Non Clasp Type	あり	
2.2.2.3.2.4.1	金属あり (レスト, 把持腕など)	With Metal Component	あり	
2.2.2.3.2.4.2	金属なし	Without Metal Component	あり	
2.2.2.3.2.5	その他	Other	あり	
2.2.2.4	床	Plate	あり	7.5.*
2.2.2.4.1	床形態	Plate Type	なし	
2.2.2.4.1.1	無口蓋	Roofless	あり	
2.2.2.4.1.2	口蓋被覆	Roof Covered	あり	
2.2.2.5	人工歯	Artificial Tooth	あり	7.4.*

項番 (コード)	日本語 (*は繰り返し可)	英語	値	リンク
2.2.2.6	Tench の間隙	Tench's Space	あり	
2.2.2.7	インプラント被覆	Implant Coverage	なし	
2.2.2.7.1	あり	With	あり	
2.2.2.7.1.1	インプラント被覆の種類	Type of Implant Coverage	なし	
2.2.2.7.1.1.1	フィメール	Female	あり	
2.2.2.7.1.1.2	アタッチメント	Attachment	あり	
2.2.2.7.1.1.3	テレスコープ	Telescopic Coping	あり	
2.2.2.7.1.1.4	その他	Other	あり	
2.2.2.7.2	なし	Without	あり	
2.2.3	部分床義歯	Removable Partial Denture	あり	
2.2.3.1	補綴部位の歯式	Dental Formula for Prosthesis	あり	6.1.*
2.2.3.2	設計	Design	なし	
2.2.3.2.1	両側処理	Bilateral	あり	
2.2.3.2.1.1	大連結子	Major Connector	あり	
2.2.3.2.1.1.1	バー	Bar	あり	
2.2.3.2.1.1.2	ストラップ	Strap	あり	
2.2.3.2.1.1.3	プレート	Plate	あり	
2.2.3.2.1.1.4	その他	Other	あり	
2.2.3.2.1.2	その他	Other	あり	
2.2.3.2.2	片側処理	Unilateral	あり	
2.2.3.3	維持装置*	Retainer	なし	
2.2.3.3.1	支台歯の歯式	Dental Formula of Abutment Tooth	あり	6.1.*, 6.3.*
2.2.3.3.2	種類	Type	なし	
2.2.3.3.2.1	鉤	Clasp	あり	
2.2.3.3.2.1.1	線鉤	Wire Clasp	あり	
2.2.3.3.2.1.1.1	単純鉤	Single-Arm Clasp	あり	
2.2.3.3.2.1.1.2	二腕鉤	Two-Arm Clasp	あり	
2.2.3.3.2.1.1.3	双子鉤	Double Clasp	あり	
2.2.3.3.2.1.1.4	その他	Other	あり	
2.2.3.3.2.1.2	鑄造鉤	Cast Clasp	あり	
2.2.3.3.2.1.2.1	二腕鉤	Two-Arm Clasp	あり	
2.2.3.3.2.1.2.2	双子鉤	Double Akers Clasp	あり	
2.2.3.3.2.1.2.3	その他	Other	あり	
2.2.3.3.2.1.3	コンビネーション鉤	Combination Clasp	あり	
2.2.3.3.2.1.4	その他	Other	あり	
2.2.3.3.2.2	ノンクラスプ型	Non Clasp Type	あり	

項番 (コード)	日本語 (*は繰り返し可)	英語	値	リンク
2.2.3.3.2.2.1	金属あり (レスト, 把持腕など)	With Metal Component	あり	
2.2.3.3.2.2.2	金属なし	Without Metal Component	あり	
2.2.3.3.2.3	その他	Other	あり	
2.2.3.4	床	Plate	あり	7.5.*
2.2.3.4.1	床形態	Plate Type	なし	
2.2.3.4.1.1	無口蓋	Roofless	あり	
2.2.3.4.1.2	口蓋被覆	Roof Covered	あり	
2.2.3.5	人工歯	Artificial Tooth	あり	7.4.*
2.3	付加情報	Concurrent Information	なし	
2.3.1	ポストダム	Post Dam	あり	
2.3.2	補強線	Reinforcing Wire	あり	
2.3.2.1	上顎	Maxilla	あり	
2.3.2.2	下顎	Mandibular	あり	
2.3.2.3	その他	Other	あり	
2.3.3	修理の状況*	Repair Status	なし	
2.3.3.1	対象	Target	なし	
2.3.3.1.1	床	Plate	あり	
2.3.3.1.1.1	破折修理	Fracture Repair	あり	
2.3.3.1.1.1.1	上顎	Maxilla	あり	
2.3.3.1.1.1.2	下顎	Mandibular	あり	
2.3.3.1.1.1.3	その他	Other	あり	
2.3.3.1.1.2	リライン・リベース	Reline/Rebase	あり	
2.3.3.1.1.2.1	上顎	Maxilla	あり	
2.3.3.1.1.2.2	下顎	Mandibular	あり	
2.3.3.1.1.2.3	その他	Other	あり	
2.3.3.1.2	クラスプ	Clasp	あり	6.1.*, 6.3.*
2.3.3.1.3	人工歯	Artificial Tooth	あり	6.1.*
2.3.3.1.4	その他	Other	あり	
2.3.3.2	状態	Status	なし	
2.3.3.2.1	修理済み	Repaired	あり	
2.3.3.2.2	未修理	Unrepaired	あり	
2.3.3.2.3	その他	Other	あり	
2.3.4	顎義歯	Denture for Defected Jaw	あり	
2.3.4.1	対象	Target	なし	
2.3.4.1.1	上顎	Maxilla	あり	
2.3.4.1.1.1	栓塞子	Obturator	あり	
2.3.4.1.1.1.1	天蓋開放型	Open-Top Type	あり	

項番 (コード)	日本語 (*は繰り返し可)	英語	値	リンク
2.3.4.1.1.1.2	中空型	Hollow Type	あり	
2.3.4.1.1.1.3	充実型	Solid Type	あり	
2.3.4.1.2	下顎	Mandibular	あり	
2.3.4.1.3	その他	Other	あり	
2.3.5	義歯刻印など	Denture Marking	あり	
2.3.5.1	説明 (テキスト説明)	Description (Text Description)	あり	
2.3.6	その他	Other	あり	

ブリッジ・連結冠のデータセット (Bridge/Splinted Crowns Data Set)

項番 (コード)	日本語 (*は繰り返し可)	英語	値	リンク
3	ブリッジ・連結冠のデータセット	Bridge/Splinted Crowns Data Set	なし	
3.1	情報の日付	Date of Information	なし	
3.1.1	日付	Date	あり	
3.1.2	不明	Unknown	あり	
3.2	ブリッジ・連結冠の歯式	Dental Formula of Bridge/Splinted Crowns	あり	6.1.*, 6.3.*
3.3	種類	Type	なし	
3.3.1	固定式	Fixed	あり	
3.3.2	可撤式	Removable	あり	
3.3.3	半固定式	Semi-Fixed	あり	

矯正装置のデータセット (Orthodontic Appliance Data Set)

項番 (コード)	日本語 (*は繰り返し可)	英語	値	リンク
4	矯正装置のデータセット	Orthodontic Appliance Data Set	なし	
4.1	情報の日付	Date of Information	なし	
4.1.1	日付	Date	あり	
4.1.2	不明	Unknown	あり	
4.2	位置	Location	なし	
4.2.1	矯正装置の部位	Dental Formula for Orthodontic Appliance	あり	6.1.*, 6.2.*
4.2.2	その他	Other	あり	
4.3	種類	Type	なし	
4.3.1	可撤式	Removable	あり	
4.3.1.1	装置のタイプ	Type of Appliance	なし	

項番 (コード)	日本語 (*は繰り返し可)	英語	値	リンク
4.3.1.1.1	床矯正装置	Orthodontic Plate	あり	
4.3.1.1.2	マウスピースタイプ装置	Mouthpiece Type Appliance	あり	
4.3.1.1.3	その他	Other	あり	
4.3.1.2	顎外固定装置	Extraoral Appliance	あり	
4.3.1.2.1	ヘッドギア	Headgear	あり	
4.3.1.2.1.1	ハイプル	High Pull	あり	
4.3.1.2.1.2	ストレートプル	Straight Pull	あり	
4.3.1.2.1.3	サービカルプル	Cervical Pull	あり	
4.3.1.2.2	上顎前方牽引装置	Protractor	あり	
4.3.1.2.2.1	チンキャップタイプ	Chin Cap Type	あり	
4.3.1.2.2.2	フェイスマスクタイプ	Face Mask Type	あり	
4.3.1.2.2.3	ボウタイプ	Bow Type	あり	
4.3.1.2.3	チンキャップ	Chin Cap	あり	
4.3.1.2.3.1	ノーマル	Normal Type	あり	
4.3.1.2.3.2	ハイプル	High Pull	あり	
4.3.1.2.4	その他	Other	あり	
4.3.1.3	顎内固定装置	Intraoral Appliance	あり	
4.3.1.3.1	咬合斜面板	Jumping Plate	あり	
4.3.1.3.2	咬合挙上板	Bite Raising Plate	あり	
4.3.1.3.3	タングクリブ	Tongue Crib	あり	
4.3.1.3.4	緩徐拡大装置	Slow Expansion Appliance	あり	
4.3.1.3.5	Begg タイプリテーナー	Begg Type Retainer	あり	
4.3.1.3.6	Hawley タイプリテーナー	Hawley Type Retainer	あり	
4.3.1.3.7	アライナータイプ装置	Aligner Type Appliance	あり	
4.3.1.3.8	クリアリテーナー	Clear Retainer	あり	
4.3.1.3.9	スライディングプレート	Sliding Plate	あり	
4.3.1.3.10	スプリングリテーナー	Spring Retainer	あり	
4.3.1.3.11	その他	Other	あり	
4.3.1.4	顎間固定装置	Intermaxillary Appliance	あり	
4.3.1.4.1	アクチバトール	Activator	あり	
4.3.1.4.2	バイオネーター	Bionator	あり	
4.3.1.4.3	Fränkel 装置	Fränkel Appliance	あり	
4.3.1.4.4	トゥースポジショナー	Tooth Positioner	あり	
4.3.1.4.5	その他	Other	あり	
4.3.2	固定式	Fixed	あり	
4.3.2.1	マルチブラケット装置	Multi-Bracket Appliance	あり	
4.3.2.1.1	構成要素	Component	なし	
4.3.2.1.1.1	ブラケット	Bracket	あり	

項番 (コード)	日本語 (*は繰り返し可)	英語	値	リンク
4.3.2.1.1.1.1	結紮線あり	With Ligature Wire	あり	
4.3.2.1.1.1.2	エラスティックあり	With Orthodontic Elastic	あり	
4.3.2.1.1.1.3	その他	Other	あり	
4.3.2.1.1.2	チューブ	Tube	あり	
4.3.2.1.1.3	アーチワイヤー	Archwire	あり	
4.3.2.1.1.4	バンド	Band	あり	
4.3.2.1.1.4.1	ブラケットあり	With Bracket	あり	
4.3.2.1.1.4.1.1	結紮線あり	With Ligature Wire	あり	
4.3.2.1.1.4.1.2	エラスティックあり	With Orthodontic Elastic	あり	
4.3.2.1.1.4.1.3	その他	Other	あり	
4.3.2.1.1.4.2	チューブあり	With Tube	あり	
4.3.2.1.1.4.3	その他	Other	あり	
4.3.2.1.1.5	その他	Other	あり	
4.3.2.1.2	種類	Type	なし	
4.3.2.1.2.1	エッジワイズ法	Edgewise Appliance	あり	
4.3.2.1.2.2	Begg 法	Begg Technique	あり	
4.3.2.1.2.3	その他	Other	あり	
4.3.2.2	トランスパラタルアーチ	Trans Palatal Arch	あり	
4.3.2.3	Nance のホールディング アーチ	Nance Holding Arch	あり	
4.3.2.4	舌側弧線装置	Lingual Arch	あり	
4.3.2.5	タングクリブ	Tongue Crib	あり	
4.3.2.6	クワドヘリックス	Quad Helix Appliance	あり	
4.3.2.7	急速拡大装置	Rapid Expansion Appliance	あり	
4.3.2.8	犬歯間舌側バー	Canine to Canine	あり	
4.3.2.9	フィクスドリテーナー	Fixed Retainer	あり	
4.3.2.10	矯正用アンカースクリュー	Orthodontic Anchor Screw	あり	
4.3.2.11	クラウンループ	Crown Loop	あり	
4.3.2.12	バンドループ	Band Loop	あり	
4.3.2.13	ディスタルシュー	Distal Shoe	あり	
4.3.2.14	その他	Other	あり	
4.3.3	その他	Other	あり	

口腔病理のデータセット (Oral Pathology Data Set)

項番 (コード)	日本語 (*は繰り返し可)	英語	値	リンク
5	口腔病理のデータセット	Oral Pathology Data Set	なし	
5.1	情報の日付	Date of Information	なし	

項番 (コード)	日本語 (*は繰り返し可)	英語	値	リンク
5.1.1	日付	Date	あり	
5.1.2	不明	Unknown	あり	
5.2	Hellman の咬合発育段階	Hellman Dental Developmental Stage	なし	
5.2.1	乳歯萌出前期	IA	あり	
5.2.2	乳歯咬合完成前期	IC	あり	
5.2.3	乳歯咬合完成期	IIA	あり	
5.2.4	第一大臼歯・前歯萌出期	IIC	あり	
5.2.5	第一大臼歯・前歯萌出完了期	IIIA	あり	
5.2.6	側方歯群交換期	IIIB	あり	
5.2.7	第二大臼歯萌出期	IIIC	あり	
5.2.8	第二大臼歯萌出完了期	IVA	あり	
5.2.9	第三大臼歯萌出期	IVC	あり	
5.2.10	第三大臼歯萌出完了期	VA	あり	
5.3	歯の発育状態	Tooth Development Status	なし	
5.3.1	位置	Location	あり	6.1.*
5.3.2	状態	Status	なし	
5.3.2.1	歯胚形成	Dental Germ Formation	あり	
5.3.2.2	歯冠完成	Crown Completion	あり	
5.3.2.3	歯根完成	Root Completion	あり	
5.4	歯の欠損	Tooth Missing	あり	
5.4.1	位置	Location	あり	6.1.*
5.4.2	種類	Type	なし	
5.4.2.1	先天性欠如	Congenitally Missing	あり	
5.4.2.2	脱落	Missing Avulsed	あり	
5.4.2.3	その他 (欠損の原因が不明な場合を含む)	Other	あり	
5.5	歯の形成異常	Anomalies of Tooth Formation	あり	
5.5.1	位置	Location	あり	6.1.*, 6.2.*, 6.3.*, 6.5.*
5.5.2	種類	Type	なし	
5.5.2.1	歯の重複	Duplication of Tooth	あり	
5.5.2.1.1	歯の癒合	Fusion of Tooth	あり	
5.5.2.1.2	歯の双生	Twinning of Tooth	あり	
5.5.2.1.3	歯の癒着	Concrescence of Tooth	あり	

項番 (コード)	日本語 (*は繰り返し可)	英語	値	リンク
5.5.2.2	歯内歯・重積歯	Dens in Dente/Dens Invaginatus	あり	
5.5.2.3	異所性エナメル質	Ectopic Enamel	あり	
5.5.2.3.1	エナメル滴 (エナメル真珠)	Enamel Nodule (Enamel Pearl)	あり	
5.5.2.3.2	エナメル突起	Enamel Projection	あり	
5.5.2.3.3	その他	Other	あり	
5.5.2.4	異常結節	Abnormal Tubercle	あり	
5.5.2.4.1	切歯結節	Incisive Tubercle	あり	
5.5.2.4.2	犬歯結節	Canine Tubercle	あり	
5.5.2.4.3	中心結節	Central Tubercle	あり	
5.5.2.4.4	Carabelli 結節	Carabelli Tubercle	あり	
5.5.2.4.5	臼傍結節・プロトスタイリッド	Paramolar Tubercle	あり	
5.5.2.4.6	臼後結節	Distomolar Tubercle	あり	
5.5.2.4.7	その他	Other	あり	
5.5.2.5	異常溝	Abnormal Groove	あり	
5.5.2.5.1	斜切痕	Linguogingival Fissure	あり	
5.5.2.5.2	盲孔	Foramen Cecum	あり	
5.5.2.5.3	根面溝	Groove of the Root	あり	
5.5.2.5.4	その他	Other	あり	
5.5.2.6	歯根の数の異常	Abnormal Number of Roots	あり	
5.5.2.6.1	歯根の過剰	Supernumerary Roots	あり	
5.5.2.6.2	歯根の不足	Insufficient Number of Roots	あり	
5.5.2.7	歯根の形態異常	Root Malformation	あり	
5.5.2.7.1	歯根の彎曲	Dilaceration	あり	
5.5.2.7.2	歯根の離開	Diastasis of Roots	あり	
5.5.2.7.3	歯根の収斂	Convergence of Roots	あり	
5.5.2.7.4	歯根の癒合	Fusion of Roots	あり	
5.5.2.7.5	タウロドント	Taurodont	あり	
5.5.2.7.6	その他	Other	あり	
5.5.2.8	歯冠の大きさの異常	Abnormal Size of Tooth Crown	あり	
5.5.2.8.1	巨大歯	Macrodont	あり	
5.5.2.8.2	矮小歯	Microdont	あり	
5.5.2.9	過剰歯	Supernumerary Tooth	あり	
5.5.2.10	エナメル質形成不全	Amelogenesis Imperfecta	あり	
5.5.2.11	Hutchinson 歯	Hutchinson's Tooth	あり	

項番 (コード)	日本語 (*は繰り返し可)	英語	値	リンク
5.5.2.12	歯の形成期の変色 (テトラサイクリン変色歯など)	Discoloration in Tooth Formation (Tetracycline Stained Tooth, etc.)	あり	
5.5.2.13	その他	Other	あり	
5.6	歯の位置異常	Anomalies of Tooth Position	あり	
5.6.1	位置	Location	あり	6.1.*
5.6.2	種類	Type	なし	
5.6.2.1	傾斜歯	Inclined Tooth	あり	
5.6.2.1.1	近心	Mesial	あり	
5.6.2.1.2	遠心	Distal	あり	
5.6.2.1.3	唇側・頬側	Labial/Buccal	あり	
5.6.2.1.4	口蓋側・舌側	Palatal/Lingual	あり	
5.6.2.1.5	水平	Horizontal	あり	
5.6.2.1.6	その他	Other	あり	
5.6.2.2	捻転歯	Rotated Tooth	あり	
5.6.2.2.1	近心	Mesial	あり	
5.6.2.2.2	遠心	Distal	あり	
5.6.2.3	転位歯	Displaced Tooth	あり	
5.6.2.3.1	近心	Mesial	あり	
5.6.2.3.2	遠心	Distal	あり	
5.6.2.3.3	唇側・頬側	Labial/Buccal	あり	
5.6.2.3.4	口蓋側・舌側	Palatal/Lingual	あり	
5.6.2.3.5	その他	Other	あり	
5.6.2.4	高位歯	Supraversion	あり	
5.6.2.5	低位歯	Infraversion	あり	
5.6.2.6	埋伏歯	Impacted Tooth	あり	
5.6.2.6.1	骨性埋伏	Bony Impaction	あり	
5.6.2.6.1.1	完全埋伏	Complete Impaction	あり	
5.6.2.6.1.2	半埋伏	Partial Impaction	あり	
5.6.2.6.2	その他	Other	あり	
5.6.2.7	逆生歯	Inverted Tooth	あり	
5.6.2.8	歯間離開	Diastema	あり	
5.6.2.9	叢生	Crowding	あり	
5.6.2.10	その他	Other	あり	
5.7	歯の変化	Tooth Alterations	あり	
5.7.1	位置	Location	あり	6.1.*, 6.2.*, 6.3.*, 6.5.*

項番 (コード)	日本語 (*は繰り返し可)	英語	値	リンク
5.7.2	種類	Type	なし	
5.7.2.1	う蝕	Caries	あり	
5.7.2.1.1	C1	C1	あり	
5.7.2.1.2	C2	C2	あり	
5.7.2.1.3	C3	C3	あり	
5.7.2.1.4	C4	C4	あり	
5.7.2.2	崩壊	Broken Down	あり	
5.7.2.3	歯冠亀裂	Cracked	あり	
5.7.2.4	歯冠破折 (歯折)	Coronal Fracture	あり	
5.7.2.5	歯根破折	Root Fracture	あり	
5.7.2.6	歯の脱臼	Luxation of Tooth	あり	
5.7.2.7	歯の摩耗・咬耗	Tooth Abrasion/Attrition	あり	
5.7.2.8	歯の酸蝕	Tooth Erosion	あり	
5.7.2.9	くさび状欠損・アブフラクション	Wedge-Shaped Defect/Abfraction	あり	
5.7.2.10	変色歯	Discoloration of Tooth	あり	
5.7.2.11	着色歯	Pigmentation of Tooth	あり	
5.7.2.11.1	薬物によるもの (サホライドなど)	By Chemicals (Diammine Silver Fluoride, etc.)	あり	
5.7.2.11.2	飲食物によるもの	By Food and Drink	あり	
5.7.2.11.3	喫煙によるもの	By Smoking	あり	
5.7.2.11.4	その他	Other	あり	
5.7.2.12	歯の外部吸収	External Resorption of Tooth	あり	
5.7.2.13	歯の内部吸収	Internal Resorption of Tooth	あり	
5.7.2.14	歯根の肥大	Root Hypertrophy	あり	
5.7.2.15	セメント質腫	Cementoma	あり	
5.7.2.16	歯の分割	Sectioned Tooth	あり	
5.7.2.16.1	歯根切除	Root Amputation	あり	
5.7.2.16.2	ルートセパレーション	Root Separation	あり	
5.7.2.16.3	トライセクション	Trisection	あり	
5.7.2.16.4	ヘミセクション	Hemisection	あり	
5.7.2.16.5	その他	Other	あり	
5.7.2.17	歯石	Calculus	あり	
5.7.2.18	その他	Other	あり	
5.8	歯周組織の変化	Periodontal Alterations	あり	
5.8.1	位置	Location	あり	6.1.*, 6.2.*, 6.3.*

項番 (コード)	日本語 (*は繰り返し可)	英語	値	リンク
5.8.2	種類	Type	なし	
5.8.2.1	歯肉炎	Gingivitis	あり	
5.8.2.1.1	単純性	Simple	あり	
5.8.2.1.2	増殖性	Hyperplastic	あり	
5.8.2.1.3	その他	Other	あり	
5.8.2.2	慢性歯周炎	Chronic Periodontitis	あり	
5.8.2.2.1	軽度	Mild	あり	
5.8.2.2.2	中等度	Moderate	あり	
5.8.2.2.3	重度	Severe	あり	
5.8.2.3	歯根露出	Root Exposure	あり	
5.8.2.4	根分岐部病変	Furcation Involvement	あり	
5.8.2.4.1	分類	Classification	なし	
5.8.2.4.1.1	Lindhe & Nyman	Lindhe & Nyman	なし	
5.8.2.4.1.1.1	1度	Grade I	あり	
5.8.2.4.1.1.2	2度	Grade II	あり	
5.8.2.4.1.1.3	3度	Grade III	あり	
5.8.2.4.1.2	Glickman	Glickman	なし	
5.8.2.4.1.2.1	1級	Grade I	あり	
5.8.2.4.1.2.2	2級	Grade II	あり	
5.8.2.4.1.2.3	3級	Grade III	あり	
5.8.2.4.1.2.4	4級	Grade IV	あり	
5.8.2.4.1.3	Hamp	Hamp	なし	
5.8.2.4.1.3.1	1度	Class I	あり	
5.8.2.4.1.3.2	2度	Class II	あり	
5.8.2.4.1.3.3	3度	Class III	あり	
5.8.2.5	骨移植	Bone Graft	あり	
5.8.2.6	瘻孔	Fistula	あり	
5.8.2.7	根尖病変	Periapical Lesion	あり	
5.8.2.8	その他	Other	あり	
5.9	歯列弓形態の異常	Anomalies of Dental Arch	あり	
5.9.1	位置	Location	あり	6.1.*
5.9.2	種類	Type	なし	
5.9.2.1	狭窄歯列弓	Constricted Dental Arch	あり	
5.9.2.2	V型歯列弓	V-Shaped Dental Arch	あり	
5.9.2.3	方形歯列弓	Square Dental Arch	あり	
5.9.2.4	鞍状歯列弓	Saddle-Shaped Dental Arch	あり	
5.9.2.5	空隙歯列弓	Spaced Dental Arch	あり	
5.9.2.6	閉鎖歯列弓	Closed Type Primary Dentition	あり	

項番 (コード)	日本語 (*は繰り返し可)	英語	値	リンク
5.9.2.7	歯列弓正中偏位	Midline Deviation of Dental Arch	あり	
5.9.2.8	その他	Other	あり	
5.10	上下歯列弓関係の異常	Anomalies of Upper-Lower Dental Arch	あり	
5.10.1	種類	Type	なし	
5.10.1.1	交叉咬合	Crossbite	あり	
5.10.1.1.1	右側	Right Side	あり	
5.10.1.1.2	左側	Left Side	あり	
5.10.1.1.3	両側	Bilateral	あり	
5.10.1.1.4	前後	Back and Forth	あり	
5.10.1.2	開咬	Apertognathia	あり	
5.10.1.2.1	前歯部	Anterior	あり	
5.10.1.2.2	臼歯部	Posterior	あり	
5.10.1.3	過蓋咬合	Deep Bite	あり	
5.10.1.4	切端咬合	Edge to Edge Bite	あり	
5.10.1.5	屋根状咬合	Stegodont	あり	
5.10.1.6	鋏状咬合	Scissors Bite	あり	
5.10.1.7	後退咬合	Mandibular Retrognathia	あり	
5.10.1.8	反対咬合	Reversed Occlusion	あり	
5.10.1.9	上顎前突	Maxillary Protrusion	あり	
5.10.1.10	下顎前突	Mandibular Protrusion	あり	
5.10.1.11	上下顎前突	Bimaxillary Protrusion	あり	
5.10.1.12	上顎後退	Maxillary Retrusion	あり	
5.10.1.13	下顎後退	Mandibular Retrusion	あり	
5.10.1.14	上下顎後退	Bimaxillary Retrusion	あり	
5.10.1.15	その他	Other	あり	
5.10.2	異常の原因	Cause for Anomalies	なし	
5.10.2.1	骨格性	Skeletal	あり	
5.10.2.2	歯性	Odontogenic	あり	
5.10.2.3	その他	Other	あり	
5.11	外骨症	Exostosis	あり	
5.11.1	種類	Type	なし	
5.11.1.1	口蓋隆起	Palatal Torus	あり	
5.11.1.2	下顎隆起	Mandibular Torus	あり	
5.11.1.2.1	両側	Bilateral	あり	
5.11.1.2.2	片側 (右側)	Unilateral (Right)	あり	
5.11.1.2.3	片側 (左側)	Unilateral (Left)	あり	
5.11.1.3	その他の骨隆起	Other Bone Torus	あり	

項番 (コード)	日本語 (*は繰り返し可)	英語	値	リンク
5.11.1.3.1	位置	Location	あり	6.1.*
5.11.1.3.1.1	頬舌的位置	Buccolingual Position	なし	
5.11.1.3.1.1.1	唇側・頬側	Buccal/Labial	あり	
5.11.1.3.1.1.2	口蓋側・舌側	Palatal/Lingual	あり	
5.12	唇裂・顎裂・口蓋裂	Cleft Lip/Cleft Alveolus/Cleft Palate	あり	
5.12.1	位置	Location	なし	
5.12.1.1	片側 (右側)	Unilateral (Right)	あり	
5.12.1.2	片側 (左側)	Unilateral (Left)	あり	
5.12.1.3	正中	Median	あり	
5.12.1.4	両側	Bilateral	あり	
5.12.1.5	その他	Other	あり	
5.12.2	種類	Type	なし	
5.12.2.1	唇裂	Cleft Lip	あり	
5.12.2.2	顎裂	Cleft Alveolus	あり	
5.12.2.3	口蓋裂	Cleft Palate	あり	
5.12.2.4	唇顎裂	Cleft Lip and Alveolus	あり	
5.12.2.5	唇口蓋裂	Cleft Lip and Palate	あり	
5.12.2.6	顎口蓋裂	Cleft Alveolus and Palate	あり	
5.12.2.7	唇顎口蓋裂	Cleft Lip, Alveolus and Palate	あり	
5.12.2.8	その他	Other	あり	
5.12.3	状態	Status	なし	
5.12.3.1	裂が存在	Cleft Present	あり	
5.12.3.2	瘢痕が存在	Scar Present	あり	
5.12.3.3	その他	Other	あり	
5.13	骨折	Bone Fracture	あり	
5.13.1	位置	Location	なし	
5.13.1.1	上顎	Maxilla	あり	
5.13.1.1.1	Le Fort I 型	Le Fort I	あり	
5.13.1.1.2	Le Fort II 型	Le Fort II	あり	
5.13.1.1.3	Le Fort III 型	Le Fort III	あり	
5.13.1.1.4	その他	Other	あり	
5.13.1.2	下顎	Mandible	あり	
5.13.1.2.1	正中部	Symphysis	あり	
5.13.1.2.2	右側	Right Side	あり	
5.13.1.2.2.1	歯槽骨	Alveolar Bone	あり	
5.13.1.2.2.1.1	前歯部	Anterior	あり	
5.13.1.2.2.1.2	臼歯部	Posterior	あり	

項番 (コード)	日本語 (*は繰り返し可)	英語	値	リンク
5.13.1.2.2.2	下顎体部	Body	あり	
5.13.1.2.2.2.1	前歯部	Anterior	あり	
5.13.1.2.2.2.2	臼歯部	Posterior	あり	
5.13.1.2.2.2.3	その他	Other	あり	
5.13.1.2.2.3	下顎角部	Angle	あり	
5.13.1.2.2.4	下顎枝部	Ramus	あり	
5.13.1.2.2.5	関節突起	Condylar Process	あり	
5.13.1.2.2.6	筋突起	Coronoid Process	あり	
5.13.1.2.2.7	その他	Other	あり	
5.13.1.2.3	左側	Left Side	あり	
5.13.1.2.3.1	歯槽骨	Alveolar Bone	あり	
5.13.1.2.3.1.1	前歯部	Anterior	あり	
5.13.1.2.3.1.2	臼歯部	Posterior	あり	
5.13.1.2.3.2	下顎体部	Body	あり	
5.13.1.2.3.2.1	前歯部	Anterior	あり	
5.13.1.2.3.2.2	臼歯部	Posterior	あり	
5.13.1.2.3.2.3	その他	Other	あり	
5.13.1.2.3.3	下顎角部	Angle	あり	
5.13.1.2.3.4	下顎枝部	Ramus	あり	
5.13.1.2.3.5	関節突起	Condylar Process	あり	
5.13.1.2.3.6	筋突起	Coronoid Process	あり	
5.13.1.2.3.7	その他	Other	あり	
5.13.1.2.4	両側	Bilateral	あり	
5.13.1.2.4.1	歯槽骨	Alveolar Bone	あり	
5.13.1.2.4.1.1	前歯部	Anterior	あり	
5.13.1.2.4.1.2	臼歯部	Posterior	あり	
5.13.1.2.4.2	下顎体部	Body	あり	
5.13.1.2.4.2.1	前歯部	Anterior	あり	
5.13.1.2.4.2.2	臼歯部	Posterior	あり	
5.13.1.2.4.2.3	その他	Other	あり	
5.13.1.2.4.3	下顎角部	Angle	あり	
5.13.1.2.4.4	下顎枝部	Ramus	あり	
5.13.1.2.4.5	関節突起	Condylar Process	あり	
5.13.1.2.4.6	筋突起	Coronoid Process	あり	
5.13.1.2.4.7	その他	Other	あり	
5.13.1.2.5	その他	Other	あり	
5.13.1.3	その他	Other	あり	
5.13.2	状態	Status	なし	
5.13.2.1	骨折線が存在	Fracture Line Present	あり	

項番 (コード)	日本語 (*は繰り返し可)	英語	値	リンク
5.13.2.2	骨折痕が存在	Fracture Healing Mark Present	あり	
5.13.2.3	その他	Other	あり	
5.14	固定装置	Fixation Devices	あり	
5.14.1	固定装置の種類	Device Type	なし	
5.14.1.1	顎内固定	Intraoral Fixation	あり	
5.14.1.2	顎外固定	Extraoral Fixation	あり	
5.14.1.3	顎間固定	Intermaxillary Fixation	あり	
5.14.2	固定の種類	Fixation Type	なし	
5.14.2.1	スクリュー	Screw	あり	
5.14.2.2	プレート	Plate	あり	
5.14.2.3	ワイヤー	Wire	あり	
5.14.2.4	その他	Other	あり	
5.14.3	装置を識別できる特徴	Device Identifying Characteristics	なし	
5.14.3.1	製造業者	Manufacturer	あり	
5.14.3.2	装置の名称	Device Name	あり	
5.14.3.3	部品番号	Part Number	あり	
5.14.3.4	製造番号	Serial Number	あり	
5.14.3.5	その他	Other	あり	
5.15	組織の欠損	Defect of Tissue	あり	
5.15.1	硬組織の欠損	Defect of Hard Tissue	あり	
5.15.1.1	位置	Location	なし	
5.15.1.1.1	上顎骨	Maxilla	あり	
5.15.1.1.1.1	硬口蓋	Hard Palate	あり	
5.15.1.1.1.1.1	正中部	Median	あり	
5.15.1.1.1.1.2	右側	Right Side	あり	
5.15.1.1.1.1.3	左側	Left Side	あり	
5.15.1.1.1.1.4	全体	Whole	あり	
5.15.1.1.1.2	歯槽突起	Alveolar Process	あり	
5.15.1.1.1.2.1	前歯部	Anterior	あり	
5.15.1.1.1.2.1.1	右側	Right Side	あり	
5.15.1.1.1.2.1.2	左側	Left Side	あり	
5.15.1.1.1.2.2	臼歯部	Posterior	あり	
5.15.1.1.1.2.2.1	右側	Right Side	あり	
5.15.1.1.1.2.2.2	左側	Left Side	あり	
5.15.1.1.1.3	その他	Other	あり	
5.15.1.1.2	下顎骨	Mandibular	あり	
5.15.1.1.2.1	前歯部	Anterior	あり	

項番 (コード)	日本語 (*は繰り返し可)	英語	値	リンク
5.15.1.1.2.1.1	右側	Right Side	あり	
5.15.1.1.2.1.2	左側	Left Side	あり	
5.15.1.1.2.2	臼歯部	Posterior	あり	
5.15.1.1.2.2.1	右側	Right Side	あり	
5.15.1.1.2.2.2	左側	Left Side	あり	
5.15.1.1.2.3	その他	Other	あり	
5.15.1.1.3	その他	Other	あり	
5.15.1.2	状態	Status	なし	
5.15.1.2.1	欠損が残存	Defect Present	あり	
5.15.1.2.2	皮弁が存在	Skin Flap Present	あり	
5.15.1.2.3	癒痕が存在	Scar Present	あり	
5.15.1.2.4	その他	Other	あり	
5.15.2	軟組織の欠損	Defect of Soft Tissue	あり	
5.15.2.1	位置	Location	なし	
5.15.2.1.1	軟口蓋	Soft Palate	あり	
5.15.2.1.1.1	正中部	Median	あり	
5.15.2.1.1.2	右側	Right Side	あり	
5.15.2.1.1.3	左側	Left Side	あり	
5.15.2.1.1.4	全体	Whole	あり	
5.15.2.1.2	口蓋垂	Uvula	あり	
5.15.2.1.3	舌	Tongue	あり	
5.15.2.1.3.1	正中部	Median	あり	
5.15.2.1.3.2	右側	Right Side	あり	
5.15.2.1.3.3	左側	Left Side	あり	
5.15.2.1.3.4	全体	Whole	あり	
5.15.2.1.4	口底	Mouth Floor	あり	
5.15.2.1.4.1	正中部	Median	あり	
5.15.2.1.4.2	右側	Right Side	あり	
5.15.2.1.4.3	左側	Left Side	あり	
5.15.2.1.4.4	全体	Whole	あり	
5.15.2.1.5	頬粘膜	Buccal Mucosa	あり	
5.15.2.1.5.1	右側	Right Side	あり	
5.15.2.1.5.2	左側	Left Side	あり	
5.15.2.1.5.3	両側	Bilateral	あり	
5.15.2.1.6	口唇	Lip	あり	
5.15.2.1.6.1	上唇	Upper	あり	
5.15.2.1.6.1.1	正中部	Median	あり	
5.15.2.1.6.1.2	右側	Right Side	あり	
5.15.2.1.6.1.3	左側	Left Side	あり	

項番 (コード)	日本語 (*は繰り返し可)	英語	値	リンク
5.15.2.1.6.1.4	全体	Whole	あり	
5.15.2.1.6.2	下唇	Lower	あり	
5.15.2.1.6.2.1	正中部	Median	あり	
5.15.2.1.6.2.2	右側	Right Side	あり	
5.15.2.1.6.2.3	左側	Left Side	あり	
5.15.2.1.6.2.4	全体	Whole	あり	
5.15.2.1.7	その他	Other	あり	
5.15.2.2	状態	Status	なし	
5.15.2.2.1	欠損が残存	Defect Present	あり	
5.15.2.2.2	皮弁が存在	Skin Flap Present	あり	
5.15.2.2.3	癒痕が存在	Scar Present	あり	
5.15.2.2.4	その他	Other	あり	
5.16	色素沈着・刺青	Pigmentation/Tattoo	あり	
5.16.1	位置	Location	なし	
5.16.1.1	口腔内	Intraoral	あり	
5.16.1.1.1	口蓋	Palate	あり	
5.16.1.1.2	口蓋垂	Uvula	あり	
5.16.1.1.3	舌	Tongue	あり	
5.16.1.1.4	口底	Mouth Floor	あり	
5.16.1.1.5	歯肉	Gingiva	あり	
5.16.1.1.6	頬粘膜	Buccal Mucosa	あり	
5.16.1.1.7	口唇	Lip	あり	
5.16.1.1.8	その他	Other	あり	
5.16.1.2	口腔外	Extraoral	あり	
5.16.2	説明 (テキスト説明)	Description (Text Description)	あり	
5.17	ピアス	Piercing	あり	
5.17.1	位置	Location	なし	
5.17.1.1	口蓋	Palate	あり	
5.17.1.2	口蓋垂	Uvula	あり	
5.17.1.3	舌	Tongue	あり	
5.17.1.4	口底	Mouth Floor	あり	
5.17.1.5	歯肉	Gingiva	あり	
5.17.1.6	頬粘膜	Buccal Mucosa	あり	
5.17.1.7	口唇	Lip	あり	
5.17.1.8	その他	Other	あり	
5.17.2	種類	Type	なし	
5.17.2.1	材料	Material	なし	
5.17.2.1.1	金属	Metal	あり	

項番 (コード)	日本語 (*は繰り返し可)	英語	値	リンク
5.17.2.1.1.1	金色	Gold Color	あり	
5.17.2.1.1.2	銀色	Silver Color	あり	
5.17.2.1.1.3	その他	Other	あり	
5.17.2.1.2	その他	Other	あり	
5.17.2.2	形態	Shape	なし	
5.17.2.2.1	バーベル	Barbell	あり	
5.17.2.2.2	輪	Hoop	あり	
5.17.2.2.3	その他	Other	あり	
5.17.3	説明 (テキスト説明)	Description (Text Description)	あり	
5.18	歯の装飾	Tooth Accessory	あり	
5.18.1	位置	Location	あり	6.1.*, 6.2.*, 6.5.*
5.18.2	種類	Type	なし	
5.18.2.1	可撤式	Removable	あり	
5.18.2.2	固定式	Fixed	あり	
5.18.3	説明 (テキスト説明)	Description (Text Description)	あり	
5.19	その他の特徴	Other Characteristics	あり	

歯・歯列の位置のデータセット (Tooth Part and Position Data Set)

項番 (コード)	日本語 (*は繰り返し可)	英語	値	リンク
6	歯・歯列の位置のデータセット	Tooth Part and Position Data Set	なし	
6.1	歯式コード (歯種, 状態)	Dental Formula	あり	
6.2	面	Surfaces	なし	
6.2.1	切端・咬合面 I/O	Incisal/Occlusal	あり	
6.2.2	唇側面・頬側面 B	Labial/Buccal	あり	
6.2.3	口蓋側面・舌側面 P/L	Palatal/Lingual	あり	
6.2.4	近心面 M	Mesial	あり	
6.2.5	遠心面 D	Distal	あり	
6.2.6	根面 O	Root Surface (Occlusal)	あり	
6.2.7	根面 B	Root Surface (Labial/Buccal)	あり	
6.2.8	根面 P/L	Root Surface (Palatal/Lingual)	あり	
6.2.9	根面 M	Root Surface (Mesial)	あり	
6.2.10	根面 D	Root Surface (Distal)	あり	

項番 (コード)	日本語 (*は繰り返し可)	英語	値	リンク
6.2.11	その他	Other	あり	
6.3	根	Root	あり	
6.3.1	単根歯の根	Root of Single-Rooted Tooth	あり	
6.3.2	近心根 M	Medial Root	あり	
6.3.3	遠心根 D	Distal Root	あり	
6.3.4	頬側根 B	Buccal Root	あり	
6.3.5	口蓋・舌側根 P/L	Palatal/Lingual Root	あり	
6.3.6	近心頬側根 MB	Medio-Buccal Root	あり	
6.3.7	遠心頬側根 DB	Disto-Buccal Root	あり	
6.3.8	近心舌側根 ML	Medio-Lingual Root	あり	
6.3.9	遠心舌側根 DL	Disto-Lingual Root	あり	
6.3.10	その他	Other	あり	
6.4	根管	Root Canal	あり	
6.4.1	単根歯の単根管	Root Canal of Single-Rooted Tooth	あり	
6.4.2	近心根管 M	Medial Root Canal	あり	
6.4.3	遠心根管 D	Distal Root Canal	あり	
6.4.4	頬側根管 B	Buccal Root Canal	あり	
6.4.5	口蓋・舌側根管 P/L	Palatal/Lingual Root Canal	あり	
6.4.6	近心頬側根管 MB	Medio-Buccal Root Canal	あり	
6.4.7	遠心頬側根管 DB	Disto-Buccal Root Canal	あり	
6.4.8	近心舌側根管 ML	Medio-Lingual Root Canal	あり	
6.4.9	遠心舌側根管 DL	Disto-Lingual Root Canal	あり	
6.4.10	その他	Other	あり	
6.5	歯の部分	Tooth Part	なし	
6.5.1	歯冠	Crown	あり	
6.5.1.1	切縁側・咬頭側 1/3	Incisal/Occlusal 1/3	あり	
6.5.1.2	中央 1/3	Middle 1/3	あり	
6.5.1.3	歯頸側 1/3	Cervical 1/3	あり	
6.5.2	歯根	Root	あり	
6.5.2.1	歯冠側 1/3	Cervical 1/3	あり	
6.5.2.2	中央 1/3	Middle 1/3	あり	
6.5.2.3	根尖側 1/3	Apical 1/3	あり	

材料のデータセット (Material Data Set)

項番 (コード)	日本語 (*は繰り返し可)	英語	値	リンク
7	材料のデータセット	Material Data Set	なし	

項番 (コード)	日本語 (*は繰り返し可)	英語	値	リンク
7.1	歯冠・ポンティック用材料	Material for Crown/Pontic	なし	
7.1.1	金属色	Metallic Colored	あり	
7.1.1.1	金色	Gold Colored	あり	
7.1.1.1.1	金合金	Gold Alloy	あり	
7.1.1.2	非金色	Non-Gold Colored	あり	
7.1.1.2.1	金銀パラジウム合金	Gold Substitution Alloy (Ag-Pd-Au Alloy)	あり	
7.1.1.2.2	チタン・チタン合金	Titanium/Titanium Alloy	あり	
7.1.1.2.3	銀合金	Silver Alloy	あり	
7.1.1.2.4	コバルトクロム合金	Cobalt-Chromium Alloy	あり	
7.1.1.2.5	ニッケルクロム合金	Nickel-Chromium Alloy	あり	
7.1.1.2.6	ステンレス鋼	Stainless Steel	あり	
7.1.1.2.7	その他	Other	あり	
7.1.1.3	その他	Other	あり	
7.1.2	歯冠色	Tooth Colored	あり	
7.1.2.1	セラミックス (陶材, ジルコニアなど)	Ceramics (Porcelain, Zirconium, etc.)	あり	
7.1.2.2	レジン	Resin	あり	
7.1.2.2.1	硬質レジン	Hard Resin	あり	
7.1.2.2.2	ハイブリッドレジン	Hybrid Resin Composite	あり	
7.1.2.2.3	アクリルレジン	Acrylic Resin	あり	
7.1.2.2.3.1	CAD/CAM 用アクリルブロック	Acrylic Resin Block	あり	
7.1.2.2.3.2	常温重合レジン	Self-Curing Acrylic Resin	あり	
7.1.2.3	その他	Other	あり	
7.1.3	その他	Other	あり	
7.2	根管充填材料	Endodontic Obturation Material	なし	
7.2.1	ガッタパーチャポイント	Gutta-Percha Point	あり	
7.2.2	レジン系材料	Resin-Based Material	あり	
7.2.3	シルバーポイント	Silver Point	あり	
7.2.4	その他	Other	あり	
7.3	ポスト・コア用材料	Material for Post/Core	なし	
7.3.1	鋳造	Casting	あり	
7.3.1.1	金銀パラジウム合金	Gold Substitution Alloy (Ag-Pd-Au Alloy)	あり	
7.3.1.2	銀合金	Silver Alloy	あり	
7.3.2	練成	Plastic	あり	
7.3.2.1	レジン系材料	Resin-Based Material	あり	

項番 (コード)	日本語 (*は繰り返し可)	英語	値	リンク
7.3.2.2	セメント	Cement	あり	
7.3.2.3	アマルガム	Dental Amalgam	あり	
7.3.3	既成ポスト	Prefabricated Post	あり	
7.3.3.1	レジンポスト	Prefabricated Resin Post	あり	
7.3.3.2	金属ポスト	Prefabricated Metal Post	あり	
7.3.3.3	ファイバーポスト	Fiber-Reinforced Resin Post	あり	
7.3.4	その他	Other	あり	
7.4	人工歯用材料 (義歯)	Material for Artificial Tooth	なし	
7.4.1	硬質レジン歯	Composite Resin Tooth	あり	
7.4.2	レジン歯	Acrylic Resin Tooth	あり	
7.4.3	スルフォン樹脂レジン歯	Thermoplastic Resin Tooth	あり	
7.4.4	陶歯	Porcelain Tooth	あり	
7.4.5	金属歯	Metal Tooth	あり	
7.4.6	その他	Other	あり	
7.5	床用材料 (義歯)	Material for Denture Base	なし	
7.5.1	非金属	Non Metal	あり	
7.5.1.1	熱可塑性樹脂	Thermoplastic Resin	あり	
7.5.1.1.1	アクリリック樹脂	Acrylic Resin	あり	
7.5.1.1.2	その他	Other	あり	
7.5.1.2	その他	Other	あり	
7.5.2	金属	Metal	あり	
7.5.2.1	金色	Gold Colored	あり	
7.5.2.1.1	金合金	Gold Alloy	あり	
7.5.2.2	非金色	Non-Gold Colored	あり	
7.5.2.2.1	金銀パラジウム合金	Gold Substitution Alloy (Ag-Pd-Au Alloy)	あり	
7.5.2.2.2	チタン・チタン合金	Titanium/Titanium Alloy	あり	
7.5.2.2.3	コバルトクロム合金	Cobalt-Chromium Alloy	あり	
7.5.2.2.4	ニッケルクロム合金	Nickel-Chromium Alloy	あり	
7.5.2.2.5	ステンレス鋼	Stainless Steel	あり	
7.5.2.2.6	その他	Other	あり	
7.5.2.3	その他	Other	あり	
7.5.3	その他	Other	あり	

3 「口腔状態の標準データセット」データ交換規約（案）

3-1 基本的な考え方

本章では、本年度事業で新たに定義した「口腔状態の標準データセット」を用いて、レセコンや電子カルテの診療情報から標準化した口腔状態の情報を抽出するための交換規約（案）について述べる。既存のレセコンや電子カルテ等から大幅なシステム改修を伴わずにデータの抽出を可能とするために、次のような方針を採用した。

- すでに、我が国における地域医療情報連携や医療情報遠隔バックアップ等で実績のある SS-MIX2 に準拠する。
- SS-MIX2 の「病名（歴）情報登録・更新メッセージ（PPR）」を拡張して、口腔状態の標準データセットに基づく歯科情報を交換可能にする。
- SS-MIX2 の拡張ストレージに情報を保存することで、既存標準への影響を抑えつつ将来的な拡張にも配慮する。

口腔状態の標準データセットに基づく歯科情報を SS-MIX2 形式で保存することができるようになると、この報告書に書かれている将来的な利用のいくつかが実現できる。災害時だけでなく、日常的に発生する種々の身元検索に活用するには検索システムが必要であるが、標準的な形式でデータが蓄積されていることは、システム開発の敷居を下げることが期待される。さらに、口腔状態の標準データセットの特長として、口腔状態の情報を階層構造により様々な粒度で表現できることがあげられる。システム提供元のベンダーによりレセコン内の診療情報の詳細度が異なっても、それぞれのシステムにあわせた粒度により情報を抽出することが可能となる。

なお、SS-MIX2 への歯科領域での対応は、まだ十分ではない。具体的には、「病名（歴）情報登録・更新メッセージ（PPR）」に対して、歯式拡張情報セグメントが追加されているのみである。口腔状態の標準データセットに基づく歯科情報を表現するためには、前章で定義したデータセットの特徴記述子コードを格納するためのセグメントを準備する必要がある。以下のデータ交換規約（案）では、この新しいセグメントが使用可能であると仮定しているが、実際には、この利用が可能となるためには、今後、JAHIS（保健医療福祉情報システム工業会）および SS-MIX 普及推進コンソーシアムなどの関連団体の承認が必要であることを申し上げておきたい。

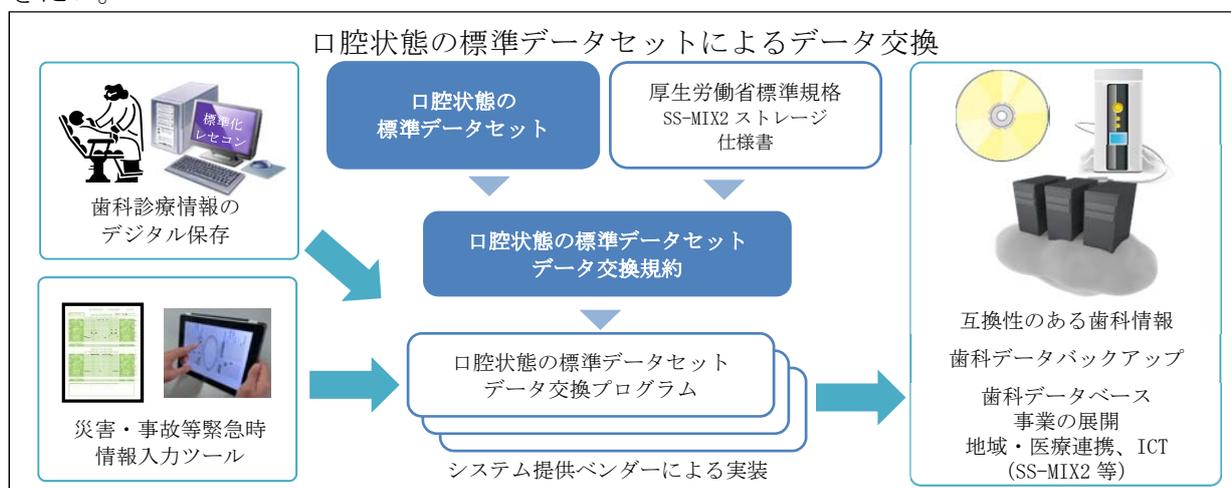


図 1 口腔状態の標準データセットによるデータ交換

3-2 データ交換規約の概要

口腔状態の標準データセットのデータ交換規約案は、SS-MIX2 における「病名（歴）情報登録・更新メッセージ（PPR）」の拡張を前提とする。そのため、基本的な仕様については、下記のドキュメントを参照するものとする。

- JAHIS 病名情報データ交換規約 Ver.3.0C（JAHIS 標準 14-002）および JAHIS データ交換規約（共通編） Ver.1.1（JAHIS 標準 15-002）
- SS-MIX2 標準化ストレージ仕様書 Ver.1.2c（2016.02.12 版）

具体的な拡張方針としては、SS-MIX2 標準化ストレージ仕様書 Ver.1.2c「病名（歴）情報登録・更新メッセージ（PPR）」に対し、以下の 2 つのセグメントを追加することを想定する。

- 口腔状態データセットセグメント（ZDS）
口腔状態の標準データセットのうち「歯のデータセット」、「有床義歯のデータセット」、「ブリッジ・連結冠のデータセット」、「矯正装置のデータセット」、「口腔病理のデータセット」、「材料のデータセット」の 6 種類の情報を格納する。
- 歯・歯列の位置のデータセットセグメント（ZTP）
口腔状態の標準データセットうち「歯・歯列の位置のデータセット」の情報を格納する。
- また記述式の項目に対応するため、「注釈・コメントセグメント（NTE）」も使用可能とした。なお、この NTE は「JAHIS データ交換規約（共通編） Ver.1.1」では定義されているものの、SS-MIX2 標準化ストレージ仕様書 Ver.1.2c「病名（歴）情報登録・更新メッセージ（PPR）」および「JAHIS 病名情報データ交換規約 Ver.3.0C」では使用しないこととされている。

3-3 病名（歴）情報登録・更新メッセージ（PPR）の定義

拡張セグメント「歯・歯列の位置のデータセットセグメント（ZTP）」および「口腔状態データセットセグメント（ZDS）」を追加した病名（歴）情報登録・更新メッセージ（PPR^ZD1）の内容は下記の通りである。

[参照元]JAHIS 病名情報データ交換規約 Ver.3.0C

表 1 病名（歴）情報登録・更新メッセージ（PPR^ZD1）セグメント構成

セグメント	セグメント名	説明	JAHIS	HL7 v2.5 章
MSH	メッセージヘッダ	メッセージの構文の目的、発信源、宛先、特性を定義する。	◎	2
PID	患者識別	患者の識別情報（基本情報）についての情報を提供する。	◎	3
{				
PRB	プロブレム詳細	与えられた各個人のプロブレムを追加、更新、修正、かつ、削除するのに必要なデータを含む。	◎	12
[ZPR]	プロブレム拡張情報	表示病名における病名と修飾語及び表示病名に対するコメントを表現する。	◎	-
[{ ZPD }]	歯式拡張情報	歯科病名における部位情報を表現する。	◎	-
[{				
[{ ZTP]]	歯・歯列の位置のデータセット	次に続く口腔状態データセットの情報に関する、歯・歯列の位置のデータセットの情報を表現する。	-	-
ZDS	口腔状態のデータセット	口腔状態データセットの情報（歯・歯列の位置のデータセットを除く）の情報を表現する。	-	-
[{ NTE }]	注釈・コメント	データセットに付随するコメントを表現する。	-	-
}}				
[{ ZI1 }]	保険	病名情報に付随する保険情報を表現する。内容は IN1 セグメントと同様。	◎	-
[{				
ORC	共通オーダ情報		◎	4
}}				
}				

[]は省略可能、{ }は繰り返し可能を示す。

メッセージヘッダセグメント (MSH)

表 2 メッセージヘッダセグメント (MSH) 定義

[参照元] JAHIS 病名情報データ交換規約 Ver.3.0C

	フィールド名	LEN	DT	OPT	RP	#	JAHIS	SS-MIX2	説明
MSH-0	セグメント ID	3	ST	R			R	R	セグメント ID「MSH」を設定する。
MSH-1	フィールド区切文字	1	ST	R			R	R	セグメント ID と最初の実フィールド (MSH-2 コード化文字) 間の区切り文字。残りのメッセージで区切りとして使うを定義。
MSH-2	コード化文字	4	ST	R			R	R	成分セパレータ、反復セパレータ、エスケープ文字、副成分セパレータの 4 文字。 [SS-MIX2] 標準のセパレータである「^Y&」を設定する。
MSH-3	送信アプリケーション	227	HD	O		0361	O	O	送信アプリケーションを識別する為に用いる。HIS(病院情報システム)名、オーダリングシステムの名称等。
MSH-4	送信施設	227	HD	O		0362	O	O	送信元施設を区別する為の送信側の施設コードや略称。
MSH-5	受信アプリケーション	227	HD	O		0361	O	O	受信アプリケーションを識別する為に用いる。 [SS-MIX2] HIS 情報ゲートウェイ受信アプリケーションを示す「GW」を設定する。
MSH-6	受信施設	227	HD	O		0362	O	O	受信先施設を区別する為の受信側の施設コードや略称。
MSH-7	メッセージ日時	26	TS	R			R	R	送信システムがメッセージを作成した日時。 [SS-MIX2] ストレージに格納されるファイル名の一部として使用されるため、秒までの精度は必須で指定する。最大 10000 分の 1 秒まで指定可能とするがファイル名に使用するのは小数点以下 3 桁までとする。タイムゾーンは指定しない。 「YYYYMMDDHHMMSS.[S[S[S[S]]]]」形式。
MSH-8	セキュリティ	40	ST	O			O	N	安全性を実装するのに使われる。その使用法はまだ規定されていない。
MSH-9	メッセージ型	15	MSG	R			R	R	メッセージを識別する為に用いるコード。受信側システムは、このフィールドにより認識すべきデータセグメントを識別することができる。 第 1 成分: HL7 表「0076-メッセージ型」(ADT:患者管理、OML:検査オーダメッセージ...等) 第 2 成分: HL7 表「0003-イベント型」(A08:患者情報の更新、033:ある検体に関連した複数オーダのための検査オーダ...等) 第 3 成分: HL7 表「0354-メッセージ構造」(ADT_A01、OML_033等) ex) ADT^A08^ADT_A01 (患者基本情報の更新) OML^033^OML_033 (検体検査オーダ)
MSH-10	メッセージ制御 ID	20	ST	R			R	R	送信側システムで管理するメッセージを一意に識別する番号。
MSH-11	処理 ID	3	PT	R			R	R	HL7 処理ルールに従ってメッセージを処理するかどうかを判断する為に用いる。 [SS-MIX2] 「P」(プロダクション:本系)を設定する。
MSH-12	バージョン ID	60	VID	R			R	R	受信側システムでバージョン ID を識別しメッセージが確実に解釈されるようにする。 [SS-MIX2] 「2.5」(HL7 Version 2.5)を設定する。
MSH-13	シーケンス番号	15	NM	O			O	N	送信側が持つ受信アプリケーション・施設毎に管理されたシーケンス。
MSH-14	継続ポインタ	180	ST	O			O	N	アプリケーションに特有の方法で継続を定義するのに使用。
MSH-15	受諾肯定応答型	2	ID	O		0155	O	N	このメッセージに応答して受諾肯定応答を返すことが要求される条件を定義する。
MSH-16	アプリケーション行程応答型	2	ID	O		0155	O	N	このメッセージに応答してアプリケーション肯定応答を返すことが要求される条件を定義する。
MSH-17	国コード	3	ID	O		0399	O	N	メッセージの発信国を定義する。主に通過単位などのデフォルト要素を指定するのに使用される ISO-3166 からのコードを指定する。
MSH-18	文字セット	16	ID	O	Y	0211	R	R	メッセージ全体に使用する文字コードセットを定義する。 [SS-MIX2] 「ISO IR87」を設定する。
MSH-19	主要言語	250	CWE	O			O	N	メッセージの主要言語を定義する。
MSH-20	代替文字セット操作法	20	ID	O		0356	C	O	文字セットを切替える為のエスケープシーケンス方式を定義する。 [SS-MIX2] 「ISO 2022-1994」を設定する。
MSH-21	メッセージプロファイル識別子	427	EI	O	Y		O	O	準拠するメッセージプロファイル。文法、構文、および、特定のメッセージやメッセージセットの詳細な説明を含む。 [SS-MIX2] 準拠している SS-MIX2 のバージョンに応じて、 「SS-MIX2.0.96^SS-MIX2^1.2.392.200250.2.1.100.1.2.96^ISO」ないし 「SS-MIX2.1.20^SS-MIX2^1.2.392.200250.2.1.100.1.2120^ISO」を設定する。省略された場合は、「SS-MIX2.0.96」とみなす。

患者識別セグメント (PID)

表 3 患者識別セグメント (PID) 定義

[参照元] JAHIS 病名情報データ交換規約 Ver.3.0C

	フィールド名	LEN	DT	OPT	RP	#	JAHIS	SS-MIX2	説明
PID-0	セグメントID	3	ST	R			R	R	セグメントID「PID」を設定する。
PID-1	セットID-PID	4	SI	O			O	O	セグメントの反復が許されるメッセージにおいて、反復を識別する為のメッセージ内でのシーケンス番号。 [SS-MIX2] 設定する場合、「0001」を設定する。 1 メッセージで複数患者の情報を送信しない。
PID-2	患者ID	20	CX	B			B	N	旧バージョンと互換を取るためのフィールド。
PID-3	患者IDリスト	250	CX	R	Y		R	R	病院内で患者を一気に識別できるID。患者IDやカルテ番号、請求書番号など。識別子型コード(CX.5)は任意であるが、使用する場合は、HL7表「0203-ID型」を参照。例えば、カルテ番号の場合は「PI(患者内部識別子)」を使用する。 [SS-MIX2] 病院内で定義された桁数で、前ゼロ形式とする。
PID-4	代替患者ID	20	CX	B	Y		B	N	旧バージョンと互換をとるためのフィールド。
PID-5	患者氏名	250	XPN	R	Y		R	R	患者の氏名。 [SS-MIX2] 名前タイプコード(XPN.7)は、HL7表「0200-名前タイプ」に記載されている「L:法的な名前」を使用、名前表記コード(XPN.8)は、HL7表「0465-名前/アドレス表記」に記載されている「I:漢字表記」「P:カナ表記」を使用する。 2件の繰り返しをもつ(1.漢字名称、2.カナ名称) ex) 駿河 葵~~~~~L`I`スルガ`アオイ~~~~~L`P
PID-6	母親の旧姓	250	XPN	O	Y		N	N	患者の母親の旧姓。通常は使用しないフィールド。
PID-7	生年月日年齢	26	TS	O			O	R	患者の誕生日。 [SS-MIX2] 「YYYYMMDD」形式。
PID-8	性別	1	IS	O		0001	O	R	患者の性別を識別するコード。 取りうる値は、使用者定義表「0001-性別」より「F(女性)」「M(男性)」「U(未知)」「O(その他)」を使用する。
PID-9	患者別名	250	XPN	B	Y		N	N	旧バージョンと互換をとるためのフィールド。
PID-10	人種	250	CWE	O	Y	0005	N	N	患者の人種。通常は使用しないフィールド。
PID-11	患者住所	250	XAD	O	Y				患者の住所。 [SS-MIX2] 住所タイプコード(XAD.7)は、HL7表「0190-住所タイプ」に記載されている「H:自宅」を使用する。 住所の都道府県以下が構造化されていない場合、「ZIPあるいは郵便番号(XAD.5)」に郵便番号、「他の地理的な表示(XAD.8)」に従来記法で表現する。 ex) ^^^420-8601`JPN`H`静岡県静岡市葵区追手町9番6号
PID-12	郡コード	4	IS	B		0289	N	N	旧バージョンと互換をとるためのフィールド。
PID-13	患者番号-自宅	250	XTN	O	Y				患者の自宅電話番号。 [SS-MIX2] 遠距離通信用途コード(XTN.2)は、HL7表「0201-遠距離通信用途コード」より「PRN:主たる住居の番号」を使用する。 遠距離通信装置タイプ(XTN.3)は、HL7表「0202-遠距離通信機器タイプ」より「PH:電話」を使用する。 「054-211-9999」のような非定型文字列の場合、非定型の電話番号(XTN.12)を使用する。 ex) ^PRN`PH`^^^^^^^^054-211-9999
PID-14	電話番号-勤務先	250	XTN	O	Y		O	O	患者の勤務先の電話番号。 [SS-MIX2] 遠距離通信用途コード(XTN.2)は、HL7表「0201-遠距離通信用途コード」より「WPN:勤務先の番号」を使用する。 遠距離通信装置タイプ(XTN.3)は、HL7表「0202-遠距離通信機器タイプ」より「PH:電話」を使用する。 ex) ^WPN`PH`^^^^^^^^054-999-2455
PID-15	使用言語	250	CWE	O		0296	N	N	患者の主要な言語。通常は、本フィールドは使用しない。
PID-16	婚姻状況	250	CWE	O		0002	O	N	患者の婚姻状況。
PID-17	宗教	250	CWE	O		0006	N	N	患者の宗教。通常は、本フィールドは使用しない。
PID-18	患者会計番号	250	CX	O			O	N	患者の会計情報を識別するための番号。
PID-19	社会保険番号	16	ST	B			N	N	旧バージョンと互換をとるためのフィールド。
PID-20	運転免許証番号	25	DLN	B			N	N	旧バージョンと互換をとるためのフィールド。
PID-21	母親の識別情報	250	CX	O	Y		O	N	新生児に対する母親を識別するための情報。
PID-22	民族	250	CWE	O	Y	0189	N	N	患者の民族的起源を定義する。通常は、本フィールドは使用しない。
PID-23	出生地	250	ST	O			N	N	患者の出生地を示す。通常は、本フィールドは使用しない。
PID-24	多胎児識別情報	1	ID	O		0136	N	N	患者が多胎児の一人であったかどうかを示す。通常は、本フィールドは使用しない。
PID-25	誕生順序	2	NM	O			N	N	患者が多胎児の一人であった場合、誕生順序を示す値。通常は、本フィールドは使用しない。
PID-26	市民権	250	CWE	O	Y	0171	N	N	患者個人の市民権のある国を示す。通常は、本フィールドは使用しない。
PID-27	退役軍人状況	250	CWE	O		0172	N	N	退役軍人に割当てられた軍人情報。通常は、本フィールドは使用しない。
PID-28	国籍	250	CWE	B		0212	B	N	旧バージョンと互換をとるためのフィールド。
PID-29	患者死亡日時	26	TS	O			O	N	患者の死亡日時。「YYYYMMDDHHMMSS」
PID-30	患者死亡識別情報	1	ID	O		0136	O	N	患者が死亡したか否かをY(死亡)/Nで表現。

	フィールド名	LEN	DT	OPT	RP	#	JAHIS	SS-MIX2	説明
PID-31	身元不明識別	1	ID	O		0136	O	N	患者の身元確認が行われているかどうか Y(身元不明)/N で示す。
PID-32	識別情報の信頼性	20	IS	O	Y	0445	O	N	患者を識別する上での識別情報の信頼性を示す。
PID-33	最終更新日時	26	TS	O			O	C	患者情報の更新日時。 [SS-MIX2] 「YYYYMMDDHHMMSS」形式。 [条件]患者基本情報の更新(ADT^A08)メッセージのとき必須。
PID-34	最終更新施設	241	HD	O			O	N	患者情報を最後に更新された病院施設の識別情報。
PID-35	種コード	250	CWE	C		0446	C	N	生物学的な種を識別するコード。人間以外の場合に使用。
PID-36	品種コード	250	CWE	C		0447	C	N	動物の特定の品種を識別するコード。
PID-37	血統情報	80	ST	O			O	N	動物の血統を識別するコード。
PID-38	生産分類コード	250	CWE	O	2	0429	O	N	生物の主な用途を示すコード。
PID-39	所属種族	250	CWE	O	Y	0171	N	N	患者の所属種族に関する情報。インディアン事務局等。

プロブレム詳細セグメント (PRB)

表 4 プロブレム詳細セグメント (PRB) 定義

[参照元]JAHIS 病名情報データ交換規約 Ver.3.0C

	フィールド名	LEN	DT	OPT	RP	#	JAHIS	SS-MIX2	説明
PRB-0	セグメントID	3	ST	R			R	R	セグメントID「PRB」を設定する。
PRB-1	アクションコード	2	ID	R		0287	R	R	メッセージの意図を示す。 取りうる値は、HL7 表「0287-プロブレム/ゴールアクションコート」を参照。
PRB-2	アクション日付/時刻	26	TS	R			R	R	アクション符号によって表わされたオペレーションを実行した日付/時刻を含む。 更新時間として利用する。
PRB-3	プロブレム ID	250	CWE	R			R	R	病名表記を一意に表すコード。 推奨値として「ICD10 対応標準病名マスター」の「病名管理番号」を参照し、コーディングシステム名には「MDCDX2」を格納する。
PRB-4	プロブレムインスタンス ID	60	EI	R			R	R	管理番号として利用する。管理番号とは病名情報を一意にする番号のことを指す。
PRB-5	診療 ID エピソード	60	EI	O			O	O	プロブレムが当てはまる診療のエピソードを意図的に識別する。
PRB-6	プロブレムリストの優先権	60	NM	O			O	O	個人のために管理されるリスト上のプロブレムに対する優先度を示す。
PRB-7	プロブレム設定日付/時刻	26	TS	O			O	O	対応するプロブレムが医療提供者によって当初確認された日付/時刻を含む。 診断日として利用する。
PRB-8	予想されるプロブレム解決日付/時刻	26	TS	O			O	O	プロブレム解決の予定日付/時刻を含む。
PRB-9	実際のプロブレム解決日付/時刻	26	TS	O			O	O	プロブレムを実際に解決した日付/時刻を含む。 終了日として利用する。
PRB-10	プロブレムの分類	250	CWE	O			O	O	プロブレムの種類を示す。 診断種別名とICD-10として利用する。診断種別名とは、診断が下された状況を種別する値と定義する。設定は第一成分から第三成分に「ICD-10」の値を設定し、第四成分から第六成分に「診断種別名」を設定し、設定する成分の位置は固定とする。ただし、第二成分は省略と定義する。また、診断種別名は「JAHIS 表 0004-診断種別」を使用し、コーディングシステム名は、「JHSD0004」を用いる。診断種別が特定できない場合は、第四成分から第六成分は省略可とする。 <ICD-10 の値>^110<診断種別>^<テキスト>^JHSD004
PRB-11	プロブレムマネジメント職種	250	CWE	O	Y		O	O	特定のプロブレムを管理するための責任を持つ医療提供者の属性を示す(例えば医療チーム、看護、内科、呼吸治療、作業療法、給食など)。 推奨される標準コードや使用者定義表は定義されていないため、指定する場合はローカルコードを使用する。
PRB-12	プロブレムの長期化	250	CWE	O			O	O	プロブレムの持続性を示す(例えば、急性、慢性、など)。 推奨される標準コードや使用者定義表は定義されていないため、指定する場合はローカルコードを使用する。
PRB-13	プロブレムの確認状態	250	CWE	O			O	O	プロブレムの検証状態を含む。(例えば、確認された、差異、臨時、除外、など)。 疑い病名フラグとして、「JHSD 表 0005-疑い病名フラグ」を利用し、コーディングシステム名は、「JHSD0005」を用いる。
PRB-14	プロブレムのライフサイクル状態	250	CWE	O			O	O	特定の日付/時刻現在のプロブレムの状態を含む。(例えば、アクティブ、アクティブで改善中、アクティブで安定している、アクティブで悪化、アクティブでない、解決された、など)。 転帰区分として利用する。使用する値は、HL7 表「0241-患者の結果」または「JHSD 表 0006-転帰区分」を参照し、コーディングシステム名はそれぞれ「HL70241」、「JHSD0006」を用いる。
PRB-15	プロブレムのライフサイクル状態の日付/時刻	26	TS	O			O	O	現在のプロブレムについてライフサイクル状態の発効日付/時刻を示す。 転帰日として利用する。転帰が死亡、回復、完全回復の場合には、終了日(PRB-9)と転帰日は同じ値でなければならない。それ以外 の転帰の場合は、プロブレムの終了日が空白で、転帰日のみをセットする。

	フィールド名	LEN	DT	OPT	RP	#	JAHIS	SS-MIX2	説明
PRB-16	プロブレムの発生日付	26	TS	O			O	O	プロブレムが始まった日付/時刻を含む。 開始日として利用する。 例) 7月1日 (PRB-16)に受傷した肋骨骨折を7月10日 (PRB-7)に受診して医師が診断した。
PRB-17	プロブレムの発生テキスト	80	ST	O			O	O	プロブレムが発生した時点のテキスト表現を考慮に入れる。 患者の病態をあらわすために実際に入力される文字列として利用する。
PRB-18	プロブレムのランキング	250	CWE	O			O	O	ユーザに定義されたプロブレム優先順位を含む。(例えば数値のランキング、あるいは「第1」「第2」などの単語の使用)。 病名区分として利用する。使用する値は「JHSD 表 0007-病名区分」を使用し、コーディングシステム名は「JHSD0007」を用いる。
PRB-19	プロブレムの確実性	250	CWE	O			O	O	プロブレムの確実性の定量的表現を含む(例えば、HI-高い、LO-低い、ME-中程度)。 推奨される標準コードや使用者定義表は定義されていないため、指定する場合はローカルコードを使用する。
PRB-20	プロブレムの確率(0-1)	5	NM	O			O	O	プロブレムがこの患者のために存在するという確実性の定量的あるいは数値的な表現を含む。 0~1の有効な範囲を持つ。
PRB-21	プロブレムの個々の認識	250	CWE	O			O	O	プロブレムに関する患者自身の理解度を含む。(例えば、十分な、最低限の、部分的な、など)。 推奨される標準コードや使用者定義表は定義されていないため、指定する場合はローカルコードを使用する。
PRB-22	プロブレムの予後	250	CWE	O			O	O	各個人のプロブレムの予後を含む。(例えば、よい、悪い、など)。 推奨される標準コードや使用者定義表は定義されていないため、指定する場合はローカルコードを使用する。
PRB-23	予後についての患者個人の認識	250	CWE	O			O	O	プロブレムの予後について各個人の理解の度合いを含む(例えば、十分な、最低限の、部分的な、など)。 推奨される標準コードや使用者定義表は定義されていないため、指定する場合はローカルコードを使用する。
PRB-24	プロブレム/予後についての家族その他重要な関係者の認識	250	ST	O			O	O	実際のプロブレム/予後の各個人の家族あるいは他の重要な関係者の理解を示す。
PRB-25	セキュリティ/感受性	250	CWE	O			O	O	プロブレムに関するセキュリティや感受性のレベルに関する情報を含む。(例えば、高度に敏感な、敏感でない、敏感な、など)。 機密保護サインとして利用する。取りうる値は、使用者定義表「0177-守秘コード」を参照。

プロブレム拡張セグメント (ZPR)

表 5 プロブレム拡張セグメント (ZPR) 定義

[参照元]JAHIS 病名情報データ交換規約 Ver.3.0C

	フィールド名	LEN	DT	OPT	RP	#	JAHIS	SS-MIX2	説明
ZPR-0	セグメントID	3	ST	-			R	R	セグメントID「ZPR」を設定する。
ZPR-1	修飾語管理番号(接尾語)	250	CWE	-	Y		O	O	「ICD10 対応標準病名マスター」を利用する場合は、接頭語の修飾語管理番号。修飾語が複数存在する場合は、繰り返しを利用するが、「ICD10 対応標準病名マスター」で定義されている修飾語テーブルの「接続位置区分」の規程に従った並び順にする。
ZPR-2	病名管理番号	250	CWH	-			R	R	病名管理番号。 推奨値として「ICD10 対応標準病名マスター」の「病名管理番号」を参照し、コーディングシステム名には「MDCDX2」を格納する。
ZPR-3	修飾語管理番号(接頭語)	250	CWE	-	Y		O	O	「ICD10 対応標準病名マスター」を利用する場合は、接尾語の修飾語管理番号。修飾語が複数存在する場合は、繰り返しを利用するが、「ICD10 対応標準病名マスター」で定義されている修飾語テーブルの「接続位置区分」の規程に従った並び順にする。
ZPR-4	修飾語交換用コード(接頭語)	250	CWE	-	Y		O	O	「ICD10 対応標準病名マスター」を利用する場合は、接尾語の修飾語管理番号。修飾語が複数存在する場合は、繰り返しを利用するが、「ICD10 対応標準病名マスター」で定義されている修飾語テーブルの「接続位置区分」の規程に従った並び順にする。
ZPR-5	病名交換用コード	250	CWE	-			O	O	MEDIS 標準病名集で規定された病名交換用コード。 取りうる値は、「ICD10 対応標準病名マスター」の「病名交換用コード」を参照し、コーディングシステム名には「MDCDX2」を格納する。
ZPR-6	修飾語交換用コード(接尾語)	250	CWE	-	Y		O	O	「ICD10 対応標準病名マスター」を利用する場合は、接尾語の修飾語管理番号。修飾語が複数存在する場合は、繰り返しを利用するが、「ICD10 対応標準病名マスター」で定義されている修飾語テーブルの「接続位置区分」の規程に従った並び順にする。
ZPR-7	コメント	199	ST	-			O	O	病名に付随するコメント。

歯式拡張情報セグメント (ZPD)

表 6 歯式拡張情報セグメント (ZPD) 定義

[参照元]JAHIS 病名情報データ交換規約 Ver.3.0C

	フィールド名	LEN	DT	OPT	RP	#	JAHIS	SS-MIX2	説明
ZPD-0	セグメント ID	3	ST	-			R	R	セグメント ID「ZPD」を設定する。
ZPD-1	セット ID-ZPD	4	SI	-			O	O	ひとつの傷病名に対する歯式情報の繰り返しを 1 から順に最大 64 まで設定する。
ZPD-2	歯式情報	250	CWE	-			O	O	歯式情報をセットする。「JHSD 表 0010-歯式」を使用し、コーディングシステム名は「JHSD0010」を使用する。 ex) 101801 [^] 右側上顎第3大臼歯現存歯遠心類側根 [^] JHSD0010

歯・歯列の位置のデータセットセグメント (ZTP) (追加)

表 7 歯・歯列の位置のデータセットセグメント (ZTP) 定義

	フィールド名	LEN	DT	OPT	RP	#	JAHIS	SS-MIX2	説明
ZTP-0	セグメント ID	3	ST	R			N	N	セグメント ID「ZTP」を設定する。
ZTP-1	セット ID	4	SI	R			N	N	セグメントの反復が許されるメッセージにおいて、反復を識別する為のメッセージ内でのシーケンス番号。初期値 1、増分 1。
ZTP-2	歯式コード	250	CWE	O	Y		N	N	歯・歯列の位置のデータセットの内、歯式を示す。「JHSD 表 0010-歯式」を使用し、コーディングシステム名は「JHSD0010」を使用する。
ZTP-3	歯・歯列の位置のデータセットコード	250	CWE	O	Y		N	N	歯・歯列の位置のデータセットコードを示す。ただし歯式コードは取りうる値は、使用者定義表「0002-口腔状態の標準データセット 位置のデータセット」を参照。

口腔状態のデータセットセグメント (ZDS) (追加)

表 8 口腔状態のデータセットセグメント (ZDS) 定義

	フィールド名	LEN	DT	OPT	RP	#	JAHIS	SS-MIX2	説明
ZDS-0	セグメント ID	3	ST	R			N	N	セグメント ID「ZDS」を設定する。
ZDS-1	セット ID	4	SI	R			N	N	セグメントの反復が許されるメッセージにおいて、反復を識別する為のメッセージ内でのシーケンス番号。初期値 1、増分 1。
ZDS-2	データセットコード	250	CWE	R			N	N	歯のデータセットを示す。取りうる値は、使用者定義表「0001-口腔状態の標準データセット」を参照。 ex) 1.2.2.1.2.1 [^] 全部鑄造冠 [^] ZDS0001
ZDS-4	材料データセットコード	250	CWE	O	Y		N	N	材料のデータセットを示す。取りうる値は、使用者定義表「0003-口腔状態の標準データセット 材料のデータセット」を参照。

注釈・コメントセグメント (NTE)

表 9 注釈・コメントセグメント (NTE) 定義

[参照元]JAHIS データ交換規約 (共通編) Ver.1.1

	フィールド名	LEN	DT	OPT	RP	#	JAHIS	SS-MIX2	説明
NTE-0	セグメント ID	3	ST	O			O	N	セグメント ID「NTE」を設定する。
NTE-1	セット ID-NTE	4	SI	O			O	N	メッセージ中に複数 NTE/NTE セグメントが含まれる場合に使用される。
NTE-2	コメント発生源	8	ID	O		0105	O	N	コメントの発生源を識別するときに使用する。取りうる値は、HL7 表「0105-コメントの発生源」を参照。
NTE-3	コメント	65536	FT	O	Y		O	N	
NTE-4	コメント型	250	CWE	O		0364	O	N	特定のコメントレコード中で送られた、コメントテキストの型を識別する値を含んでいる。推奨値は、使用者定義表「0364-コメント型」を参照。

保険セグメント (Z11)

表 10 保険セグメント (Z11) 定義

[参照元]JAHIS 病名情報データ交換規約 Ver.3.0C

	フィールド名	LEN	DT	OPT	RP	#	JAHIS	SS-MIX2	説明
Z11-0	セグメントID	3	ST	R			R	R	セグメントID「Z11」を設定する。
Z11-1	セットID - INI	4	SI	R			R	R	セグメント内で通し番号
Z11-2	保険プランID	250	CWE	R		0072	R	R	保険種別として利用する。 取りうる値は「JHSD 表 0001-保険種別」を参照し、コーディングシステム名には「JHSD0001」を格納する。
Z11-3	保険会社ID	250	CX	R	Y		R	O	保険者の番号及び保険者の識別として利用する。第1成分に、検証番号を含んだ形で保険者番号を設定し、第2成分以降は使用しない。 格納方法等の詳細は、JAHIS 病名情報データ交換規約 Ver.3.0C「7.12 IN1/Z11-Insurance Segment 保険セグメント」を参照。
Z11-4	保険会社名	250	XON	O	Y		N	C	保険者の名称として利用する。 「表 IN1/ZH-4 保険者名称の詳細」に従って指定する。 [条件]保険分類が MI(医保保険または国民健康保険)、PE(公費保険または地方公費)、TI(自賠)、PS(公務員災害)、PI(公害医療)、OE(自費)、OT(その他)の場合に使用する。
Z11-5	保険会社住所	250	XAD	O	Y		N	N	
Z11-6	保険会社連絡者	250	XPB	O	Y		N	N	
Z11-7	保険会社電話番号	250	XPN	O	Y		N	N	
Z11-8	グループ番号	12	ST	O			N	N	
Z11-9	グループ名	250	XON	O	Y		N	N	
Z11-10	被保険者グループ雇用者ID	250	CX	O	Y		O	C	被保険者番号。 [条件]JAHIS 病名情報データ交換規約 Ver.3.0C「7.12 IN1/Z11-Insurance Segment 保険セグメント」の保険分類が「MI」(主保険)、「PE」(公費)、「LI」(労災)、「TI」(自賠)、「PS」(公務員災害)、「PI」(公害医療)の場合に設定する。
Z11-11	被保険者グループ雇用者名	250	XON	O	Y		O	C	被保険者番号。 [条件]JAHIS 病名情報データ交換規約 Ver.3.0C「7.12 IN1/Z11-Insurance Segment 保険セグメント」の保険分類が「MI」(主保険)、「PI」(公害医療)の場合に設定する。
Z11-12	プラン有効日付	8	DT	O			O	O	「保険交付年月日」をセットする。
Z11-13	プラン失効日付	8	DT	O			O	O	「保険終了年月日」をセットする。
Z11-14	認定情報	239	AUI	O			N	N	SS-MIX2 では使用しない。
Z11-15	プランタイプ	3	IS	O		86	O	C	様々な保険のプランタイプ特定するコードとして利用する。 「JHSD 表 0002-保険のプランタイプ」より保険種別に合ったコードを設定する。 [条件]JAHIS 病名情報データ交換規約 Ver.3.0C「7.12 IN1/Z11-Insurance Segment 保険セグメント」の保険分類が「PE」(公費)の場合には必須とする。 ※但し、「PE」(公費)以外の使用を制限するものではない。
Z11-16	被保険者名	250	XPB	O	Y		N	N	
Z11-17	被保険者と患者の関係	250	CWE	O		0063	O	O	患者と被保険者(保険の適用を受ける人)の関係。 [SS-MIX2] 取りうる値は、HL7 表「0063-続柄」より「SEL」(本人)と「OTH」(その他)を使用する。 <続柄コード>^<名称>^HL70063
Z11-18	被保険者生年月日	26	TS	O			O	N	
Z11-19	被保険者住所	250	XAD	O	Y		O	N	
Z11-20	給付金の配分	2	IS	O		0135	N	N	
Z11-21	給付金の調整	2	IS	O		0173	O	N	
Z11-22	給付金優先順位の a 整	2	ST	O			N	N	
Z11-23	入院通知フラグ	1	ID	O		0136	N	N	
Z11-24	入院通知日付	8	DT	O			N	N	
Z11-25	有資格報告フラグ	1	ID	O		0136	N	N	
Z11-26	有資格報告日付	8	DT	O			N	N	
Z11-27	情報公開コード	2	IS	O		0093	N	N	
Z11-28	入院前認定書(PAC)	15	ST	O			N	N	
Z11-29	確認日付/時刻	26	TS	O			O	N	
Z11-30	確認者	250	XCN	O	Y		N	N	
Z11-31	同意種別コード	2	IS	O		0098	N	N	
Z11-32	請求状況	2	IS	O		0022	N	N	
Z11-33	生涯予備日数	4	NM	O			N	N	
Z11-34	生涯予備日数までの遅延	4	NM	O			N	N	
Z11-35	会社プランコード	8	IS	O		0042	N	N	
Z11-36	ポリシー番号	15	ST	O			N	N	
Z11-37	免責ポリシー	12	CP	O			N	N	
Z11-38	ポリシー—総額	12	CP	B			N	N	
Z11-39	ポリシー—限度日数	4	NM	O			N	N	
Z11-40	室料—準個室	12	CP	B			N	N	
Z11-41	室料—個室	12	CP	B			N	N	
Z11-42	被保険者雇用状態	250	CWE	O		0066	N	N	
Z11-43	被保険者性別	1	IS	O		0001	N	N	
Z11-44	被保険者雇用者住所	250	XAD	O	Y		N	N	
Z11-45	確認状態	2	ST	O			N	N	
Z11-46	以前の保険プランID	8	IS	O		0072	N	N	
Z11-47	保険範囲タイプ	3	IS	O		0309	N	N	

	フィールド名	LEN	DT	OPT	RP	#	JAHIS	SS-MIX2	説明
Z11-48	ハンディキャップ	2	IS	O		0295	N	N	
Z11-49	被保険者 ID 番号	250	CX	O	Y		N	N	
Z11-50	署名コード	1	IS	O		0535	N	N	
Z11-51	署名日	8	DT	O			N	N	
Z11-52	被保険者出生地	250	ST	O			N	N	
Z11-53	VIP 識別	2	IS	O		0099	N	N	

共通オーダーセグメント (ORC)

表 11 共通オーダーセグメント (ORC) 定義

[参照元]JAHIS 病名情報データ交換規約 Ver.3.0C

	フィールド名	LEN	DT	OPT	RP	#	JAHIS	SS-MIX2	説明
ORC-0	セグメント ID	3	ST	R			R	R	セグメント ID「ORC」を設定する。
ORC-1	オーダー制御	2	ID	R		0119	R	R	オーダーセグメントの機能を決定する。取りうる値は、HL7 表「0119-オーダー制御」を参照。新規修正は「NW」、取消「CA」。
ORC-2	依頼者オーダー番号	22	EI	C			R	R	管理番号。 [SS-MIX2] 15 桁・前ゼロ形式。
ORC-3	実施者オーダー番号	22	EI	C			O	O	実施アプリケーションに関連したオーダー番号。 第 1 成分は、オーダー詳述セグメントを識別する 15 文字の文字列である(例 OBR)。 第 2 成分は、実施アプリケーション ID を含んでいる。実施アプリケーション ID は、6 文字までの文字列である。 [SS-MIX2] 15 桁・前ゼロ形式。
ORC-4	依頼者グループ番号	22	EI	O			O	O	オーダー依頼アプリケーションが複数セットのオーダーを一緒にグループ化して後でそれらを識別できるようにする。 第 1 成分は、15 文字までの文字列である。 第 2 成分は、依頼アプリケーション ID である。(ORC-2-依頼者オーダー番号の第 2 成分と同一)
ORC-5	オーダー状態	2	ID	O		0038	O	O	オーダーの状態。取りうる値については HL7 表「0038 -オーダー状態」を参照。
ORC-6	応答フラグ	1	ID	O		0121	O	N	実施者から返されるべき情報の量を決定。取りうる値については HL7 表「0121-応答フラグ」を参照。
ORC-7	数量/タイミング	200	TQ	B	Y		B	N	下位互換を保つ目的のためだけに残されているフィールド。
ORC-8	親	200	EIP	O			N	N	親子のメカニズムの関係が存在するとき子を親に関連付ける。
ORC-9	トランザクション日時	26	TS	O			O	O	「ORC-1 オーダー制御」で示された現在のオーダーが発生した日時。オーダー変更・中止された場合、変更・中止された日時(変更・中止前のオーダーの発生日時ではないことに注意する。) [SS-MIX2] 「YYYYMMDDHHMMSS」形式。
ORC-10	入力者	250	XCN	O	Y		O	O	アプリケーションに実際に入力した人の所属氏名。 [SS-MIX2] <入力者の ID>^<姓>^<名>^<名前タイプ>^<名前表記コード> <名前タイプ>は、HL7 表「0200-名前タイプ」より「L(法的な名前)」を使用、<名前表記コード>は、HL7 表「0465-名前/アドレス表記」に記載されている「I:漢字表記」「P:カナ表記」を使用する。 ex) 1234567^医師^一郎^^^^^^^^^L^^^^^^J
ORC-11	検証者	250	XCN	O	Y		O	N	入力された要求の精度を検証した人の所属氏名等の情報。

※ 「DT」項目

HL7 Ver.2.5 で定義されたフィールドのデータタイプを示す。

詳細な構成については、JAHIS データ交換規約 (共通編) Ver.1.1 (JAHIS 標準 15-002) および SS-MIX2 標準化ストレージ仕様書 Ver.1.2c (2016.02.12 版) を参照。

CWE 型 (コード化値) における注意事項:

第一成分・第二成分、及び第四成分・第五成分におけるコード・名称の属性情報は、出現順序ではなく第三成分・第六成分のコーディングシステム名 (CS 名) で判断する。なお、ローカルコード、標準コードとその名称の出現順序には以下のようなパターンがありうる。

- 1) <ローカルコード>^<ローカル名称>^<ローカル CS 名>
- 2) <標準コード>^<標準名称>^<標準 CS 名>
- 3) ^^<ローカルコード>^<ローカル名称>^<ローカル CS 名>
- 4) ^^<標準コード>^<標準名称>^<標準 CS 名>
- 5) <ローカルコード>^<ローカル名称>^<ローカル CS 名>^<標準コード>^<標準名称>^<標準

CS名>

6) <標準コード>^<標準名称>^<標準 CS 名>^<ローカルコード>^<ローカル名称>^<ローカル CS 名>

※「OPT」項目

HL7 Ver.2.5 で定義されたオプション指定。

表 12 HL7 Ver.2.5 オプション指定

OPT	オプションの内容
R	必須。
O	オプション。
C	トリガイベントおよびその他のフィールド条件により設定要否が決まる。
X	対象のトリガイベントでは使用されない。
B	旧バージョンとの互換用。
-	HL7 Ver.2.5では未使用。JAHISで定義されたZセグメントなど。

※「JAHIS」項目

「JAHIS 交換規約」でのオプション指定。

表 13 「JAHIS」項目オプション指定

OPT	オプションの内容
R	必須。
RE	存在すれば必須(送信側アプリケーションは、該当データがあれば送信しなければならないが、存在しなければ省略する。)
O	オプション。
C	トリガイベントおよびその他のフィールド条件により設定要否が決まる。
X	対象のトリガイベントでは使用されない。
B	旧バージョンとの互換用。
N	通常、使用しない。施設内でのみ使用する。
-	該当する交換規約がJAHISに存在しない。

※「SS-MIX2」項目

「SS-MIX2」でのオプション指定。

表 14 「SS-MIX2」項目オプション指定

OPT	オプションの内容
R	必須。ただし、値がセットできない場合は「'''」をセットする。
RE	存在すれば必須。送信側アプリケーションは、該当データがあれば送信しなければならないが、存在しなければ省略する。
O	オプション。ただし、原則として、送信側アプリケーションに該当データがあれば、必ず送信をしなければならない。
C	トリガイベントおよびその他のフィールド条件により設定要否が決まる。
N	通常、使用しない。施設内でのみ使用する。

3-4 口腔状態のデータセットコード一覧

「口腔状態のデータセット」のコード一覧を示す。

コード表番号	コード表名	コーディングシステム名
0001	口腔状態の標準データセット(歯、有床義歯、ブリッジ・連結冠、矯正装置、口腔病理)	ZDS001
0002	口腔状態の標準データセット(位置)	ZDS002
0003	口腔状態の標準データセット(材料)	ZDS003

参考として5分類、標準プロファイル(26項目)、およびレセコンからのデータ抽出の際の例としてのレセプト電算コード(歯科診療行為、特定器材、傷病名)を併記する。

使用者定義表「0001-口腔状態の標準データセット(歯、有床義歯、ブリッジ・連結冠、矯正装置、口腔病理)」

Value	Description (日本語)	Description (英語)	値	5分類	標準プロファイル (26項目)	レセ電コード
1	歯のデータセット	Tooth Data Set	なし			
1.1	情報の日付	Date of Information	なし			
1.1.1	日付	Date	あり			
1.1.2	不明	Unknown	あり			
1.2	位置	Location	あり			
1.3	歯の状態	Tooth Status	なし			
1.3.1	欠損	Missing/Absent	あり	欠損	20:欠損 (MAM)	310000110:抜歯(乳歯) 310000210:抜歯(前歯) 310000310:抜歯(臼歯) 310000410:抜歯(雑) 310000510:抜歯(埋) 310000810:抜歯窩再掻爬手術 5259011:喪失歯 8845720:歯の欠損
1.3.1.1	補綴あり	Replaced	あり			
1.3.1.1.1	インプラント	Implant	あり		23:インプラント (Impl)	8842369:顎骨インプラント不適合 8842383:歯科インプラント不適合 8842899:顎骨インプラント破損 8842918:歯科インプラント破損 8843646:歯科インプラント周囲炎 8843677:顎骨インプラント予後不良 8843722:歯科インプラント迷入 8843723:歯科インプラント予後不良 8843886:歯科インプラント脱離 9999520:インプラント破損
1.3.1.1.1.1	上部構造	Superstructure	なし			
1.3.1.1.1.1.1	冠	Crown	あり			
1.3.1.1.1.1.1.1	全部鑄造冠	Full Cast Crown	あり		14:全部鑄造冠 (FMC)	
1.3.1.1.1.1.1.2	前装冠	Facing Crown	あり		15:前装冠(HR)	
1.3.1.1.1.1.1.2.1	硬質レジン前装冠	Hard Resin Facing Crown	あり			
1.3.1.1.1.1.1.2.2	陶材焼付冠	Porcelain Bonded Metal Crown	あり			
1.3.1.1.1.1.1.2.3	その他	Other	あり			
1.3.1.1.1.1.1.3	歯冠色の冠	Tooth-Colored Crown	あり			
1.3.1.1.1.1.1.4	暫間被覆冠	Temporary Crown	あり			
1.3.1.1.1.1.1.5	その他	Other	あり			
1.3.1.1.1.1.2	義歯用維持装置	Overdenture Attachment	あり			
1.3.1.1.1.1.2.1	歯冠内アタッチメント	Intracoronal Attachment	あり			
1.3.1.1.1.1.2.2	歯冠外アタッチメント	Extracoronal Attachment	あり			
1.3.1.1.1.1.2.3	バーアタッチメント	Bar Attachment	あり			
1.3.1.1.1.1.2.4	その他	Other	あり			
1.3.1.1.1.1.3	上部構造なし	Without Superstructure	あり			
1.3.1.1.1.1.4	その他	Other	あり			
1.3.1.1.1.2	アバットメント	Abutment	なし			
1.3.1.1.1.2.1	アバットメントあり	With Abutment	あり			
1.3.1.1.1.2.2	アバットメントなし	Without Abutment	あり			

Value	Description (日本語)	Description (英語)	値	5分類	標準プロファイル (26項目)	レセ電コード
	(インプラント体のみ)					
1.3.1.1.2.3	その他	Other	あり			
1.3.1.1.3	インプラント体	Fixture	なし			
1.3.1.1.3.1	骨膜下	Subperiosteal	あり			
1.3.1.1.3.2	ブレード型	Blade	あり			
1.3.1.1.3.3	歯根型	Root-Form	あり			
1.3.1.1.3.3.1	シリンダー	Cylindrical	あり			
1.3.1.1.3.3.2	スクリュー	Screw	あり			
1.3.1.1.3.4	その他	Other	あり			
1.3.1.1.4	装置を識別できる特徴	Device Identifying Characteristics	なし			
1.3.1.1.4.1	製造業者	Manufacturer	あり			
1.3.1.1.4.2	装置の名称	Device Name	あり			
1.3.1.1.4.3	部品番号	Part Number	あり			
1.3.1.1.4.4	製造番号	Serial Number	あり			
1.3.1.1.4.5	その他	Other	あり			
1.3.1.1.2	ポンティック	Pontic	あり		18:ポンティック (Pon)	313015410:ポンティック 8839848:ブリッジ破損 8842426:ブリッジ過高 8842427:ブリッジ不適合 8842673:インレーブリッジ脱離 8842674:インレーブリッジ破損 8842675:インレーブリッジ不適合 8842849:ブリッジ前装部脱離 8842850:ブリッジ前装部破損 8842851:ブリッジ前装部不適合 8842852:ブリッジ脱離 8843835:インレーブリッジ粗造 8843958:ブリッジ粗造 8843959:ブリッジ低位 8844172:欠損歯・ブリッジ
1.3.1.1.2.1	鑄造ポンティック	Cast Pontic	あり			
1.3.1.1.2.2	前装ポンティック	Facing Pontic	あり			313015570:レジン前装金属ポンティック加算
1.3.1.1.2.2.1	硬質レジン前装	Hard Resin Facing	あり			
1.3.1.1.2.2.2	陶材焼付	Porcelain Bonded	あり			
1.3.1.1.2.2.3	その他	Other	あり			
1.3.1.1.2.3	歯冠色のポンティック	Tooth-Colored Pontic	あり			
1.3.1.1.2.4	金属裏装ポンティック	Metal Backed Pontic	あり			313015670:金属裏装ポンティック加算
1.3.1.1.2.5	その他	Other	あり			
1.3.1.1.3	有床義歯	Plate Denture	あり		22:義歯(人工歯あり)(Den)	313005310:装着(欠損補綴(有床義歯(少数歯欠損))) 313005410:装着(欠損補綴(有床義歯(多数歯欠損))) 313005510:装着(欠損補綴(有床義歯(総義歯))) 313005610:装着(欠損補綴(有床義歯修理(少数歯欠損))) 313005710:装着(欠損補綴(有床義歯修理(多数歯欠損))) 313005810:装着(欠損補綴(有床義歯修理(総義歯))) 5250001:欠損歯 8842706:義歯不適合 8843691:義歯床下粘膜異常 8843862:義歯過高 8843863:義歯床粘膜面不適合 8843864:義歯低位 8844171:欠損歯・増歯 8844173:欠損歯・裏装 8845543:局部義歯過高 8845545:局部義歯義歯床粘膜面不適合 8845546:局部義歯咬合面不適合 8845547:局部義歯義歯床下粘膜異常 8845548:局部義歯低位 8845549:局部義歯破損 8845550:局部義歯不適合 8845574:総義歯過高 8845575:総義歯義歯床粘膜面不適合 8845576:総義歯咬合面不適合 8845577:総義歯義歯床下粘膜異常 8845578:総義歯低位 8845579:総義歯破損 8845580:総義歯不適合 8845646:旧義歯破損 8845780:欠損歯・床適合 8846555:旧義歯不適合 9999524:義歯破損 9999527:義歯咬合面不適合

Value	Description (日本語)	Description (英語)	値	5分類	標準プロファイル (26項目)	レセ電コード
1.3.1.1.4	その他	Other	あり			
1.3.1.2	補綴なし	Not Replaced	あり			
1.3.2	歯あり	Present	あり		25: 歯牙あり (Pre)	5210011:根充済み 8830786:う蝕処置済み歯 5220063:歯髄炎 5233010:急性化膿性歯根膜炎 8842445:未研磨歯 8845605:変色歯 5218012:象牙質知覚過敏症 5244007:咬合異常 5217003:着色歯 5236008:歯石沈着症 5234009:歯周炎 5234016:慢性歯周炎 8843615:慢性辺縁性歯周炎軽度 8843617:慢性辺縁性歯周炎中等度 8843616:慢性辺縁性歯周炎重度 8843711:咬合性外傷 5231014:壊疽性歯肉炎 5231027:増殖性歯肉炎 5231029:単純性歯肉炎 5231039:肥大性歯肉炎 8839668:複雑性歯肉炎 8843130:壊死性潰瘍性歯肉炎 8843607:萌出性歯肉炎 8843947:歯の鋭縁 等
1.3.2.1	修復なし	Unrestored (Virgin)	あり			
1.3.2.1.1	健全歯	Sound Tooth	あり	健全歯	2: 健全歯 (Sou)	
1.3.2.1.2	その他	Other	あり			
1.3.2.2	修復あり	Restored	あり			
1.3.2.2.1	歯冠修復の種類	Type of Coronal Restoration	なし			313000610:生PZ(金属冠) 313000710:生PZ(非金属冠) 313000810:生PZ(乳歯金属冠) 313000910:失PZ(金属冠) 313001010:失PZ(非金属冠) 313001110:失PZ(乳歯金属冠) 313001210:KP(単純) 313001310:KP(複雑) 313002010:充形 313002210:修形 313014550:生PZ(複合レジン冠) 313014650:失PZ(複合レジン冠)
1.3.2.2.1.1	部分修復	Partial Restoration	あり	部分修復		
1.3.2.2.1.1.1	充填	Filling	あり			313023550:充填(充填材料のみ) 313024310:充填1(単純) 313024410:充填1(複雑) 313024510:充填2(単純) 313024610:充填2(複雑)
1.3.2.2.1.1.1.1	アマルガム充填	Amalgam Filling	あり		8: アマルガム充填 (AF)	313009720:(材)銀錫アマルガム(単) 313009820:(材)銀錫アマルガム(複)
1.3.2.2.1.1.1.2	歯冠色の充填	Tooth-Colored Filling	あり		5: CR充填、セメント 充填ほか(CR)	
1.3.2.2.1.1.1.2.1	コンポジットレジン 充填	Composite Resin Filling	あり			313009920:(材)歯科充填用材料1(複 合レジン系・単) 313010020:(材)歯科充填用材料1(複 合レジン系・複) 313010120:(材)歯科充填用材料2(複 合レジン系・単) 313010220:(材)歯科充填用材料2(複 合レジン系・複)
1.3.2.2.1.1.1.2.2	セメント充填	Cement Filling	あり			313010320:(材)歯科充填用材料3 313026020:(材)歯科充填用材料1(グラ スアイオノマー系・単) 313026120:(材)歯科充填用材料1(グラ スアイオノマー系・複) 313026220:(材)歯科充填用材料2(グラ スアイオノマー系・単) 313026320:(材)歯科充填用材料2(グラ スアイオノマー系・複)
1.3.2.2.1.1.1.3	仮封・暫間充填	Temporary Filling	あり			
1.3.2.2.1.1.1.4	その他	Other	あり			
1.3.2.2.1.1.2	インレー・アンレ ー・部分被覆冠	Inlay, Onlay, Cast Partial Coverage Restoration	あり		6: インレー・アンレ ー、3/4冠、4/5 冠 金属色(In) 7: インレー・アンレ ー、3/4冠、4/5 冠 歯冠色(InTC)	
1.3.2.2.1.1.2.1	インレー	Inlay	あり			313009350:CRインレー1(単純) 313009450:CRインレー1(複雑) 313009550:SRインレー1(単純) 313009650:SRインレー1(複雑) 313010410:金属歯冠修復(インレー(単 純))

Value	Description (日本語)	Description (英語)	値	5分類	標準プロファイル (26項目)	レセ電コード
						313010510:金属歯冠修復(インレー(複雑)) 313025150:CRインレー2(単純) 313025250:CRインレー2(複雑) 313025350:SRインレー2(単純) 313025450:SRインレー2(複雑)
1.3.2.2.1.1.2.2	アンレー	Onlay	あり			
1.3.2.2.1.1.2.3	部分被覆冠(3/4冠・4/5冠・開面金属冠など)	Cast Partial Coverage Crown (3/4 Crown, 4/5 Crown, etc.)	あり			313010610:金属歯冠修復(3/4冠(前歯)) 313010710:金属歯冠修復(4/5冠(小臼歯及び大臼歯))
1.3.2.2.1.1.2.4	暫間修復	Temporary Restoration	あり			
1.3.2.2.1.1.3	ラミネートベニア	Laminate Veneer	あり			
1.3.2.2.1.1.4	接着ブリッジの支台装置	Abutment of Bonded Bridge	あり			
1.3.2.2.1.1.5	修復物のない治療痕(窩洞形成済など)	Cavity/Abutment without Restoration	あり			
1.3.2.2.1.1.6	その他	Other	あり			
1.3.2.2.1.2	全部修復	Full Crown Restoration	あり	全部修復		
1.3.2.2.1.2.1	全部鑄造冠	Full Cast Crown	あり			313010810:金属歯冠修復(全部金属冠(小臼歯及び大臼歯))
1.3.2.2.1.2.2	前装冠	Facing Crown	あり			
1.3.2.2.1.2.2.1	硬質レジン前装冠	Hard Resin Facing Crown	あり			313013810:レジン前装金属冠
1.3.2.2.1.2.2.2	陶材焼付冠	Porcelain Bonded Metal Crown	あり			
1.3.2.2.1.2.2.3	その他	Other	あり			
1.3.2.2.1.2.3	ジャケット冠	Jacket Crown	あり		16:ジャケット冠(HJC)	313014410:ジャケット冠 313014750:複合レジン冠 313014910:硬ジ 313025510:CAD/CAM冠
1.3.2.2.1.2.4	鑄造でない金属冠(帯冠金属冠・嚼面金属冠・無縫冠など)	Metal Crown without Casting	あり			
1.3.2.2.1.2.5	乳歯冠	Crown for Deciduous Tooth	あり			313015210:乳歯金属冠
1.3.2.2.1.2.6	暫間被覆冠	Temporary Crown	あり			313004510:TeC
1.3.2.2.1.2.7	修復物のない治療痕(支台歯形成済など)	Abutment without Restoration	あり			
1.3.2.2.1.2.8	その他	Other	あり			
1.3.2.2.1.3	根面被覆	Root Coverage	あり		19:残根・根面版ほか(C4)	
1.3.2.2.1.4	義歯用維持装置	Overdenture Attachment	あり			
1.3.2.2.1.4.1	歯冠内アタッチメント	Intracoronal Attachment	あり			
1.3.2.2.1.4.2	歯冠外アタッチメント	Extracoronal Attachment	あり			
1.3.2.2.1.4.3	根面アタッチメント	Root Attachment	あり			
1.3.2.2.1.4.4	バーアタッチメント	Bar Attachment	あり			
1.3.2.2.1.4.5	その他	Other	あり			
1.3.2.2.1.5	その他	Other	あり			
1.3.2.2.2	根管の処置	Root Therapy	なし			309002110:抜髄(単根管) 309002210:抜髄(2根管) 309002310:抜髄(3根管以上) 309002410:早期抜髄(AIPC後3月以内)(単根管) 309002510:早期抜髄(AIPC後3月以内)(2根管) 309002610:早期抜髄(AIPC後3月以内)(3根管以上) 309002710:早期抜髄(直保護後1月以内)(単根管) 309002810:早期抜髄(直保護後1月以内)(2根管) 309002910:早期抜髄(直保護後1月以内)(3根管以上) 309003010:感染根処(単根管) 309003110:感染根処(2根管) 309003210:感染根処(3根管以上) 309003310:根管貼薬(単根管) 309003410:根管貼薬(2根管) 309003510:根管貼薬(3根管以上)
1.3.2.2.2.1	根管処置中	Root Canal Under Treatment	あり			
1.3.2.2.2.1.1	1根管	1 Root Canal	あり			
1.3.2.2.2.1.2	2根管	2 Root Canals	あり			
1.3.2.2.2.1.3	3根管	3 Root Canals	あり			

Value	Description (日本語)	Description (英語)	値	5分類	標準プロファイル (26項目)	レセ電コード
1.3.2.2.1.4	4根管	4 Root Canals	あり			
1.3.2.2.1.5	その他	Other	あり			
1.3.2.2.2	根管充填	Filled Root Canal	あり			309003610:根充(単根管) 309003710:根充(2根管) 309003810:根充(3根管以上) 309011930:抜髄即充(単根管) 309012030:抜髄即充(単根管)(訪問診療加算) 309012130:抜髄即充(2根管) 309012230:抜髄即充(2根管)(訪問診療加算) 309012330:抜髄即充(3根管以上) 309012430:抜髄即充(3根管以上)(訪問診療加算) 309012530:抜髄即充(AIPC後3月以内・単根管) 309012630:抜髄即充(AIPC後3月以内・単根管)(訪問診療加算) 309012730:抜髄即充(AIPC後3月以内・2根管) 309012830:抜髄即充(AIPC後3月以内・2根管)(訪問診療加算) 309012930:抜髄即充(AIPC後3月以内・3根管以上) 309013030:抜髄即充(AIPC後3月以内・3根管以上)(訪問診療加算) 309013130:抜髄即充(直保護後1月以内・単根管) 309013230:抜髄即充(直保護後1月以内・単根管)(訪問診療加算) 309013330:抜髄即充(直保護後1月以内・2根管) 309013430:抜髄即充(直保護後1月以内・2根管)(訪問診療加算) 309013530:抜髄即充(直保護後1月以内・3根管以上) 309013630:抜髄即充(直保護後1月以内・3根管以上)(訪問診療加算) 309013730:感根即充(単根管) 309013830:感根即充(単根管)(訪問診療加算) 309013930:感根即充(2根管) 309014030:感根即充(2根管)(訪問診療加算) 309014130:感根即充(3根管以上) 309014230:感根即充(3根管以上)(訪問診療加算)
1.3.2.2.2.1	1根管	1 Root Canal	あり			
1.3.2.2.2.2	2根管	2 Root Canals	あり			
1.3.2.2.2.3	3根管	3 Root Canals	あり			
1.3.2.2.2.4	4根管	4 Root Canals	あり			
1.3.2.2.2.5	その他	Other	あり			
1.3.2.2.3	根尖切除	Apicoectomy	あり			310001110:根切(2以外の場合) 310033010:根切(歯科CT撮影装置及び手術用顕微鏡)
1.3.2.2.4	支台築造・ポスト挿入	Core Built-Up, Post Inserted	あり			313002310:支台築造(メタルコア(大臼歯)) 313002410:支台築造(メタルコア(小臼歯及び前歯)) 313002510:支台築造(その他)
1.3.2.2.5	その他	Other	あり			
1.3.3	付加情報	Concurrent Information	なし			
1.3.3.1	未萌出・萌出途上	Unerupted, Erupting	あり			
1.3.3.2	埋伏歯	Impacted Tooth	あり		4:半埋伏・埋伏(RT)	5206035:埋伏智歯 5206039:埋伏歯 5206040:完全埋伏歯 8844667:下顎骨性完全埋伏智歯 8844719:骨性完全埋伏歯 8847164:完全水平埋伏智歯 5206041:半埋伏歯 8847243:半埋伏智歯
1.3.3.3	根の数	Number of Roots	なし			
1.3.3.3.1	1	1	あり			
1.3.3.3.2	2	2	あり			
1.3.3.3.3	3	3	あり			
1.3.3.3.4	4	4	あり			
1.3.3.3.5	その他	Other	あり			
1.3.3.4	根管の数	Number of Root Canals	なし			
1.3.3.4.1	1	1	あり			
1.3.3.4.2	2	2	あり			
1.3.3.4.3	3	3	あり			

Value	Description (日本語)	Description (英語)	値	5分類	標準プロファイル (26項目)	レセ電コード
1.3.3.4.4	4	4	あり			
1.3.3.4.5	その他	Other	あり			
1.3.3.5	予防処置	Prophylactic Treatment	あり			
1.3.3.5.1	シーラント	Sealant	あり			309001710:シーラント
1.3.3.5.2	その他	Other	あり			
1.3.3.6	CO	Caries Observation Tooth	あり			
1.3.3.7	う蝕	Caries	あり		3:C1~C3・(治療中も含む)(C123)	8830787:う蝕第1度 8830788:う蝕第2度 8830789:う蝕第3度 8843836:う蝕 8843917:セメント質う蝕 8843937:停止性う蝕
1.3.3.8	二次う蝕	Secondary Caries	あり			8838389:二次う蝕 8838390:二次う蝕第1度 8838391:二次う蝕第2度 8838392:二次う蝕第3度
1.3.3.9	残根	Retained Root	あり		19:残根・根面版ほか(C4)	8834149:残根
1.3.3.10	サホライド塗布	Silver Diamine Fluoride Application	あり			309001510:サホ塗布(3歯まで) 309001610:サホ塗布(4歯以上)
1.3.3.11	レストシート形成	Rest Seat Preparation	あり			309000550:鈎歯・対合歯削除(1歯以上10歯未満) 309000850:鈎歯・対合歯削除(10歯以上)
1.3.3.12	ガイドプレーン形成	Guide Plane Preparation	あり			
1.3.3.13	咬合調整・対合歯調整	Occlusal Equilibration	あり			309000550:鈎歯・対合歯削除(1歯以上10歯未満) 309000850:鈎歯・対合歯削除(10歯以上)
1.3.3.14	歯科修復物の脱離	Detachment of Dental Restoration	あり			8842653:SRインソットインレー脱離 8842673:インレーブリッジ脱離 8842716:硬質レジンジャケット脱離 8842738:歯冠継続歯脱離 8842763:ジャケット冠脱離 8842766:充填物脱離 8842782:前装金属冠前装部脱離 8842785:前装金属冠脱離 8842787:全部金属冠脱離 8842795:帯環金属冠脱離 8842824:乳歯金属冠脱離 8842849:ブリッジ前装部脱離 8842852:ブリッジ脱離 8842881:連結冠脱離 8843642:アマルガム脱離 8843697:グラスアイオノマーセメント脱離 8843718:コンポジットレジン脱離 8843727:初期う蝕小窩裂溝充填塞材脱離 8843811:4分の3冠脱離 8843817:5分の4冠脱離 8843831:インレー脱離 8843878:コンポジットレジンインレー脱離 8843888:歯冠継続歯人工歯脱離 8843897:歯冠補綴物脱離 8845430:金属歯冠修復脱離 8848016:CAD/CAM冠脱離
1.3.3.15	歯科修復物の破損	Fracture of Dental Restoration	あり			8839848:ブリッジ破損 8842655:SRインソットインレー破損 8842674:インレーブリッジ破損 8842704:金属裏装ボンティック破損 8842767:充填物破損 8842783:前装金属冠前装部破損 8842786:前装金属冠ボンティック破損 8842796:帯環金属冠破損 8842806:金属ボンティック破損 8842850:ブリッジ前装部破損 8842854:ボンティック破損 8842882:連結冠破損 8843644:アマルガム破損 8843699:グラスアイオノマーセメント破損 8843720:コンポジットレジン破損 8843728:初期う蝕小窩裂溝充填塞材破損 8843813:4分の3冠破損 8843819:5分の4冠破損 8843833:インレー破損 8843872:硬質レジンジャケット冠破損 8843880:コンポジットレジンインレー破損 8843889:歯冠継続歯人工歯破損 8843893:歯冠継続歯破損 8843899:歯冠補綴物破損 8843912:ジャケット冠破損 8843923:前装金属冠破損 8843928:全部金属冠破損 8843943:乳歯金属冠破損 8845432:金属歯冠修復破損

Value	Description (日本語)	Description (英語)	値	5分類	標準プロファイル (26項目)	レセ電コード
						8848018:CAD/CAM冠破損
1.3.3.16	歯の固定	Fixation of Tooth	あり			
1.3.3.16.1	ダイレクトボンディング	Direct Bonding	あり			
1.3.3.16.2	線結紮	Wire Ligature	あり			
1.3.3.16.3	その他	Other	あり			
1.3.3.17	刻印など	Marking	あり			
1.3.3.17.1	説明(テキスト説明)	Description (Text Description)	あり			
1.3.3.18	その他	Other	あり			
2	有床義歯のデータセット	Plate Denture Data Set	なし			5250001:欠損歯 8842706:義歯不適合 8843691:義歯床下粘膜異常 8843862:義歯過高 8843863:義歯床粘膜面不適合 8843864:義歯低位 8844171:欠損歯・増歯 8844173:欠損歯・裏装 8845543:局部義歯過高 8845545:局部義歯義歯床粘膜面不適合 8845546:局部義歯咬合面不適合 8845547:局部義歯義歯床下粘膜異常 8845548:局部義歯低位 8845549:局部義歯破損 8845550:局部義歯不適合 8845574:総義歯過高 8845575:総義歯義歯床粘膜面不適合 8845576:総義歯咬合面不適合 8845577:総義歯義歯床下粘膜異常 8845578:総義歯低位 8845579:総義歯破損 8845580:総義歯不適合 8845646:旧義歯破損 8845780:欠損歯・床適合 8846555:旧義歯不適合 9999524:義歯破損 9999527:義歯咬合面不適合
2.1	情報の日付	Date of Information	なし			
2.1.1	日付	Date	あり			
2.1.2	不明	Unknown	あり			
2.2	種類	Type of Denture	なし			
2.2.1	全部床義歯	Full Denture	あり			313017010:有床義歯(総義歯) 313018010:熱可塑性樹脂有床義歯(総義歯)
2.2.1.1	補綴部位の歯式	Dental Formula for Prosthesis	あり			
2.2.1.2	床	Plate	あり			
2.2.1.2.1	床形態	Plate Type	なし			
2.2.1.2.1.1	無口蓋	Roofless	あり			
2.2.1.2.1.2	口蓋被覆	Roof Covered	あり			
2.2.1.3	人工歯	Artificial Tooth	あり			
2.2.1.4	Tenchの間隙	Tench's Space	あり			
2.2.2	オーバーデンチャー(残根上義歯を含む)	Overdenture	あり			
2.2.2.1	補綴部位の歯式	Dental Formula for Prosthesis	あり			
2.2.2.2	設計	Design	なし			
2.2.2.2.1	両側処理	Bilateral	あり			
2.2.2.2.1.1	大連結子	Major Connector	あり			
2.2.2.2.1.1.1	バー	Bar	あり			
2.2.2.2.1.1.2	ストラップ	Strap	あり			
2.2.2.2.1.1.3	プレート	Plate	あり			
2.2.2.2.1.1.4	その他	Other	あり			
2.2.2.2.2	その他	Other	あり			
2.2.2.2.2	片側処理	Unilateral	あり			
2.2.2.3	維持装置*	Retainer	なし			
2.2.2.3.1	支台歯の歯式	Dental Formula of Abutment Tooth	あり			
2.2.2.3.2	種類	Type	なし			
2.2.2.3.2.1	鉤	Clasp	あり			
2.2.2.3.2.1.1	線鉤	Wire Clasp	あり			
2.2.2.3.2.1.1.1	単腕鉤	Single-Arm Clasp	あり			
2.2.2.3.2.1.1.2	二腕鉤	Two-Arm Clasp	あり			313019610:線鉤(二腕鉤(レストつき)) 313019710:線鉤(レストなし)
2.2.2.3.2.1.1.3	双子鉤	Double Clasp	あり			313019610:線鉤(双子鉤)
2.2.2.3.2.1.1.4	その他	Other	あり			
2.2.2.3.2.1.2	鑄造鉤	Cast Clasp	あり			
2.2.2.3.2.1.2.1	二腕鉤	Two-Arm Clasp	あり			313018310:鑄造鉤(二腕鉤)
2.2.2.3.2.1.2.2	双子鉤	Double Akers Clasp	あり			313018210:鑄造鉤(双子鉤)

Value	Description (日本語)	Description (英語)	値	5分類	標準プロファイル (26項目)	レセ電コード
2.2.2.3.2.1.2.3	その他	Other	あり			
2.2.2.3.2.1.3	コンビネーション 鉤	Combination Clasp	あり			313025710:コンビネーション鉤
2.2.2.3.2.1.4	その他	Other	あり			
2.2.2.3.2.2	磁性アタッチメント	Magnetic Attachment	あり			
2.2.2.3.2.3	テレスコープ	Telescopic Crown	あり			
2.2.2.3.2.4	ノンクラスプ型	Non Clasp Type	あり			
2.2.2.3.2.4.1	金属あり(レスト, 把持腕など)	With Metal Component	あり			
2.2.2.3.2.4.2	金属なし	Without Metal Component	あり			
2.2.2.3.2.5	その他	Other	あり			
2.2.2.4	床	Plate	あり			
2.2.2.4.1	床形態	Plate Type	なし			
2.2.2.4.1.1	無口蓋	Roofless	あり			
2.2.2.4.1.2	口蓋被覆	Roof Covered	あり			
2.2.2.5	人工歯	Artificial Tooth	あり			
2.2.2.6	Tenchの間隙	Tench's Space	あり			
2.2.2.7	インプラント被覆	Implant Coverage	なし			
2.2.2.7.1	あり	With	あり			
2.2.2.7.1.1	インプラント被覆 の種類	Type of Implant Coverage	なし			
2.2.2.7.1.1.1	フィメール	Female	あり			
2.2.2.7.1.1.2	アタッチメント	Attachment	あり			
2.2.2.7.1.1.3	テレスコープ	Telescopic Coping	あり			
2.2.2.7.1.1.4	その他	Other	あり			
2.2.2.7.2	なし	Without	あり			
2.2.3	部分床義歯	Removable Partial Denture	あり			313016610:有床義歯(局部義歯(1歯~4歯)) 313016710:有床義歯(局部義歯(5歯~8歯)) 313016810:有床義歯(局部義歯(9歯~11歯)) 313016910:有床義歯(局部義歯(12歯~14歯)) 313017610:熱可塑性樹脂有床義歯(局部義歯(1歯~4歯)) 313017710:熱可塑性樹脂有床義歯(局部義歯(5歯~8歯)) 313017810:熱可塑性樹脂有床義歯(局部義歯(9歯~11歯)) 313017910:熱可塑性樹脂有床義歯(局部義歯(12歯~14歯))
2.2.3.1	補綴部位の歯式	Dental Formula for Prosthesis	あり			
2.2.3.2	設計	Design	なし			
2.2.3.2.1	両側処理	Bilateral	あり			
2.2.3.2.1.1	大連結子	Major Connector	あり			
2.2.3.2.1.1.1	バー	Bar	あり			
2.2.3.2.1.1.2	ストラップ	Strap	あり			
2.2.3.2.1.1.3	プレート	Plate	あり			
2.2.3.2.1.1.4	その他	Other	あり			
2.2.3.2.1.2	その他	Other	あり			
2.2.3.2.2	片側処理	Unilateral	あり			
2.2.3.3	維持装置*	Retainer	なし			
2.2.3.3.1	支台歯の歯式	Dental Formula of Abutment Tooth	あり			
2.2.3.3.2	種類	Type	なし			
2.2.3.3.2.1	鉤	Clasp	あり			
2.2.3.3.2.1.1	線鉤	Wire Clasp	あり			
2.2.3.3.2.1.1.1	単純鉤	Single-Arm Clasp	あり			
2.2.3.3.2.1.1.2	二腕鉤	Two-Arm Clasp	あり			
2.2.3.3.2.1.1.3	双子鉤	Double Clasp	あり			
2.2.3.3.2.1.1.4	その他	Other	あり			
2.2.3.3.2.1.2	鑄造鉤	Cast Clasp	あり			
2.2.3.3.2.1.2.1	二腕鉤	Two-Arm Clasp	あり			
2.2.3.3.2.1.2.2	双子鉤	Double Akers Clasp	あり			
2.2.3.3.2.1.2.3	その他	Other	あり			
2.2.3.3.2.1.3	コンビネーション 鉤	Combination Clasp	あり			
2.2.3.3.2.1.4	その他	Other	あり			
2.2.3.3.2.2	ノンクラスプ型	Non Clasp Type	あり			
2.2.3.3.2.2.1	金属あり(レスト, 把持腕など)	With Metal Component	あり			
2.2.3.3.2.2.2	金属なし	Without Metal Component	あり			
2.2.3.3.2.3	その他	Other	あり			

Value	Description (日本語)	Description (英語)	値	5分類	標準プロファイル (26項目)	レセ電コード
2.2.3.4	床	Plate	あり			
2.2.3.4.1	床形態	Plate Type	なし			
2.2.3.4.1.1	無口蓋	Roofless	あり			
2.2.3.4.1.2	口蓋被覆	Roof Covered	あり			
2.2.3.5	人工歯	Artificial Tooth	あり			
2.3	付加情報	Concurrent Information	なし			
2.3.1	ポストダム	Post Dam	あり			
2.3.2	補強線	Reinforcing Wire	あり			
2.3.2.1	上顎	Maxilla	あり			
2.3.2.2	下顎	Mandibular	あり			
2.3.2.3	その他	Other	あり			
2.3.3	修理の状況*	Repair Status	なし			
2.3.3.1	対象	Target	なし			
2.3.3.1.1	床	Plate	あり			
2.3.3.1.1.1	破折修理	Fracture Repair	あり			313021610:有床義歯修理
2.3.3.1.1.1.1	上顎	Maxilla	あり			
2.3.3.1.1.1.2	下顎	Mandibular	あり			
2.3.3.1.1.1.3	その他	Other	あり			
2.3.3.1.1.2	リライン・リベース	Reline/Rebase	あり			313021810:有床義歯内面適合法(局部義歯(1歯~4歯)) 313021910:有床義歯内面適合法(局部義歯(5歯~8歯)) 313022010:有床義歯内面適合法(局部義歯(9歯~11歯)) 313022110:有床義歯内面適合法(局部義歯(12歯~14歯)) 313022210:有床義歯内面適合法(総義歯)
2.3.3.1.1.2.1	上顎	Maxilla	あり			
2.3.3.1.1.2.2	下顎	Mandibular	あり			
2.3.3.1.1.2.3	その他	Other	あり			
2.3.3.1.2	クラスプ	Clasp	あり			
2.3.3.1.3	人工歯	Artificial Tooth	あり			
2.3.3.1.4	その他	Other	あり			
2.3.3.2	状態	Status	なし			
2.3.3.2.1	修理済み	Repaired	あり			
2.3.3.2.2	未修理	Unrepaired	あり			
2.3.3.2.3	その他	Other	あり			
2.3.4	顎義歯	Denture for Defected Jaw	あり			
2.3.4.1	対象	Target	なし			
2.3.4.1.1	上顎	Maxilla	あり			
2.3.4.1.1.1	栓塞子	Obturator	あり			
2.3.4.1.1.1.1	天蓋開放型	Open-Top Type	あり			
2.3.4.1.1.1.2	中空型	Hollow Type	あり			
2.3.4.1.1.1.3	充実型	Solid Type	あり			
2.3.4.1.2	下顎	Mandibular	あり			
2.3.4.1.3	その他	Other	あり			
2.3.5	義歯刻印など	Denture Marking	あり			
2.3.5.1	説明(テキスト説明)	Description (Text Description)	あり			
2.3.6	その他	Other	あり			
3	ブリッジ・連結冠のデータセット	Bridge/Splinted Crowns Data Set	なし			8839848:ブリッジ破損 8842426:ブリッジ過高 8842427:ブリッジ不適合 8842673:インレーブリッジ脱離 8842674:インレーブリッジ破損 8842675:インレーブリッジ不適合 8842849:ブリッジ前装部脱離 8842850:ブリッジ前装部破損 8842851:ブリッジ前装部不適合 8842852:ブリッジ脱離 8843835:インレーブリッジ粗造 8843958:ブリッジ粗造 8843959:ブリッジ低位 8844172:欠損歯・ブリッジ 8842881:連結冠脱離 8842882:連結冠破損 8842883:連結冠不適合 8843979:連結冠過高 8843980:連結冠粗造 8843981:連結冠低位
3.1	情報の日付	Date of Information	なし			
3.1.1	日付	Date	あり			
3.1.2	不明	Unknown	あり			
3.2	ブリッジ・連結冠の歯式	Dental Formula of Bridge/Splinted Crowns	あり			313005010:不適合装着(5歯以下) 313005110:Br装着(6歯以上) 313006750:Br再装着(5歯以下)

Value	Description (日本語)	Description (英語)	値	5分類	標準プロファイル (26項目)	レセ電コード
						313006850:Br再装着(6歯以上) 313024110:装着 313024210:再装着
3.3	種類	Type	なし			
3.3.1	固定式	Fixed	あり			
3.3.2	可撤式	Removable	あり			
3.3.3	半固定式	Semi-Fixed	あり			
4	矯正装置のデータセット	Orthodontic Appliance Data Set	なし			
4.1	情報の日付	Date of Information	なし			
4.1.1	日付	Date	あり			
4.1.2	不明	Unknown	あり			
4.2	位置	Location	なし			
4.2.1	矯正装置の部位	Dental Formula for Orthodontic Appliance	あり			
4.2.2	その他	Other	あり			
4.3	種類	Type	なし			
4.3.1	可撤式	Removable	あり			
4.3.1.1	装置のタイプ	Type of Appliance	なし			
4.3.1.1.1	床矯正装置	Orthodontic Plate	あり			
4.3.1.1.2	マウスピースタイプ装置	Mouthpiece Type Appliance	あり			
4.3.1.1.3	その他	Other	あり			
4.3.1.2	顎外固定装置	Extraoral Appliance	あり			
4.3.1.2.1	ヘッドギア	Headgear	あり			
4.3.1.2.1.1	ハイプル	High Pull	あり			
4.3.1.2.1.2	ストレートプル	Straight Pull	あり			
4.3.1.2.1.3	サービカルプル	Cervical Pull	あり			
4.3.1.2.2	上顎前方牽引装置	Protractor	あり			
4.3.1.2.2.1	チンキャップタイプ	Chin Cap Type	あり			
4.3.1.2.2.2	フェイスマスクタイプ	Face Mask Type	あり			
4.3.1.2.2.3	ボウタイプ	Bow Type	あり			
4.3.1.2.3	チンキャップ	Chin Cap	あり			
4.3.1.2.3.1	ノーマル	Normal Type	あり			
4.3.1.2.3.2	ハイプル	High Pull	あり			
4.3.1.2.4	その他	Other	あり			
4.3.1.3	顎内固定装置	Intraoral Appliance	あり			
4.3.1.3.1	咬合斜面板	Jumping Plate	あり			
4.3.1.3.2	咬合挙上板	Bite Raising Plate	あり			
4.3.1.3.3	タンククリブ	Tongue Crib	あり			
4.3.1.3.4	緩徐拡大装置	Slow Expansion Appliance	あり			
4.3.1.3.5	Beggタイプリテーナー	Begg Type Retainer	あり			
4.3.1.3.6	Hawleyタイプリテーナー	Hawley Type Retainer	あり			
4.3.1.3.7	アライナータイプ装置	Aligner Type Appliance	あり			
4.3.1.3.8	クリアリテーナー	Clear Retainer	あり			
4.3.1.3.9	スライディングプレート	Sliding Plate	あり			
4.3.1.3.10	スプリングリテーナー	Spring Retainer	あり			
4.3.1.3.11	その他	Other	あり			
4.3.1.4	顎間固定装置	Intermaxillary Appliance	あり			
4.3.1.4.1	アクチバートル	Activator	あり			
4.3.1.4.2	バイオネーター	Bionator	あり			
4.3.1.4.3	Fränkel装置	Fränkel Appliance	あり			
4.3.1.4.4	トゥースポジショナー	Tooth Positioner	あり			
4.3.1.4.5	その他	Other	あり			
4.3.2	固定式	Fixed	あり			
4.3.2.1	マルチブラケット装置	Multi-Bracket Appliance	あり			314005310:マルチブラケット装置(ステップ1(3装置目まで)) 314005410:マルチブラケット装置(ステップ1(4装置目以降)) 314005510:マルチブラケット装置(ステップ2(2装置目まで)) 314005610:マルチブラケット装置(ステップ2(3装置目以降)) 314005710:マルチブラケット装置(ステップ3(2装置目まで))

Value	Description (日本語)	Description (英語)	値	5分類	標準プロファイル (26項目)	レセ電コード
						314005810: マルチブラケット装置(ステップ3(3装置目以降)) 314005910: マルチブラケット装置(ステップ4(2装置目まで)) 314006010: マルチブラケット装置(ステップ4(3装置目以降))
4.3.2.1.1	構成要素	Component	なし			
4.3.2.1.1.1	ブラケット	Bracket	あり			
4.3.2.1.1.1.1	結紮線あり	With Ligature Wire	あり			
4.3.2.1.1.1.2	エラスティックあり	With Orthodontic Elastic	あり			
4.3.2.1.1.1.3	その他	Other	あり			
4.3.2.1.1.2	チューブ	Tube	あり			
4.3.2.1.1.3	アーチワイヤー	Archwire	あり			
4.3.2.1.1.4	バンド	Band	あり			
4.3.2.1.1.4.1	ブラケットあり	With Bracket	あり			
4.3.2.1.1.4.1.1	結紮線あり	With Ligature Wire	あり			
4.3.2.1.1.4.1.2	エラスティックあり	With Orthodontic Elastic	あり			
4.3.2.1.1.4.1.3	その他	Other	あり			
4.3.2.1.1.4.2	チューブあり	With Tube	あり			
4.3.2.1.1.4.3	その他	Other	あり			
4.3.2.1.1.5	その他	Other	あり			
4.3.2.1.2	種類	Type	なし			
4.3.2.1.2.1	エッジワイズ法	Edgewise Appliance	あり			
4.3.2.1.2.2	Begg 法	Begg Technique	あり			
4.3.2.1.2.3	その他	Other	あり			
4.3.2.2	トランスパラタルアーチ	Trans Palatal Arch	あり			
4.3.2.3	Nance のホールディングアーチ	Nance Holding Arch	あり			
4.3.2.4	舌側弧線装置	Lingual Arch	あり			
4.3.2.5	タンゲクリブ	Tongue Crib	あり			
4.3.2.6	クワドヘリックス	Quad Helix Appliance	あり			
4.3.2.7	急速拡大装置	Rapid Expansion Appliance	あり			
4.3.2.8	犬歯間舌側バー	Canine to Canine	あり			
4.3.2.9	フィクスドリテーナー	Fixed Retainer	あり			
4.3.2.10	矯正用アンカースクリュー	Orthodontic Anchor Screw	あり			
4.3.2.11	クラウンループ	Crown Loop	あり			
4.3.2.12	バンドループ	Band Loop	あり			
4.3.2.13	ディスタルシュー	Distal Shoe	あり			
4.3.2.14	その他	Other	あり			
4.3.3	その他	Other	あり			
5	口腔病理のデータセット	Oral Pathology Data Set	なし			
5.1	情報の日付	Date of Information	なし			
5.1.1	日付	Date	あり			
5.1.2	不明	Unknown	あり			
5.2	Hellman の咬合発育段階	Hellman Dental Developmental Stage	なし			5206010: 異所萌出 5206045: 永久歯萌出不全 5206023: 早期萌出 8838421: 乳歯早期脱落 5206029: 乳歯萌出障害 8840079: 萌出異常 5206038: 萌出遅延 5206057: 未萌出歯 8835010: 新生児エナメル質形成不全 8834649: 出生前エナメル質形成不全
5.2.1	乳歯萌出前期	IA	あり			
5.2.2	乳歯咬合完成前期	IC	あり			
5.2.3	乳歯咬合完成期	IIA	あり			
5.2.4	第一大臼歯・前歯萌出期	IIC	あり			
5.2.5	第一大臼歯・前歯萌出完了期	IIIA	あり			
5.2.6	側方歯群交換期	IIIB	あり			
5.2.7	第二大臼歯萌出期	IIIC	あり			
5.2.8	第二大臼歯萌出完了期	IV A	あり			
5.2.9	第三大臼歯萌出期	IV C	あり			

Value	Description (日本語)	Description (英語)	値	5分類	標準プロファイル (26項目)	レセ電コード
5.2.10	第三大臼歯萌出完了期	VA	あり			
5.3	歯の発育状態	Tooth Development Status	なし			8845599: 歯の発育不全 8847238: 乳歯晩期残存
5.3.1	位置	Location	あり			
5.3.2	状態	Status	なし			
5.3.2.1	歯胚形成	Dental Germ Formation	あり			
5.3.2.2	歯冠完成	Crown Completion	あり			
5.3.2.3	歯根完成	Root Completion	あり			
5.4	歯の欠損	Tooth Missing	あり			5250001: 欠損歯 8845720: 歯の欠損
5.4.1	位置	Location	あり			
5.4.2	種類	Type	なし			
5.4.2.1	先天性欠如	Congenitally Missing	あり			
5.4.2.2	脱落	Missing Avulsed	あり			8845690: 全身的原因による歯の脱落 8845721: 歯の脱落
5.4.2.3	その他(欠損の原因が不明な場合を含む)	Other	あり			848125: 外傷性歯の欠損
5.5	歯の形成異常	Anomalies of Tooth Formation	あり			8845596: 歯の形成異常 8845519: 遺伝性歯の形成異常
5.5.1	位置	Location	あり			
5.5.2	種類	Type	なし			
5.5.2.1	歯の重複	Duplication of Tooth	あり			
5.5.2.1.1	歯の癒合	Fusion of Tooth	あり			8842634: 癒合歯
5.5.2.1.2	歯の双生	Twinning of Tooth	あり			8836669: 双生歯
5.5.2.1.3	歯の癒着	Concrescence of Tooth	あり			8840775: 癒着歯
5.5.2.2	歯内歯・重積歯	Dens in Dente/Dens Invaginatus	あり			8834461: 歯内歯
5.5.2.3	異所性エナメル質	Ectopic Enamel	あり			
5.5.2.3.1	エナメル滴(エナメル真珠)	Enamel Nodule (Enamel Pearl)	あり			830886: エナメル真珠
5.5.2.3.2	エナメル突起	Enamel Projection	あり			
5.5.2.3.3	その他	Other	あり			5205010: エナメル質異常
5.5.2.4	異常結節	Abnormal Tubercle	あり			
5.5.2.4.1	切歯結節	Incisive Tubercle	あり			
5.5.2.4.2	犬歯結節	Canine Tubercle	あり			
5.5.2.4.3	中心結節	Central Tubercle	あり			8848156: 中心結節 8848157: 中心結節破折
5.5.2.4.4	Carabelli 結節	Carabelli Tubercle	あり			
5.5.2.4.5	臼傍結節・プロトスタイリッド	Paramolar Tubercle	あり			
5.5.2.4.6	臼後結節	Distomolar Tubercle	あり			8832476: 臼傍結節
5.5.2.4.7	その他	Other	あり			
5.5.2.5	異常溝	Abnormal Groove	あり			
5.5.2.5.1	斜切痕	Linguogingival Fissure	あり			
5.5.2.5.2	盲孔	Foramen Cecum	あり			
5.5.2.5.3	根面溝	Groove of the Root	あり			
5.5.2.5.4	その他	Other	あり			8842600: 切歯口蓋側溝
5.5.2.6	歯根の数の異常	Abnormal Number of Roots	あり			
5.5.2.6.1	歯根の過剰	Supernumerary Roots	あり			
5.5.2.6.2	歯根の不足	Insufficient Number of Roots	あり			
5.5.2.7	歯根の形態異常	Root Malformation	あり			
5.5.2.7.1	歯根の彎曲	Dilaceration	あり			8834288: 歯根彎曲
5.5.2.7.2	歯根の離開	Diastasis of Roots	あり			5259003: 歯根離開
5.5.2.7.3	歯根の収斂	Convergence of Roots	あり			
5.5.2.7.4	歯根の癒合	Fusion of Roots	あり			
5.5.2.7.5	タウロドント	Taurodont	あり			5202028: タウロドント
5.5.2.7.6	その他	Other	あり			8842610: 短根歯 8842584: 歯根近接 5214006: 歯根吸収 5229014: 根管異常 5221015: 根管狭窄
5.5.2.8	歯冠の大きさの異常	Abnormal Size of Tooth Crown	あり			
5.5.2.8.1	巨大歯	Macrodont	あり			8832700: 巨大歯
5.5.2.8.2	矮小歯	Microdont	あり			8841269: 矮小歯
5.5.2.9	過剰歯	Supernumerary Tooth	あり			5201006: 過剰歯
5.5.2.10	エナメル質形成不全	Amelogenesis Imperfecta	あり			5204034: エナメル質形成不全
5.5.2.11	Hutchinson 歯	Hutchinson's Tooth	あり			8838970: ハッチンソン歯
5.5.2.12	歯の形成期の変色(テトラサイクリン変色歯など)	Discoloration in Tooth Formation (Tetracycline Stained Tooth, etc.)	あり			8847811: 歯の形成期の変色

Value	Description (日本語)	Description (英語)	値	5分類	標準プロファイル (26項目)	レセ電コード
5.5.2.13	その他	Other	あり			5200004: 歯数異常 8836055: セメント質形成不全 8842464: 開花性セメント質骨異形成症 8844894: 象牙質異形成症 8836817: 象牙質形成不全症 8842574: 限局性歯の異形成症
5.6	歯の位置異常	Anomalies of Tooth Position	あり			
5.6.1	位置	Location	あり			
5.6.2	種類	Type	なし			
5.6.2.1	傾斜歯	Inclined Tooth	あり			8842569: 傾斜歯
5.6.2.1.1	近心	Mesial	あり			
5.6.2.1.2	遠心	Distal	あり			
5.6.2.1.3	唇側・頬側	Labial/Buccal	あり			
5.6.2.1.4	口蓋側・舌側	Palatal/Lingual	あり			
5.6.2.1.5	水平	Horizontal	あり			
5.6.2.1.6	その他	Other	あり			
5.6.2.2	捻転歯	Rotated Tooth	あり			5243002: 捻転歯
5.6.2.2.1	近心	Mesial	あり			
5.6.2.2.2	遠心	Distal	あり			
5.6.2.3	転位歯	Displaced Tooth	あり			5243021: 転位歯
5.6.2.3.1	近心	Mesial	あり			
5.6.2.3.2	遠心	Distal	あり			
5.6.2.3.3	唇側・頬側	Labial/Buccal	あり			
5.6.2.3.4	口蓋側・舌側	Palatal/Lingual	あり			
5.6.2.3.5	その他	Other	あり			
5.6.2.4	高位歯	Supraversion	あり			5243035: 高位歯
5.6.2.5	低位歯	Infraversion	あり			5243039: 低位歯
5.6.2.6	埋伏歯	Impacted Tooth	あり			5206035: 埋伏智歯 5206039: 埋伏歯
5.6.2.6.1	骨性埋伏	Bony Impaction	あり			
5.6.2.6.1.1	完全埋伏	Complete Impaction	あり			5206040: 完全埋伏歯 8844667: 下顎骨性完全埋伏智歯 8844719: 骨性完全埋伏歯 8847164: 完全水平埋伏智歯
5.6.2.6.1.2	半埋伏	Partial Impaction	あり			5206041: 半埋伏歯 8847243: 半埋伏智歯
5.6.2.6.2	その他	Other	あり			8830935: embedded埋伏歯 5201005: 過剰埋伏歯 8842553: 異常位の埋伏歯 8843663: 下顎水平埋伏智歯 8843765: 歯の埋伏症 8846172: 正中過剰埋伏歯 8847212: 水平埋伏歯
5.6.2.7	逆生歯	Inverted Tooth	あり			5243033: 逆生歯
5.6.2.8	歯間離開	Diastema	あり			5243036: 歯間離開 5243015: 正中離開
5.6.2.9	叢生	Crowding	あり			8842607: 叢生
5.6.2.10	その他	Other	あり			
5.7	歯の変化	Tooth Alterations	あり			
5.7.1	位置	Location	あり			
5.7.2	種類	Type	なし			
5.7.2.1	う蝕	Caries	あり			8843836: う蝕 8843917: セメント質う蝕 8843937: 停止性う蝕 8838389: 二次う蝕
5.7.2.1.1	C1	C1	あり			8830787: う蝕第1度 8838390: 二次う蝕第1度
5.7.2.1.2	C2	C2	あり			8830788: う蝕第2度 8843837: う蝕第2度単純性歯髄炎 8838391: 二次う蝕第2度
5.7.2.1.3	C3	C3	あり			8830789: う蝕第3度 8838392: 二次う蝕第3度
5.7.2.1.4	C4	C4	あり			8830790: う蝕第4度 8834149: 残根
5.7.2.2	崩壊	Broken Down	あり			
5.7.2.3	歯冠亀裂	Cracked	あり			
5.7.2.4	歯冠破折(歯折)	Coronal Fracture	あり			5218009: 歯冠破折
5.7.2.5	歯根破折	Root Fracture	あり			5218010: 歯根破折
5.7.2.6	歯の脱臼	Luxation of Tooth	あり			8845597: 歯の脱臼
5.7.2.7	歯の摩耗・咬耗	Tooth Abrasion/Attrition	あり			5211002: 咬耗症 8833437: 咬合面咬耗 8841102: 隣接面咬耗
5.7.2.8	歯の酸蝕	Tooth Erosion	あり			8834289: 歯酸蝕症 8834838: 職業性歯酸蝕症 8834845: 食事による歯酸蝕症 8835216: 持続性嘔吐による歯酸蝕症 8838182: 特発性歯酸蝕症 8840717: 薬物性歯酸蝕症
5.7.2.9	くさび状欠損・ア	Wedge-Shaped Defect/Abfraction	あり			8845787: 歯質くさび状欠損

Value	Description (日本語)	Description (英語)	値	5分類	標準プロファイル (26項目)	レセ電コード
	ブフラクション					
5.7.2.10	変色歯	Discoloration of Tooth	あり			8845605:変色歯 8847811:歯の形成期の変色
5.7.2.11	着色歯	Pigmentation of Tooth	あり			217003:着色歯
5.7.2.11.1	薬物によるもの (サホライドなど)	By Chemicals (Diammine Silver Fluoride, etc.)	あり			
5.7.2.11.2	飲食物によるもの	By Food and Drink	あり			
5.7.2.11.3	喫煙によるもの	By Smoking	あり			
5.7.2.11.4	その他	Other	あり			
5.7.2.12	歯の外部吸収	External Resorption of Tooth	あり			
5.7.2.13	歯の内部吸収	Internal Resorption of Tooth	あり			
5.7.2.14	歯根の肥大	Root Hypertrophy	あり			5215009:歯根肥大
5.7.2.15	セメント質腫	Cementoma	あり			8844133:下顎セメント芽細胞腫 8844134:下顎セメント質腫 8844247:上顎セメント芽細胞腫 8844248:上顎セメント質腫
5.7.2.16	歯の分割	Sectioned Tooth	あり			
5.7.2.16.1	歯根切除	Root Amputation	あり			310001110:歯根端切除手術(1歯につき) 310033010:歯根端切除手術(1歯につき) (歯科CT撮影装置及び手術用顕微鏡を用いた場合)
5.7.2.16.2	ルートセパレーション	Root Separation	あり			310029250:歯根分割掻爬術
5.7.2.16.3	トライセクション	Trisection	あり			
5.7.2.16.4	ヘミセクション	Hemisection	あり			310000710:ヘミセクション(分割抜歯)
5.7.2.16.5	その他	Other	あり			
5.7.2.17	歯石	Calculus	あり			5236008:歯石沈着症 8834465:歯肉下歯石 8834467:歯肉上歯石
5.7.2.18	その他	Other	あり			
5.8	歯周組織の変化	Periodontal Alterations	あり			
5.8.1	位置	Location	あり			
5.8.2	種類	Type	なし			
5.8.2.1	歯肉炎	Gingivitis	あり			5231018:歯肉炎
5.8.2.1.1	単純性	Simple	あり			5231029:単純性歯肉炎
5.8.2.1.2	増殖性	Hyperplastic	あり			5231027:増殖性歯肉炎
5.8.2.1.3	その他	Other	あり			5231003:びらん性歯肉炎 5230004:化膿性歯肉炎 5230001:急性歯肉炎 5231017:思春期性歯肉炎 5231044:慢性歯肉炎 5231042:慢性萎縮性老人性歯肉炎 5231014:壊疽性歯肉炎 5231032:潰瘍性歯肉炎 8838935:剥離性歯肉炎 5231039:肥大型歯肉炎 8843130:壊死性潰瘍性歯肉炎 8839668:複雑性歯肉炎 8842349:妊娠性歯肉炎 8843505:ビタミンC欠乏症性歯肉炎 8843318:月経性歯肉炎 8843607:萌出性歯肉炎 8846215:ブラーク性歯肉炎
5.8.2.2	慢性歯周炎	Chronic Periodontitis	あり			
5.8.2.2.1	軽度	Mild	あり			8843615:慢性辺縁性歯周炎軽度
5.8.2.2.2	中等度	Moderate	あり			8843617:慢性辺縁性歯周炎中等度
5.8.2.2.3	重度	Severe	あり			8843616:慢性辺縁性歯周炎重度
5.8.2.3	歯根露出	Root Exposure	あり			845933:歯根露出
5.8.2.4	根分岐部病変	Furcation Involvement	あり			5233027:根分岐部病変
5.8.2.4.1	分類	Classification	なし			
5.8.2.4.1.1	Lindhe & Nyman	Lindhe & Nyman	なし			
5.8.2.4.1.1.1	1度	Grade I	あり			
5.8.2.4.1.1.2	2度	Grade II	あり			
5.8.2.4.1.1.3	3度	Grade III	あり			
5.8.2.4.1.2	Glickman	Glickman	なし			
5.8.2.4.1.2.1	1級	Grade I	あり			
5.8.2.4.1.2.2	2級	Grade II	あり			
5.8.2.4.1.2.3	3級	Grade III	あり			
5.8.2.4.1.2.4	4級	Grade IV	あり			
5.8.2.4.1.3	Hamp	Hamp	なし			
5.8.2.4.1.3.1	1度	Class I	あり			
5.8.2.4.1.3.2	2度	Class II	あり			
5.8.2.4.1.3.3	3度	Class III	あり			
5.8.2.5	骨移植	Bone Graft	あり			

Value	Description (日本語)	Description (英語)	値	5分類	標準プロファイル (26項目)	レセ電コード
5.8.2.6	瘻孔	Fistula	あり			5229015: 根管穿孔 8845930: 根管側壁穿孔
5.8.2.7	根尖病変	Periapical Lesion	あり			8843844: う蝕第3度急性化膿性根尖性 歯周炎 8843839: う蝕第3度急性単純性根尖性 歯周炎 8843845: う蝕第3度慢性化膿性根尖性 歯周炎 8843285: 急性化膿性根尖性歯周炎 8832354: 急性根尖性歯周炎Per 8843291: 急性単純性根尖性歯周炎 8833899: 根尖性歯周炎 8843612: 慢性化膿性根尖性歯周炎 8840348: 慢性根尖性歯周炎 8833898: 根尖周囲のう胞 8843875: 根尖周囲膿瘍 8833900: 根尖肉芽腫 8833902: 根尖膿瘍
5.8.2.8	その他	Other	あり			
5.9	歯列弓形態の異常	Anomalies of Dental Arch	あり			5243028: 歯列異常
5.9.1	位置	Location	あり			
5.9.2	種類	Type	なし			
5.9.2.1	狭窄歯列弓	Constricted Dental Arch	あり			8842566: 狭窄歯列弓
5.9.2.2	V型歯列弓	V-Shaped Dental Arch	あり			5244011: V型歯列弓
5.9.2.3	方形歯列弓	Square Dental Arch	あり			8842629: 方形歯列弓
5.9.2.4	鞍状歯列弓	Saddle-Shaped Dental Arch	あり			5242044: 鞍状歯列弓
5.9.2.5	空隙歯列弓	Spaced Dental Arch	あり			5243034: 空隙歯列弓
5.9.2.6	閉鎖歯列弓	Closed Type Primary Dentition	あり			8842628: 閉鎖歯列弓
5.9.2.7	歯列弓正中偏位	Midline Deviation of Dental Arch	あり			8834881: 歯列弓正中偏位
5.9.2.8	その他	Other	あり			
5.10	上下歯列弓関係の異常	Anomalies of Upper-Lower Dental Arch	あり			
5.10.1	種類	Type	なし			
5.10.1.1	交叉咬合	Crossbite	あり			5242040: 交叉咬合 8832262: 臼歯部交叉咬合 8836508: 前歯部交叉咬合
5.10.1.1.1	右側	Right Side	あり			
5.10.1.1.2	左側	Left Side	あり			
5.10.1.1.3	両側	Bilateral	あり			
5.10.1.1.4	前後	Back and Forth	あり			
5.10.1.2	開咬	Apertognathia	あり			8846479: 開咬
5.10.1.2.1	前歯部	Anterior	あり			8836507: 前歯部開咬
5.10.1.2.2	臼歯部	Posterior	あり			8832261: 臼歯部開咬
5.10.1.3	過蓋咬合	Deep Bite	あり			8831098: 過蓋咬合
5.10.1.4	切端咬合	Edge to Edge Bite	あり			8842602: 切端咬合
5.10.1.5	屋根状咬合	Stegodont	あり			
5.10.1.6	鋏状咬合	Scissors Bite	あり			
5.10.1.7	後退咬合	Mandibular Retrognathia	あり			
5.10.1.8	反対咬合	Reversed Occlusion	あり			
5.10.1.9	上顎前突	Maxillary Protrusion	あり			8835393: 上顎前突症
5.10.1.10	下顎前突	Mandibular Protrusion	あり			8843664: 下顎前突症
5.10.1.11	上下顎前突	Bimaxillary Protrusion	あり			8843735: 上下顎前突症
5.10.1.12	上顎後退	Maxillary Retrusion	あり			8835380: 上顎後退症
5.10.1.13	下顎後退	Mandibular Retrusion	あり			8831109: 下顎後退症
5.10.1.14	上下顎後退	Bimaxillary Retrusion	あり			
5.10.1.15	その他	Other	あり			
5.10.2	異常の原因	Cause for Anomalies	なし			
5.10.2.1	骨格性	Skeletal	あり			
5.10.2.2	歯性	Odontogenic	あり			
5.10.2.3	その他	Other	あり			8832125: 顔面非対称 8842555: 下顎遠心咬合 8842558: 下顎両側臼歯舌側転位咬合 8846749: 前歯部反対咬合 8846870: 低位咬合 8839021: 反対咬合 8841581: 不正咬合 5242036: 先天性不正咬合 8846590: 咬合平面の異常 5236011: 外傷性咬合 5244007: 咬合異常
5.11	外骨症	Exostosis	あり			8831867: 顎骨外骨症
5.11.1	種類	Type	なし			
5.11.1.1	口蓋隆起	Palatal Torus	あり			8833378: 口蓋隆起
5.11.1.2	下顎隆起	Mandibular Torus	あり			8831141: 下顎隆起
5.11.1.2.1	両側	Bilateral	あり			
5.11.1.2.2	片側(右側)	Unilateral (Right)	あり			

Value	Description (日本語)	Description (英語)	値	5分類	標準プロファイル (26項目)	レセ電コード
5.11.1.2.3	片側(左側)	Unilateral (Left)	あり			
5.11.1.3	その他の骨隆起	Other Bone Torus	あり			
5.11.1.3.1	位置	Location	あり			
5.11.1.3.1.1	頬舌的位置	Buccolingual Position	なし			
5.11.1.3.1.1.1	唇側・頬側	Buccal/Labial	あり			
5.11.1.3.1.1.2	口蓋側・舌側	Palatal/Lingual	あり			
5.12	唇裂・顎裂・口蓋裂	Cleft Lip/Cleft Alveolus/Cleft Palate	あり			
5.12.1	位置	Location	なし			
5.12.1.1	片側(右側)	Unilateral (Right)	あり			
5.12.1.2	片側(左側)	Unilateral (Left)	あり			
5.12.1.3	正中	Median	あり			
5.12.1.4	両側	Bilateral	あり			
5.12.1.5	その他	Other	あり			
5.12.2	種類	Type	なし			
5.12.2.1	唇裂	Cleft Lip	あり			7491011:唇裂 7491016:正中唇裂 8843767:皮下唇裂 8843775:片側性完全唇裂 8843788:片側性唇裂 8843789:片側性不完全唇裂 8843790:変治唇裂 8843795:両側性完全唇裂 8841051:両側性唇裂 8843808:両側性不完全唇裂 8843732:唇裂術後
5.12.2.2	顎裂	Cleft Alveolus	あり			8841620:上顎部裂創 8841520:下顎裂創
5.12.2.3	口蓋裂	Cleft Palate	あり			7490017:口蓋裂 8833432:硬口蓋裂 8843713:硬軟口蓋裂 8838351:軟口蓋裂 8736036:軟口蓋破裂 8838674:粘膜下口蓋裂 8841549:口蓋裂創
5.12.2.4	唇顎裂	Cleft Lip and Alveolus	あり			8834915:唇顎裂 8843782:片側性唇顎裂 8843802:両側性唇顎裂
5.12.2.5	唇口蓋裂	Cleft Lip and Palate	あり			8843784:片側性唇口蓋裂 8843804:両側性唇口蓋裂 8843785:片側性唇硬口蓋裂 8843786:片側性唇硬軟口蓋裂 8843787:片側性唇軟口蓋裂 8843805:両側性唇硬口蓋裂 8843806:両側性唇硬軟口蓋裂 8843807:両側性唇軟口蓋裂
5.12.2.6	顎口蓋裂	Cleft Alveolus and Palate	あり			
5.12.2.7	唇顎口蓋裂	Cleft Lip, Alveolus and Palate	あり			8834914:唇顎口蓋裂 8843778:片側性唇顎口蓋裂 8843798:両側性唇顎口蓋裂 8843779:片側性唇顎硬口蓋裂 8843780:片側性唇顎硬軟口蓋裂 8843781:片側性唇顎軟口蓋裂 8843799:両側性唇顎硬口蓋裂 8843800:両側性唇顎硬軟口蓋裂 8843801:両側性唇顎軟口蓋裂
5.12.2.8	その他	Other	あり			8843776:片側性唇・粘膜下口蓋裂 8843777:片側性唇顎・粘膜下口蓋裂 8843796:両側性唇・粘膜下口蓋裂 8843797:両側性唇顎・粘膜下口蓋裂 8841472:口唇裂創 8841510:口角部裂創 8841540:口腔裂創
5.12.3	状態	Status	なし			
5.12.3.1	裂が存在	Cleft Present	あり			
5.12.3.2	瘢痕が存在	Scar Present	あり			
5.12.3.3	その他	Other	あり			
5.13	骨折	Bone Fracture	あり			
5.13.1	位置	Location	なし			
5.13.1.1	上顎	Maxilla	あり			
5.13.1.1.1	Le Fort I型	Le Fort I	あり			8844111:ルフォー1型骨折 8844110:ルフォー1型開放骨折
5.13.1.1.2	Le Fort II型	Le Fort II	あり			8844113:ルフォー2型骨折 8844112:ルフォー2型開放骨折
5.13.1.1.3	Le Fort III型	Le Fort III	あり			8844115:ルフォー3型骨折 8844114:ルフォー3型開放骨折
5.13.1.1.4	その他	Other	あり			
5.13.1.2	下顎	Mandible	あり			
5.13.1.2.1	正中部	Symphysis	あり			
5.13.1.2.2	右側	Right Side	あり			
5.13.1.2.2.1	歯槽骨	Alveolar Bone	あり			8028009:歯槽骨骨折

Value	Description (日本語)	Description (英語)	値	5分類	標準プロファイル (26項目)	レセ電コード
5.13.1.2.2.1.1	前歯部	Anterior	あり			
5.13.1.2.2.1.2	臼歯部	Posterior	あり			
5.13.1.2.2.2	下顎体部	Body	あり			
5.13.1.2.2.2.1	前歯部	Anterior	あり			
5.13.1.2.2.2.2	臼歯部	Posterior	あり			
5.13.1.2.2.2.3	その他	Other	あり			
5.13.1.2.2.3	下顎角部	Angle	あり			8844013:下顎角部骨折
5.13.1.2.2.4	下顎枝部	Ramus	あり			8844017:下顎枝部骨折 8844016:下顎枝部開放骨折
5.13.1.2.2.5	関節突起	Condylar Process	あり			8831101:下顎関節突起骨折 8841734:下顎関節突起開放骨折
5.13.1.2.2.6	筋突起	Coronoid Process	あり			8831111:下顎骨筋突起骨折 8841736:下顎骨筋突起開放骨折
5.13.1.2.2.7	その他	Other	あり			
5.13.1.2.3	左側	Left Side	あり			
5.13.1.2.3.1	歯槽骨	Alveolar Bone	あり			8028009:歯槽骨骨折
5.13.1.2.3.1.1	前歯部	Anterior	あり			
5.13.1.2.3.1.2	臼歯部	Posterior	あり			
5.13.1.2.3.2	下顎体部	Body	あり			
5.13.1.2.3.2.1	前歯部	Anterior	あり			
5.13.1.2.3.2.2	臼歯部	Posterior	あり			
5.13.1.2.3.2.3	その他	Other	あり			
5.13.1.2.3.3	下顎角部	Angle	あり			8844013:下顎角部骨折
5.13.1.2.3.4	下顎枝部	Ramus	あり			8844017:下顎枝部骨折 8844016:下顎枝部開放骨折
5.13.1.2.3.5	関節突起	Condylar Process	あり			8831101:下顎関節突起骨折 8841734:下顎関節突起開放骨折
5.13.1.2.3.6	筋突起	Coronoid Process	あり			8831111:下顎骨筋突起骨折 8841736:下顎骨筋突起開放骨折
5.13.1.2.3.7	その他	Other	あり			
5.13.1.2.4	両側	Bilateral	あり			
5.13.1.2.4.1	歯槽骨	Alveolar Bone	あり			8028009:歯槽骨骨折
5.13.1.2.4.1.1	前歯部	Anterior	あり			
5.13.1.2.4.1.2	臼歯部	Posterior	あり			
5.13.1.2.4.2	下顎体部	Body	あり			
5.13.1.2.4.2.1	前歯部	Anterior	あり			
5.13.1.2.4.2.2	臼歯部	Posterior	あり			
5.13.1.2.4.2.3	その他	Other	あり			
5.13.1.2.4.3	下顎角部	Angle	あり			8844013:下顎角部骨折
5.13.1.2.4.4	下顎枝部	Ramus	あり			8844017:下顎枝部骨折 8844016:下顎枝部開放骨折
5.13.1.2.4.5	関節突起	Condylar Process	あり			8831101:下顎関節突起骨折 8841734:下顎関節突起開放骨折
5.13.1.2.4.6	筋突起	Coronoid Process	あり			8831111:下顎骨筋突起骨折 8841736:下顎骨筋突起開放骨折
5.13.1.2.4.7	その他	Other	あり			
5.13.1.2.5	その他	Other	あり			
5.13.1.3	その他	Other	あり			
5.13.2	状態	Status	なし			
5.13.2.1	骨折線が存在	Fracture Line Present	あり			
5.13.2.2	骨折痕が存在	Fracture Healing Mark Present	あり			
5.13.2.3	その他	Other	あり			
5.14	固定装置	Fixation Devices	あり			
5.14.1	固定装置の種類	Device Type	なし			
5.14.1.1	顎内固定	Intraoral Fixation	あり			
5.14.1.2	顎外固定	Extraoral Fixation	あり			
5.14.1.3	顎間固定	Intermaxillary Fixation	あり			
5.14.2	固定の種類	Fixation Type	なし			
5.14.2.1	スクリュー	Screw	あり			
5.14.2.2	プレート	Plate	あり			
5.14.2.3	ワイヤー	Wire	あり			
5.14.2.4	その他	Other	あり			
5.14.3	装置を識別できる特徴	Device Identifying Characteristics	なし			
5.14.3.1	製造業者	Manufacturer	あり			
5.14.3.2	装置の名称	Device Name	あり			
5.14.3.3	部品番号	Part Number	あり			
5.14.3.4	製造番号	Serial Number	あり			
5.14.3.5	その他	Other	あり			
5.15	組織の欠損	Defect of Tissue	あり			
5.15.1	硬組織の欠損	Defect of Hard Tissue	あり			
5.15.1.1	位置	Location	なし			
5.15.1.1.1	上顎骨	Maxilla	あり			7448002:顎欠損 8848514:広範囲顎骨欠損 8842394:術後性上顎顎欠損

Value	Description (日本語)	Description (英語)	値	5分類	標準プロファイル (26項目)	レセ電コード
5.15.1.1.1.1	硬口蓋	Hard Palate	あり			
5.15.1.1.1.1.1	正中部	Median	あり			
5.15.1.1.1.1.2	右側	Right Side	あり			
5.15.1.1.1.1.3	左側	Left Side	あり			
5.15.1.1.1.1.4	全体	Whole	あり			
5.15.1.1.1.2	歯槽突起	Alveolar Process	あり			
5.15.1.1.1.2.1	前歯部	Anterior	あり			
5.15.1.1.1.2.1.1	右側	Right Side	あり			
5.15.1.1.1.2.1.2	左側	Left Side	あり			
5.15.1.1.1.2.2	臼歯部	Posterior	あり			
5.15.1.1.1.2.2.1	右側	Right Side	あり			
5.15.1.1.1.2.2.2	左側	Left Side	あり			
5.15.1.1.1.3	その他	Other	あり			
5.15.1.1.2	下顎骨	Mandibular	あり			7448002:顎欠損 8848514:広範囲顎骨欠損 8842394:術後性上顎顎欠損
5.15.1.1.2.1	前歯部	Anterior	あり			
5.15.1.1.2.1.1	右側	Right Side	あり			
5.15.1.1.2.1.2	左側	Left Side	あり			
5.15.1.1.2.2	臼歯部	Posterior	あり			
5.15.1.1.2.2.1	右側	Right Side	あり			
5.15.1.1.2.2.2	左側	Left Side	あり			
5.15.1.1.2.3	その他	Other	あり			
5.15.1.1.3	その他	Other	あり			
5.15.1.2	状態	Status	なし			
5.15.1.2.1	欠損が残存	Defect Present	あり			
5.15.1.2.2	皮弁が存在	Skin Flap Present	あり			
5.15.1.2.3	瘢痕が存在	Scar Present	あり			
5.15.1.2.4	その他	Other	あり			
5.15.2	軟組織の欠損	Defect of Soft Tissue	あり			
5.15.2.1	位置	Location	なし			
5.15.2.1.1	軟口蓋	Soft Palate	あり			
5.15.2.1.1.1	正中部	Median	あり			
5.15.2.1.1.2	右側	Right Side	あり			
5.15.2.1.1.3	左側	Left Side	あり			
5.15.2.1.1.4	全体	Whole	あり			
5.15.2.1.2	口蓋垂	Uvula	あり			8833370:口蓋垂欠損症
5.15.2.1.3	舌	Tongue	あり			
5.15.2.1.3.1	正中部	Median	あり			
5.15.2.1.3.2	右側	Right Side	あり			
5.15.2.1.3.3	左側	Left Side	あり			
5.15.2.1.3.4	全体	Whole	あり			
5.15.2.1.4	口底	Mouth Floor	あり			
5.15.2.1.4.1	正中部	Median	あり			
5.15.2.1.4.2	右側	Right Side	あり			
5.15.2.1.4.3	左側	Left Side	あり			
5.15.2.1.4.4	全体	Whole	あり			
5.15.2.1.5	頬粘膜	Buccal Mucosa	あり			
5.15.2.1.5.1	右側	Right Side	あり			
5.15.2.1.5.2	左側	Left Side	あり			
5.15.2.1.5.3	両側	Bilateral	あり			
5.15.2.1.6	口唇	Lip	あり			
5.15.2.1.6.1	上唇	Upper	あり			
5.15.2.1.6.1.1	正中部	Median	あり			
5.15.2.1.6.1.2	右側	Right Side	あり			
5.15.2.1.6.1.3	左側	Left Side	あり			
5.15.2.1.6.1.4	全体	Whole	あり			
5.15.2.1.6.2	下唇	Lower	あり			
5.15.2.1.6.2.1	正中部	Median	あり			
5.15.2.1.6.2.2	右側	Right Side	あり			
5.15.2.1.6.2.3	左側	Left Side	あり			
5.15.2.1.6.2.4	全体	Whole	あり			
5.15.2.1.7	その他	Other	あり			
5.15.2.2	状態	Status	なし			
5.15.2.2.1	欠損が残存	Defect Present	あり			
5.15.2.2.2	皮弁が存在	Skin Flap Present	あり			
5.15.2.2.3	瘢痕が存在	Scar Present	あり			
5.15.2.2.4	その他	Other	あり			
5.16	色素沈着・刺青	Pigmentation/Tattoo	あり			5208003:歯の色素沈着
5.16.1	位置	Location	なし			
5.16.1.1	口腔内	Intraoral	あり			
5.16.1.1.1	口蓋	Palate	あり			

Value	Description (日本語)	Description (英語)	値	5分類	標準プロファイル (26項目)	レセ電コード
5.16.1.1.2	口蓋垂	Uvula	あり			
5.16.1.1.3	舌	Tongue	あり			8847785:舌色素沈着症
5.16.1.1.4	口底	Mouth Floor	あり			
5.16.1.1.5	歯肉	Gingiva	あり			5238048:歯肉色素沈着症
5.16.1.1.6	頬粘膜	Buccal Mucosa	あり			
5.16.1.1.7	口唇	Lip	あり			8847751:口唇色素沈着症
5.16.1.1.8	その他	Other	あり			8847747:口腔粘膜色素沈着症
5.16.1.2	口腔外	Extraoral	あり			
5.16.2	説明(テキスト説明)	Description (Text Description)	あり			
5.17	ピアス	Piercing	あり			
5.17.1	位置	Location	なし			
5.17.1.1	口蓋	Palate	あり			
5.17.1.2	口蓋垂	Uvula	あり			
5.17.1.3	舌	Tongue	あり			
5.17.1.4	口底	Mouth Floor	あり			
5.17.1.5	歯肉	Gingiva	あり			
5.17.1.6	頬粘膜	Buccal Mucosa	あり			
5.17.1.7	口唇	Lip	あり			
5.17.1.8	その他	Other	あり			
5.17.2	種類	Type	なし			
5.17.2.1	材料	Material	なし			
5.17.2.1.1	金属	Metal	あり			
5.17.2.1.1.1	金色	Gold Color	あり			
5.17.2.1.1.2	銀色	Silver Color	あり			
5.17.2.1.1.3	その他	Other	あり			
5.17.2.1.2	その他	Other	あり			
5.17.2.2	形態	Shape	なし			
5.17.2.2.1	バーベル	Barbell	あり			
5.17.2.2.2	輪	Hoop	あり			
5.17.2.2.3	その他	Other	あり			
5.17.3	説明(テキスト説明)	Description (Text Description)	あり			
5.18	歯の装飾	Tooth Accessory	あり			
5.18.1	位置	Location	あり			
5.18.2	種類	Type	なし			
5.18.2.1	可撤式	Removable	あり			
5.18.2.2	固定式	Fixed	あり			
5.18.3	説明(テキスト説明)	Description (Text Description)	あり			
5.19	その他の特徴	Other Characteristics	あり			

使用者定義表「0002-口腔状態の標準データセット (位置)」

Value	Description (日本語)	Description (英語)	値	5分類	標準プロファイル (26項目)	レセ電コード
6	歯・歯列の位置のデータセット	Tooth Part and Position Data Set	なし			
6.1	歯式コード(歯種, 状態)	Dental Formula	あり		1:乳歯(Dcd) 17:支台歯(Abu)	
6.2	面	Surfaces	なし			
6.2.1	切端・咬合面 I/O	Incisal/Occlusal	あり		9:切端・咬合面 (IO)	
6.2.2	唇側面・頬側面 B	Labial/Buccal	あり		10:唇側面・頬側面 (B)	
6.2.3	口蓋側面・舌側面 P/L	Palatal/Lingual	あり		11:口蓋側面・舌側面 (PL)	
6.2.4	近心面 M	Mesial	あり		12:近心面 (M)	
6.2.5	遠心面 D	Distal	あり		13:遠心面 (D)	
6.2.6	根面 O	Root Surface (Occlusal)	あり			
6.2.7	根面 B	Root Surface (Labial/Buccal)	あり			
6.2.8	根面 P/L	Root Surface (Palatal/Lingual)	あり			
6.2.9	根面 M	Root Surface (Mesial)	あり			
6.2.10	根面 D	Root Surface (Distal)	あり			
6.2.11	その他	Other	あり			
6.3	根	Root	あり			
6.3.1	単根歯の根	Root of Single-Rooted Tooth	あり			
6.3.2	近心根 M	Medial Root	あり			
6.3.3	遠心根 D	Distal Root	あり			
6.3.4	頬側根 B	Buccal Root	あり			

Value	Description (日本語)	Description (英語)	値	5分類	標準プロファイル (26項目)	レセ電コード
6.3.5	口蓋・舌側根 P/L	Palatal/Lingual Root	あり			
6.3.6	近心頬側根 MB	Medio-Buccal Root	あり			
6.3.7	遠心頬側根 DB	Disto-Buccal Root	あり			
6.3.8	近心舌側根 ML	Medio-Lingual Root	あり			
6.3.9	遠心舌側根 DL	Disto-Lingual Root	あり			
6.3.10	その他	Other	あり			
6.4	根管	Root Canal	あり			
6.4.1	単根歯の単根管	Root Canal of Single-Rooted Tooth	あり			
6.4.2	近心根管 M	Medial Root Canal	あり			
6.4.3	遠心根管 D	Distal Root Canal	あり			
6.4.4	頬側根管 B	Buccal Root Canal	あり			
6.4.5	口蓋・舌側根管 P/L	Palatal/Lingual Root Canal	あり			
6.4.6	近心頬側根管 MB	Medio-Buccal Root Canal	あり			
6.4.7	遠心頬側根管 DB	Disto-Buccal Root Canal	あり			
6.4.8	近心舌側根管 ML	Medio-Lingual Root Canal	あり			
6.4.9	遠心舌側根管 DL	Disto-Lingual Root Canal	あり			
6.4.10	その他	Other	あり			
6.5	歯の部分	Tooth Part	なし			
6.5.1	歯冠	Crown	あり			
6.5.1.1	切縁側・咬頭側 1/3	Incisal/Occlusal 1/3	あり			
6.5.1.2	中央 1/3	Middle 1/3	あり			
6.5.1.3	歯頸側 1/3	Cervical 1/3	あり			
6.5.2	歯根	Root	あり			
6.5.2.1	歯頸側 1/3	Cervical 1/3	あり			
6.5.2.2	中央 1/3	Middle 1/3	あり			
6.5.2.3	根尖側 1/3	Apical 1/3	あり			

使用者定義表「0003-口腔状態の標準データセット (材料)」

Value	Description (日本語)	Description (英語)	値	5分類	標準プロファイル (26項目)	レセ電コード
7	材料のデータセット	Material Data Set	なし			
7.1	歯冠・ボンティック用材料	Material for Crown/Pontic	なし			
7.1.1	金属色	Metallic Colored	あり			
7.1.1.1	金色	Gold Colored	あり			313010920:(材)14K(インレー(複)) 313011020:(材)14K(3/4冠) 313016020:(材)金属裏装ボンティック(14K)
7.1.1.1.1	金合金	Gold Alloy	あり			
7.1.1.2	非金色	Non-Gold Colored	あり			
7.1.1.2.1	金銀パラジウム合金	Gold Substitution Alloy (Ag-Pd-Au Alloy)	あり			313011120:(材)金バラ(大臼歯(インレー(単))) 313011220:(材)金バラ(大臼歯(インレー(複))) 313011320:(材)金バラ(大臼歯(4/5冠)) 313011420:(材)金バラ(大臼歯(全部金属冠)) 313011520:(材)金バラ(小臼歯・前歯(インレー(単))) 313011620:(材)金バラ(小臼歯・前歯(インレー(複))) 313011720:(材)金バラ(小臼歯・前歯(3/4冠)) 313011820:(材)金バラ(小臼歯・前歯(4/5冠)) 313011920:(材)金バラ(小臼歯・前歯(全部金属冠)) 313014120:(材)金バラ(レジン前装金属冠) 313015720:(材)鑄造ボンティック(金バラ(大臼歯)) 313015820:(材)鑄造ボンティック(金バラ(小臼歯)) 313016120:(材)金属裏装ボンティック(金バラ(前歯)) 313016220:(材)金属裏装ボンティック

Value	Description (日本語)	Description (英語)	値	5分類	標準プロファイル (26項目)	レセ電コード
						(金バラ(小臼歯)) 313016420:(材)前装金属ボンティック (金バラ)
7.1.1.2.2	チタン・チタン合金	Titanium/Titanium Alloy	あり			
7.1.1.2.3	銀合金	Silver Alloy	あり			313012920:(材)銀合金(大臼歯(インレー(単))) 313013020:(材)銀合金(大臼歯(インレー(複))) 313013120:(材)銀合金(大臼歯(4/5冠)) 313013220:(材)銀合金(大臼歯(全部金属冠)) 313013320:(材)銀合金(小臼歯・前歯・乳歯(インレー(単))) 313013420:(材)銀合金(小臼歯・前歯・乳歯(インレー(複))) 313013520:(材)銀合金(小臼歯・前歯(3/4冠)) 313013620:(材)銀合金(小臼歯・前歯(4/5冠)) 313013720:(材)銀合金(小臼歯・前歯・乳歯(全部金属冠)) 313014320:(材)銀合金(レジン前装金属冠) 313015920:(材)铸造ボンティック(銀合金(大・小臼歯)) 313016320:(材)金属裏装ボンティック(銀・ニッケルクロム(前・小臼歯)) 313016520:(材)前装金属ボンティック(銀合金)
7.1.1.2.4	コバルトクロム合金	Cobalt-Chromium Alloy	あり			
7.1.1.2.5	ニッケルクロム合金	Nickel-Chromium Alloy	あり			313012020:(材)ニッケルクロム合金(大臼歯(インレー(単))) 313012120:(材)ニッケルクロム合金(大臼歯(インレー(複))) 313012220:(材)ニッケルクロム合金(大臼歯(4/5冠)) 313012320:(材)ニッケルクロム合金(大臼歯(全部金属冠)) 313012420:(材)ニッケルクロム合金(小臼歯・前歯(インレー(単))) 313012520:(材)ニッケルクロム合金(小臼歯・前歯(インレー(複))) 313012620:(材)ニッケルクロム合金(小臼歯・前歯(3/4冠)) 313012720:(材)ニッケルクロム合金(小臼歯・前歯(4/5冠)) 313012820:(材)ニッケルクロム合金(小臼歯・前歯(全部金属冠)) 313014220:(材)ニッケルクロム合金(レジン前装金属冠) 313016320:(材)金属裏装ボンティック(銀・ニッケルクロム(前・小臼歯)) 313023320:(材)铸造ボンティック(ニッケルクロム合金(大・小臼歯)) 313023420:(材)前装金属ボンティック(ニッケルクロム合金)
7.1.1.2.6	ステンレス鋼	Stainless Steel	あり			
7.1.1.2.7	その他	Other	あり			
7.1.1.3	その他	Other	あり			
7.1.2	歯冠色	Tooth Colored	あり			
7.1.2.1	セラミックス(陶材, ジルコニアなど)	Ceramics (Porcelain, Zirconium, etc.)	あり			
7.1.2.2	レジン	Resin	あり			
7.1.2.2.1	硬質レジン	Hard Resin	あり			313015020:(材)歯冠用加熱重合硬質レジン 313015120:(材)歯冠用光重合硬質レジン
7.1.2.2.2	ハイブリッドレジン	Hybrid Resin Composite	あり			
7.1.2.2.3	アクリルレジン	Acrylic Resin	あり			
7.1.2.2.3.1	CAD/CAM 用アクリルブロック	Acrylic Resin Block	あり			313026420:(材)CAD/CAM冠
7.1.2.2.3.2	常温重合レジン	Self-Curing Acrylic Resin	あり			
7.1.2.3	その他	Other	あり			313014820:(材)ジャケット冠 313009920:(材)歯科充填用材料1(複合レジン系・単) 313010020:(材)歯科充填用材料1(複合レジン系・複) 313010120:(材)歯科充填用材料2(複合レジン系・単)

Value	Description (日本語)	Description (英語)	値	5分類	標準プロファイル (26項目)	レセ電コード
						313010220:(材)歯科充填用材料2(複合レジン系・複)
7.1.3	その他	Other	あり			
7.2	根管充填材料	Endodontic Obturation Material	なし			
7.2.1	ガッタパーチャポイント	Gutta-Percha Point	あり			
7.2.2	レジン系材料	Resin-Based Material	あり			
7.2.3	シルバーポイント	Silver Point	あり			
7.2.4	その他	Other	あり			
7.3	ポスト・コア用材料	Material for Post/Core	なし			
7.3.1	鑄造	Casting	あり			313002720:(材)メタルコア(大臼歯) 313002820:(材)メタルコア(小臼歯・前歯)
7.3.1.1	金銀パラジウム合金	Gold Substitution Alloy (Ag-Pd-Au Alloy)	あり			
7.3.1.2	銀合金	Silver Alloy	あり			
7.3.2	練成	Plastic	あり			
7.3.2.1	レジン系材料	Resin-Based Material	あり			
7.3.2.2	セメント	Cement	あり			
7.3.2.3	アマルガム	Dental Amalgam	あり			
7.3.3	既成ポスト	Prefabricated Post	あり			
7.3.3.1	レジンポスト	Prefabricated Resin Post	あり			
7.3.3.2	金属ポスト	Prefabricated Metal Post	あり			
7.3.3.3	ファイバーポスト	Fiber-Reinforced Resin Post	あり			313027120:(材)ファイバーポスト(大臼歯) 313027220:(材)ファイバーポスト(小臼歯・前歯) 313029120:(材)ファイバーポスト(間接法)(大臼歯) 313029220:(材)ファイバーポスト(間接法)(小臼歯・前歯) 313029320:(材)ファイバーポスト(直接法)(大臼歯) 313029420:(材)ファイバーポスト(直接法)(小臼歯・前歯) 313029520:(材)ファイバーポスト
7.3.4	その他	Other	あり			313002920:(材)その他(大臼歯) 313003020:(材)その他(小臼歯・前歯)
7.4	人工歯用材料(義歯)	Material for Artificial Tooth	なし			
7.4.1	硬質レジン歯	Composite Resin Tooth	あり			710010205:硬質レジン歯前歯用 710010206:硬質レジン歯臼歯用
7.4.2	レジン歯	Acrylic Resin Tooth	あり			710010201:レジン歯前歯用(JIS適合品) 710010202:レジン歯臼歯用(JIS適合品) 710010257:レジン歯前歯用(JIS適合品) 710010258:レジン歯臼歯用(JIS適合品)
7.4.3	スルフォン樹脂レジン歯	Thermoplastic Resin Tooth	あり			710010203:スルフォン樹脂レジン歯前歯用 710010204:スルフォン樹脂レジン歯臼歯用
7.4.4	陶歯	Porcelain Tooth	あり			710010197:陶歯前歯用(真空焼成歯) 710010198:陶歯臼歯用(真空焼成歯) 710010255:陶歯前歯用(真空焼成歯) 710010256:陶歯臼歯用(真空焼成歯)
7.4.5	金属歯	Metal Tooth	あり			
7.4.6	その他	Other	あり			
7.5	床用材料(義歯)	Material for Denture Base	なし			
7.5.1	非金属	Non Metal	あり			313017120:(材)局部義歯(1歯~4歯) 313017220:(材)局部義歯(5歯~8歯) 313017320:(材)局部義歯(9歯~11歯) 313017420:(材)局部義歯(12歯~14歯) 313017520:(材)総義歯
7.5.1.1	熱可塑性樹脂	Thermoplastic Resin	あり			313018120:(材)熱可塑性樹脂有床義歯
7.5.1.1.1	アクリリック樹脂	Acrylic Resin	あり			
7.5.1.1.2	その他	Other	あり			
7.5.1.2	その他	Other	あり			
7.5.2	金属	Metal	あり			
7.5.2.1	金色	Gold Colored	あり			
7.5.2.1.1	金合金	Gold Alloy	あり			
7.5.2.2	非金色	Non-Gold Colored	あり			
7.5.2.2.1	金銀パラジウム合金	Gold Substitution Alloy (Ag-Pd-Au Alloy)	あり			

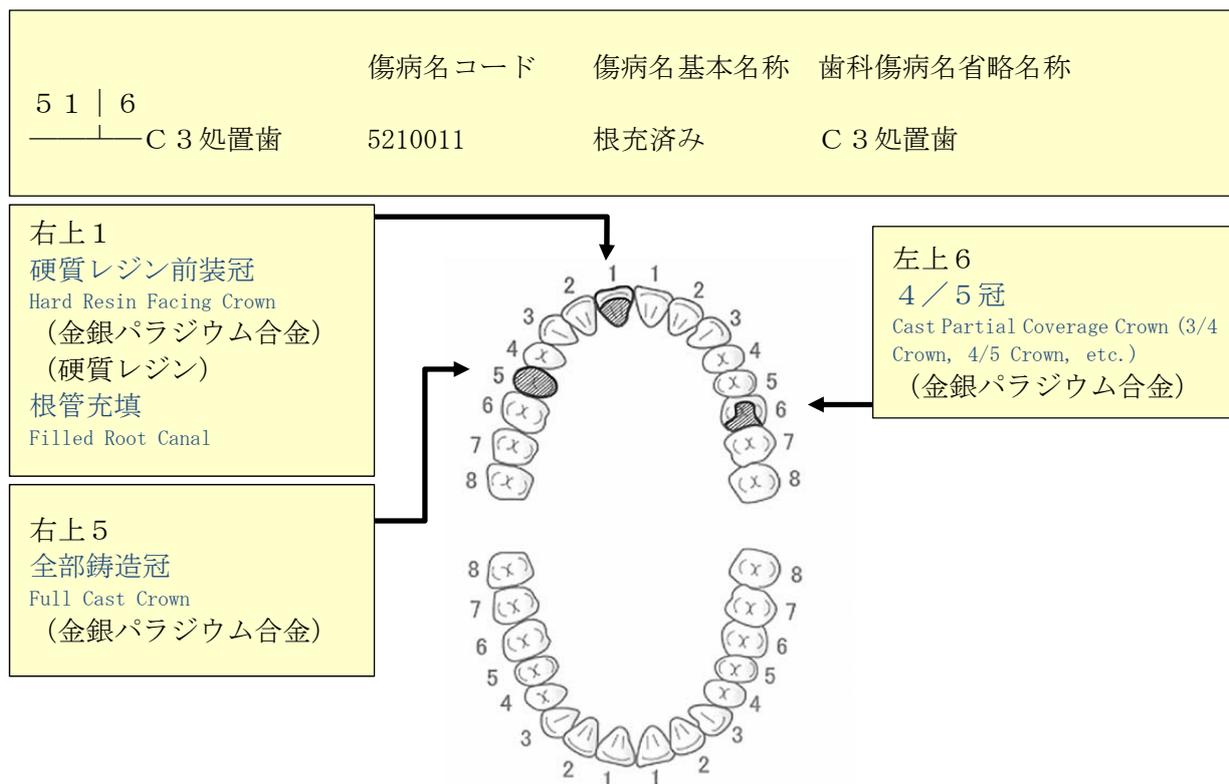
Value	Description (日本語)	Description (英語)	値	5分類	標準プロファイル (26 項目)	レセ電コード
7.5.2.2.2	チタン・チタン合金	Titanium/Titanium Alloy	あり			
7.5.2.2.3	コバルトクロム合金	Cobalt-Chromium Alloy	あり			
7.5.2.2.4	ニッケルクロム合金	Nickel-Chromium Alloy	あり			
7.5.2.2.5	ステンレス鋼	Stainless Steel	あり			
7.5.2.2.6	その他	Other	あり			
7.5.2.3	その他	Other	あり			
7.5.3	その他	Other	あり			

3-5 交換データの出力サンプル

下記の口腔状態について、病名（プロブレム）ごとに分割し、口腔状態の標準データセットデータ交換規約を使用して出力した記載例を以下に示す。

レジン前装冠(金バフ)	1		1	Br、被覆レジン前装冠
レジン前装冠(ハイブリッドレジン)、インプラント	2		2	Br、前装ポテンティック
仮封	3		3	Br、被覆レジン前装冠
インレー(OD、金バフ)	4		4	アマルガム充填(O)、転位歯
全部金属冠(金バフ)	5		5	インレー(OD、銀合金)
C3	6		6	4/5冠(金バフ)
C2	7		7	支合装置
完全埋伏	8		8	欠損
情報なし	8		8	情報なし
MT	7		7	Br、全部金属冠(金合金)
MT	6		6	Br、矯正ポテンティック(金合金)
MT、覆面版(咬盤上の蓋歯)	5		5	Br、全部金属冠(金合金)
健全歯	4		4	健全歯
健全歯	3		3	CR充填
歯冠破折	2		2	健全歯
歯冠破折	1		1	健全歯

■ 記載例 1



PRB|AD|20150718|5210011^根充済み
^MDCDX2|2015070600001717|||20150706||20150718|K028^^110^0^外来時^JHSD0004|||C^継続
^JHSD0006|20150718|20150706|根充済み|1^主診断^JHSD0007|||||V^非常に限定^HL70177<CR>

ZPR||5210011^根充済み^MDCDX2|||USC4^根充済み^MDCDX2||経過観察が必要<CR>
ZPD|1|101100^右側上顎中切歯現存歯部分指定なし^JHSD0010<CR>
ZPD|2|101500^右側上顎第2小臼歯現存歯部分指定なし^JHSD0010<CR>
ZPD|3|102600^左側上顎第1大臼歯現存歯部分指定なし^JHSD0010<CR>

ZTP|1|101100^右側上顎中切歯現存歯部分指定なし^JHSD0010<CR>
ZDS|1|1.3.2.2.1.2.2.1^硬質レジン前装冠 ^ZDS0001|7.1.1.2.1^金銀パラジウム合金
^ZDS0003|7.1.2.2.1^硬質レジン ^ZDS0003<CR>

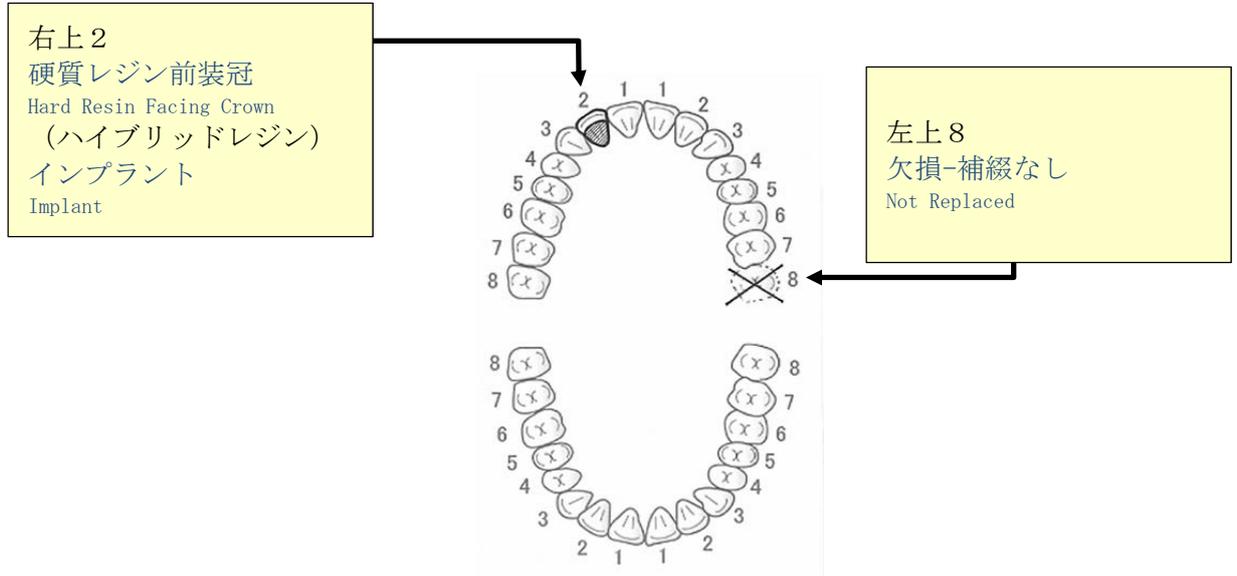
ZTP|1|101100^右側上顎中切歯現存歯部分指定なし^JHSD0010<CR>
ZDS|2|1.3.2.2.2.2^根管充填 ^ZDS0001<CR>

ZTP|1|101500^右側上顎第2小臼歯現存歯部分指定なし^JHSD0010<CR>
ZDS|3|1.3.2.2.1.2.1^全部鑄造冠 ^ZDS0001|7.1.1.2.1^金銀パラジウム合金 ^ZDS0003<CR>

ZTP|1|102600^左側上顎第1大臼歯現存歯部分指定なし^JHSD0010<CR>
ZDS|4|1.3.2.2.1.1.2.3^部分被覆冠(3/4冠・4/5冠・開面金属冠など) ^ZDS0001|7.1.1.2.1^金銀パラジウム合金 ^ZDS0003<CR>

■ 記載例 2

	傷病名コード	傷病名基本名称	歯科傷病名省略名称
2 8 — —MT	8845720	歯の欠損	MT



PRBIAD|20150718|8845720^歯の欠損
^MDCDX2|2015070600001717|||20150706||20150718|K081^^110^O^外来時^JHSD0004|||C^継続
^JHSD0006|20150718|20150706|歯の欠損|1^主診断^JHSD0007|||||V^非常に限定^HL70177<CR>

ZPR||8845720^歯の欠損^MDCDX2|||M0H4^歯の欠損^MDCDX2||経過観察が必要<CR>
ZPD|1|101220^右側上顎側切歯欠損歯部分指定なし^JHSD0010<CR>
ZPD|2|102820^左側上顎第3大臼歯欠損歯部分指定なし^JHSD0010<CR>

ZTP|1|101220^右側上顎側切歯欠損歯部分指定なし^JHSD0010<CR>
ZDS|1|1.3.2.2.1.2.2.1^硬質レジン前装冠 ^ZDS0001|7.1.2.2.2^ハイブリッドレジン ^ZDS0003<CR>

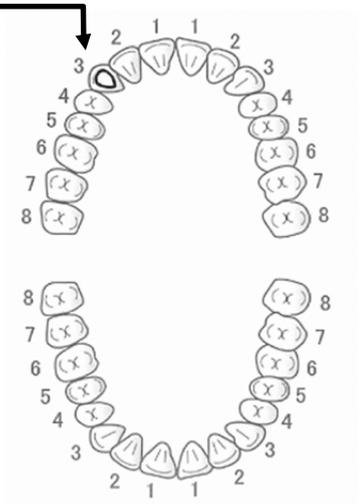
ZTP|1|101220^右側上顎側切歯欠損歯部分指定なし^JHSD0010<CR>
ZDS|2|1.3.1.1.1^インプラント ^ZDS0001<CR>

ZTP|1|102820^左側上顎第3大臼歯欠損歯部分指定なし^JHSD0010<CR>
ZDS|3|1.3.1.2^欠損-補綴なし ^ZDS0001<CR>

■ 記載例 3

	傷病名コード	傷病名基本名称	歯科傷病名省略名称
3 — P e r	8833899	根尖性歯周炎	P e r

右上3
仮封
Crown Temporary Filling



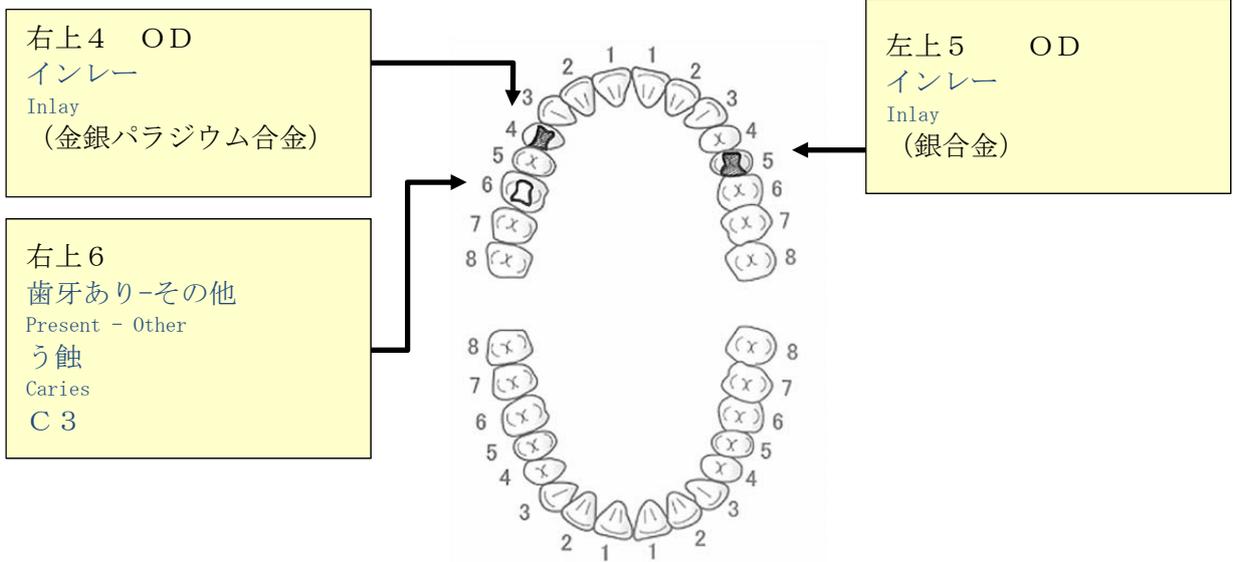
PRB|AD|20150718|8833899^根尖性歯周炎
 ^MDCDX2|2015070600001717|||20150706||20150718|K045^^I10^O^外来時^JHSD0004|||C^継続
 ^JHSD0006|20150718|20150706|根尖性歯周炎|1^主診断^JHSD0007|||V^非常に限定
 ^HL70177<CR>

ZPR||8833899^根尖性歯周炎^MDCDX2||R8VL^根尖性歯周炎^MDCDX2||経過観察が必要<CR>
 ZPD|1|101300^右側上顎犬歯現存歯部分指定なし^JHSD0010<CR>

ZTP|1|101300^右側上顎犬歯現存歯部分指定なし^JHSD0010<CR>
 ZDS|1|1.3.2.2.1.1.1.3^仮封・暫間充填 ^ZDS0001<CR>

■ 記載例 4

	傷病名コード	傷病名基本名称	歯科傷病名省略名称
6 4 5 —— —C	8830789	う蝕第3度	C



PRB|AD|20150718|8830789^う蝕第3度
 ^MDCDX2|2015070600001717|||20150706||20150718|K022^^110^0^外来時^JHSD0004|||C^継続
 ^JHSD0006|20150718|20150706|う蝕第3度|1^主診断^JHSD0007|||V^非常に限定^HL70177<CR>

ZPR||8830789^う蝕第3度^MDCDX2||M3TT^う蝕第3度^MDCDX2||経過観察が必要<CR>
 ZPD|1|101400^右側上顎第1小臼歯現存歯部分指定なし^JHSD0010<CR>
 ZPD|2|101600^右側上顎第1大臼歯現存歯部分指定なし^JHSD0010<CR>
 ZPD|3|102500^左側上顎第2小臼歯現存歯部分指定なし^JHSD0010<CR>

ZTP|1|101400^右側上顎第1小臼歯現存歯部分指定なし^JHSD0010|6.2.1^切端・咬合面 I/O
 ^ZDS0002|6.2.5^遠心面 D ^ZDS0002<CR>
 ZDS|1|1.3.2.2.1.1.2.1^インレー ^ZDS0001|7.1.1.2.1^金銀パラジウム合金 ^ZDS0003<CR>

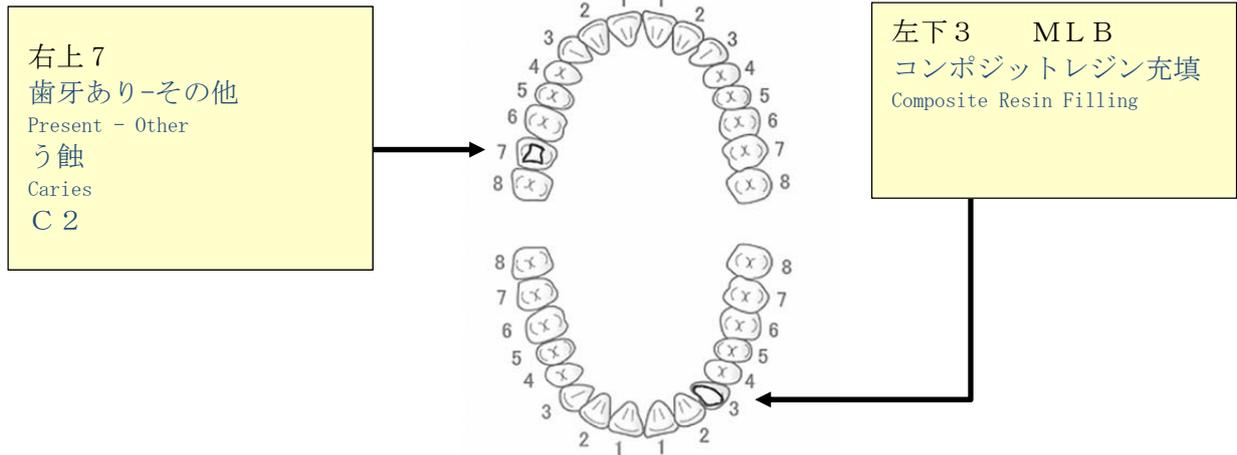
ZTP|1|101600^右側上顎第1大臼歯現存歯部分指定なし^JHSD0010<CR>
 ZDS|2|1.3.2.1.2^歯牙あり-その他^ZDS0001<CR>

ZTP|1|101600^右側上顎第1大臼歯現存歯部分指定なし^JHSD0010<CR>
 ZDS|3|1.3.3.6^う蝕 ^ZDS0001<CR>
 ZTP|1|101600^右側上顎第1大臼歯現存歯部分指定なし^JHSD0010<CR>
 ZDS|4|5.7.2.1.3^C3^ZDS0001<CR>

ZTP|1|102500^左側上顎第2小臼歯現存歯部分指定なし^JHSD0010|6.2.1^切端・咬合面 I/O
 ^ZDS0002|6.2.5^遠心面 D ^ZDS0002<CR>
 ZDS|5|1.3.2.2.1.1.2.1^インレー ^ZDS0001|7.1.1.2.3^銀合金 ^ZDS0003<CR>

■ 記載例 5

	傷病名コード	傷病名基本名称	歯科傷病名省略名称
7 — —C 3	8830788	う蝕第2度	C



PRB|AD|20150718|8830788^う蝕第2度
^MDCDX2|2015070600001717|||20150706||20150718|K021^^i10^O^外来時^JHSD0004|||C^継続
^JHSD0006|20150718|20150706|う蝕第2度|1^主診断^JHSD0007|||V^非常に限定^HL70177<CR>

ZPR||8830788^う蝕第2度^MDCDX2||PJKG^う蝕第2度^MDCDX2||経過観察が必要<CR>
ZPD|1|101700^右側上顎第2大臼歯現存歯部分指定なし^JHSD0010<CR>
ZPD|2|103200^左側下顎側切歯現存歯部分指定なし^JHSD0010<CR>

ZTP|1|101700^右側上顎第2大臼歯現存歯部分指定なし^JHSD0010<CR>
ZDS|1|1.3.2.1.2^歯牙あり-その他^ZDS0001<CR>

ZTP|1|101700^右側上顎第2大臼歯現存歯部分指定なし^JHSD0010<CR>
ZDS|2|1.3.3.6^う蝕 ^ZDS0001<CR>

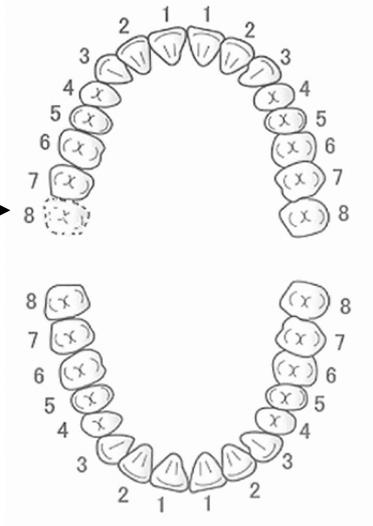
ZTP|1|101700^右側上顎第2大臼歯現存歯部分指定なし^JHSD0010<CR>
ZDS|3|5.7.2.1.2^C2^ZDS0001<CR>

ZTP|1|103200^左側下顎側切歯現存歯部分指定なし^JHSD0010|6.2.2^唇側面・頬側面 B
^ZDS0002|6.2.3^口蓋側面・舌側面 P/L ^ZDS0002|6.2.4^近心面 M ^ZDS0002<CR>
ZDS|4|1.3.2.2.1.1.1.2.1^コンポジットレジン充填 ^ZDS0001<CR>

■ 記載例 6

	傷病名コード	傷病名基本名称	歯科傷病名省略名称
8 — 埋伏智齒	5206035	埋伏智齒	埋伏智齒

右上8
完全埋伏
Complete Impaction



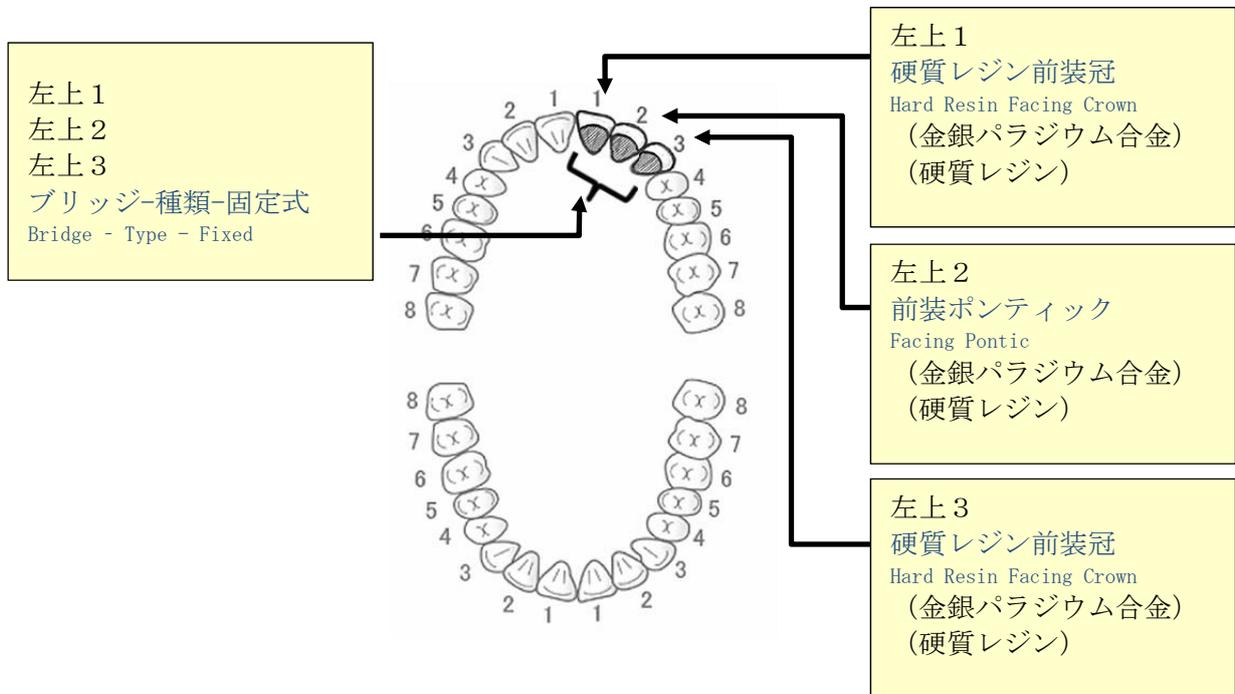
PRB|AD|20150718|5206035^埋伏智齒
^MDCDX2|2015070600001717|||20150706||20150718|K011^^110^0^外来時^JHSD0004|||C^継続
^JHSD0006|20150718|20150706|埋伏智齒|1^主診断^JHSD0007|||V^非常に限定^HL70177<CR>

ZPR||5206035^埋伏智齒^MDCDX2|||NFCQ^埋伏智齒^MDCDX2||経過観察が必要<CR>
ZPD|1|101800^右側上顎第3大臼歯現存歯部分指定なし^JHSD0010<CR>

ZTP|1|101800^右側上顎第3大臼歯現存歯部分指定なし^JHSD0010<CR>
ZDS|1|5.6.2.6.1.1^完全埋伏 ^ZDS0001<CR>

■ 記載例 7

	傷病名コード	傷病名基本名称	歯科傷病名省略名称
① 2 ③ └─── MTブリッジ	8844172	欠損歯・ブリッジ	MTブリッジ



PRB|AD|20150718|8844172^欠損歯・ブリッジ
^MDCDX2|2015070600001717||20150706||20150718|K081^^I10^O^外来時^JHSD0004|||C^継続
^JHSD0006|20150718|20150706|欠損歯・ブリッジ|1^主診断^JHSD0007|||V^非常に限定
^HL70177<CR>

ZPR||8844172^欠損歯・ブリッジ^MDCDX2||AS7T^欠損歯・ブリッジ^MDCDX2||経過観察が必要<CR>
ZPD|1|102130^左側上顎中切歯支台歯部分指定なし^JHSD0010<CR>
ZPD|2|102220^左側上顎側切歯欠損歯歯部分指定なし^JHSD0010<CR>
ZPD|3|102330^左側上顎犬歯支台歯部分指定なし^JHSD0010<CR>

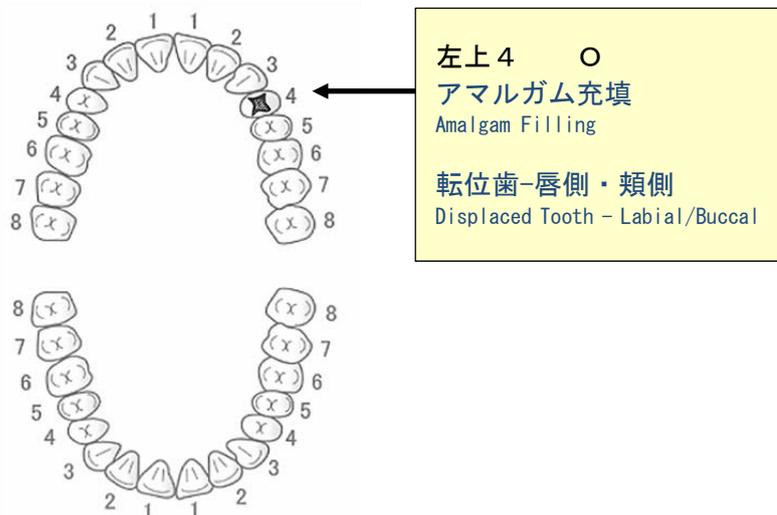
ZTP|1|102130^左側上顎中切歯支台歯部分指定なし^JHSD0010<CR>
ZTP|2|102330^左側上顎犬歯支台歯部分指定なし^JHSD0010<CR>
ZDS|1|1.3.2.2.1.2.2.1^硬質レジン前装冠 ^ZDS0001|7.1.1.2.1^金銀パラジウム合金
^ZDS0003|7.1.2.2.1^硬質レジン ^ZDS0003<CR>

ZTP|1|102220^左側上顎側切歯欠損歯歯部分指定なし^JHSD0010<CR>
ZDS|2|1.3.1.1.2.2^前装ポンティック ^ZDS0001|7.1.1.2.1^金銀パラジウム合金 ^ZDS0003|7.1.2.2.1^硬質レジン ^ZDS0003<CR>

ZTP|1|102130^左側上顎中切歯支台歯部分指定なし^JHSD0010<CR>
ZTP|2|102220^左側上顎側切歯欠損歯歯部分指定なし^JHSD0010<CR>
ZTP|3|102330^左側上顎犬歯支台歯部分指定なし^JHSD0010<CR>
ZDS|3|3.3.1^ブリッジ-種類-固定式^ZDS0001<CR>

■ 記載例 8

	傷病名コード	傷病名基本名称	歯科傷病名省略名称
4 └─C	8830787	う蝕第1度	C



PRB|AD|20150718|8830787^う蝕第1度

^MDCDX2|2015070600001717|||20150706||20150718|K020^^I10^O^外来時^JHSD0004|||C^継続
^JHSD0006|20150718|20150706|う蝕第1度|1^主診断^JHSD0007|||V^非常に限定^HL70177<CR>

ZPR||8830787^う蝕第1度^MDCDX2||AJ9J^う蝕第1度^MDCDX2||経過観察が必要<CR>

ZPD|1|102400^左側上顎第1小臼歯現存歯部分指定なし^JHSD0010<CR>

ZTP|1|102400^左側上顎第1小臼歯現存歯部分指定なし^JHSD0010|6.2.1^切端・咬合面 I/O
^ZDS0002<CR>

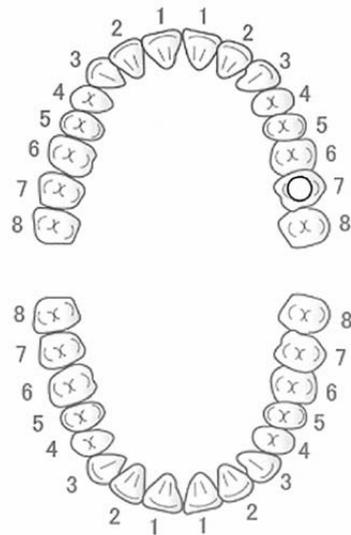
ZDS|1|1.3.2.2.1.1.1.1^アマルガム充填 ^ZDS0001<CR>

ZTP|1|102400^左側上顎第1小臼歯現存歯部分指定なし^JHSD0010<CR>

ZDS|2|5.6.2.3.3^転位歯-唇側・頬側^ZDS0001<CR>

■ 記載例 9

	傷病名コード	傷病名基本名称	歯科傷病名省略名称
7 └─ P u l	5220063	歯髄炎	P u l



左上7
支台築造
Core Built-Up, Post Inserted
(ファイバーポスト)

PRB|AD|20150718|5220063^歯髄炎

^MDCDX2|2015070600001717|||20150706||20150718|K040^^110^0^外来時^JHSD0004|||C^継続
^JHSD0006|20150718|20150706|歯髄炎|1^主診断^JHSD0007|||V^非常に限定^HL70177<CR>

ZPR||5220063^歯髄炎^MDCDX2||TK2B^歯髄炎^MDCDX2||経過観察が必要<CR>

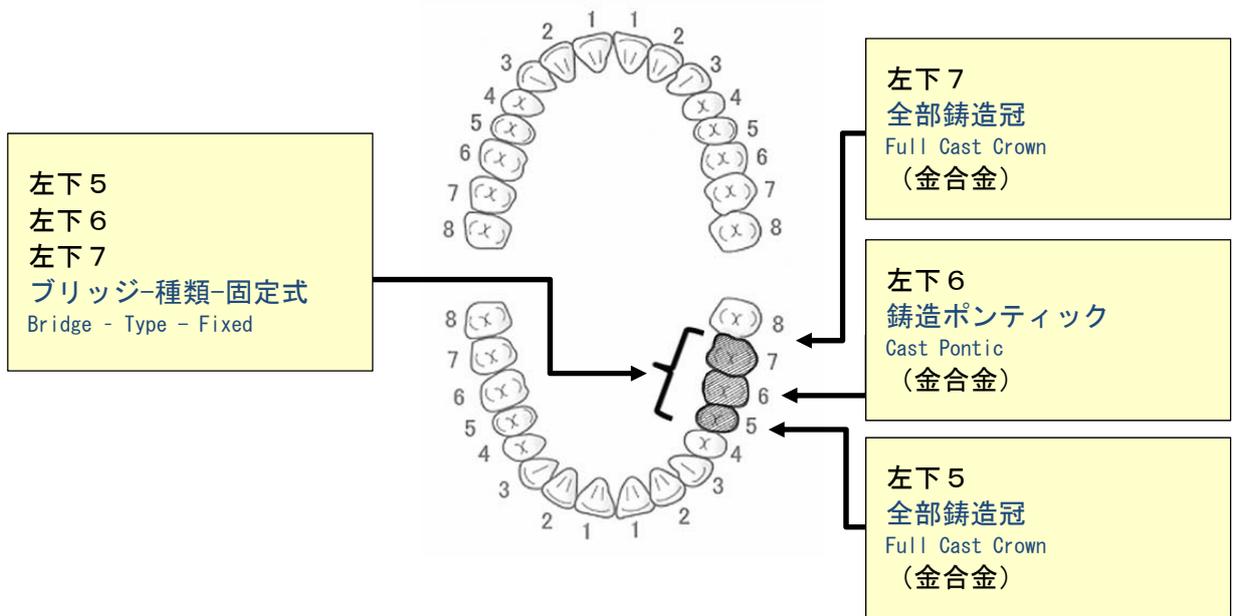
ZPD|1|102730^左側上顎第2大臼歯支台歯部分指定なし^JHSD0010<CR>

ZTP|1|102730^左側上顎第2大臼歯支台歯部分指定なし^JHSD0010<CR>

ZDS|1|1.3.2.2.4^支台築造・ポスト挿入 ^ZDS0001|7.3.3.3^ファイバーポスト ^ZDS0003<CR>

■ 記載例 1 0

MTブリッジ ⑤⑥⑦	傷病名コード 8844172	傷病名基本名称 欠損歯・ブリッジ	歯科傷病名省略名称 MTブリッジ
---------------	-------------------	---------------------	---------------------



PRBIAD|20150718|8844172^欠損歯・ブリッジ
^MDCDX2|2015070600001717|||20150706||20150718|K081^^110^O^外来時^JHSD0004|||C^継続
^JHSD0006|20150718|20150706|欠損歯・ブリッジ|1^主診断^JHSD0007|||V^非常に限定
^HL70177<CR>

ZPR||8844172^欠損歯・ブリッジ^MDCDX2||AS7T^欠損歯・ブリッジ^MDCDX2||経過観察が必要<CR>
ZPD|1|103530^左側下顎第2小臼歯支台歯部分指定なし^JHSD0010<CR>
ZPD|2|103620^左側下顎第1大臼歯欠損歯部分指定なし^JHSD0010<CR>
ZPD|3|103730^左側下顎第2大臼歯支台歯部分指定なし^JHSD0010<CR>

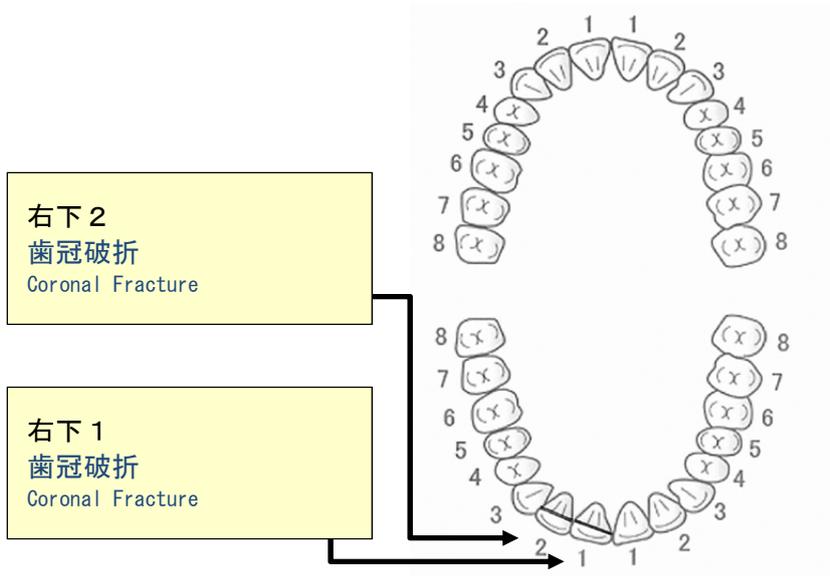
ZTP|1|103530^左側下顎第2小臼歯支台歯部分指定なし^JHSD0010<CR>
ZTP|2|103730^左側下顎第2大臼歯支台歯部分指定なし^JHSD0010<CR>
ZDS|1|1.3.2.2.1.2.1^全部鑄造冠 ^ZDS0001|7.1.1.1.1^金合金 ^ZDS0003<CR>

ZTP|1|103620^左側下顎第1大臼歯欠損歯部分指定なし^JHSD0010<CR>
ZDS|2|1.3.1.1.2.1^鑄造ポンティック ^ZDS0001|7.1.1.1.1^金合金 ^ZDS0003<CR>

ZTP|1|103530^左側下顎第2小臼歯支台歯部分指定なし^JHSD0010<CR>
ZTP|2|103620^左側下顎第1大臼歯欠損歯部分指定なし^JHSD0010<CR>
ZTP|3|103730^左側下顎第2大臼歯支台歯部分指定なし^JHSD0010<CR>
ZDS|3|3.3.1^ブリッジ-種類-固定式^ZDS0001<CR>

■ 記載例 1 1

	傷病名コード	傷病名基本名称	歯科傷病名省略名称
—— 歯冠ハセツ 2 1	5218009	歯冠破折	歯冠ハセツ



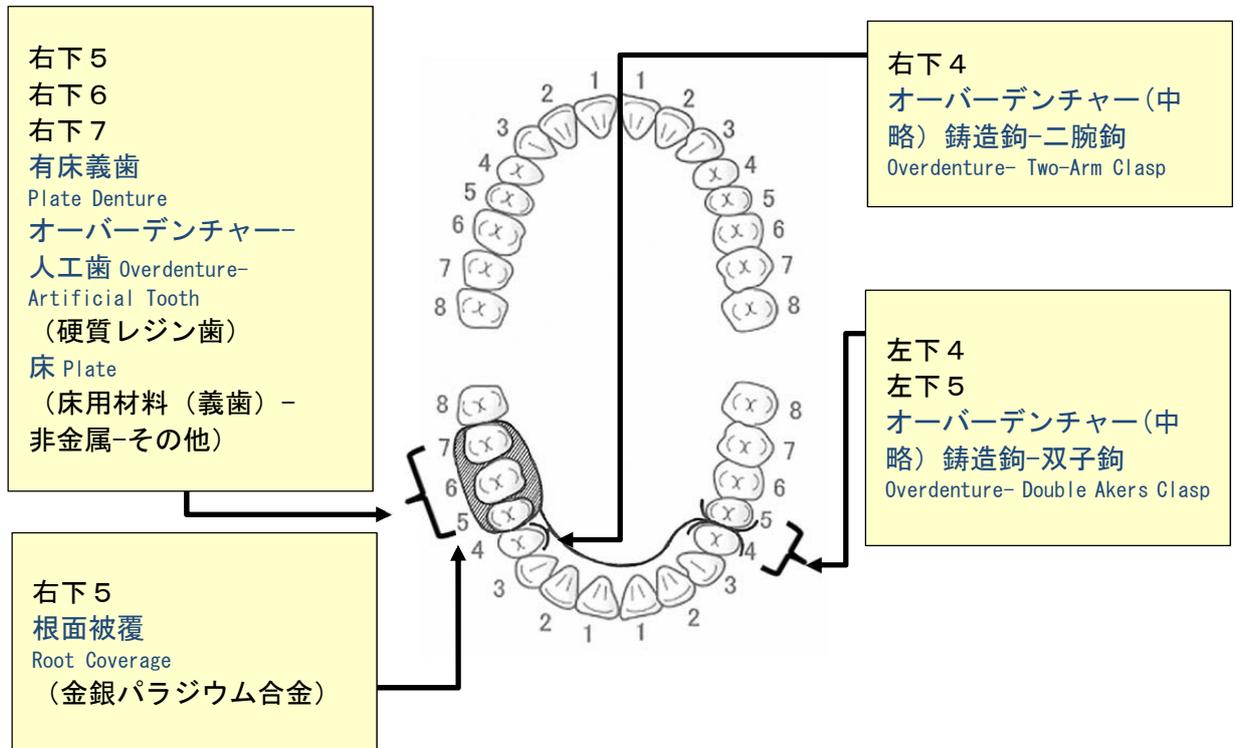
PRB|AD|20150718|8844172^欠損歯・ブリッジ
 ^MDCDX2|2015070600001717|||20150706||20150718|K081^110^0^外来時^JHSD0004|||C^継続
 ^JHSD0006|20150718|20150706|欠損歯・ブリッジ|1^主診断^JHSD0007|||V^非常に限定
 ^HL70177<CR>

ZPR||8844172^欠損歯・ブリッジ^MDCDX2||AS7T^欠損歯・ブリッジ^MDCDX2||経過観察が必要<CR>
 ZPD|1|104100^右側下顎中切歯現存歯部分指定なし^JHSD0010<CR>
 ZPD|2|104200^右側下顎側切歯現存歯部分指定なし^JHSD0010<CR>

ZTP|1|104100^右側下顎中切歯現存歯部分指定なし^JHSD0010<CR>
 ZTP|2|104200^右側下顎側切歯現存歯部分指定なし^JHSD0010<CR>
 ZDS|1|5.7.2.4^歯冠破折(歯折)^ZDS0001<CR>

■ 記載例 1 2

	傷病名コード	傷病名基本名称	歯科傷病名省略名称
MT	5250001	欠損歯	MT
7-5			



PRBIAD|20150718|8844172^欠損歯・ブリッジ
 ^MDCDX2|2015070600001717|||20150706||20150718|K081^^110^O^外来時^JHSD0004|||C^継続
 ^JHSD0006|20150718|20150706|欠損歯・ブリッジ|1^主診断^JHSD0007|||V^非常に限定
 ^HL70177<CR>

ZPR||8844172^欠損歯・ブリッジ^MDCDX2||AS7T^欠損歯・ブリッジ^MDCDX2||経過観察が必要<CR>
 ZPD|1|104520^右側下顎第2小臼歯欠損歯部分指定なし^JHSD0010<CR>
 ZPD|2|104620^右側下顎第1大臼歯欠損歯部分指定なし^JHSD0010<CR>
 ZPD|3|104720^右側下顎第2大臼歯欠損歯部分指定なし^JHSD0010<CR>

ZTP|1|104520^右側下顎第2小臼歯欠損歯部分指定なし^JHSD0010<CR>
 ZTP|2|104620^右側下顎第1大臼歯欠損歯部分指定なし^JHSD0010<CR>
 ZTP|3|104720^右側下顎第2大臼歯欠損歯部分指定なし^JHSD0010<CR>
 ZDS|1|1.3.1.1.3^有床義歯 ^ZDS0001<CR>

ZTP|1|104520^右側下顎第2小臼歯欠損歯部分指定なし^JHSD0010<CR>
 ZTP|2|104620^右側下顎第1大臼歯欠損歯部分指定なし^JHSD0010<CR>
 ZTP|3|104720^右側下顎第2大臼歯欠損歯部分指定なし^JHSD0010<CR>
 ZDS|2|2.2.2.5^オーバーデンチャー人工歯^ZDS0001|7.4.1^硬質レジン歯 ^ZDS0003<CR>

ZTP|1|104520^右側下顎第2小臼歯欠損歯部分指定なし^JHSD0010<CR>
ZTP|2|104620^右側下顎第1大臼歯欠損歯部分指定なし^JHSD0010<CR>
ZTP|3|104720^右側下顎第2大臼歯欠損歯部分指定なし^JHSD0010<CR>
ZDS|3|2.2.1.2^床 ^ZDS0001|7.5.1.2^床用材料(義歯)-非金属-その他^ZDS0003<CR>

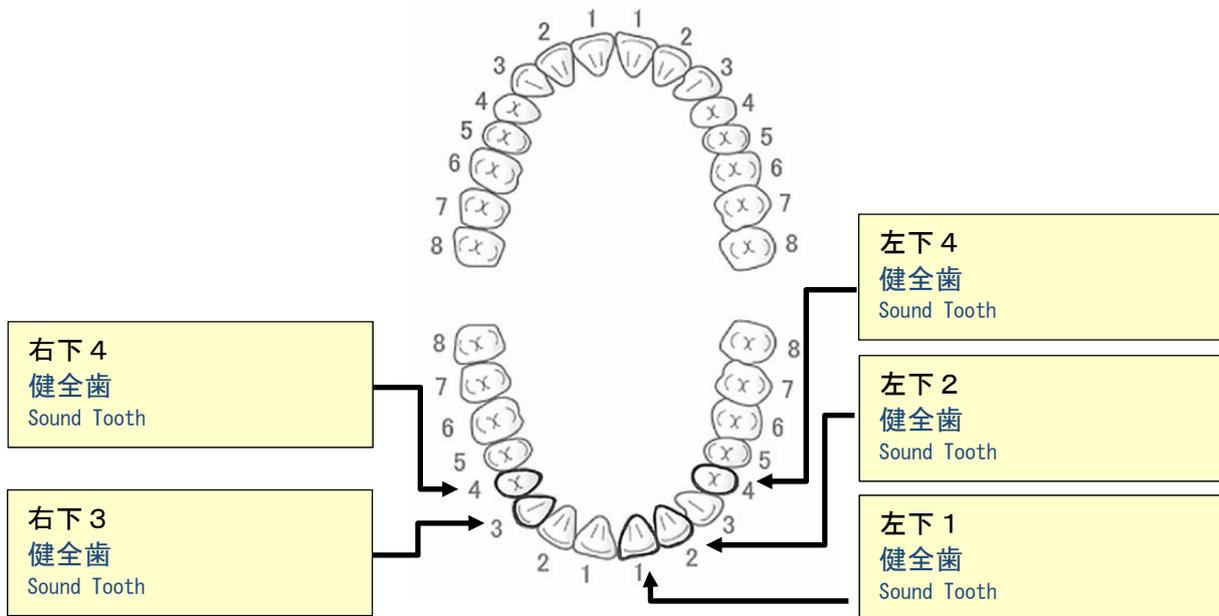
ZTP|1|104520^右側下顎第2小臼歯欠損歯部分指定なし^JHSD0010<CR>
ZDS|4|1.3.2.2.1.3^根面被覆 ^ZDS0001|7.1.1.2.1^金銀パラジウム合金 ^ZDS0003<CR>

ZTP|1|103400^左側下顎第1小臼歯現存歯部分指定なし^JHSD0010<CR>
ZTP|2|103500^左側下顎第2小臼歯現存歯部分指定なし^JHSD0010<CR>
ZDS|5|2.2.2.3.2.1.2.2^オーバーデンチャー-鑄造鉤-双子鉤^ZDS0001<CR>

ZTP|1|104400^右側下顎第1小臼歯現存歯部分指定なし^JHSD0010<CR>
ZDS|6|2.2.2.3.2.1.2.1^オーバーデンチャー-鑄造鉤-二腕鉤 ^ZDS0001<CR>

■ 記載例 1 3

_____健全歯 4 3 1 2 4	傷病名コード	傷病名基本名称	歯科傷病名省略名称
	9999999		



PRB|AD|20150718|9999999^^MDCDX2|2015070600001717|||20150706||20150718|^O^外来時
 ^JHSD0004|||C^継続^JHSD0006|20150718|20150706||1^主診断^JHSD0007|||V^非常に限定
 ^HL70177<CR>

ZPR||9999999^^MDCDX2|||経過観察が必要<CR>

ZPD|1|103100^左側下顎中切歯現存歯部分指定なし^JHSD0010<CR>

ZPD|2|103200^左側下顎側切歯現存歯部分指定なし^JHSD0010<CR>

ZPD|3|103400^左側下顎第1小臼歯現存歯部分指定なし^JHSD0010<CR>

ZPD|4|104300^右側下顎犬歯現存歯部分指定なし^JHSD0010<CR>

ZPD|5|104400^右側下顎第1小臼歯現存歯部分指定なし^JHSD0010<CR>

ZTP|1|103100^左側下顎中切歯現存歯部分指定なし^JHSD0010<CR>

ZTP|2|103200^左側下顎側切歯現存歯部分指定なし^JHSD0010<CR>

ZTP|3|103400^左側下顎第1小臼歯現存歯部分指定なし^JHSD0010<CR>

ZTP|4|104300^右側下顎犬歯現存歯部分指定なし^JHSD0010<CR>

ZTP|5|104400^右側下顎第1小臼歯現存歯部分指定なし^JHSD0010<CR>

ZDS|1|1.3.2.1.1^健全歯 ^ZDS0001<CR>

4 論点の整理

4-1 歯科情報の保存についての今後の課題

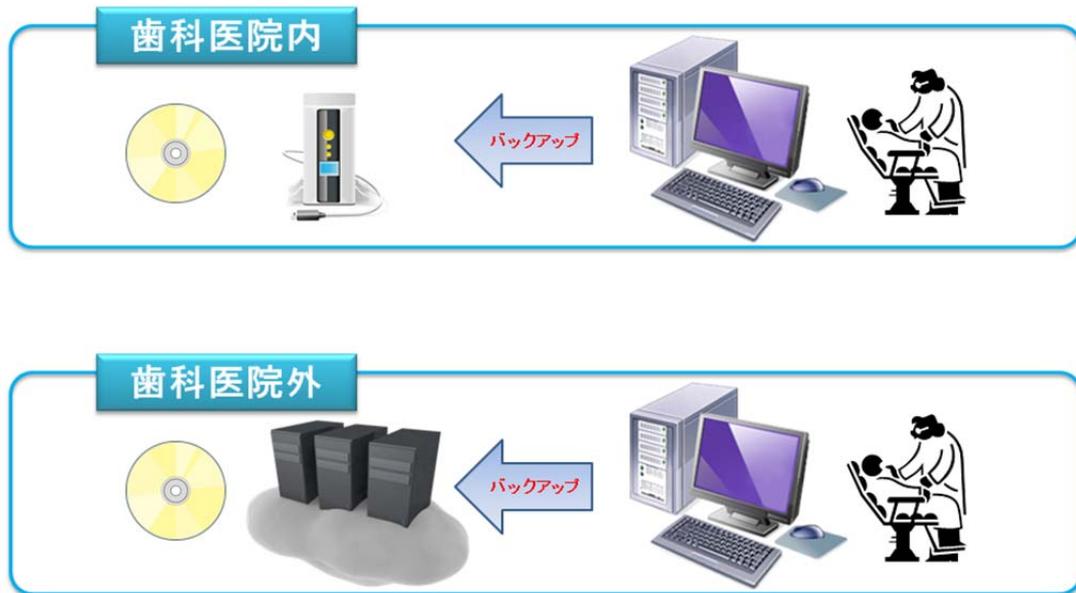
東日本大震災における身元確認では、歯科所見による身元確認の有効性が再認識された。一方で、生前の歯科情報収集に関して大きな課題が2つあげられた。

- ① 各診療所における歯科情報が標準化されておらず、デジタルデータとして共通に利用可能な生前の歯科情報は存在しなかった。そこで、かかりつけ診療所より、行方不明者の診療録を紙媒体で収集し、人海戦術で、その内容を読み解くとともに、コンピュータに入力して検索を行う必要があった。
- ② 沿岸地域では、住居のみならず歯科診療所も津波によって被災し、生前の歯科情報が失われるケースが続出した。

以上を踏まえて平成25年度より歯科診療情報の標準化の実証事業が開始され、新潟県歯科医師会各員各位ならびに全国の皆様からのご協力の下、様々な実験を通じて検討を重ね、ようやく896個の特徴記述子の階層構造からなる「口腔状態の標準データセット」を定義するに至った。これにより、上記の課題①の解決に向けて、その方向性がようやく定まってきたところである。

さて、このようにデータ形式が標準化されると、今後は、上述の課題②の解決に向けて、各歯科医療機関のデータをどのように保全するのかについて具体的な検討が必要である。歯科情報の保存に関しては、大きく院内保存と院外保存に分けられる。ここでは、院内および院外の双方の保存方法についての論点を整理しておきたい。

歯科情報の保存（院内及び院外）



歯科院内でのデータ保存 ～ 長所と短所

レセコンから抽出した標準化データを、院内で保存する方法としては、例えば、CDやDVD等の媒体にバックアップして保存する方法や、外付けハードディスクに定期的にバックアップする方法などが考えられる。

■ 長所

- ・ 現状の環境を大きく変更する必要がない
- ・ コストが小さく、取り組みが比較的容易である
- ・ 保管場所はコンパクトであり、特殊な設備も必要としない
- ・ 院内で身元検索が可能である

■ 短所

- ・ 定期的にデータの更新が必要である
- ・ 保存媒体がコンパクトな反面、媒体の紛失や持ち出し（情報漏洩）の可能性が危惧される
- ・ 大規模災害時には歯科医医院自体の被災によるデータ消失の可能性もある（災害等時の脆弱性）

当然ながら、院内でのデータ保存はコストも低廉に抑えられ、比較的容易に取り

組みが可能な方法といえる。また、警察等から身元確認の照会がなされた場合、院長がその場で容易に検索可能となる。その一方で、CD や DVD 等の外部媒体の管理が必要であり、情報漏えいへの対策が不可欠である。さらに、データの定期的な更新作業も必要となる。最大の問題は、大規模災害時に歯科医院自体が被災した場合、院内で保管されたデータは消失する可能性があるという点である。先の東日本大震災と同じ轍を踏まないためにも、これは何としても対策を講じる必要がある。

歯科医院外でのデータ保存 ～ 長所と短所

歯科情報を医院外に保存する方法として、前述のバックアップ媒体自体を外部に保存する方法、ならびに、データを外部に転送して保存する方法があげられる。

■ 長所

- ・ 【CD や DVD 等の媒体を外部保存する場合】インフラ設備は不要であり、かつ、災害時に歯科医院が被災した場合でもデータが保全される
- ・ 【クラウド等を用いてデータを外部保存する場合】大規模災害時もデータが保存されており、またデータの収集が容易である

■ 短所

- ・ データ管理の責任主体について十分な配慮が必要
- ・ 【CD や DVD 等の媒体を外部保存する場合】保存のための物理的スペースが必要であるとともに、データの更新等に手間がかかる
- ・ 【クラウド等を用いてデータを外部保存する場合】データセンターの経費や情報インフラへの投資が必要

医院外の保存に関して、一例として歯科医院で CD や DVD 等にデータをバックアップし、歯科医師会等でこれを預かるという方法も挙げられる。この場合はインフラ設備が不要であり、かつ、コストも比較的低廉であるというメリットがある。しかし、CD や DVD 等の媒体を外部保存するためには、厳重に管理された保存場所が必要である。また、データを定期的に更新するために、歯科医院から定期的に CD や DVD 等の媒体を提供いただき、そのうえでデータが確実に更新されることを確認する必要もある。

一方で、クラウド等を利用してデータを外部保存する場合、防災やセキュリティ面に配慮されたデータセンターであれば、大規模災害時においてもデータの保全が図れる可能性が高い。また、個々の歯科医療機関にデータが存在するのではなく、1箇所にデータが集約されることにより、災害時等でもデータの収集が容易である。また、災害時のみならず平時においても、患者さんの同意を前提としたうえではあるが、地域医療情報連携基盤を活用した情報共有などへと発展する可能性がある。

このように歯科情報の保全ならびに歯科情報の迅速な収集といった観点からは、歯科情報の外部保存は大きなメリットを持つと言えるが、デメリットとしては、データセンターや通信回線に関する経費があげられる。規模に応じてこの費用も増大していくことから、予算措置が大きなネックであろう。

データ管理の責任主体の考え方についても、検討すべき課題は多い。平時に情報を誰が管理するのか、また、身元確認の場合にこの情報をだれが取り扱うのか、さらには、災害等により院長が死亡もしくは行方不明などの場合に、この情報がどうなるのか等、様々な検討事項が山積している。

さて、歯科情報の保存（院内、院外）に係る検討課題は先に述べた通りであるが、歯科医院に存在する歯科情報は災害時だけではなく、平時においても失われる可能性があることも考慮しなければならない。具体的には、平時の情報消失の要因として、次のようなものが考えられる。

- 医院の廃業による歯科情報の消失
- システムの故障やレセコンの入れ替えによる歯科情報の消失
- 世代交代による歯科情報の消失

ここで、医院の廃業による歯科情報の消失に関して、新潟県歯科医師会を例に挙げると、平成26年度に死亡や医院の廃業により医療機関を閉鎖した事例が13件存在する。仮に1医療機関あたり4千から5千名分の患者情報を保有すると仮定すると、実に5万人以上もの歯科情報が失われる可能性がある。さらに、医院の世代交代やシステムの故障、レセコンの入れ替え等によっても歯科情報が消失する可能性がある。これらの情報をいかにして保全するかということも今後の課題として残されている。

■ カルテやレセコンデータの法定保存年数

診療録（カルテ）の保管期間は医師法第24条において5年と定められている。一方、診療報酬請求明細書（レセプト）の保管期間については明確な定めはないものの、民法第170条において下記の記載がある。

「次に掲げる債権は、三年間行使しないときは、消滅する。ただし、第二号に掲げる債権の時効は、同号の工事が終了した時から起算する。」

一 医師、助産師又は薬剤師の診療、助産又は調剤に関する債権

つまり、上記により保険請求の時効が3年であることから、レセプトの保管年数を5年と定めている健康保険組合も多く、行政からの指導でも5年とする場合がある。すなわち、5年を経過したレセプトは消滅する可能性がある。従来は紙媒体のレセプトであったことから保存のためには、保管場所等を確保する必要があるが、現在はデータ

として保管が可能であることから、保険者の取り組みによってはデータとして長期保存が可能になると言える。この点も、今後、考慮する必要がある。

一方、まだ議論がなされていないものの、歯科情報の保管を阻むもう一つ大きな問題と考えられるのが歯科医師の高齢化である。現在、日本歯科医師会会員の平均年齢は約 60 歳である。日本国内の高齢化と同様、歯科界も高齢化を迎え年齢構成も徐々に変化する。将来的には多くの歯科医院が廃業し、この時点で歯科情報が消失することも危惧される。

当然ではあるが、歯科情報の保存を議論するにあたり、法的な配慮も必要であり、今後、検討を深める必要がある。

- 個人情報保護法
- 警察等が取り扱う死体の死因又は身元の調査等に関する法律
- 医療・介護関係事業等における個人情報の適切な取扱いのためのガイドライン
- データ管理責任主体

4-2 海外の歯科情報との互換

平成 25 年度報告書にも述べたが、歯科所見による身元確認において、国際的に統一された様式はなく、国や地域によって様々なシステムが用いられている。アメリカ国内においては、CAMPI、WIN-ID、NCIC2000 等のシステムが存在するが、各州や管轄によって異なるシステムが利用され、統一的なシステムはない。

その中でも、INTERPOL の DVI システムは、大規模災害時の身元確認の国際協力で用いられた実績があり、我が国における歯科情報の標準化を検討するうえで、互換性に配慮する必要があると考えられる。

一方で、国際的な動きとして ISO において 2015 年より WG が設置され、歯科による身元確認について検討が開始された。以下 ISO の動向について述べる。

- 2012 年の ISO 総会において、TC106 議長から、法歯学的個人識別標準の必要性が説明される。
- 2013 年：インチョン会議の SC3-Terminology において、Discussion group on Dental forensic identification 歯科的身元確認の検討会を設置（東北大学佐々木歯学部長が、東日本大震災における我が国の対応を報告）。
- 2014 年：ベルリン会議において、既存のシステムの互換性を促進するための「口腔及び歯科のデータセット」に関する NP 投票を行うことを決定。本規格の開発作

業を行うために新たな WG5 を設置し、その座長に米国、Kenneth Aschheim 氏、サポート役に東北大学、佐々木歯学部長を指名した。

- 2015 年：バンコク会議で、WG5 “Oro-dental identification” を正式に立ち上げ検討開始。
- WG5 のコンビーナ（総括責任者） K. Aschheim 氏より、ANSI/ADA No.1058 Forensic Dental Data Set をもとにした、階層型のデータが提示され、NPO 投票のコメントを踏まえて検討された。
- WG5 での意見を踏まえて、佐々木、青木、Aschheim で新たなデータセットの構造を作成し、2016 年 3 月に修正案を提出することとなった。
- 2015 年 10 月、K. Aschheim 氏訪日の際にミーティングを行い、厚生労働省で検討中の、歯科診療情報の標準化に関するデータセットを提示した。このデータセットは ANSI/ADA No.1058 をもとに、国内の保険診療を考慮して拡張した階層型のデータセットであり、K. Aschheim 氏もこれに興味を示し、これも参考にしながらデータセットの修正案が 3 月に提示され、現在 WG5 で検討中である。
- 2016 年：トロムソ会議（ノルウェー）において、上記のデータセットをもとに検討される予定。

ISO（国際標準化機構）は国際的な標準である国際規格を策定するための非政府組織であり様々な規格が検討されているが、これは下記の通り構成される。

【ISO/TC/SC/WG】

- TC 専門委員会（Technical committee）特定の産業又は包括的なテーマの国際規格等を開発（歯科専門委員会は TC106）
- SC 分科委員会（Subcommittee）TC が扱う専門分野における特定分野に関する国際規格等を開発
- WG 作業グループ（Working group）TC/SC の規格開発計画における規格を作成

TC 106	Dentistry	歯科	WG 9	Endodontic instruments	歯内療法用器具
WG10	Biological evaluation	生物学的評価	WG 10	Dental injection systems	歯科用注射システム
SC 1	Filling and restorative materials	充填・修復材料	WG 13	Implant instruments	インプラント器具
WG 1	Zinc oxide/eugenol cements and non-eugenol cements	酸化亜鉛ユージンオールセメント及び非ユージンオールセメント	SC 6	Dental equipment	歯科器械
WG 2	Endodontic materials	根管充填用材料	WG 1	Dental operating light	歯科用照明器
WG 7	Dental amalgam	歯科用アマルガム	WG 2	Dental patient chair and dental unit	歯科患者用いす及びユニット
WG 9	Resin-based filling materials	レジン系充てん(填)材料	WG 3	Dental operator's stool	術者用いす
WG 10	Dental luting cements, bases and liners	歯科合着用、裏層用、裏装用セメント	WG 5	Amalgamators, dispensers and capsules	アマルガメータ、ディスペンサ及びカプセル
WG 11	Adhesion test methods	接着試験方法	WG 7	Powered polymerization activators	重合用光照射器
WG 13	Orthodontic products	矯正用品	WG 8	Suction equipment	吸引装置
WG 14	Orthodontic elastics	矯正用エラスチック	WG 9	Particular electrical requirements of dental equipment	歯科用機器の電気に関する個別要求事項
WG 15	Adhesive components	接着性レジンセメント	SC 7	Oral care products	オーラルケア用品
WG 17	Orthodontic anchors	矯正用アンカースクリュー	WG 1	Manual toothbrushes	手用歯ブラシ
SC 2	Prosthetic materials	補綴材料	WG 2	Powered oral hygiene devices	電動口腔衛生用具
WG 1	Dental ceramics	歯科用セラミック	WG 3	Oral rinses	オーラルリンス
WG 7	Impression materials	印象材	WG 4	Dentifrices	歯磨剤
WG 10	Resilient lining materials	弾性裏装材	WG 5	Interdental brushes	歯間ブラシ
WG 12	Corrosion test methods	腐食試験方法	WG 6	Dental flosses	デンタルフロス
WG 13	Investments	埋没材	WG 7	Dental bleaching products	歯科用漂白材
WG 14	Dental brazing materials	歯科用ろう付材料	WG 8	Fluoride varnishes	フッ化物バーニッシュ
WG 16	Polymer veneering and die materials	高分子系歯冠用及び歯型用材料	WG 9	Denture adhesives	義歯床安定用(糊)材
WG 20	Artificial teeth	人工歯	WG 10	Analytical methods for oral care products	オーラルケア用品のための分析法
WG 21	Metallic materials	金属材料	SC 8	Dental implants	歯科用インプラント
WG 22	Magnetic attachments	磁性アタッチメント	WG 1	Implantable materials	インプラント材料
SC 3	Terminology	用語	WG 2	Preclinical biological evaluation and testing	前臨床生物学的評価及び試験
WG 1	Harmonization of dental codes and abbreviations	コードと略号の整合	WG 3	Content of technical files	テクニカルファイルの内容
WG 2	Dental vocabulary (Revision of ISO 1942 and thematic coding of its terms)	歯科用語 (ISO 1942の改正及び収録用語のテーマ毎のコード化)	WG 4	Mechanical testing	機械的試験
WG 4	Definition of new terms relating to the needs of dental standards	規格作成に必要な新用語の定義	WG 5	Dental implants—Terminology	歯科用インプラント—用語
WG 5	Oro-dental identification	歯科情報による身元確認	SC 9	Dental CAD/CAM systems	歯科用CAD/CAMシステム
SC 4	Dental instruments	歯科器具	WG 2	Terminology	歯科用CAD/CAMシステム—用語
WG 1	Dimensions of rotary instruments	回転器具の寸法	WG 3	Digitizing devices	デジタル化装置
WG 5	Numbering system	番号表示法	WG 4	Interoperability	相互操作性
WG 7	Dental handpieces	歯科用ハンドピース	WG 5	Machined devices	機械加工物
WG 8	Dental hand instruments	歯科用手用器具	WG 6	Machinable blanks	切削加工用材料
ISO/TC106の構成					

TC106 議長の説明を受けて、2012年に歯科における身元確認用語についての検討が始まり、2015年のバンコク会議より TC106/SC3/WG5 "Oro-dental Identification" が設置され、WGにおいて原案をもとに検討が開始されている。なお、上記 WG5 で検討中の国際規格発行までは4年間を要する見込みである。

将来的に発災が危惧されている南海トラフ地震において、外国人が犠牲になることも十分にあり得る。また、2020年開催の東京オリンピックでは、海外から多数の方が訪日されるが、観光やビジネスで訪日する外国人が増加することもあり、万一对する備えとしても、インターポール DVI や ISO 等海外の歯科情報も含めて、歯科情報との互換については十分に考慮する必要がある。

4-3 その他の検討課題

厚生労働省の検討会において、歯科のバックアップについての議論が開始されたが、次のステップへ進むうえでもいくつかの検討課題が指摘されている。

■ 既存の歯科情報（紙媒体、電子データ）への対応

今後、レセコンに標準化歯科情報の出力機能が搭載されたとしても、すでに院内に存在する紙カルテ等の歯科情報をどうするか。また、既存の歯科情報（電子データ）についてはどうするのかなどの検討が必要である。

■ 歯科医療機関以外に存在する歯科情報の対応（学校歯科健診や事業所歯科健診等）

歯科情報は医療機関のみならず他所にも存在するが、これらの歯科情報の標準化については全く手付かずの状態である。学校歯科健診をはじめ、事業所歯科健診、後期高齢者の歯科健診等の情報を標準化することで、様々な活用が期待できる。また、これらの歯科情報は、歯科医院に通院したことがない方もカバーする意味からも有効といえる。一般的に歯科健診に用いられる項目は情報量が少ない（粒度が粗い）と考えられるが、今般策定した口腔状態の標準データセットは、階層型構造により、情報量の異なる歯科情報でも対応可能であるということは大きな利点といえる。

■ 行方不明者、認知症による徘徊者等への対応

日本国内では年間1千体を超えるとされる身元不明遺体が存在する。今後、警察において、特異家出人の歯科情報を標準データ形式で収集することが可能になれば、身元不明遺体との照合・検索が可能となり、その判明に大きく寄与するものと期待される。さらに、社会問題でもある認知症による徘徊者等への対応としても歯科情報の有効活用が考えられる。

■ 歯科情報の共有への対応（地域・医療連携、医療ICT化）

第2章で述べた通り、我が国における地域医療情報連携や医療情報遠隔バックアップ等で実績のあるSS-MIX2に準拠するデータとして歯科情報を保存し、活用することで、将来的には、地域・医療連携も見据えた情報共有の可能性が大きく広がる。

以上、現在問題提起されている事項について述べてきた。歯科情報標準化の普及・推進にあたっては、歯科医師の理解と協力、そして何よりも国民の理解が不可欠である。いかにして国民の理解を深めていくかが、今後の鍵になるものと考えられる。

5 結論

新潟県歯科医師会の3年間の事業の経過は、次のようにまとめることができる。

- 平成25年度の実証事業においては、我が国の歯科診療における保険診療項目をベースにした「標準プロファイル(26項目)」を定義し、この項目を網羅したマークシート様式によるデンタルチャートを用いて被験者となる患者の歯科情報を収集し、検索・照合実験を行った。その結果、標準プロファイルとして定義した26項目の歯科情報を保持すれば、外乱(様々な要因による情報欠落)への耐性も備え、かつ、極めて高い精度で身元の絞り込みが可能であることを実証した。
- 平成26年度は、この標準プロファイル(26項目)を基礎とし、広範にわたる意見聴取をもとに考察しながら、標準的な口腔内所見を木構造による階層型のデータセットとして再定義し、様々な歯科情報の粒度(詳細度、抽象度)に柔軟に対応できる階層化構造とした。この結果、同一のデータセットでありながら、一般歯科診療所に存在する診療情報、病院に存在する多様な診療情報、警察などで用いられる遺体の歯科情報など、さまざまな粒度の情報を統一的な枠組みで取り扱うことが可能となった。この階層型のデータセットの概念は、歯科情報の検索システムを設計するうえでも極めて有用であることが判明した。
- 平成27年度においては、前年度に策定した階層型のデータセットの概念を踏襲するとともに、その80個の特徴記述子を896個に拡張し、内外の専門家へのヒアリングによって判明した身元確認に資する歯科情報をほぼすべて網羅できる「口腔状態の標準データセット」を策定した。すなわち、この3年間の事業を通して、特徴記述子の数を26個(平成25年度)→80個(平成26年度)→896個(平成27年度)と拡張し、網羅性と柔軟性を高めてきた。これにより、災害時等における歯科情報の消失のリスクを踏まえ、より包括的な歯科診療情報のバックアップが初めて可能になる枠組みが得られたと言えよう。さらには、この標準データセットを実際に活用するうえで必要となるデータ交換規約(SS-MIX2形式)の原案を提示するとともに、データ保存のあり方についても検討を行った。

なお、平成27年度の事業実施にあたっては、警察関係者や法医学・法歯学者等、広範にわたる意見聴取を行うとともに、各専門分野の歯科医師等によるワーキンググループを立ち上げ、10回以上にもわたりデータセットの拡張について検討を行った。さらに、2015年よりISO(国際標準化機構)において、身元確認における歯科用語の標準化を目的に設置された、ISO/TC106/SC3/WG5 "Oro Dental Identification" のコンビーナ(総括責任者)とのミーティングを行い、日本の保険診療をもとにしつつ、海外のデータセットとの整合性・互換性も考慮したデータセットを策定した。また、標準データセットの運用に向けて、保健医療情報分野の厚生労働省標準規格等との整

合性にも配慮する必要があることから、医療情報関係者とも打合せを行い、将来的には地域連携・病診連携も見据えて検討を行った。

今般、ようやく標準データセットの策定に至り、いよいよこの標準データセットを用いて歯科レセコンや電子カルテ等の実装に向けた検討が開始されることとなる。実装に向けてはレセコンベンダー各社をはじめ、ユーザーである歯科医師の意見を反映させながら、標準化の全国展開に向けて十分なる検討が必要である。今後はデータのバックアップも含めたデータ保存の問題が大きくクローズアップされてくるが、そこには法的課題も山積する。歯科情報の標準化はようやく緒に就いたところであるが、これからの展開に向けて期待したい。

最後になりましたが、東日本大震災以降、全国でも火山活動が活発化の傾向にあります。また海外に目を転じると各地での地震災害をはじめテロによる事件等が頻発しております。いつ起こるとも分からない自然災害に備えるとともに、歯科診療情報の標準化により、我々に多くの恩恵をもたらすような社会が早期に実現できることを願うとともに、災害や事故により被害を受けられた方に心からお見舞い申し上げます。

■謝 辞

平成 23 年 3 月 11 日発災した東日本大震災の身元確認において、身元不明ご遺体の歯科所見と歯科医療機関が所有する生前の歯科情報を照合・鑑定することに身元確認の有効性が改めて示された。今回、特にこのような大規模災の場合、現場での ICT の活用が必要不可欠であることが明白になった。

新潟県歯科医師会は、日本歯科医師会より 2009 年に新潟県主管の第 8 回警察歯科医学会全国大会開催依頼を受け、「IT を活用した身元確認支援技術のあり方」をキーワードに大会を開催し、その後も広く IT 技術を用いた歯科による身元確認の必要性を提言して来た。日本歯科医師会の様々な方面への働きかけもあり、平成 25 年度より「歯科診療情報の標準化に関する実証事業」が厚生労働省で実施されることになり、企画競争入札事業ではあったが、新潟県歯科医師会が応札しこれを受託することになった。

平成 25 年度は、東北大学副学長青木教授はじめ、多くの有識者、新潟県歯会員の協力の下で実証実験を行い、歯科情報の標準 26 項目（標準プロフィール）を策定し、これが身元確認において極めて高精度に絞り込みが可能であることを証明した。平成 26 年度は、この 26 項目を基礎とし、広範にわたる意見聴取をもとに考察しながら、標準的な口腔内所見を ANSI/ADA No.1058 のデータセットを参考に木構造による階層型のデータセットとして再定義し、様々な歯科情報に柔軟に対応できる階層構造とした。このことは厚生労働科研事業でも触れられている何分類がよいのかという議論に、歯科情報の入力情報の形式と検索方法（アルゴリズム）とは異なることをご理解いただくことができた。

本年度は、包括的な歯科診療情報のバックアップとして、より多くの歯科診療情報を保存することも考慮しながらデータセットを拡張し、青木教授を中心に「口腔状態の標準データセット」の策定に至った。今般の標準データセット策定に至る迄には、

各県歯科医師会や警察歯科医をはじめ、警察関係者、海上保安庁関係者等多くの方々と意見交換をさせていただいた。また、ISO/TC106/SC3/ WG5 の総括責任者である K. Aschheim 先生が平成 27 年 10 月訪日された際にミーティングを行い、検討中の歯科診療情報の標準化に関するデータセットを提示し、ご意見もいただくこともできた。何よりこのデータセット作成に 10 回以上にもわたり検討を行い、直接携わっていただいたデータセット策定ワーキンググループの 13 名の皆様には心から感謝申し上げたい。その結果、厚生労働省歯科診療情報標準化検討会で最終版としての「口腔状態の標準データセット」としてご承認いただいた。今後、この最終版とも言える「口腔状態の標準データセット」の用語が、今後の身元確認に使われるものと思われる。来年度以降、この標準データセットを用いて歯科レセコンや電子カルテ等の実装と、その全国展開に向けた検討がなされることとなるが、この 3 年間で新潟県歯科医師会のひとつの役目は終えたとは言え、実装に向けては現場で経験した歯科医師や実務者の意見が重要になり、当会として引き続き、この事業には全面的にバックアップする所存である。

平成 27 年 3 月 30 日の中央防災会議幹事会において、政府は南海トラフ地震において最悪の場合、死者数が 32 万人を超えると予想される旨発表した。南海トラフを震源とする巨大地震に備えて、甚大な被害が予想される静岡、和歌山、高知など 10 県に対し、全国から自衛官や警察官、消防士ら最大 14 万人以上を 3 日以内に派遣する行動計画をまとめ、たとえ東日本大震災のような未曾有の広域災害が再び起きたとしても、発生から時間をかけずに対応できるよう国を挙げて取り組む方針を決めている。本事業遂行にあたり、今後も青木教授を重鎮と捉え、歯科関係者も東日本大震災の教訓をしっかりと受け止めて対応できるよう肝に銘じておくべきである。本事業は大規模災害のみならず、平時でも有効な手段であり、必要不可欠なものである。

平成 27 年度歯科診療情報の標準化に関する実証事業報告書の作成にあたり、一昨年、昨年同様に東北大学副学長青木教授、日本歯科医学会住友会長、日本歯科医師会小枝前常務理事、小泉前常務理事、静岡県歯柳川会長、日本大学歯学部小室教授、日本歯科大学生命歯学部都築教授、大阪大学歯学部玉川准教授、群馬県検視警察医小菅先生、新潟県警、第九管区及び海上保安部、(株)BSN アイネット、有識者の皆様方、各県歯科医師会、警察関係の皆様、そして多大なご尽力をいただいたデータセット策定ワーキンググループの皆様をはじめ、多方面からご意見を頂戴しながら事業に取り組むことができた。大変お世話になったこと、心より感謝申し上げます。

また、青木教授とともに名コンビとしてこの事業の実務に携わってくれた当会事務局瀬賀課長に心から敬意を表したい。この 3 年間、青木教授と瀬賀課長のお二人なくしては本事業を遂行することは不可能であった。

■参考文献

- 日本大学歯学部法医学講座教授小室歳信、「厚生労働科学研究費補助金厚生労働科学特別研究事業 大規模災害時の身元確認に資する歯科診療情報の標準化に関する研究」、平成 25 年 3 月
- 社団法人宮城県歯科医師会、「東日本大震災報告書－東日本大震災への対応と提言

ー」、平成 24 年 3 月

- 社団法人宮城県歯科医師会、「大規模災害・事故等における身元確認マニュアル第 2 版」平成 24 年 10 月
- 社団法人福島県歯科医師会、「FUKUSHIMA～東日本大震災と原発事故の地から～東日本大震災報告書」、平成 25 年 3 月
- 警察庁、「東日本大震災と警察～回顧と展望～」、平成 23 年
- 社団法人岩手県歯科医師会、「岩手県歯科医師会報告書 2011.3.11 東日本大震災と地域歯科医療」、平成 24 年 7 月
- American National Standard/American Dental Association, Specification No.1058, Forensic Dental Data Set,2010
- 一般社団法人保健医療福祉情報システム工業会「JAHIS 病名情報データ交換規約 Ver.3.0C」、2014 年 6 月
- 一般社団法人保健医療福祉情報システム工業会「JAHIS データ交換規約（共通編）Ver.1.1」、2015 年 7 月
- 日本医療情報学会「SS-MIX2 標準化ストレージ仕様書 Ver.1.2c」、2016 年 2 月

■参考サイト

- 総務省、東日本大震災関連情報、<http://www.soumu.go.jp/shinsai/index.html>
- 青木研究室（東北大学大学院情報科学研究科）、身元確認と情報技術
<http://www.aoki.ecei.tohoku.ac.jp/dvi/>

■付 録

- これまでの事業で指摘された意見のまとめ
- 口腔状態の標準データセット（2016 年 3 月 26 日版）

〈付録〉 これまでの事業で指摘された意見のまとめ

平成 25 年度の実証事業においては、我が国の歯科診療における保険診療項目をベースにした「標準プロファイル（26 項目）」を定義し、この項目を網羅したマークシート様式によるデンタルチャートを用いて被験者となる患者の歯科情報を収集し、検索・照合実験を行った。その結果、標準プロファイルとして定義した 26 項目の歯科情報を保持すれば、外乱（様々な要因による情報欠落）への耐性も備え、且つ極めて高い精度で身元の絞り込みが可能であることを実証した。

また、平成 26 年度は、この標準プロファイル（26 項目）を基礎とし、広範にわたる意見聴取をもとに考察しながら、標準的な口腔内所見を木構造による階層型のデータセットとして再定義し、様々な歯科情報の粒度（詳細度、抽象度）に柔軟に対応できる階層化構造とした。この結果、同一のデータセットでありながら、一般歯科診療所に存在する診療情報、病院に存在する多様な診療情報、警察などで用いられる遺体の歯科情報など、さまざまな粒度の情報を統一的な枠組みで取り扱うことが可能となった。この階層型のデータセットの概念は、歯科情報の検索システムを設計するうえでも極めて有用であることが判明した。

さらに、平成 27 年度においては、前年度に策定した階層型のデータセットの概念を踏襲するとともに、その 80 個の特徴記述子を 896 個に拡張し、内外の専門家へのヒアリングによって判明した身元確認に資する歯科情報をほぼすべて網羅できる「口腔状態の標準データセット」（以下、「標準データセット」という。）を策定した。これにより、災害時等における歯科情報の消失のリスクを踏まえ、より包括的な歯科診療情報のバックアップが初めて可能になる枠組みが得られたと言えよう。

なお、今般の標準データセット策定に至るまでには、各県歯科医師会や警察歯科医をはじめ、警察関係者、海上保安庁関係者等多くの方々との意見交換を行った。その中で検討課題として問題提起されたものも多くあるが、ここでは、これまでの問題点を整理するとともに、今後いかなる対応が必要であるか考察する。

◆ データセットの内容（項目）について

平成 25 年に策定した「標準プロファイル（26 項目）」に準拠するマークシート様式のデンタルチャートを用いて、歯科医師をはじめ歯科衛生士、歯科技工士等の歯科関係者のみならず、警察や海上保安庁等の歯科医師以外の方々にも実際にマークシートにご記入いただき、多くのご意見を頂戴した。初年度に策定した標準プロファイルと今般作成した標準データセットを比較しながら、改善された点や検討課題を考察したい。

- ・ 便宜抜歯やヘミセクションの記入はどうするのか
- ・ ゴールド冠は特徴があり、記入した方がよい
- ・ 根管治療の有無、根管充填の記載も必要
- ・ 固定式矯正装置の装着の記載箇所があれば良い
- ・ 義歯のおける鉤の位置やバーの形態を記載できればよい
- ・ 著しい摩耗歯のチェック項目はいかがでしょうか
- ・ インレー脱離痕に関する項目が必要
- ・ 転移歯は自由記載欄か。記載箇所があっても良い
- ・ 連結冠や T-Fix はどうするのか
- ・ 修復歯等裏に個人識別可能な名前や番号を入れることは
- ・ 特殊な情報、例えば咬合状態、過剰歯等の情報が入れれば良い
- ・ 健全歯のレントゲンは保険制度上で撮る事が出来ない。点数を下げてでも構わないので、パノラマ・デジタルの撮影緩和があればよいと思う
- ・ 口腔内写真（説明用・記録用）を撮影する医院が多くなってきているので、生前情報として口腔内写真も参考にすると良いと思う。生前のパノラマ写真の必要性をアピールしていただきたい
- ・ 生前の初診時あるいは治療終了時の口腔内写真を義務化（点数化）するともっとよいと思う
- ・ パノラマレントゲンの活用：1年または数年以内にパノラマレントゲン撮影の普及
- ・ できるだけ画像を残す工夫がほしい。また、X線画像がより高解像度化した場合、照合の確率は上がるのか知りたい

平成 25 年度に策定した標準プロファイル（26 項目）によって高精度で身元の絞り込みが可能であるものの、さらなる記入項目や改善箇所等も含め、上記のような意見を頂戴している。この 3 年間の事業を通して、特徴記述子の数を 26 個（平成 25 年度）→80 個（平成 26 年度）→896 個（平成 27 年度）と拡張し、網羅性と柔軟性を高めてきた。最終的に策定した標準データセット（896 特徴記述子）は、歯科情報を包括的に取りまとめたものであり、これらの課題はほぼ網羅されている。一方、レントゲン写真や口腔内写真も含めた画像情報の必要性も関係者から指摘されており、画像情報の活用については今後の課題として残されている。現時点での画像情報の取り扱いにおいては、主としてその容量の大きさが問題となるが、今後の情報技術の進展に伴って、比較的近い将来に大規模な保存・活用が可能になると期待される。また、パノラマレントゲン写真の撮影に関する保険制度上の検討事項についても今後議論が必要であろう。

◆ 情報機器およびデータの扱いについて

レセコンや電子カルテ等の情報機器の取り扱いやその派生データの保存方法等に関する論点をまとめると次のようになる。

- ・ 歯科情報は定期的に更新しないと内容が古くなってしまい、役に立たなくなってしまう。最近のデータをいかに効率良く集めるかが大切であり、レセコンとの連携が求められる
- ・ 基本的には日常のカルテ記載を徹底させるべきと思う。普段から生前情報を収集する方法を考えておくべきと思う。
- ・ レセコンからすぐに印刷可能なシステムの構築を。日常のレセコンデータをそのまま活用できるように。
- ・ レセコンで初診の状態と終了時、あるいは最終の状態が出せるようなソフトがあればいいと思います。
- ・ 日々レセコンへ入力しているので、各メーカーがそれを自動で標準データとして出力できるようにソフトをバージョンアップさせるのは簡単だと思うのですが。
- ・ 各レセコンがこのマークシート式の記入方式を標準化してもらえると、データの共有化がし易く、レセコンの買い替えの際の移行も容易と思われます。
- ・ 1号用紙は初診のデータ：治療終了または現状を知るにはカルテ情報、レセコンの現状のデータ化。
- ・ 初診時の歯式の義務化（歯科医師のマナーとして、治療部位以外でも）。
- ・ 保険者のデータベースを使用すれば効率的になるのでは？
- ・ 将来のデータベース化に理解を示しながら、情報提供とその事業展開が予測できない。カルテやレセコンからの歯科情報収集には不安が拭えない一面も垣間見えた。
- ・ 歯科医院に通ったことのない者は困難。学校歯科健診等の集団健診でデータベース化されたらいいですが、厳しいですね。
- ・ カルテ、X線写真がIT化し、データベースを作れば比較的身元確認は簡単である。ただ、データの保存期間、受診したことのない住民のデータが取れない問題がある。
- ・ 診療後の記録等を永年保存とする事が望ましい。
- ・ さらなるデータ化を進めることの必要性を痛感した。歯科データを中央において、一極集中のデータ化を図り、ビッグデータとして、国内の歯牙鑑定に活かすことを考えてもらいたい。全国民のデータベースの必要性を感じます。
- ・ 各医院でのデータベース化は可能だと思うし、必要だと思う。ただ、そのデータを全国系のデータベースとして運用する事について問題が多く残るように思う。
- ・ 複数の医療機関にまたがる場合はどうするのか。
- ・ 近年各地で非会員が増えているが、災害時に連携をとる対策が必要である。

レセコンに標準データセットへの対応機能が搭載された場合、日常の診療内容が逐次歯科情報に反映されることとなり、データの再入力等で歯科医師の手を煩わせることなく、共通の様式に基づく歯科情報の出力が可能となる。ただし、レセコンから抽出した情報を用いる場合、当該患者の自院での保険診療内容しか反映されない場合が多く、自費診療の内容や他医院での治療内容は歯科情報として記録されない可能性がある。3年間の実証事業を通じて、このような、レセコンから抽出した不完全な歯科情

報であっても、十分な身元検索能力（識別率 76%程度）を有することが明らかになったことは大きな成果である。その一方で、さらにこの歯科情報の精度を一段と高めるための取り組みも重要であると思われる。具体的には、初診時の1号カルテ記載項目を自動的に反映させることや、必要に応じて追加・修正入力を行いつつ、治療終了時の歯科情報（スナップショット）をデータとして保持することも考慮する必要がある。また、学校歯科健診情報の利用や、包括的なデータベース化についての意見もあり、これらの事業の可否については、今後の検討課題として残されている。

◆ 歯科診療情報標準化によって可能なる各種の取り組みについて

ここでは、歯科情報の標準化を活用する各種の事業に関する様々な課題についてまとめた。

- ・ 今後全員行っていく義務化となった場合、説明から記入までかなり労力が必要になると思います
- ・ 一元化され。共有化されると非常時役立つと思う。ただし、情報をどのように、誰の責任で管理するかが問題となると思う。身元を早期に割り出し、ご遺体を遺族に返すのは私たちの責務です
- ・ 標準化は必要だと思う。なるべく全国的に標準化できるように頑張ってもらいたい。全国統一後は一つの部署が一元的に管理運営した方が、どこで災害が発生しても迅速に対応できるが、データ管理責任者の信頼性が問われる。
- ・ 生前歯科情報を一元的に管理すれば死後デンタルチャートから簡単な検索でヒットする事となる。早期に標準化してほしい
- ・ 個人情報であるため、本人の了解が難しいのでは。患者さんへの啓発パンフレット等があればいいのですが
- ・ 個人情報の取扱いで、患者さんの十分な御理解を得られるような説明を行うことが必要ですし、情報管理の在り方を適正かつ厳格にやっていく必要があると感じました
- ・ 一定の年齢に達したら、歯科にて記録を取ることを患者に義務化する
- ・ 多数死体を取り扱う際に円滑に出来るシステムだと思う。また変死体（不明者）の手配の際にも役立つと思う
- ・ 平素の腐乱死体でも身元確認には非常に苦労します。より多くのデータを一括管理できれば、それも全国的にできれば、想像をはるかに超えた効果が期待できると思います。実現を強く望みます
- ・ 歯科情報のデータベース化は非常に有効と思われるが、できれば DNA や指紋なども追加したものを目指した方が良いと思われる
- ・ 警察も行方不明者届時に、生前歯科情報の提出を家族に積極的に依頼すべき
- ・ DNA 型鑑定がすべてではなく、見比べてすぐに分かる歯牙鑑定は費用・時間の節約に有効だと思う
- ・ 各県警が主導すると思われるので、各県で県警の連携をお願いしたい

- ・ 警察、行政機関がより積極的に取り組むことが今後の課題ではないでしょうか。検視の現場から考えると、予算面でもかなりのコストダウンになると思います。
- ・ 多数の遺体を扱う現場では簡易版がよい
- ・ 1 歯における画像比較で、複数歯と比較できれば精度が向上するのでは
- ・ 東日本大震災では多くの子供も犠牲となった。乳歯から永久歯へ交換する年代の子供のデータは変化するが、この問題はどうか
- ・ 口腔内は経時変化が大きいため、指針の情報を常に更新する方法があれば良い。いつの時点でのデータとして、記入するかというのも重要な点だと思う
- ・ 保険証のデータに入れてもいいのでは？
- ・ 大規模災害時等では、身元確認が進とともに経時的に検案所が集約されることがあり、その都度遺体に付与される番号が変更される可能性がある。これは遺体の取り違えを生じる可能性もあり、固有の番号を付与するなどが必要
- ・ 全世界共通の標準化したものになると良い
- ・ 大規模災害対策として、県職員、市役所職員等にも参加していただき、共通認識を持ってもらえたらと思う

広範にわたって問題提起されているが、全世界共通の標準化に関しては既に ISO においても議論が開始されたところである。やはり標準化に向けての大きな課題となるものが、国民の理解、そして歯科医師の理解であろう。厚生労働省の検討会ではまだ踏み込んだ議論はなされていないが、今後の検討会において大きな検討課題といえる。

平成 27 年度 厚生労働省委託事業
歯科診療情報の標準化に関する実証事業報告書

発行日 平成 28 年 3 月 31 日
発行人 研究代表者 五十嵐 治
一般社団法人 新潟県歯科医師会
〒950-0982 新潟県新潟市中央区堀之内南 3 丁目 8 番 13 号
TEL : 025-258-3030 FAX : 025-283-6692

口腔状態の標準データセット

Oral Status Standard Data Set

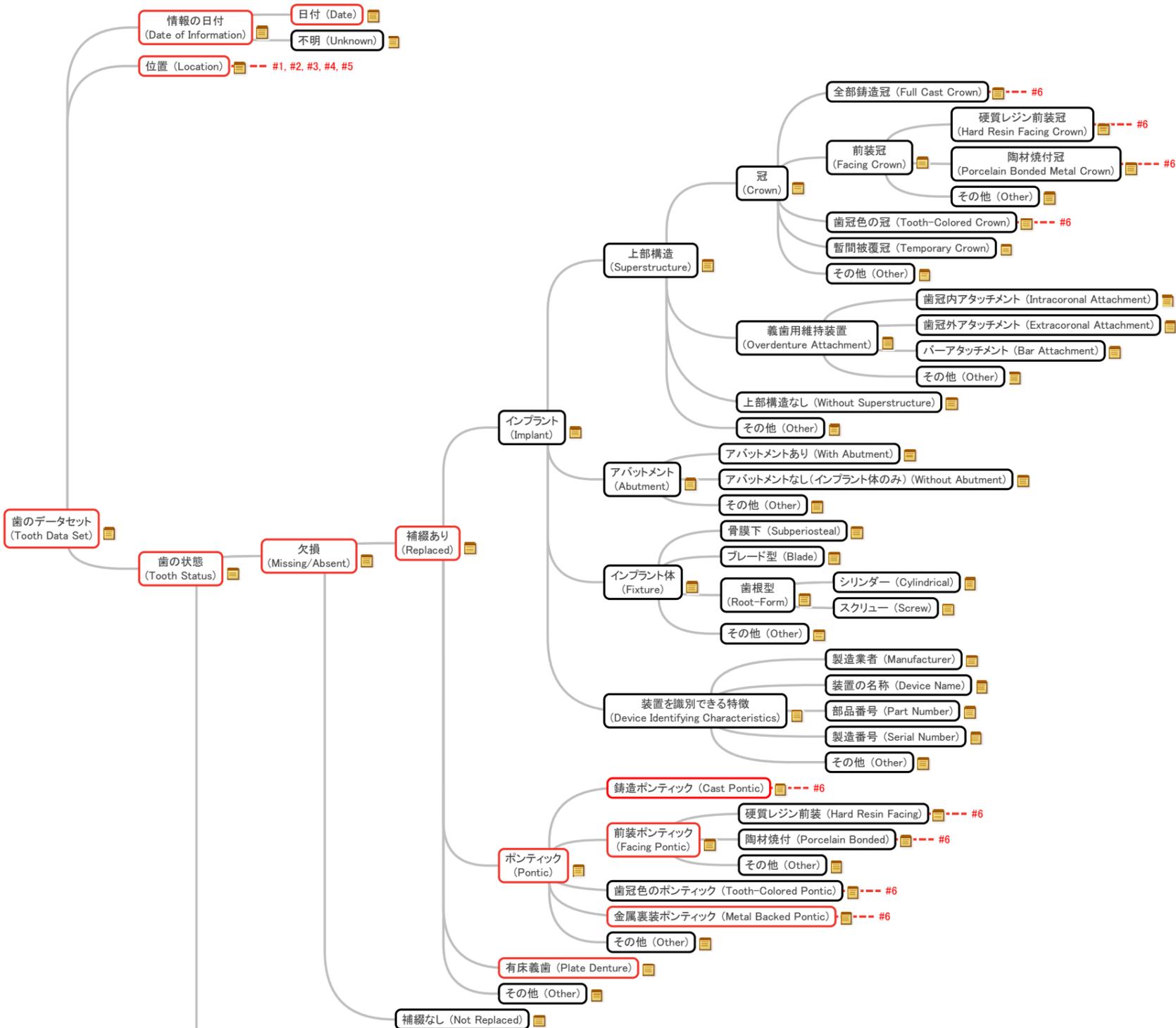
レセコンから抽出可能な歯科情報に赤枠を付与
(2016年3月26日版)

A3版以上で印刷して下さい
Please Print on A3 or Larger Papers

データセット策定WG: 青木孝文, 井田有亮, 玉川裕夫, 鈴木敏彦, 小坂萌, 富士岳志, 柴原孝彦,
上地潤, 小菅栄子, 北村信隆, 松本智宏, 瀬賀吉樹, 青山章一郎

Contact: dental@aoki.ecei.tohoku.ac.jp

歯のデータセット (Tooth Data Set) 1/3

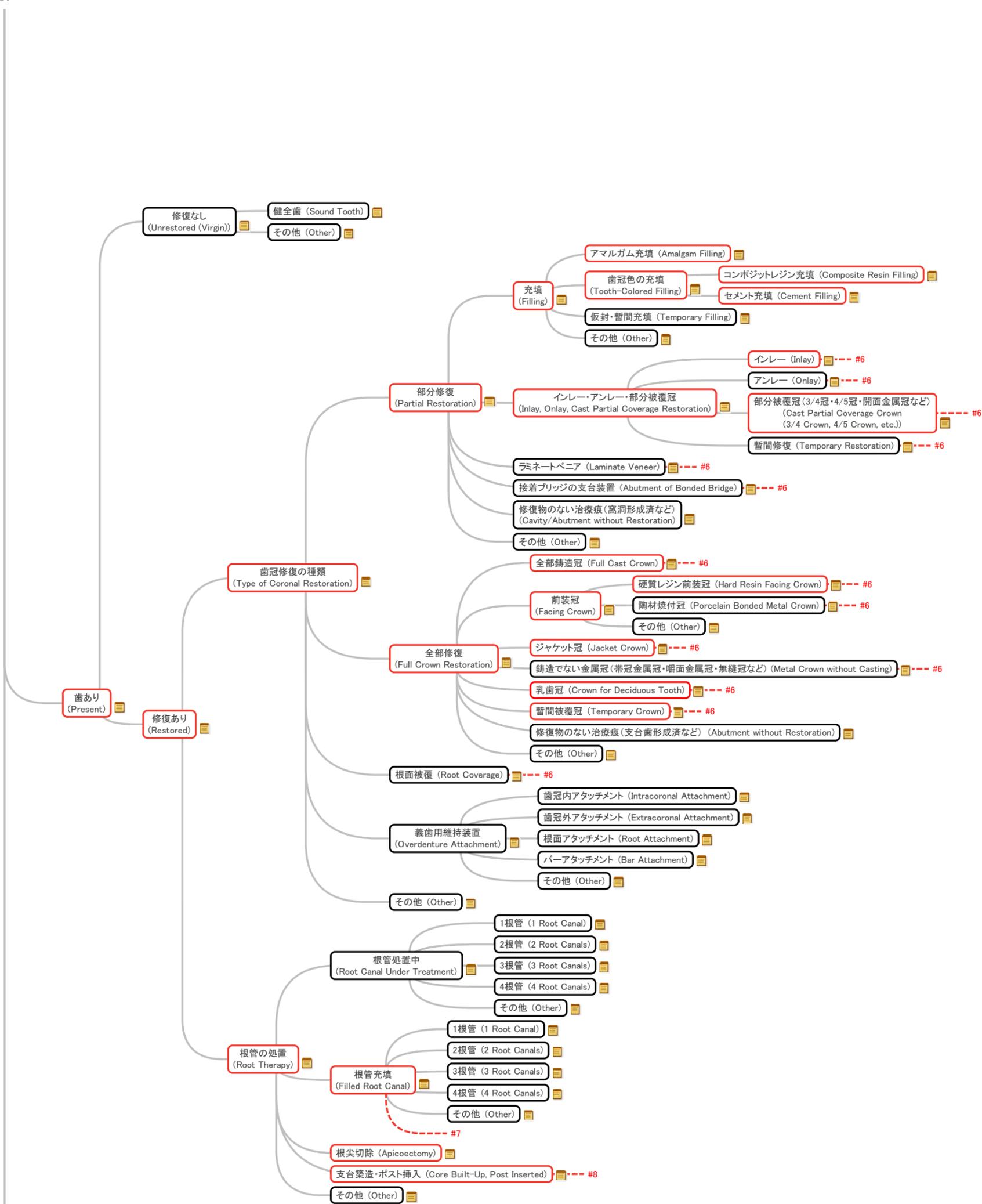


@1

レセコンから抽出可能な歯科情報

歯のデータセット (Tooth Data Set) 2/3

@1

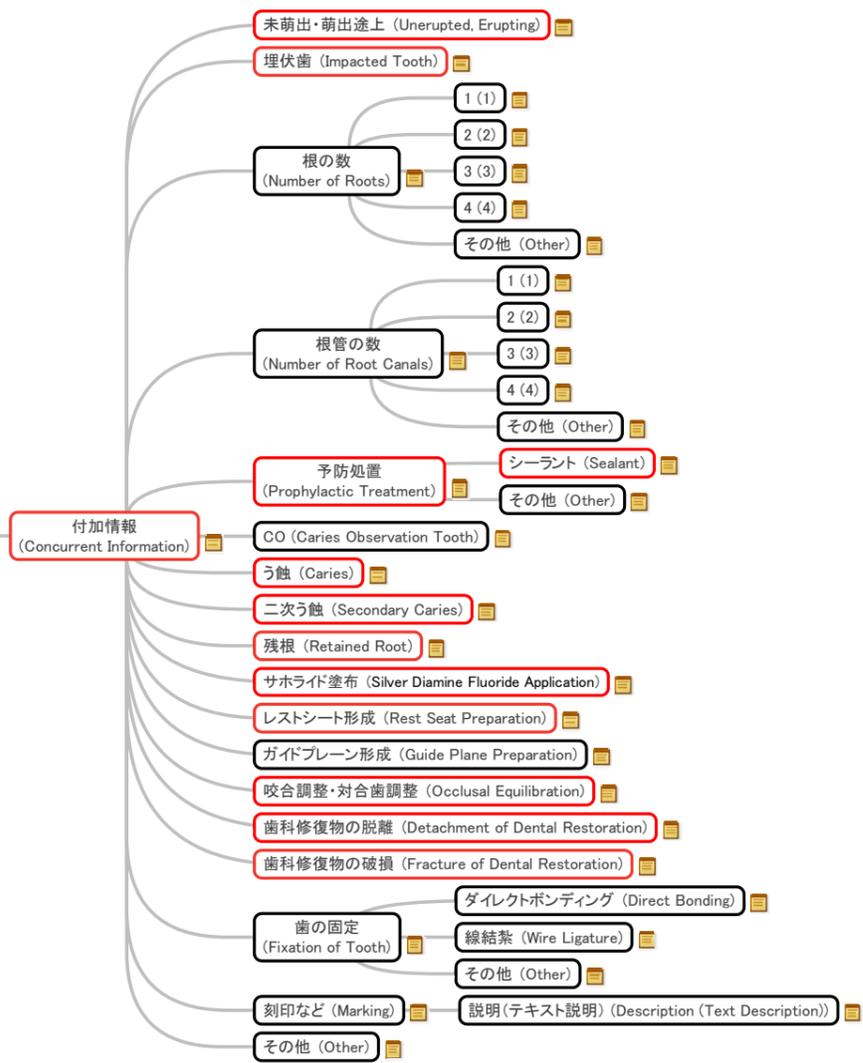


@2

レセコンから抽出可能な歯科情報

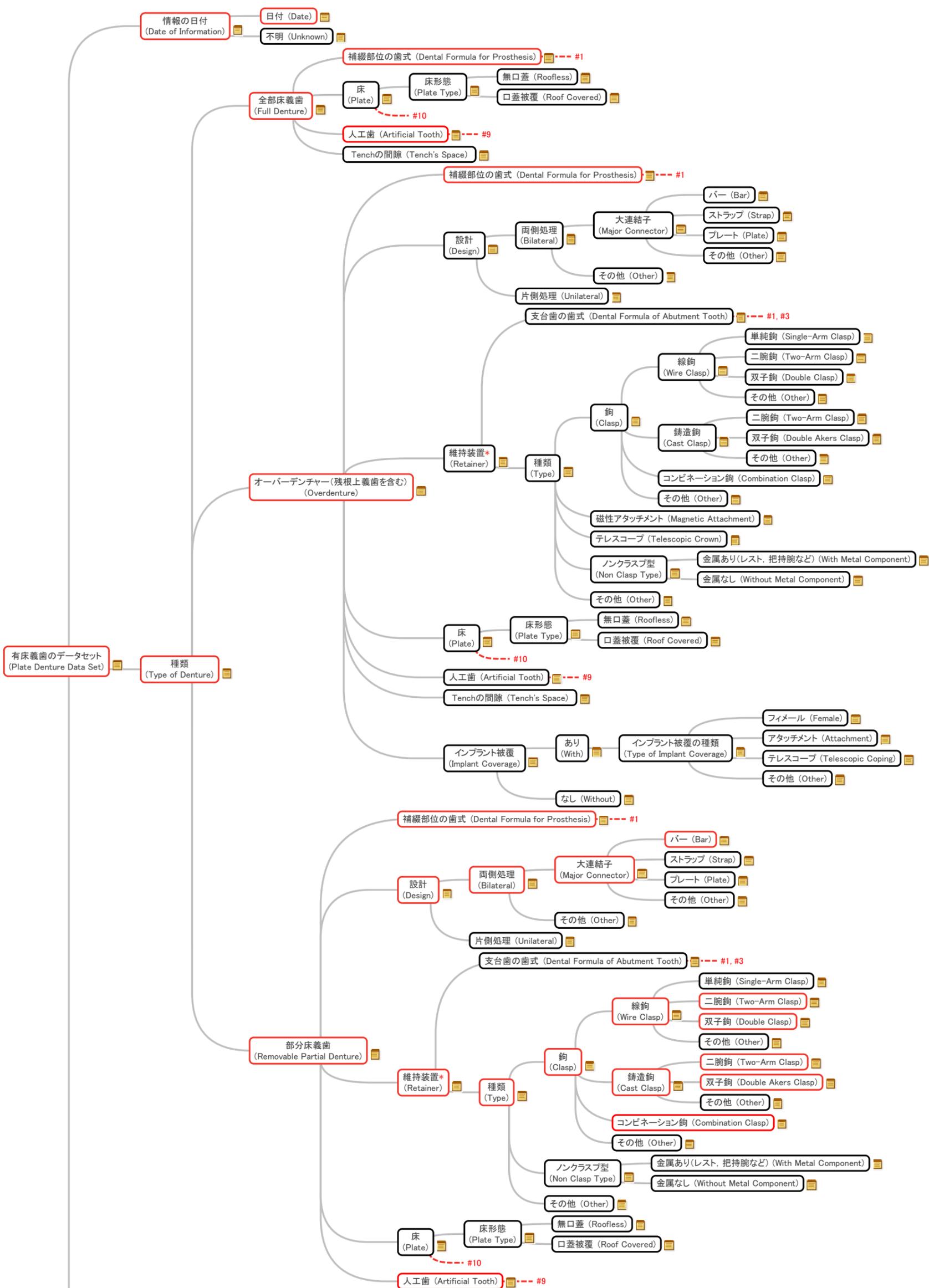
歯のデータセット (Tooth Data Set) 3/3

@2



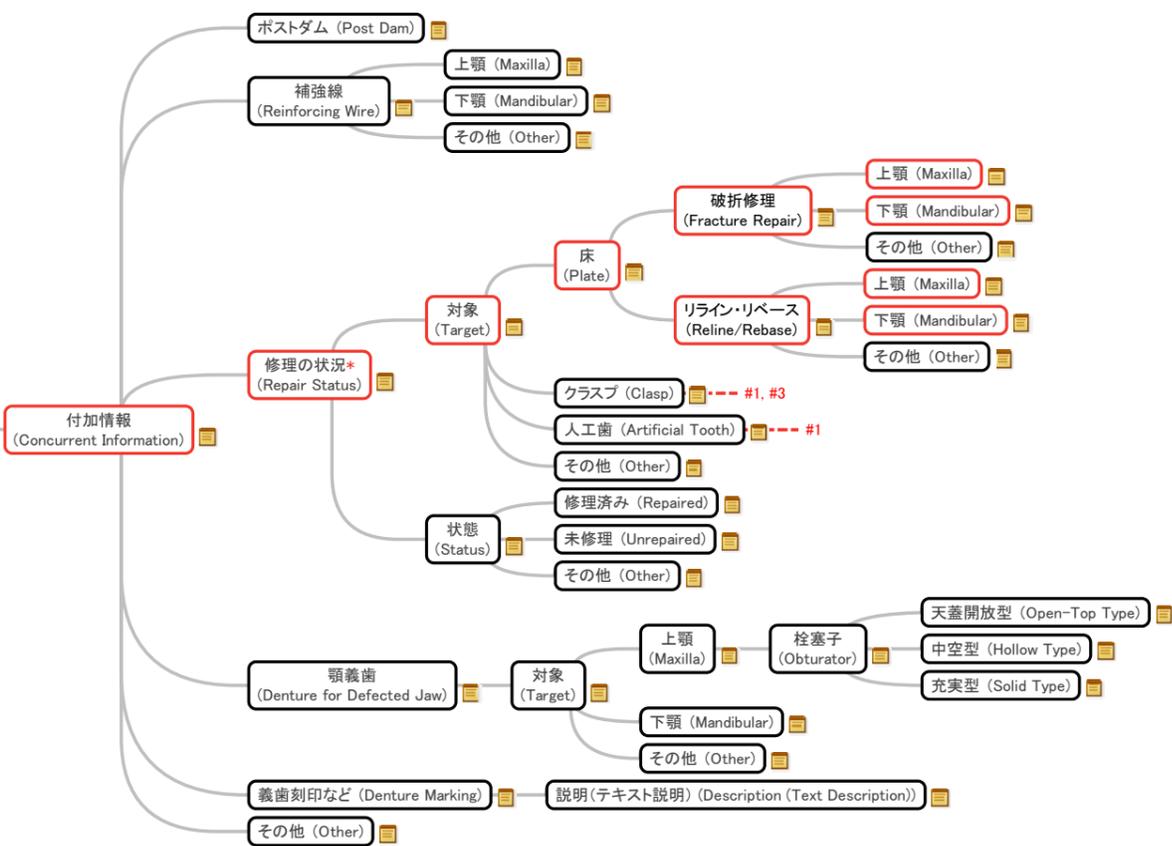
レセコンから抽出可能な歯科情報

有床義歯のデータセット (Plate Denture Data Set) 1/2



有床義歯のデータセット (Plate Denture Data Set) 2/2

@3

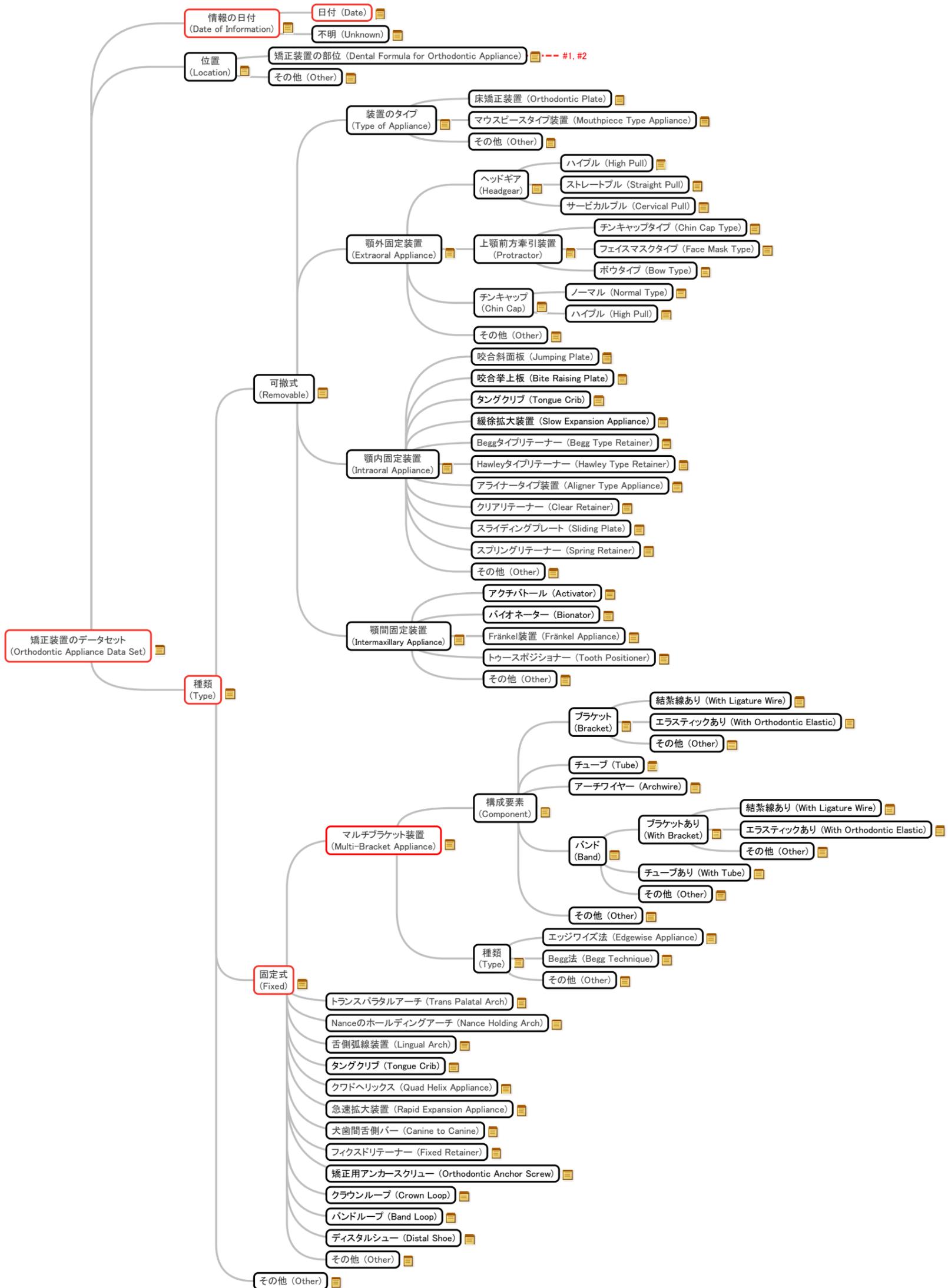


レセコンから抽出可能な歯科情報

ブリッジ・連結冠のデータセット (Bridge/Splinted Crowns Data Set)

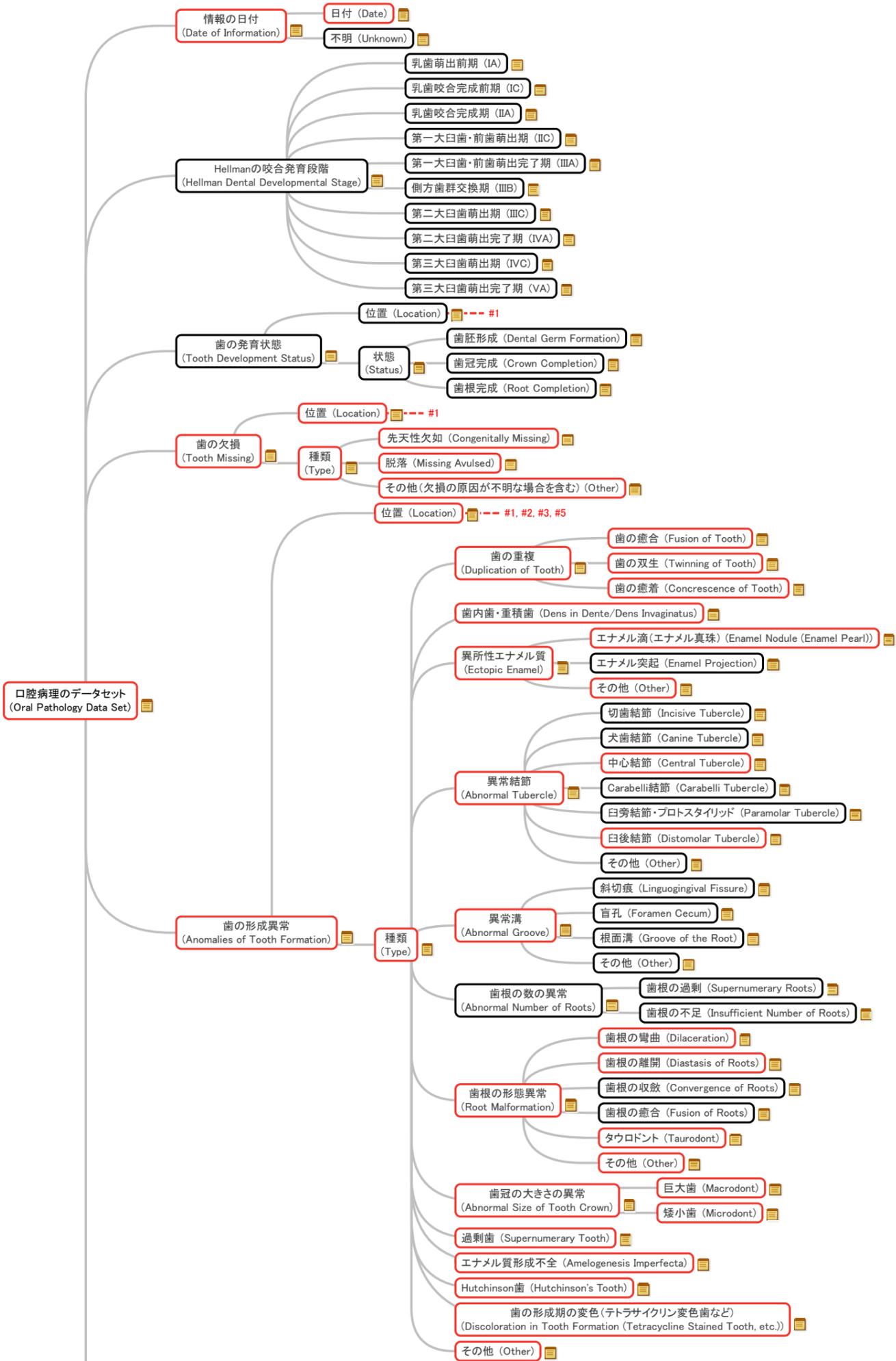


矯正装置のデータセット (Orthodontic Appliance Data Set)



レセコンから抽出可能な歯科情報

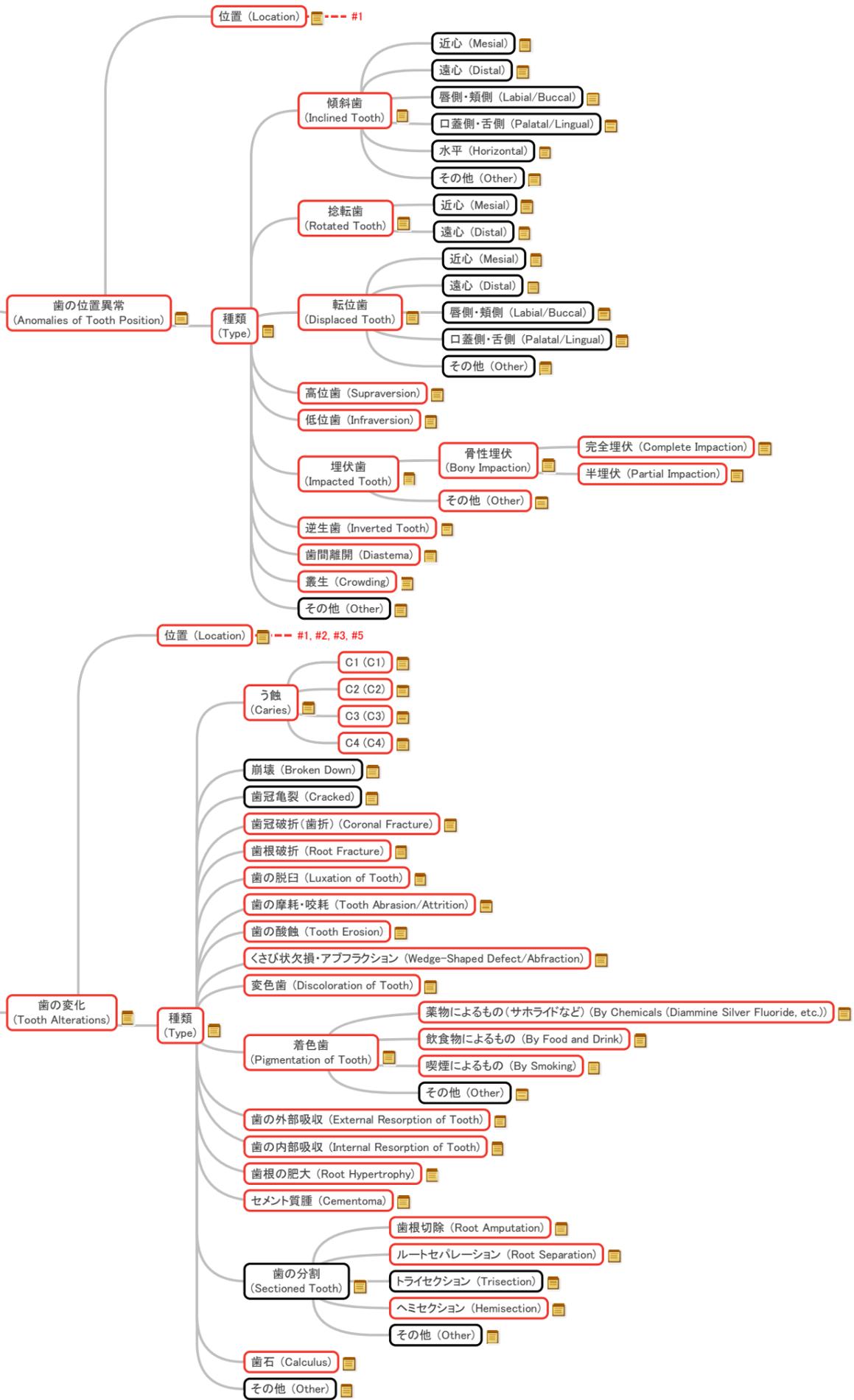
口腔病理のデータセット (Oral Pathology Data Set) 1/6



@4

レセコンから抽出可能な歯科情報

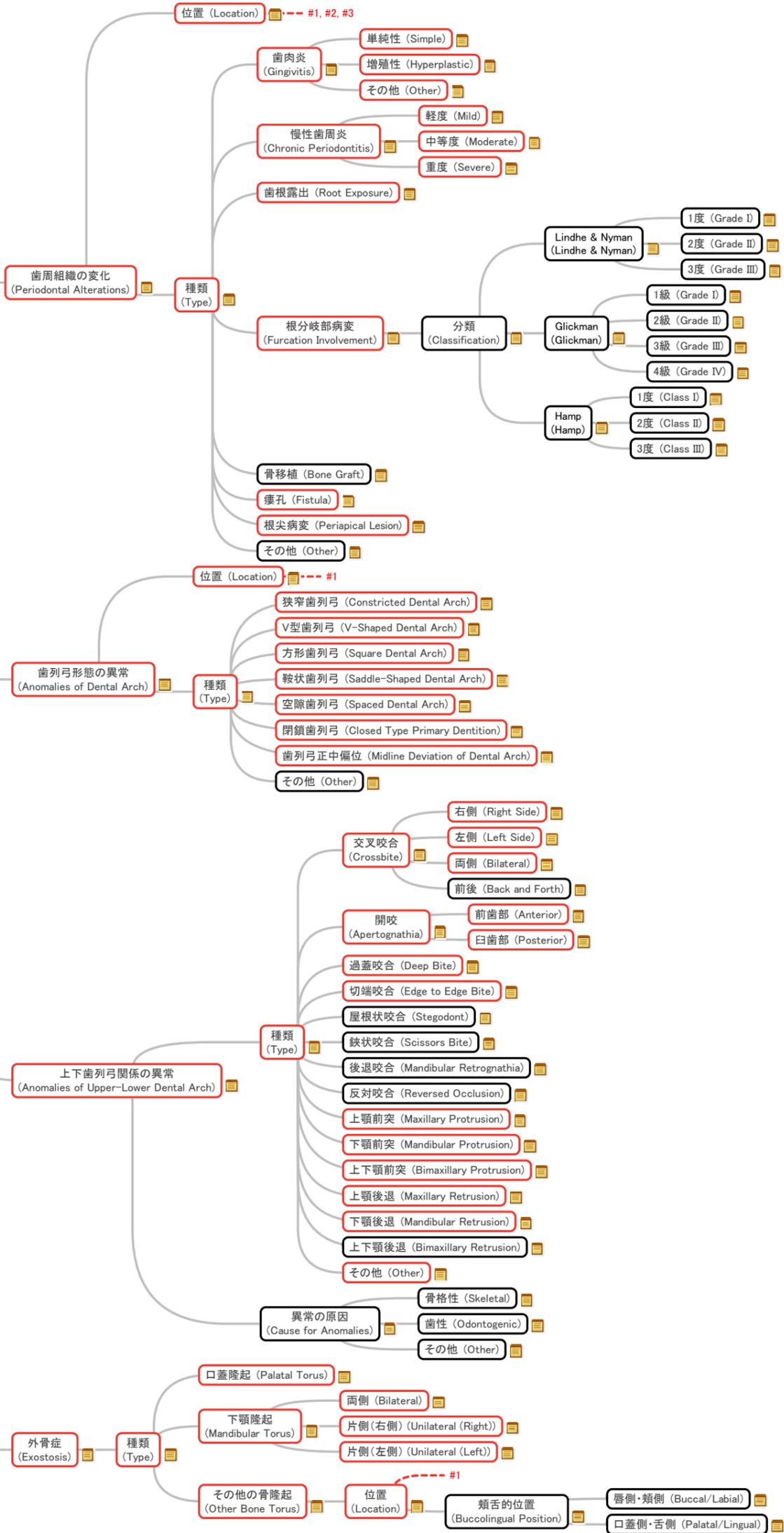
@4



@5

口腔病理のデータセット (Oral Pathology Data Set) 3/6

@5

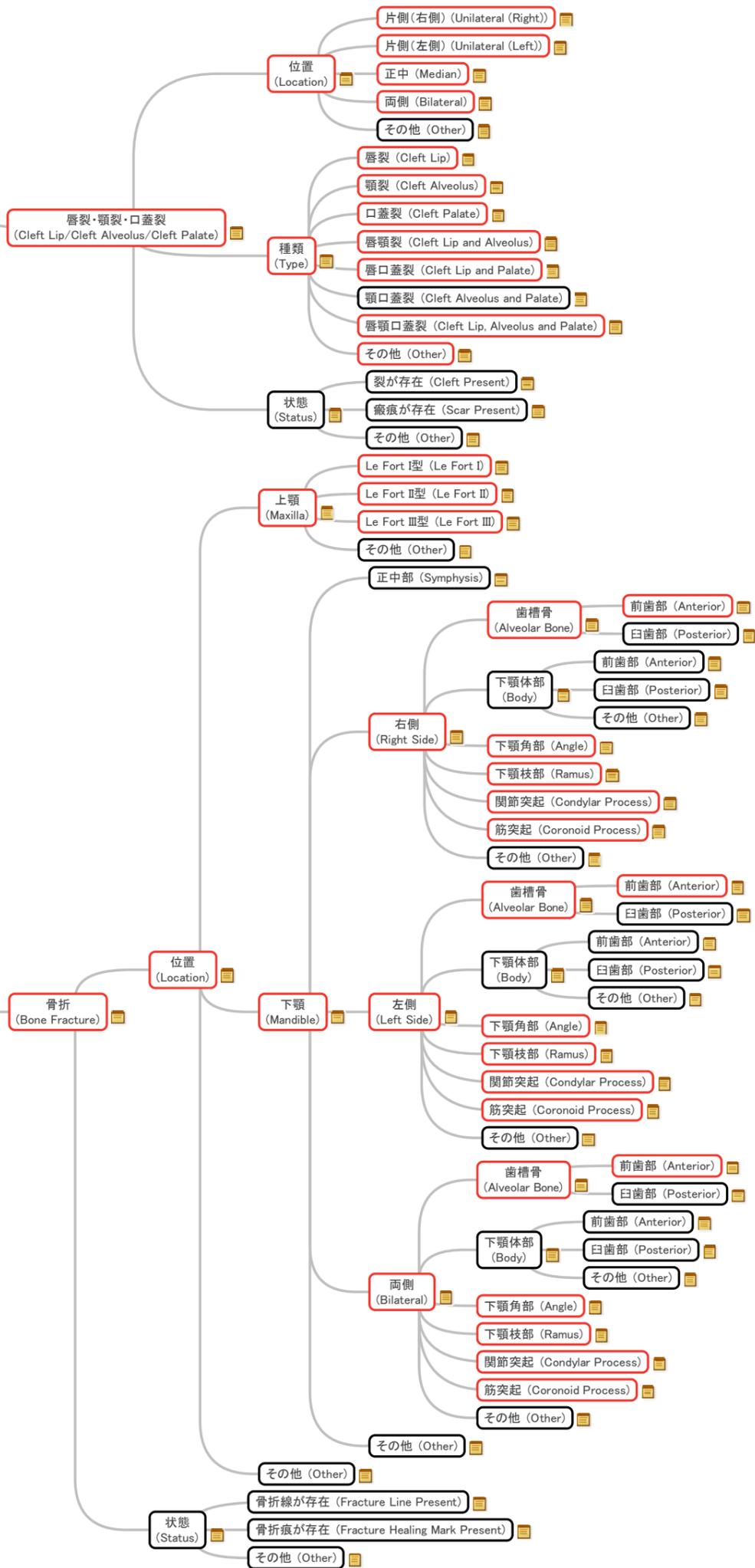


@6

レセコンから抽出可能な歯科情報

口腔病理のデータセット (Oral Pathology Data Set) 4/6

@6

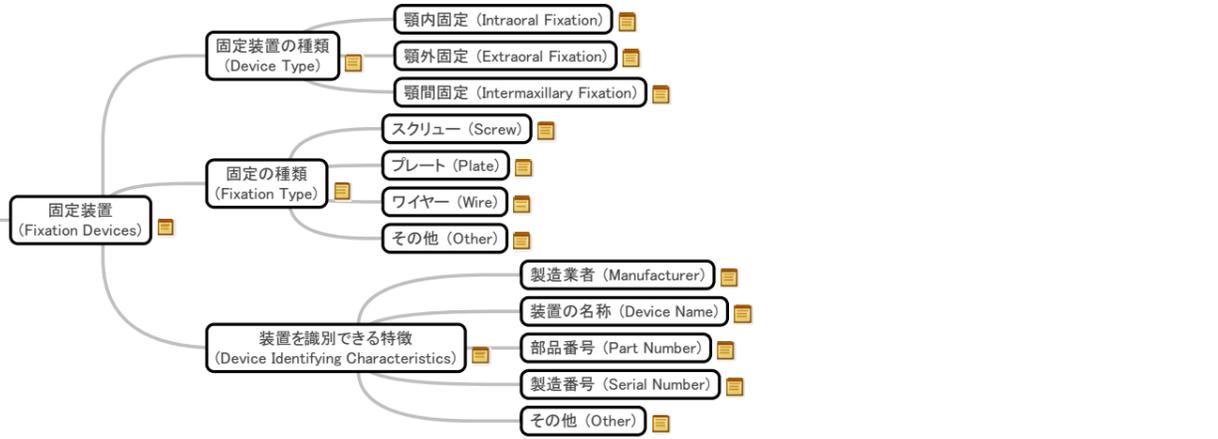


@7

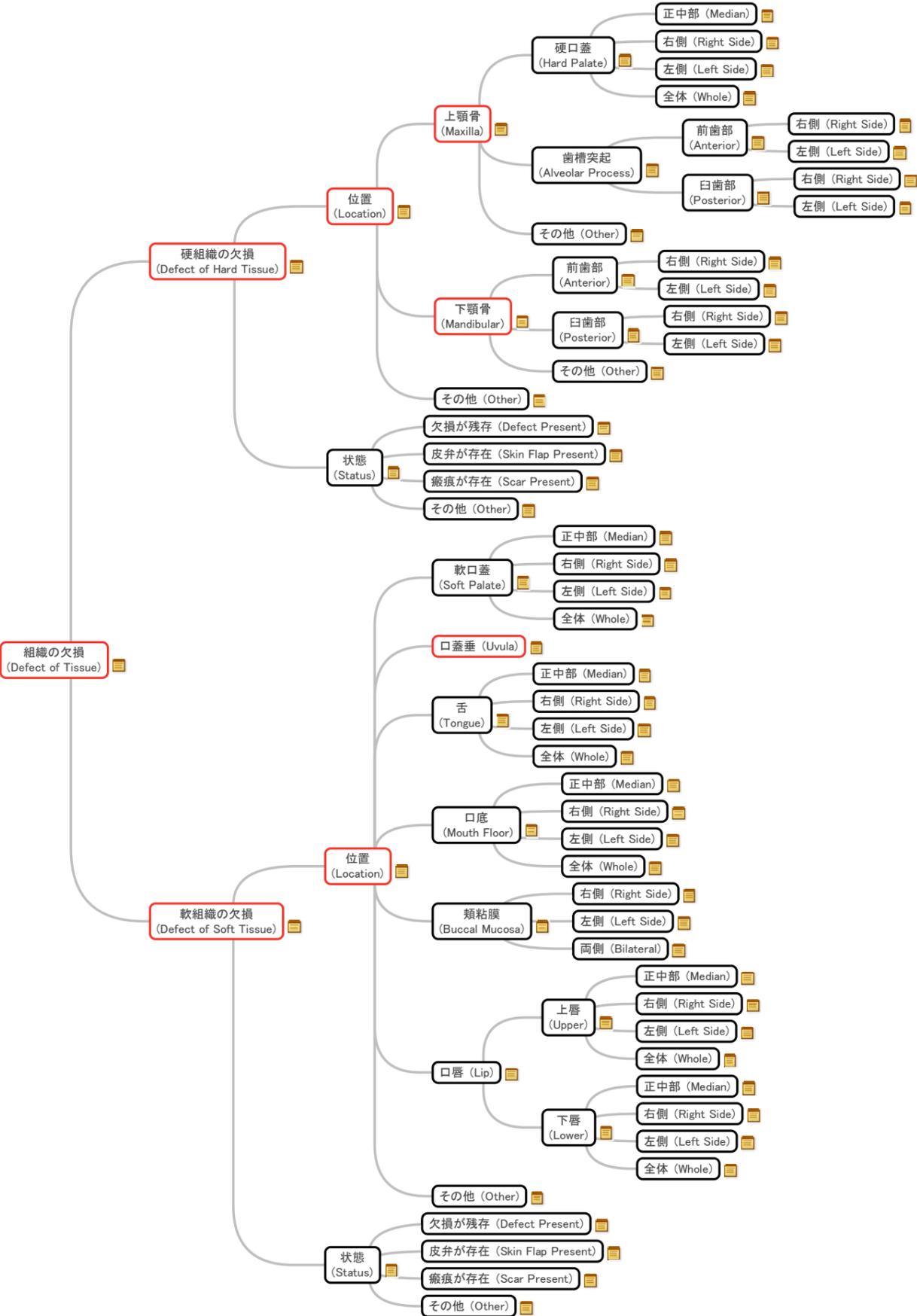
レセコンから抽出可能な歯科情報

口腔病理のデータセット (Oral Pathology Data Set) 5/6

@7

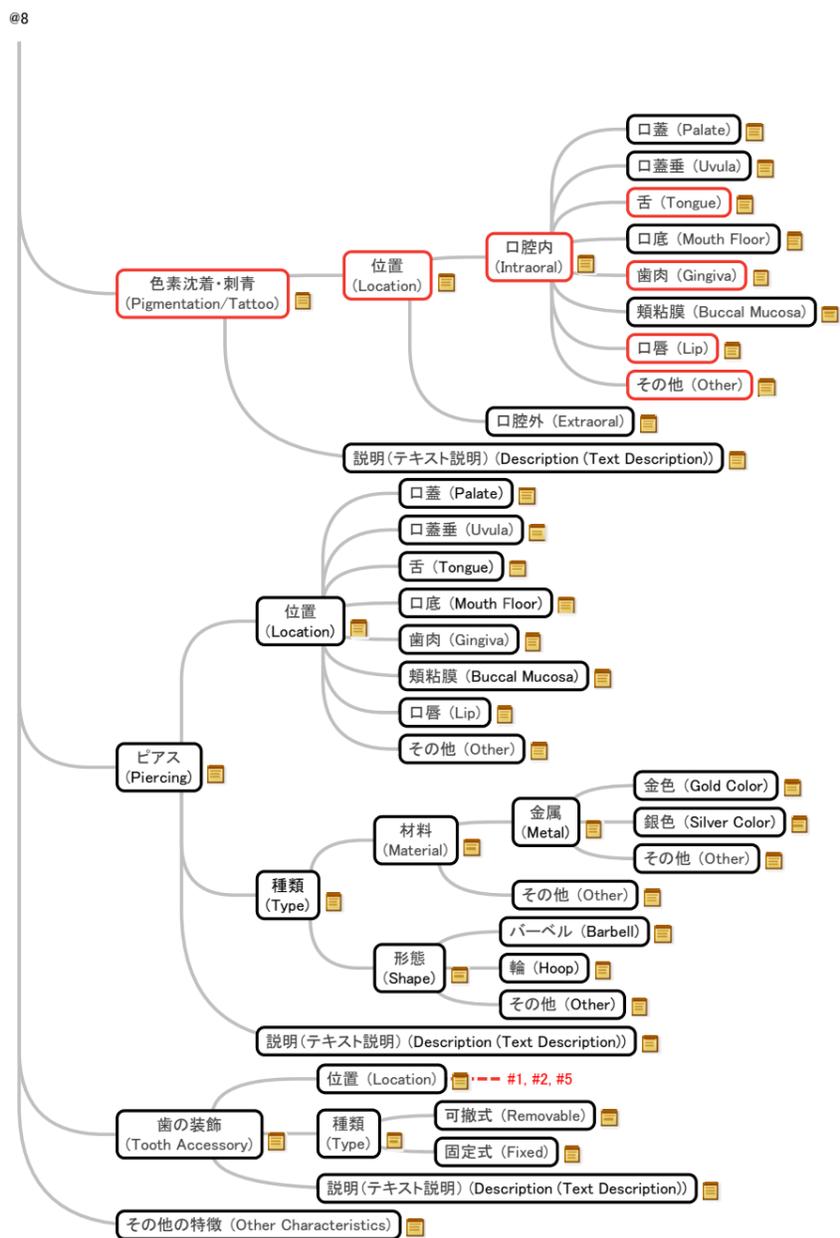


@8



レセコンから抽出可能な歯科情報

口腔病理のデータセット (Oral Pathology Data Set) 6/6



レセコンから抽出可能な歯科情報

歯・歯列の位置のデータセット (Tooth Part and Position Data Set)



レセコンから抽出可能な歯科情報

材料のデータセット (Material Data Set)

